

プログラム

第16回全日本民医連

# 共同組織活動 交流集会

地域の中からつながり広げ、  
平和・いのち・人権が  
大切にされる世界へ

～あらたな担い手とともに、誰ひとり取り残さないまちづくりを～

2024年  
9月29日(日)～30日(月)

会場：岡山シンフォニーホール

in  
岡山

主催：全日本民医連共同組織活動交流全国連絡会

共催：全日本民主医療機関連合会・(株)保健医療研究所



歓迎あいさつ

## 第16回全日本民医連共同組織活動交流集会in岡山

全日本民医連共同組織活動交流全国連絡会代表委員

第16回共同組織活動交流集会現地実行委員長 早川 高子

第16回全日本民医連共同組織活動交流集会にようこそ～!!

全国からご参加のみなさん～!! ようこそ!! おいでんせえ～♪ 岡山に～♪

現地設営委員会を代表して、心から歓迎のごあいさつを申し上げます。私たち現地設営委員会は、全国連絡会とともに議論を重ね、準備させていただきました。

集会のテーマは「地域の中からつながり広げ、平和・いのち・人権が大切にされる世界へ～あらたな担い手とともに、誰ひとり取り残さないまちづくりを～」です。前回の山梨集会から2年間、「つながり」をキーワードに交流を重ねてきました。岡山ならではの企画、「動く分科会」はお勧めです。

いずれも、「平和・いのち・人権」のテーマにふさわしく、語りついでもらえる、輝かしい内容だと信じています。なにより、「岡山みやげ」にしていただけのもんと思っています。

6年ぶりの顔あわせです。楽しく学び、しっかり交流しましょう～!!

以上をもって、歓迎のごあいさつといたします。



# 目次

交流集会参加のみなさんへ(連絡とお願い).....	3
プログラム.....	5
記念ライブ.....	7
会場全体図.....	8
岡山駅周辺図.....	9
全体会場フロア図.....	10
分科会場一覧.....	12
分科会場フロア図.....	13
分科会テーマ・キーワード.....	20
分科会演題一覧<会場別>.....	21
県連別演題一覧.....	46
<抄録>	
第1分科会 第1会場.....	52
第1分科会 第2会場.....	58
第2分科会 第1会場.....	64
第2分科会 第2会場.....	70
第3分科会 第1会場.....	75
第3分科会 第2会場.....	81
第3分科会 第3会場.....	88
第3分科会 第4会場.....	95
第3分科会 第5会場.....	100
第4分科会 第1会場.....	107
第4分科会 第2会場.....	114
第4分科会 第3会場.....	120
第4分科会 第4会場.....	125
第4分科会 第5会場.....	132
第5分科会 第1会場.....	138
第5分科会 第2会場.....	145
第5分科会 第3会場.....	152
第5分科会 第4会場.....	159
第6分科会 第1会場.....	166
第6分科会 第2会場.....	173
第6分科会 第3会場.....	179
第6分科会 第4会場.....	186
第7分科会 第1会場.....	193
第7分科会 第2会場.....	199
第7分科会 第3会場.....	205



# 交流集会参加のみなさんへ（連絡とお願い）

## 〈プログラム集について〉

当プログラム集は、県連を通じて参加登録をした方に事前に配布しています。抄録は、ホームページに掲載しているため、そちらをご覧くださいか印刷して持参するなどしてください。

## 〈分科会の発表者、発表順について〉

発表者の都合などにより変更される場合がありますので、ご了承ください。

## 〈分科会の参加者について〉

今回の活動交流集会は、全体会を岡山シンフォニーホールで、分科会は岡山駅周辺の複数の会場に分散して行われます。

各会場周辺に案内役を配置しますが、当プログラム集の会場案内図を参照のうえご移動いただきますようお願いいたします。

## 〈参加受付〉

1日目の参加受付は、岡山シンフォニーホール3Fでおこないます。県連ごとに代表者が受付をおこなってください（近県は法人ごとも可）。受付で資料などが入った袋をお渡しします。中に名札が入っていますので、県名・参加分科会番号・氏名を記載のうえご着用をお願いいたします。

2日目の受付は各分科会会場でおこないます。

## 〈分科会受付〉

発表者は必ず開始時間前に分科会会場にて受付をすませてください。一般参加者は受付不要です。ただし、全体会に参加せず分科会から参加する方には資料をお渡しするので受付にお声がけ下さい。

特別分科会の参加者は、特別分科会会場（オルガホール岡山 地下1階）前で受付をおこないます。参加費の1,000円をご用意ください。

動く分科会は、岡山駅西口バスセンターから出発します。乗車前に受付をしますので参加費の2,000円をご用意ください。

いずれもお釣りのないようご協力ください。

## 〈分科会参加にあたっての注意〉

分科会会場の移動は可能です。ただし、演者が発表中の移動はご遠慮ください。

発表にあたり、印刷資料の配布をご希望の方は、100部ほど事前に印刷してご持参の上、受付要員にお渡しください（座長の許可を得て配布します。配布資料の当日印刷のご要

望にはお応えできませんのでご了承ください)。

パワーポイントなどのデータの当日持ち込み・差し替えはできません。パソコンのウイルス感染を防ぐためですので、ご理解ください。

### 〈救急対応について〉

救護班を配置しています。お具合の悪い方や、お具合の悪い方を見かけた場合は、要員にご相談ください。ただし急病やけがの場合はすみやかに119番通報をお願いします。その後、設営本部にご一報ください。

### 〈旅行代理店の窓口について〉

1日目のみ、受付周辺に旅行代理店による窓口を設けます。宿泊に関することや観光に関する相談などをお受けします。

### 〈宿泊について〉

2日目は、必ず鍵をフロントに返却し、チェックアウトした上で分科会会場に向かってください。また、宿泊施設の各部屋で追加のサービスや飲食などをご利用した場合は、チェックアウト時に必ず精算してください。

以 上

# プログラム

■2024年9月29日（日）13：30～17：00

## <全体会>岡山シンフォニーホール

- 13：30 オープニング 現地歓迎企画  
岡山県立岡山東商業高等学校 書道部によるパフォーマンス／岡山民医連紹介動画の上  
映など
- 14：00 開会宣言  
現地実行委員長あいさつ 早川高子（共同組織活動交流全国連絡会代表委員）  
全日本民医連会長あいさつ 増田剛（全日本民医連会長）  
岡山県民医連会長あいさつ 山本明広（岡山県民医連会長）  
岡山県知事あいさつ （メッセージ代読）
- 14：20 基調報告
- 14：35 能登半島地震と石川県健康友の会連合会の支援活動
- 14：50 指定演題の発表
- 15：30 （休憩）
- 15：45 松元ヒロさん 記念ライブ
- 16：50 次回開催県連 決意表明
- 16：55 事務連絡
- 17：00 全体会終了

## <夕食交流会>複数の会場で開催

18：30～20：30

■2024年9月30日（月）9：30～12：30

※動く分科会は8：30～、特別分科会は9：00～です。

## <分科会>

**【テーマ別分科会】7つのテーマで25会場に分か  
れて演題発表と質疑・交流**

- 9：10～ 開場・受付開始
- 9：30～12：30 演題発表・質疑応答（適宜休憩）

**【特別分科会】「ハンセン病ドキュメンタリー映  
画「NAGASHIMA ～“かくり”の証言～」上映会**

- 8：30～ 開場・受付開始

- 9：00～9：20 宮崎賢監督よりご挨拶  
9：20～11：10 ドキュメンタリー映画上映  
11：10～11：25 (休憩)  
11：25～12：30 宮崎賢監督による講演と感想交流会

## 【動く分科会】※コースによっては出発時間が異なります。

(注1) 参加費2,000円はバスで集金します。おつりのないようご準備ください。

(注2) 集合場所におけるバスの停車時間は20分間です。出発時間に遅れた場合にはご参加いただけませんのでご了承ください。また、参加をキャンセルする場合は、動く分科会責任者までご連絡ください(連絡先は県連を通じてご案内しています)。

### ①ハンセン病療養所 長島愛生園歴史館

- 8：10 バス乗車開始  
8：30 岡山駅西口バスセンター出発  
9：45 長島愛生園到着 専属ガイドのもと園内を見学  
11：30 長島愛生園出発  
12：30 岡山駅西口バスセンター到着

### ②朝日訴訟の歴史と人間裁判の碑

- 8：30 バス乗車開始  
8：50 岡山駅西口バスセンター出発  
(NPO 朝日訴訟の会の方がご案内します)  
9：30 人間裁判の碑 到着・見学  
10：15 コンベックス岡山にて学習会  
12：30 岡山駅西口バスセンター到着

### ③戦争遺跡 亀島山地下工場跡

※ぬかるんでいる場所に入る可能性があります。汚れてもよい靴でご参加ください。

- 8：10 バス乗車開始  
8：30 岡山駅西口バスセンター出発  
(亀島山地下工場を語り継ぐ会の方がご案内します)  
9：40 水島勤労福祉センター 到着  
亀島山地下工場跡 見学  
12：30 岡山駅西口バスセンター到着

### ④水島の公害と環境再生のまちづくり

- 8：10 バス乗車開始  
8：30 岡山駅西口バスセンター出発  
(公益財団法人水島地域環境再生財団の方がご案内します)  
10：00 倉敷市環境学習センター到着 レクチャー・見学  
10：40 松江地区まち歩き 大気測定ポイント(松江局)見学  
11：20 鷺羽山スカイライン水島展望台より見学・レクチャー  
12：30 岡山駅西口バスセンター到着

## 記念ライブ

# 「テレビで会えない芸人」

## 松元ヒロさん記念ライブ



橋蓮二

### 松元ヒロ氏プロフィール

1952年鹿児島県生まれ。1988年にコント集団「ザ・ニューズペーパー」の結成に参加し、その後独立しソロ芸人に。2021年に、密着ドキュメンタリー「テレビで会えない芸人」（鹿児島テレビ制作）が日本民間放送連盟賞最優秀賞、ギャラクシー賞優秀賞等を受賞。2022年には同タイトルで映画化され、自主上映会を含め全国各地の映画館で上映された。

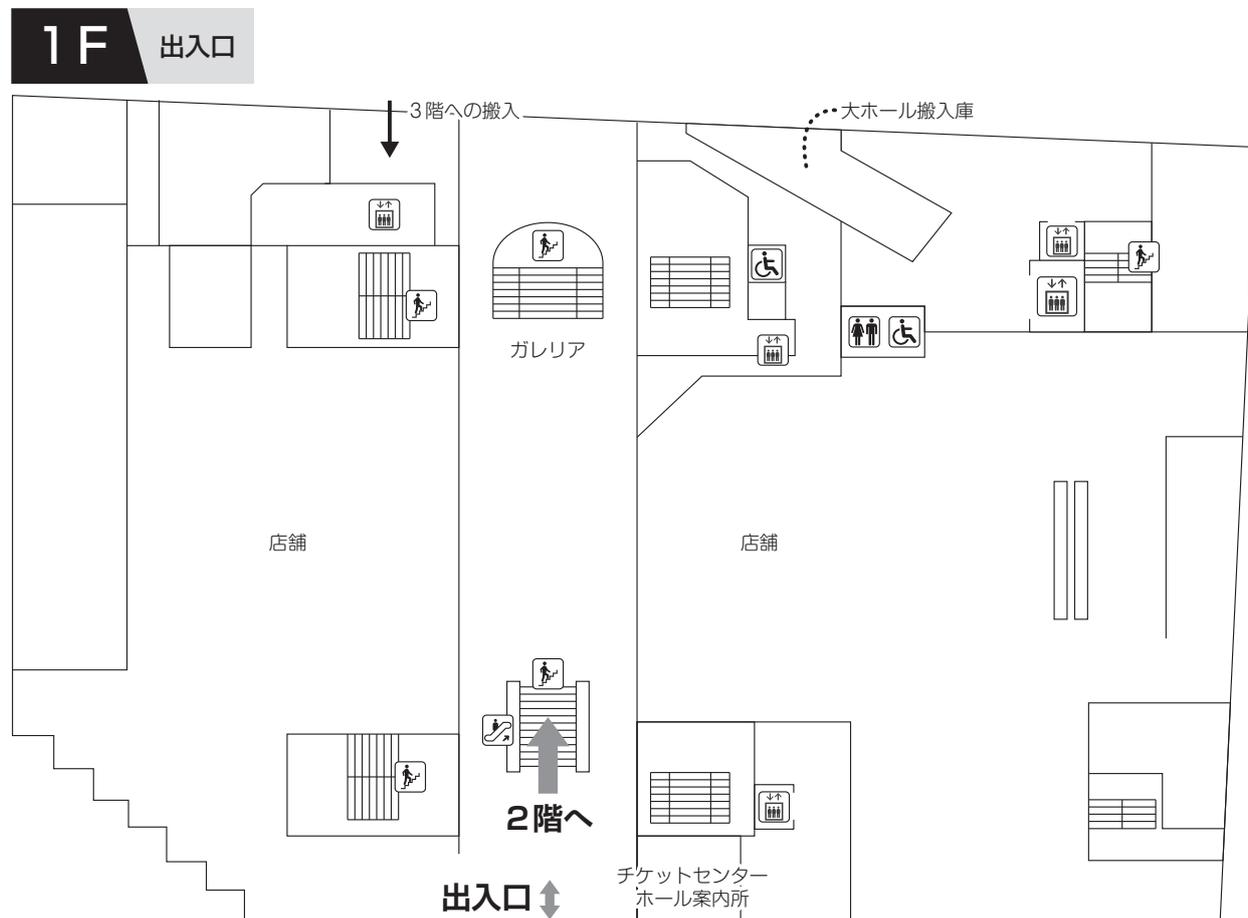
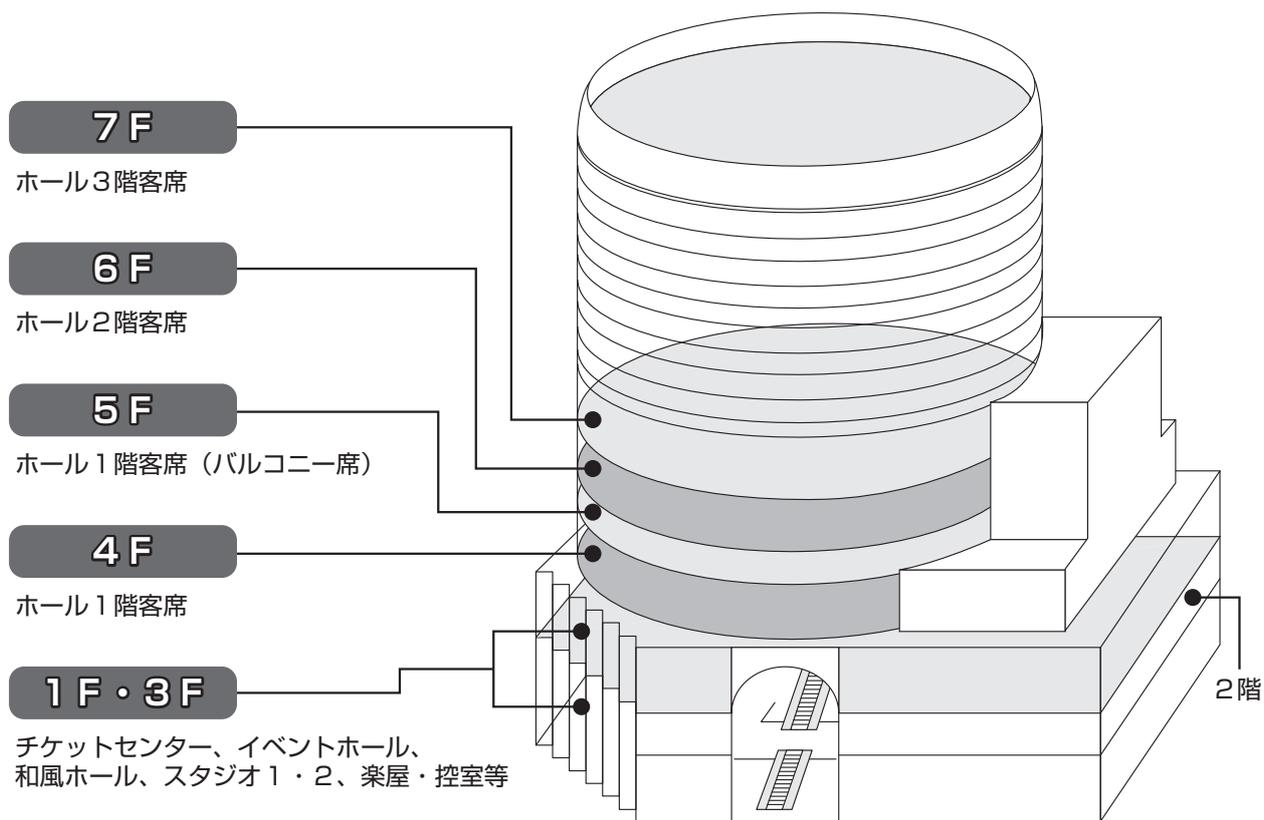


「いつでも元気」2024年6月号にインタビューが掲載されています。

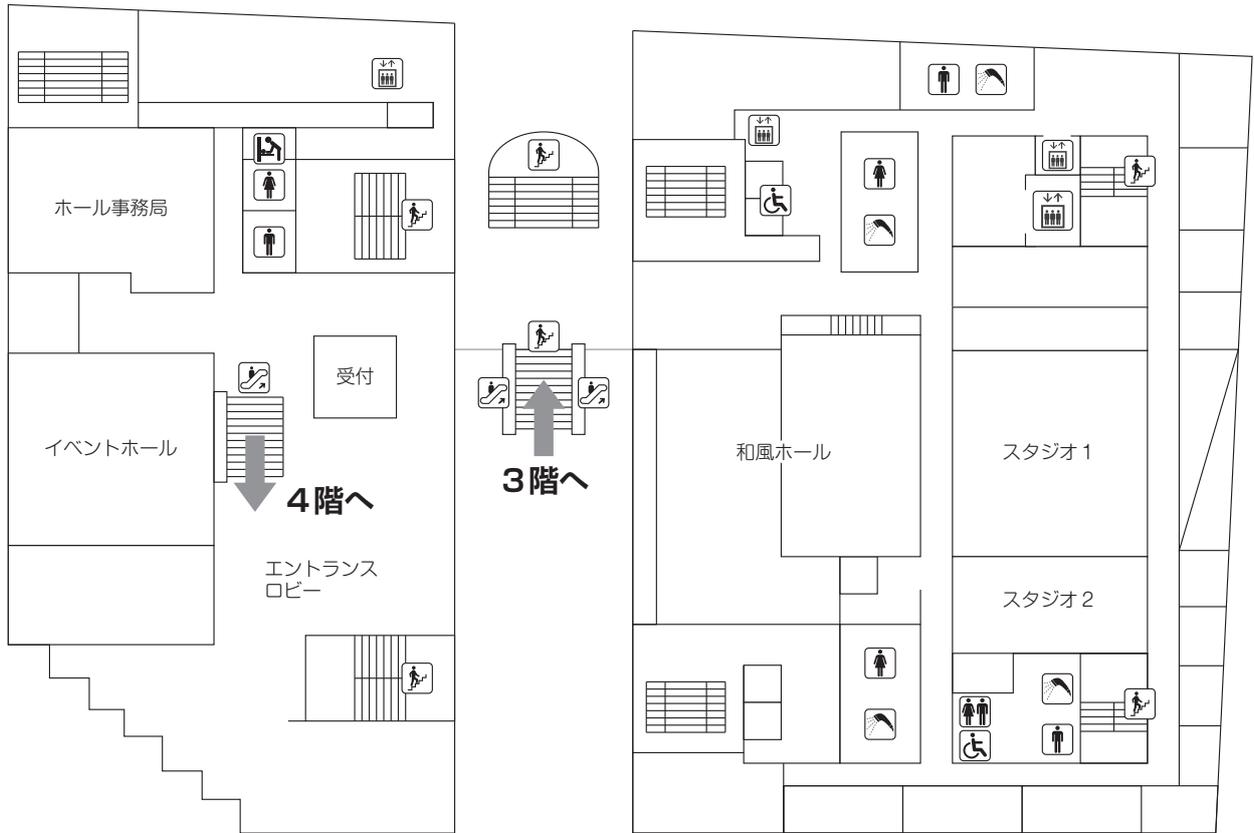




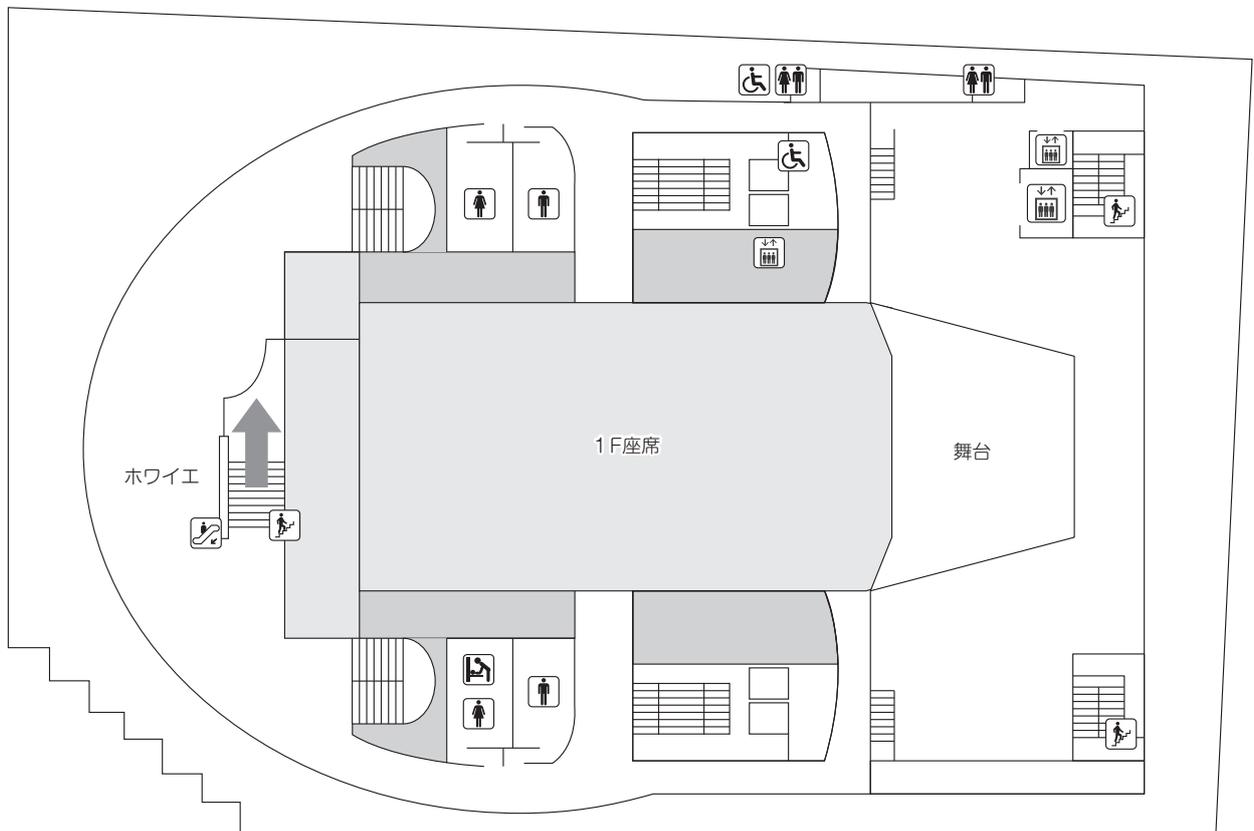
# 全体会 岡山シンフォニーホール



**3F** 受付



**4F** 大ホール1F(ホワイエ)

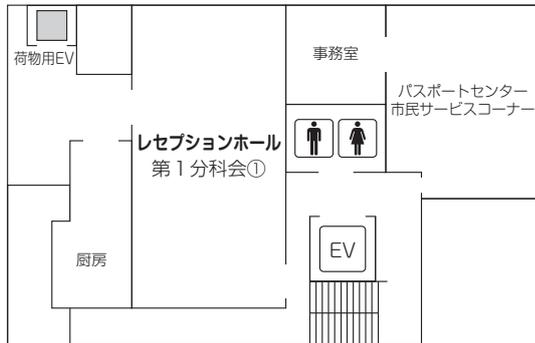


## 分科会会場一覧

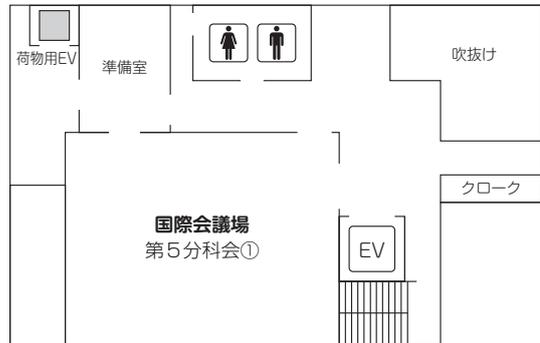
	分科会	会場名
第1分科会	第1会場	岡山国際交流センター B1Fレセプションホール
	第2会場	岡山国際交流センター 3F研修室
第2分科会	第1会場	NPD貸会議室 岡山高島屋 フロアA
	第2会場	ピュアリティまきび 2F白鳥
第3分科会	第1会場	ホテルグランヴィア岡山 3Fクリスタル1/2
	第2会場	ホテルグランヴィア岡山 4Fフェニックス1/3
	第3会場	ホテルグランヴィア岡山 4Fフェニックス1/3
	第4会場	ホテルグランヴィア岡山 3Fサファイア
	第5会場	ホテルグランヴィア岡山 3Fクリスタル1/2
第4分科会	第1会場	ピュアリティまきび 2F孔雀
	第2会場	ピュアリティまきび 2F千鳥1/2
	第3会場	ピュアリティまきび 2F千鳥1/2
	第4会場	ピュアリティまきび 3F橘
	第5会場	ピュアリティまきび 3F飛翔
第5分科会	第1会場	岡山国際交流センター 2F国際会議場
	第2会場	岡山国際交流センター 5F会議室(1)
	第3会場	岡山国際交流センター 7F多目的ホール
	第4会場	岡山国際交流センター 8Fイベントホール
第6分科会	第1会場	第一セントラルビル1号館 9F 大ホール
	第2会場	第一セントラルビル1号館 3F 中ホール
	第3会場	第一セントラルビル2号館 8Fアース
	第4会場	第一セントラルビル2号館 6Fプルメリア
第7分科会	第1会場	第一セントラルビル1号館 5F A会議室
	第2会場	第一セントラルビル1号館 5F B会議室
	第3会場	第一セントラルビル1号館 5F D会議室
特別分科会	第1会場	オルガホール岡山 B1F

# 岡山国際交流センター

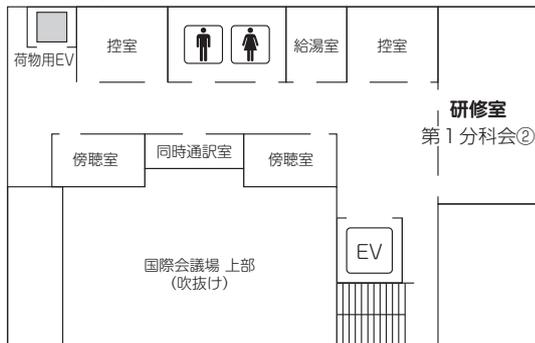
## B1F レセプションホール



## 2F 国際会議場



## 3F 研修室



## 5F 会議室(1)



## 7F 多目的ホール

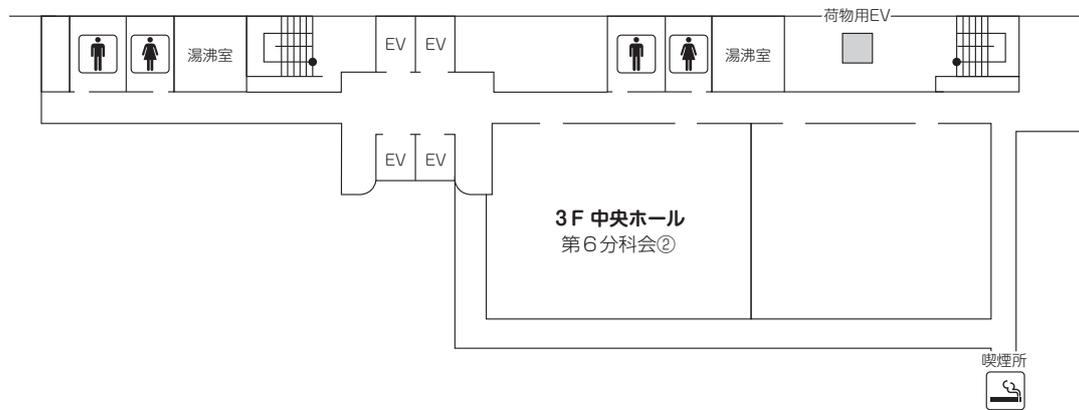


## 8F イベントホール

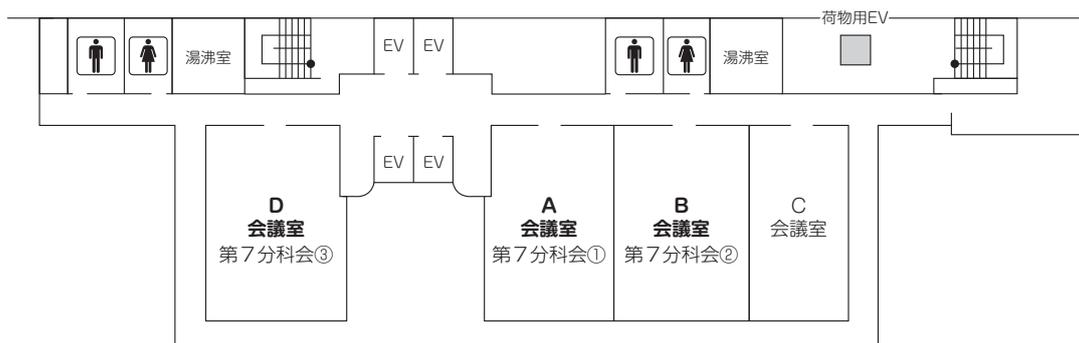


# 第一セントラルビル 1号館

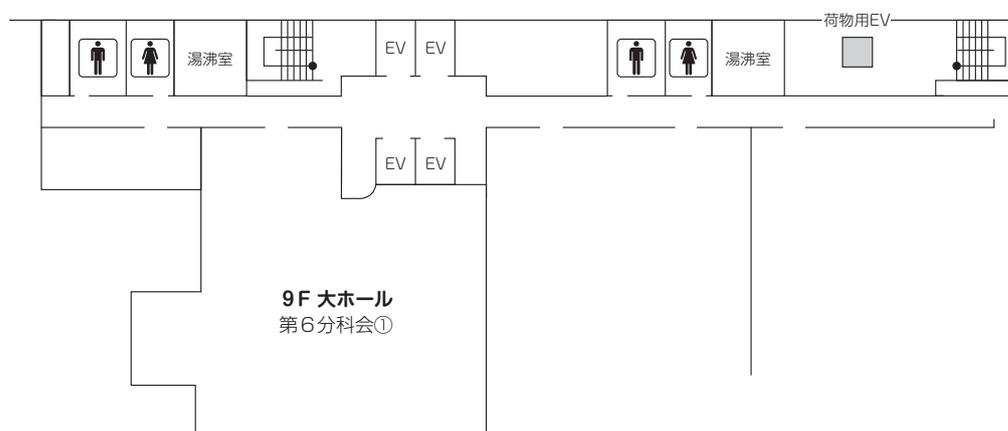
## 3F 中ホール



## 5F A会議室・B会議室・D会議室

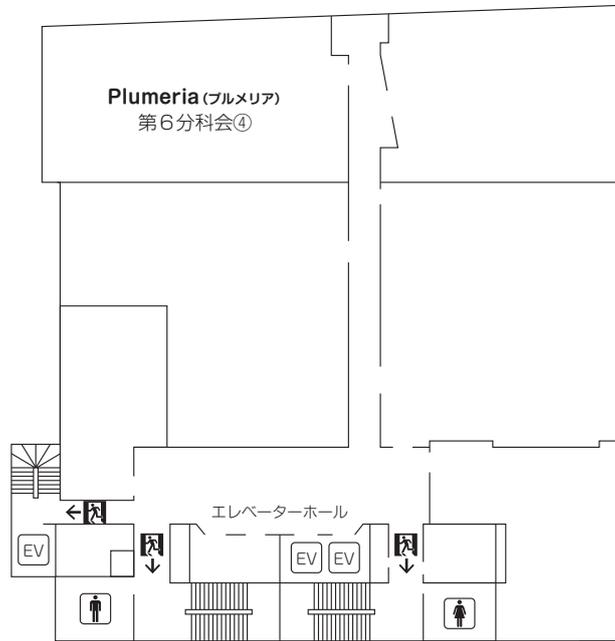


## 9F 大ホール



# 第一セントラルビル2号館

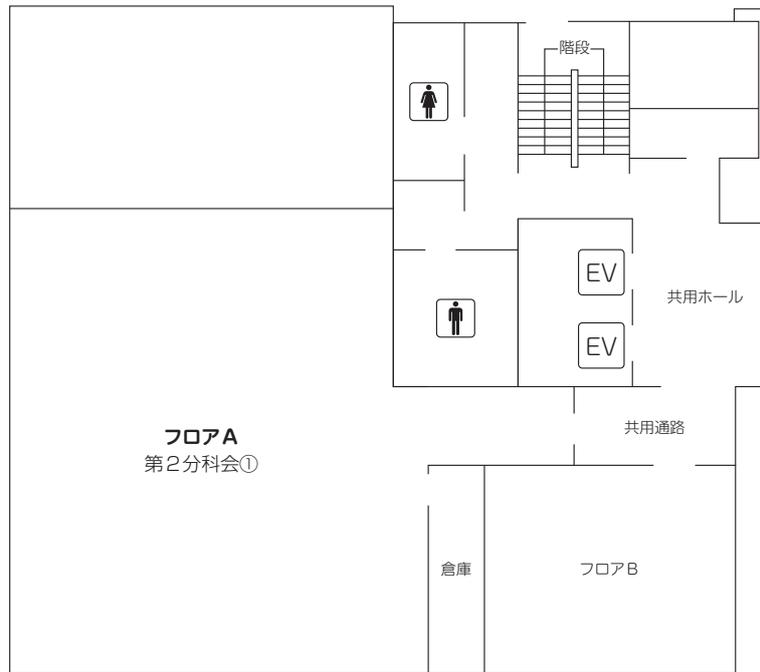
## 6F プルメリア



## 8F アース

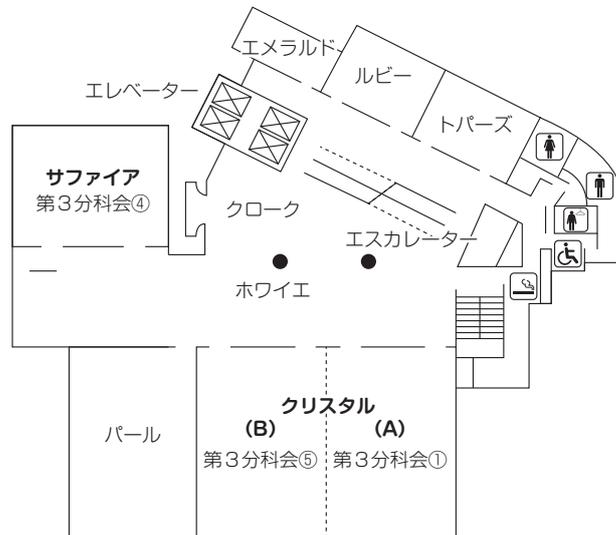


# NPD 貸会議室 岡山高島屋 フロアA

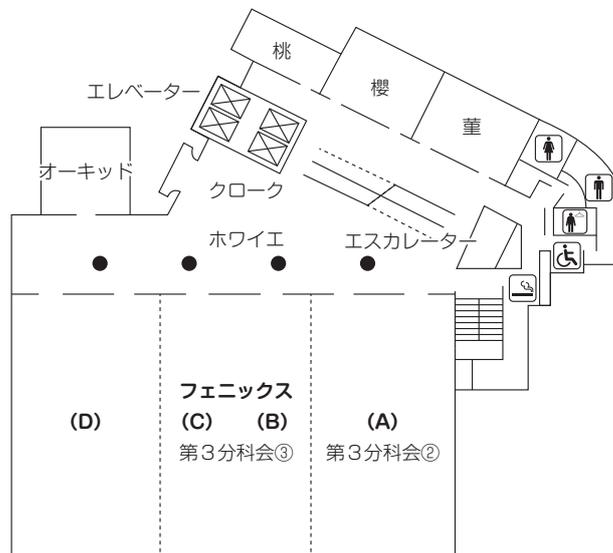


# ホテルグランヴィア岡山

## 3F クリスタル・サファイア



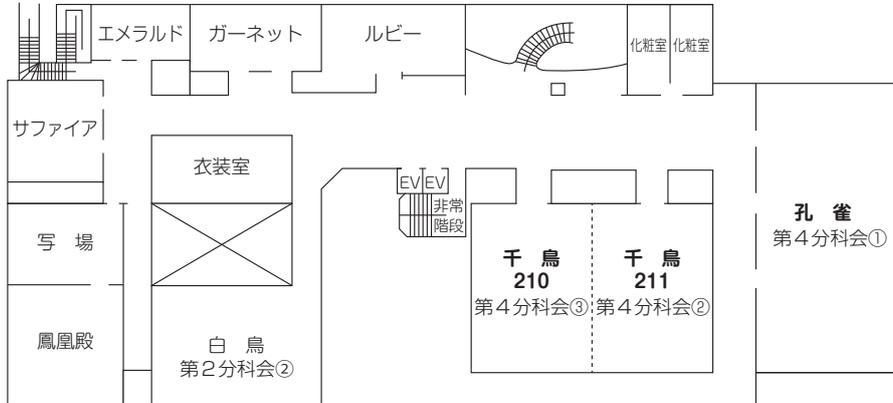
## 4F フェニックス



# ピュアリティまきび

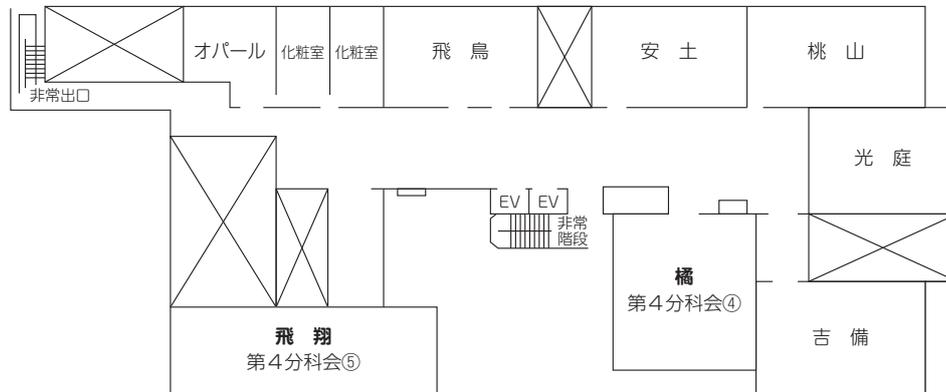
## 2F 孔雀・白鳥・千鳥

### 2階

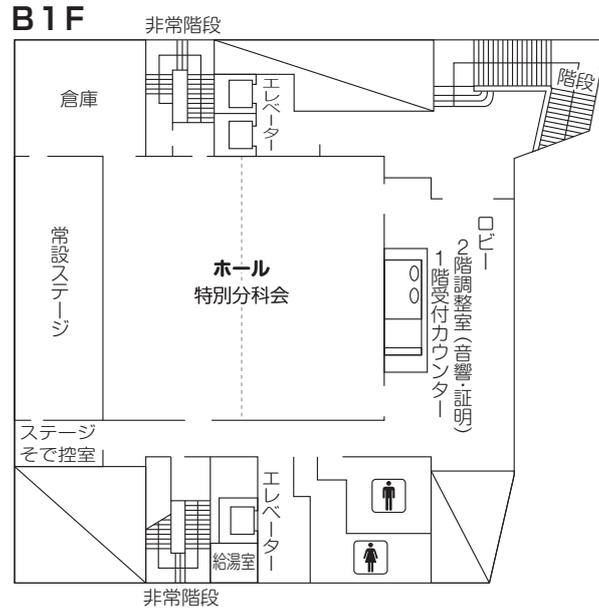


## 3F 飛翔・橘

### 3階



# オルガホール岡山



## 分科会テーマとキーワードについて

### 分科会番号1 「地域に広がる憲法9条・平和を守るとりくみ」

キーワード：憲法9条・平和を守るとりくみ、沖縄をはじめ各地の基地強化の問題、日米地位協定問題、核兵器廃絶、市民と野党の共闘

### 分科会番号2 「いのちと人権をまもり、環境・福祉を向上させるとりくみ」

キーワード：無低診・受療権を守るとりくみ、貧困格差問題、地域とくらしを守る、外国人医療、相談支援活動、SDGs、PFAS問題、原発ゼロ、再エネ転換、ALPS処理水、気候・環境問題

### 分科会番号3 「安心して住み続けられるまちづくりのとりくみ」

キーワード：助け合い・支え合い活動、無差別平等の地域包括ケア、つながりづくり、あんしん見守り活動、NPO法人などのとりくみ、食糧支援・フードパンドリーのとりくみ、自治体キャラバン・自治体への働きかけ、地域の足（交通）を確保する取り組み、災害対策・被災者支援

### 分科会番号4 「通い（つどい）の場・居場所づくりの実践」

キーワード：子ども食堂、おやかカフェ、子ども塾、学習支援、おしゃべりサロン、交流ひろば、気軽に立ち寄れる場所（サークル・SNS含む）づくり

### 分科会番号5 「地域まるごと健康づくりのとりくみ」

キーワード：SDHの学びと実践、健診推進、保健予防活動、認知症サポーター養成、健康づくり、健康チャレンジ、まちかど健康チェック、フレイル予防

### 分科会番号6 「共同組織の“わ”を強め、あらたな担い手を広げるとりくみ」

キーワード：支部・班づくり、サークル活動、機関紙・誌活動、各県共同組織連絡会の活動、後継者・担い手づくり、SNS活用、自治体や地域の様々な団体との連携、「いつでも元気」誌の拡大・活用

### 分科会番号7 「民医連職員と共同組織がいっしょにすすめるとりくみ」

キーワード：職員ととりくむ地域訪問、ペア職場の実践、民医連経営を守り発展させるとりくみ、患者・利用者アンケート、事業所利用委員会・懇談、職員と共同組織がともに育ちあうとりくみ、職員後継者の確保、事業所建設



## 第1分科会「地域に広がる憲法9条・平和を守るとりくみ」第1会場

### 岡山国際交流センター B1F レセプションホール

演題番号	①県連名	②演題名		ページ
	③発表者	④所属共同組織名又は事業所名	⑤所属と役職	
	⑥電話番号	⑦メールアドレス		
1 1 1	①沖縄	②「日米一体化で進む南西諸島ミサイル基地配備」		53
	③上里 清美	④沖縄医療生活協同組合	⑤運営委員、班長	
	⑥090-7982-5878	⑦kiyomiezato@gmail.com		
1 1 2	①沖縄	②うるま市における「東山ゴルフ場跡地における自衛隊訓練場建設阻止の闘い」		53
	③伊波 宏俊	④沖縄医療生活協同組合 / うるまブロック・石川支部	⑤副支部長・会計	
	⑥090-7459-1124	⑦		
1 1 3	①奈良	②「職員と共同した平和のとりくみについて」		54
	③米久 禮子	④平和会健康友の会	⑤吉田病院支部 支部長	
	⑥090-8365-7704	⑦soshiki@heiwakai.or.jp		
1 1 4	①奈良	②法人・友の会がいっしょになって憲法9条まもる取り組みを		54
	③小田 正明	④なら健康友の会	⑤副会長	
	⑥0742-24-7322	⑦nakajimajun@okatanikai.jp		
1 1 5	①鳥根	②憲法・平和を守る取り組みについて		55
	③村上 民男	④出雲医療生活協同組合	⑤社保・平和・まちづくり委員会委員長	
	⑥090-7978-1946	⑦t-murakami@my.izumo-net.ne.jp		
1 1 6	①京都	②平和を守れの声を発信する友の会へ！毎月の宣伝行動や19行動に参加して		55
	③牧田 瑠美子	④京東健康友の会	⑤東山ブロック 会長	
	⑥090-4649-7564	⑦makita.hiroshi@rouge.plala.or.jp		
1 1 7	①山口	②医療生協 健文会の平和への取り組み		56
	③近藤 栄次郎	④医療生活協同組合 健文会	⑤理事	
	⑥0836-34-2510	⑦sosiki_keibun@yahoo.co.jp		
1 1 8	①鹿児島	②平和文集の発刊について		56
	③池田 英子	④鹿児島医療生活協同組合	⑤霧島始良ブロック担当理事	
	⑥099-260-3532	⑦sosiki@kiseikyo.or.jp		
1 1 9	①神奈川	②「大逆事件を学ぶ班の設立」		57
	③中村 直敏	④神奈川北央医療生活協同組合	⑤組織部	
	⑥042-748-2261	⑦hokuou01@hokuou-iryuu.or.jp		



## 第1分科会「地域に広がる憲法9条・平和を守るとりくみ」第2会場

### 岡山国際交流センター 3F 研修室

演題番号	①県連名	②演題名		ページ
	③発表者	④所属共同組織名又は事業所名	⑤所属と役職	
	⑥電話番号	⑦メールアドレス		
1   2   1	①京都	②診療所30周年記念事業として、憲法九条石碑を共に建立したとりくみ		59
	③稲次 豊	④まいづる協立診療所	⑤舞鶴健康友の会 事務局長	
	⑥0773-76-7883	⑦ maishin@mocha.ocn.ne.jp		
1   2   2	①岡山	②日本国憲法第九条の碑建立に向けた取り組み		59
	③青木 弘人	④倉敷医療生活協同組合	⑤玉島協同病院 事務局長	
	⑥086-523-1234	⑦ jimuty@tamakyo.com		
1   2   3	①熊本	②くすのき憲法九条記念碑建立実行委員会 記念碑建立の取り組み		60
	③渡邊 孝宏	④くわみず病院附属くすのきクリニック	⑤北部健康友の会事務局	
	⑥096-339-0187	⑦ kusu.jimuty@kusunokclinic.or.jp		
1   2   4	①島根	②平和のバトンをつなぐ		60
	③井上 薫	④松江保健生活協同組合	⑤まちづくり委員会 (理事)	
	⑥0852-27-3774	⑦ sosiki@aiores.ocn.ne.jp		
1   2   5	①東京	②戦争体験を語りつぐつどい ~19年間の歩み~		61
	③羽田野 美知子	④東京保健生活協同組合	⑤学園通り支部 副支部長、柿の木ハウス代表	
	⑥090-9205-3051	⑦ hamichiko2005.10.15@gmail.com		
1   2   6	①京都	②「戦争では無く平和の準備を！」私たちの取り組み		61
	③行松 美津子	④上京健康友の会	⑤上京健康友の会 常任役員	
	⑥075-432-1411	⑦ soshiki01@kamigyo-hp.org		
1   2   7	①岡山	②38年間続けている自治体と市民団体が共同で取り組む市民平和祭		62
	③児島 和則	④津山医療生活協同組合	⑤理事、社保委員	
	⑥080-5757-6181	⑦ k_kojima417@yahoo.co.jp		
1   2   8	①広島	②「平和夏のつどい」で被爆ピアノを通してヒロシマを考える		62
	③坂本 貴志	④広島医療生協 平和・まちづくり委員会	⑤	
	⑥082-879-8124	⑦ kenmati@hiroshimairyō.or.jp		
1   2   9	①埼玉	②社会保障問題に触れ、若い世代の政治参加を広げる憲法集会		63
	③原田 清一郎	④医療生協さいたま生活協同組合	⑤秩父地区 まちづくりコーディネーター	
	⑥070-2154-7359	⑦ s-harada@mcp-saitama.or.jp		



## 第2分科会「いのちと人権をまもり、環境・福祉を向上させるとりくみ」第1会場 NPD 貸会議室 岡山高島屋 フロア A

演題番号	①県連名	②演題名			ページ
	③発表者	④所属共同組織名又は事業所名	⑤所属と役職		
	⑥電話番号	⑦メールアドレス			
2   1   1	①大阪	②大阪市西淀川区佃地域の PFAS の取り組みについて			65
	③ <sup>マキノ ヨシユキ</sup> 牧野 芳幸	④西淀川・淀川健康友の会	⑤佃支部事務局長		
	⑥090-3873-2098	⑦1003-yosiyuki@ezweb.ne.jp			
2   1   2	①東京	② PFAS 汚染は「いのちと人権の問題」～共同組織とともに791人の血液検査の実践を通してわかったこと～			65
	③ <sup>ハスイケ ヤスヒコ</sup> 蓮池 安彦	④社会医療法人社団健生会	⑤健生会 PFAS 専門委員会事務局（社保組織部長）		
	⑥042-523-2375	⑦ hasuike@t-kenseikai.jp			
2   1   3	①東京	②有機フッ素化合物（PFAS）汚染から住民のいのちと健康を守る「立川市民の会」のとりくみ			66
	③ <sup>オオハシ ミツヨ</sup> 大橋 光雄、 <sup>スチノベ キミエ</sup> 栗内 君江、 <sup>ユキコ</sup> 井出 由美子、 <sup>サキ</sup> 佐々木 憲幸	④三多摩健康友の会	⑤副会長		
	⑥080-8913-2267	⑦ ohm593c@gmail.com			
2   1   4	①京都	②宇治市における PFAS 調査について			66
	③ <sup>ドウモト キチジ</sup> 堂本 吉次	④やましろ健康医療生活協同組合	⑤理事		
	⑥0774-46-5151	⑦ doumoto@live.jp			
2   1   5	①岡山	② SDGs =地域に広がる へちまプロジェクトの取り組み			67
	③ <sup>シノガ マサコ</sup> 志賀 雅子	④倉敷医療生活協同組合	⑤支部運営委員		
	⑥086-448-3369	⑦ tanabe_a@kura-hcu.jp			
2   1   6	①岡山	②「地域の団体と協働で作成した環境学習資料 ～共同組織・職員等の環境問題への啓発強化をめざして」			67
	③ <sup>フクタ ケンイチ</sup> 福田 憲一	④倉敷医療生活協同組合	⑤理事（環境委員会委員長）		
	⑥086-448-3369	⑦ fukuta@mizushima-f.or.jp			
2   1   7	①岡山	②環境問題に身近なところから取り組む「環境チャレンジ」はじめました			68
	③ <sup>イノウエ ムツミ</sup> 井上 睦美	④倉敷医療生活協同組合	⑤健康事業部 まちづくり課 主任		
	⑥086-448-3369	⑦ inoue_m@kura-hcu.jp			
2   1   8	①岡山	②身近な場所から始める環境のとりくみ「海ごみ回収」に参加して			68
	③ <sup>キタムラ ケイコ</sup> 北村 慶子	④倉敷医療生活協同組合	⑤支部運営委員		
	⑥086-448-3369 (玉島事務所)	⑦ kawahara_m@kura-hcu.jp			
2   1   9	①岡山	②「さよなら原発倉敷金曜アクション」の取り組み			69
	③ <sup>イズミ コ</sup> 和泉 かよ子	④倉敷医療生活協同組合	⑤理事		
	⑥086-448-3369	⑦ tanabe_a@kura-hcu.jp			
2   1   10	①福島	②公害の地であり、人間裁判の地でもある岡山から、福島原発公害を考える			69
	③ <sup>クドウ フミオ</sup> 工藤 史雄	④浜通り医療生活協同組合	⑤組織部長		
	⑥080-5041-0663	⑦ kudou@hamadori-coop.jp			



## 第2分科会「いのちと人権をまもり、環境・福祉を向上させるとりくみ」第2会場 ピュアリティまきび 2F白鳥

演題番号	①県連名	②演題名		ページ
	③発表者	④所属共同組織名又は事業所名	⑤所属と役職	
	⑥電話番号	⑦メールアドレス		
2   2   1	①東京	②日の出町の医療費無料化の現状と課題		71
	③折田 真知子	④三多摩健康友の会 秋流支部	⑤秋流支部支部長	
	⑥090-6529-2743	⑦ tx088146-5371@tbz.t-com.ne.jp		
2   2   2	①岡山	②国民健康保険資格証明書解除に向けての取り組み ～倉敷市との懇談会を開催して～		71
	③森田 千賀子	④倉敷医療生活協同組合	⑤水島協同病院 地域連携・患者サポートセンター医療福祉相談室室長	
	⑥086-444-3211	⑦ kaigo@mizukyo.jp		
2   2   3	①鳥取	②経営再建のとりくみ		72
	③福嶋 晴彦	④米子医療生活協同組合	⑤常務理事	
	⑥0859-35-5123	⑦ ymcsosiki1202@helen.ocn.ne.jp		
2   2   4	①東京	②健康権としての歯科受診		72
	③金井 直樹	④立川相互病院	⑤歯科	
	⑥0570-05-2585	⑦ shika@tachisou.or.jp		
2   2   5	①鳥取	②食料無料市のとりくみ		73
	③田中 照久	④米子診療所	⑤事務長	
	⑥0859-34-1201	⑦ ymcyonago1201@image.ocn.ne.jp		
2   2   6	①東京	②10年目をむかえた、なんでも相談会の取り組み		73
	③名和 孝夫	④東京はくと医療生協 組織部	⑤なんでも相談会実行委員会事務局次長	
	⑥03-3913-9100	⑦ daiki_goto@tokyohokuto.or.jp		
2   2   7	①青森	②組合員のいのちを守る～電話相談からの生活保護の申請へ～		74
	③福士 学	④青森保健生活協同組合	⑤組織部 主任	
	⑥017-762-5888	⑦ soshikibu@aomori-h-coop.com		
2   2   8	①岡山	②外来における民医連看護の実際		74
	③三宅 和子	④倉敷医療生活協同組合	⑤水島協同病院 看護部 外来看護2科 主任看護師	
	⑥086-444-3211	⑦ kango@mizukyo.jp		



## 第3分科会「安心して住み続けられるまちづくりのとりくみ」第1会場

### ホテルグランヴィア岡山 3F クリスタル(A)

演題番号	①県連名	②演題名		ページ
	③発表者	④所属共同組織名又は事業所名	⑤所属と役職	
	⑥電話番号	⑦メールアドレス		
3   1   1	①三重	② Win-Win の関係で なかまも増えて にっこにこ がーこのパントリー 3年の軌跡		76
	③福岡 由紀	④みえ医療福祉生活協同組合	⑤組合員活動部	
	⑥0594-23-0313	⑦ igamati1@k-hewcoop.jp		
3   1   2	①和歌山	②地域でひろがる助け合いの活動とフードバンクの取り組みについて		76
	③中嶋 一雄	④和歌山中央医療生活協同組合	⑤まちづくり組合員活動推進部 部長	
	⑥074-5121	⑦ nakajima-k02@outlook.jp		
3   1   3	①神奈川	②地域で生きる楽しい職員班会 ～フードパントリーへ形を変えて～		77
	③川本 修三	④医療協かながわ生活協同組合	⑤本部 育成室長 (医療協かながわ瞳班班長)	
	⑥045-862-9860	⑦ ikusei01@mc-kanagawa.or.jp		
3   1   4	①新潟	②「秋葉区食料生活支援の活動を通じて見えて来たもの—住みよいまちづくりのために今、必要とされるもの—」		77
	③机 文明	④新潟勤労者医療協会・下越病院	⑤健康友の会新津総支部事務局員	
	⑥0250-22-6851	⑦ tsukue_f@niigata-min.or.jp		
3   1   5	①宮城	②加美支部助け合いの会食料支援を行って		78
	③佐藤 博子	④大崎健康福祉友の会	⑤加美支部幹事	
	⑥0229-23-8089	⑦ tadano@zmkk.org		
3   1   6	①島根	②フードバンクとつながって “未来(あした)へ”		78
	③佐渡 真理	④松江保健生活協同組合	⑤組合員活動委員会事務局、フードバンク(理事)	
	⑥0852-27-3774	⑦ sosiki@aioros.ocn.ne.jp		
3   1   7	①福岡	②やってよかった！食料支援		79
	③能美 聡子	④北九州健康友の会	⑤小倉南支部 副支部長	
	⑥093-592-1166	⑦ masaharutaka@kenwakai.gr.jp		
3   1   8	①広島	②食料日用品無料広場のとりくみ		79
	③植村 敦子	④本部・組織部	⑤城北支部 支部長	
	⑥084-999-9900	⑦ miyazawa@fico-op.jp		
3   1   9	①山口	②医療協健文会 「何でも相談&食材支援」 ずーっと繋がる これからも繋がる		80
	③河野 由美子	④医療協健文会	⑤常務理事	
	⑥0836-34-2510	⑦ sosiki_kenbun@yahoo.co.jp		
3   1   10	①岡山	②地域で取り組む助け合い・支え合いの活動「ザワザワランチ」		80
	③木川 佳子	④倉敷医療生活協同組合	⑤支部運営委員	
	⑥086-525-7722 (玉島事務所)	⑦ katayama_f@kura-hcu.jp		



## 第3分科会「安心して住み続けられるまちづくりのとりのくみ」第2会場

### ホテルグランヴィア岡山 4F フェニックス(A)

演題番号	①県連名	②演題名		ページ
	③発表者	④所属共同組織名又は事業所名	⑤所属と役職	
	⑥電話番号	⑦メールアドレス		
3   2   1	①宮城	②利用者から喜ばれ、活動の輪が広がる助け合いの会		82
	③平尾 伸二	④仙台南健康友の会	⑤事務局長	
	⑥022-248-6702	⑦ hirao55@zmkk.org		
3   2   2	①岡山	②ご近所のちょっと困ったの助け合い「ちどり助け愛たい」の紹介		82
	③竹島 智子	④倉敷医療生活協同組合	⑤非常勤理事	
	⑥080-6305-1804	⑦ kanon0304tomoko@gmail.com		
3   2   3	①東京	②高齢化の進む大団地の一人暮らし高齢者の支え合い・助け合い活動の29年		83
	③松澤 巨代	④健和友の会みさと健和団地診療所支部	⑤友の会ボランティア班長	
	⑥048-958-3852	⑦ a-ishigami@totokyogikai.jp		
3   2   4	①大阪	②支部活動を中心とした助け合い		83
	③野口 桂子	④医療福祉生活協同組合おおさか	⑤赤川ヘルパーステーション	
	⑥070-5458-6705	⑦ akashin3008@gmail.com		
3   2   5	①岡山	②給食サービスボランティア活動について		84
	③猶原 真弓	④倉敷医療生活協同組合	⑤給食サービスボランティア活動組員	
	⑥086-448-3369	⑦ tooya_t@kura-hcu.jp		
3   2   6	①東京	②会員同士の助けあい「送迎ボランティア」として見えてきたこと		84
	③村井 良一	④八王子・たま健康友の会八王子支部	⑤健康友の会八王子支部事務局長	
	⑥090-1804-0919	⑦ hachi-tama@t-kenseikai.jp		
3   2   7	①東京	②四ツ木診療所と連携し、よつぎサロンの利用を開始したTさんの事例		85
	③谷澤 雅子	④葛飾健康友の会	⑤事務局	
	⑥03-3694-1661	⑦ masako-00150@totokyogikai.jp		
3   2   8	①大阪	②「家族の会 つなぐ」 結成までとこれから～		85
	③伊東 美紀	④大阪きつがわ医療福祉生活協同組合 訪問看護ステーションさくら通り	⑤看護師	
	⑥06-6571-8585	⑦ ito.aymk@gmail.com		
3   2   9	①岡山	②利用者・利用者家族の思いを聞き、その人らしく生きることを学ぶ		86
	③國塩 ゆり	④岡山医療生活協同組合	⑤介護事業部 訪問看護ステーションさくらんぼ・副主任	
	⑥086-276-5599	⑦ kunishio@mb.okaky.or.jp		
3   2   10	①宮城	②作業療法士として友の会事務局を担当して		86
	③福岡 祥子	④長町病院（仙台南健康友の会）	⑤作業療法士（事務局次長）	
	⑥022-248-6702	⑦ n-shoko@zmkk.org		
3   2   11	①岡山	②地域で取り組む呼吸リハビリ ～公害健康被害予防事業とくらしき COPD ネットワーク～		87
	③藤原 園子	④（公財）水島地域環境再生財団（みずしま財団）	⑤事務局長	
	⑥086-440-0121	⑦ fujiwara@mizushima-f.or.jp		



## 第3分科会「安心して住み続けられるまちづくりのとりくみ」第3会場

ホテルグランヴィア岡山 4F フェニックス(B・C)

→ 演題取り下げ

演題番号	①県連名	②演題名			ページ
	③発表者	④所属共同組織名又は事業所名	⑤所属と役職		
	⑥電話番号	⑦メールアドレス			
3 3 1	①大阪	②みんなで街づくりー公園ウォッチング（公園実態調査）のとりくみ			89
	③北山 良三	④西淀川・淀川健康友の会	⑤会長		
	⑥06-6472-6453	⑦hhidaka1446@gmail.com			
3 3 2	①兵庫	②地域に支えられひろがり続ける「たんぼの家」の活動			89
	③宮田 妙子	④神戸医療生協 長田北部支部	⑤運営委員		
	⑥078-641-4322	⑦goto.y@kobe-iseikyo.or.jp			
3 3 3	①石川	②民医連の事業所のない地域での健康友の会運動			90
	③三浦 善吉	④石川県健康友の会連合会能登中部ブロック	⑤中能登健康友の会代表		
	⑥080-3000-0194	⑦miu1540@yahoo.ne.jp			
3 3 4	①石川	②人間の尊厳に満ちたまちづくり～県営住宅に住む方々に寄り添って			90
	③木村 吉伸	④石川県健康友の会連合会	⑤役員		
	⑥090-3885-1526	⑦yoshi26916@yahoo.co.jp			
3 3 5	①東京	②町会・商店会とのつながりを深め、地域ぐるみで医療の拠点を守る活動に			91
	③伊香 忠志	④代々木健康友の会	⑤事務局長		
	⑥03-5411-9589	⑦tomo-yoyogikyoudou@able.ocn.ne.jp			
3 3 6	①兵庫	②北区支部の安心して暮らせるまちづくり・最終章			91
	③川崎 寿恵	④神戸医療生活協同組合	⑤理事		
	⑥090-3728-8851	⑦kwsk.kobe.24suzu@gaia.eonet.ne.jp			
3 3 7	①大阪	②安全で安心して暮らせる綺麗なまちづくりを目指して。（ごみ拾いウォーキングの取り組み。）			92
	③南野 ウメ子	④医療福祉生協おおさか 豊新・上新庄支部	⑤こぶし通り地区 理事		
	⑥06-6322-9182	⑦h-nakazawa@coop-osaka.or.jp			
3 3 8	①東京	②足立区内で3つの高齢者サロンに取り組んだ経験			92
	③中村 和司	④NPO 法人たんぼば会	⑤責任者 中村 和司		
	⑥03-3870-2034	⑦kazushi-nakamura@totokyoungikai.jp			
3 3 9	①愛知	②《居場所・生きがい・支えあい》による〈まちづくり〉体験：サロン街「ニコニコ堂」			93
	③早川 雅澄	④尾張健康友の会	⑤北名古屋支部 支部役員		
	⑥080-4844-8878	⑦nonmart2020@gmail.com			
3 3 10	①兵庫	②ゆかいな秋祭り in ほんでん			93
	③辻本 直樹	④尼崎医療生活協同組合	⑤組合員活動部		
	⑥06-4962-4920	⑦tsujimoto.nao@amagasaki.coop			
3 3 11	①岡山	②住み慣れた地域で暮らし続けるために ～認知症の理解とつながり再構築を目指したカフェの取り組み～			94
	③加嶋 夏代、森 いく子	④岡山ひだまりの里病院 / 林友の会	⑤地域生活支援部 部長、林友の会会員		
	⑥086-267-2011	⑦hidamari_kashima@px4.harenet.jp			
3 3 12	①京都	②タワー・マンションから京都の景観を守る			94
	③加藤 政好	④京都東健康友の会 左京ブロック 岡崎支部	⑤岡崎支部 支部長		
	⑥090-5242-4742	⑦tomonokai@shinwakai-min.jp			



## 第3分科会「安心して住み続けられるまちづくりのとりくみ」第4会場

### ホテルグランヴィア岡山 3F サファイア

演題番号	①県連名	②演題名		ページ
	③発表者	④所属共同組織名又は事業所名	⑤所属と役職	
	⑥電話番号	⑦メールアドレス		
3   4   1	①広島	②田方支部防災カフェ班の活動～私たちにも出来る身近な防災を提案！！～		96
	③ <sup>ヤマシタ ノリエ</sup> 山下 則江	④広島中央保健生活協同組合	⑤理事	
	⑥082-532-1264	⑦s-okada@hch.coop		
3   4   2	①長野	②災害弱者といわれないために防災知識を深めよう		96
	③ <sup>タカハシ アツコ</sup> 高橋 敦子	④健康クラブ泉の会	⑤南信勤労者医療協会 職員	
	⑥0266-27-6856	⑦tikatu-02@skhp.or.jp		
3   4   3	①大阪	②手軽で簡単おいしい防災食について		97
	③ <sup>タグチ ミチ子</sup> 田口 美奈子	④医療福祉生協おおさか 本部組合員活動部	⑤組合員活動部 コープおおさか病院地区担当	
	⑥070-5461-1370	⑦m-taguchi@health-coop.jp		
3   4   4	①石川	②1.1能登半島地震被災地の友の会と民医連の取り組み		97
	③ <sup>サド レイコ</sup> 佐渡 麗子	④石川県健康友の会連合会	⑤奥能登ブロック 事務局	
	⑥0768-22-3055	⑦yukinko203-okunoto@pure.ocn.ne.jp		
3   4   5	①石川	②被災した会員を励まし安心して住み続けられるまちをともに作る		98
	③ <sup>ヤマウチ カツト</sup> 山内 勝人	④公益社団法人石川勤労者医療協会	⑤健康推進部 職員	
	⑥070-3286-7673	⑦yamauti@ishikawa-kinikyo.jp		
3   4   6	①石川	②「かんばろう内灘KSNJ」を結成しての取り組み		98
	③ <sup>カクタ カスヨシ</sup> 角田 和嘉	④石川県健康友の会連合会 金沢北ブロック	⑤健康で楽しくくらす内灘の会	
	⑥076-251-6112	⑦kitatomonokai@taupe.plala.on.jp		
3   4   7	①石川	②1.1能登半島地震被災地での取り組みと課題		99
	③ <sup>イナモト</sup> 稲元 イクヨ	④石川県健康友の会連合会能登中部ブロック	⑤能登中部ブロック事務局	
	⑥090-6810-7300	⑦inaiku194@gmail.com		



## 第3分科会「安心して住み続けられるまちづくりのとりくみ」第5会場

### ホテルグランヴィア岡山 3F クリスタル(B)

演題番号	①県連名	②演題名			ページ
	③発表者	④所属共同組織名又は事業所名	⑤所属と役職		
	⑥電話番号	⑦メールアドレス			
3 5 1	①福島	②地域の小さな交通 ～渡利おでかけサポートの会～			101
	③秋葉 みち子	④福島医療生協	⑤理事		
	⑥080-1853-6006	⑦ ayako@fmc.u-coop.or.jp			
3 5 2	①滋賀	②高齢者の移動手段確保へ			101
	③立入 善治	④しが健康医療生活協同組合	⑤湖南甲賀支部長		
	⑥090-8931-7415	⑦ vlp13yt@gmail.com			
3 5 3	①群馬	②高齢者の通院手段の課題に対する地域連携と取り組みの拡充			102
	③中島 進	④群馬中央医療生活協同組合	⑤理事		
	⑥027-265-3531	⑦ honbu-katsudobu@gmail.com			
3 5 4	①大阪	②通院だけじゃない！ お買い物から墓参りまで・・・高齢者の外出の楽しみを支える「おでかけ助っ人隊」			102
	③城 世津子	④健康友の会みみはら	⑤ NPO 法人「結いの会ともうず」 副代表理事・事務局長		
	⑥0472-280-5887	⑦ jo-s@mimihara.or.jp			
3 5 5	①愛知	②まちなみチェック～誰もが安心して歩道を利用できるように～			103
	③山岸 専吾	④尾張健康友の会	⑤稲沢支部 支部役員（医療法人尾張健康友会 理事）		
	⑥0586-76-8312	⑦ tomonokai@chiaki.com			
3 5 6	①岡山	②精神障害者の医療費助成実現をめざして			103
	③頭師 裕貴	④林友の会	⑤事務局長		
	⑥086-272-2957	⑦ hamawww@po.harenet.ne.jp			
3 5 7	①熊本	②補聴器購入に自治体独自の補助制度を求める「熊本みみの会」の取り組みについて			104
	③井上 晋	④くまもと健康友の会	⑤事務局長		
	⑥096-383-8707	⑦ kumatomo2003@yahoo.co.jp			
3 5 8	①兵庫	②市民の命と健康を守るために — 芦屋保健所の統廃合計画反対と子供医療費無料制度拡充のたたかい			104
	③濱本 鶴男	④東神戸医療互助組合	⑤芦屋支部運営委員		
	⑥0797-38-8909	⑦ t-hamamoto@tiara.ocn.ne.jp			
3 5 9	①福岡	②熱中症対策に関する自治体交渉 ～気候変動適応法の改定を受けて～			105
	③吉久 安則	④北九州健康友の会 本部	⑤会長		
	⑥093-592-3366	⑦ kanezaki@kenwakai.gr.jp			
3 5 10	①京都	②介護に関する聞き取り調査報告			105
	③山本 智之	④丹後健康友の会	⑤事務局長		
	⑥0772-68-5017	⑦ tangoizika@axel.ocn.ne.jp			
3 5 11	①滋賀	②京阪電車石坂線のホームベンチ・スロープ・階段手すり設置を求める請願行動			106
	③高頭 功	④膳所診療所	⑤膳所診療所 共同組織担当事務		
	⑥090-6232-9411	⑦ zeze@shigamin.jp			
3 5 12	①神奈川	②低山会班のとりくみ（組合員の増やし方伝授します）			106
	③阿内 正喜	④医療生協かながわ生活協同組合	⑤藤沢支部 支部長		
	⑥045-862-9834	⑦ sosiki01@mc-kanagawa.or.jp			



## 第4分科会「通い(つどい)の場・居場所づくりの実践」第1会場

ピュアリティまきび 2F孔雀

演題番号	①県連名	②演題名		ページ
	③発表者	④所属共同組織名又は事業所名	⑤所属と役職	
	⑥電話番号	⑦メールアドレス		
4   1   1	①長野	②月1回の「おしゃべりカフェ」は「元気の素」！～コロナ禍の中でもつづけたみんなが集まる企画の取り組み～		108
	③美斉津 陽子	④中信健康友の会塩尻連絡会	⑤原新田支部 支部長	
	⑥0263-53-6653	⑦ ShibataN@chushin-miniren.gr.jp		
4   1   2	①岡山	②居場所づくりのための支部主催のサロン活動「おしゃべりカフェ」		108
	③池上 尚美	④倉敷医療生活協同組合	⑤支部運営委員長	
	⑥086-448-3369	⑦ yasuda_m@kura-hcu.jp		
4   1   3	①群馬	②病院の敷地内に地域の居場所づくり		109
	③田嶋 厚子	④群馬中央医療生活協同組合	⑤理事	
	⑥027-265-3531	⑦ honbu-katsudobu@kyouritsu.org		
4   1   4	①北海道	②コロナ禍で中止していたサロン再開の工夫		109
	③斉藤 淑子	④道央連絡協議会 苫小牧健康友の会	⑤苫小牧健康友の会 役員	
	⑥0144-72-3291	⑦ tiiki-tomabyo@kin-ikyo.or.jp		
4   1   5	①富山	②「サロン梅の湯は心のオアシス」		110
	③浦本 恵美子	④社会福祉法人とやま虹の会友の会	⑤サロン梅の湯運営委員	
	⑥080-6367-2619 (地橋)	⑦ matuo@nijinokai.net		
4   1   6	①石川	②サロンほっと 10年の取り組みのまとめ		110
	③西 博人	④石川県健康友の会連合会	⑤南加賀ブロック サロンほっと	
	⑥0761-58-5028	⑦ minamikaga.kenkoo@gmail.com		
4   1   7	①長崎	②いこいの家に行こい		111
	③北原 辰巳	④させば健康友の会	⑤させば健康友の会 事務局長	
	⑥090-4366-0334	⑦ t_kitahara@mac.com		
4   1   8	①大阪	②たまり場：まちなかホッとハウスでの地域交流		111
	③嶋田 早苗	④医療福祉生協おおさか 東エリア 支部	⑤まちなかホッとハウス運営員	
	⑥090-7966-2408	⑦ a-miyai@coop-osaka.or.jp (担当：宮井)		
4   1   9	①石川	②西ブロックえがお会館でのつどい、居場所のとりにくみ		112
	③豊田 とよ子	④石川県健康友の会連合会西ブロック	⑤西ブロック役員	
	⑥076-281-6020	⑦ nishikenko@yahoo.co.jp		
4   1   10	①北海道	②まちづくり交流館の活動を通して		112
	③神長 まゆみ	④道北勤医協	⑤地域健康部 部長	
	⑥0166-34-2195	⑦ kaminaga-m@dohoku-kinikyoo.or.jp		
4   1   11	①岡山	②地域に開かれた認知カフェ《虹のカフェ》 7年目を迎えて		113
	③緋田 美代子	④岡山医療生活協同組合	⑤旭東支部 虹のカフェ ボランティア	
	⑥086-271-7880	⑦ soshiki@okayama-health.coop		
4   1   12	①大阪	②たまり場「おびたすき」から広がるつながり		113
	③岸田 宗春	④健康友の会あいかわ	⑤会長	
	⑥090-1910-6511	⑦ ichikawa@aikawabyouin.com		



## 第4分科会「通い(つどい)の場・居場所づくりの実践」第2会場

ピュアリティまきび 2F千鳥(211)

演題番号	①県連名	②演題名		ページ
	③発表者	④所属共同組織名又は事業所名	⑤所属と役職	
	⑥電話番号	⑦メールアドレス		
4   2   1	①京都	②男の「いいかげんな」料理教室 10年目を迎えて		115
	③渡守 伸次	④吉祥院健康友の会	⑤友の会役員	
	⑥075-691-0545 (友の会)	⑦ sosiki@kissyuin-hp.org		
4   2   2	①京都	②男の料理教室の取り組み紹介		115
	③尾崎 武志	④春日健康友の会	⑤事務局長	
	⑥075-311-3176	⑦ kasuga-sin@cj9.so-net.ne.jp		
4   2   3	①福井	②さまざまな世代の居場所づくりを目指して ～組合員ルーム「だん・だん」の取り組み～		116
	③清水 雅美	④福井県医療生活協同組合	⑤理事	
	⑥090-2030-0845	⑦ ippaiattena1958@gmail.com		
4   2   4	①京都	②居場所づくり(高齢者も子育て世代も…)		116
	③是恒 千鶴子	④京東健康友の会 左京ブロック 大原支部	⑤支部世話役(事務局 お便り担当)	
	⑥090-5128-6374	⑦ ooutiyama895@ezweb.ne.jp		
4   2   5	①広島	②「地域の茶の間」から「社会性のある居場所」としてのサロンを		117
	③小松 京子	④広島中央保健生活協同組合	⑤理事	
	⑥082-532-1264	⑦ s-higashi@hch.coop		
4   2   6	①埼玉	②誰もが自由に来られる場 HAPPY くまこの取組み		117
	③岸本 治憲	④熊谷生協病院	⑤まちづくりネットワーク推進課	
	⑥070-2154-7358	⑦ h-kishimoto@mcp-saitama.or.jp		
4   2   7	①大阪	②みんなの居場所「だんだん」を作って		118
	③今井 佳代子	④大阪みなみ医療福祉生活協同組合	⑤河内長野支部 支部長	
	⑥090-2388-8839	⑦ Kiyi1978rici@gmail.com		
4   2   8	①滋賀	②歴史ある町で、人気の日本史講座始まる		118
	③池端 治恵子	④しが健康友の会	⑤事務局長	
	⑥077-577-3020	⑦ shigatomonokai@gmail.com		
4   2   9	①岡山	②『食べる』でつながるみんなの“わ”		119
	③重本 淳子、 安井 直美	④岡山中央福祉会 中野けんせいえん	⑤友の会幹事	
	⑥086-943-1701	⑦ kenseien@circus.ocn.ne.jp		
4   2   10	①兵庫	②2023年はチャレンジイヤーに、2024年はさらなる飛躍の年に		119
	③前田 優香	④宝塚医療生活協同組合	⑤本部事務局 職員	
	⑥0797-69-6121	⑦ y.maeda@takarazuka-mcoop.net		



## 第4分科会「通い(つどい)の場・居場所づくりの実践」第3会場

ピュアリティまきび 2F千鳥(210)

演題番号	①県連名	②演題名		ページ
	③発表者	④所属共同組織名又は事業所名	⑤所属と役職	
	⑥電話番号	⑦メールアドレス		
4   3   1	①大阪	②子ども食堂を始めました		121
	③吉田 由美子	④コープ診療所	⑤恵我之荘支部 支部長	
	⑥090-7551-7161	⑦ kumikatu-3@osakaminami.net		
4   3   2	①大阪	②地域の子ども食堂の運営に友の会支部として参加して		121
	③西村 俊治	④西淀川淀川健康友の会はっぴいひめじま支部	⑤支部長	
	⑥090-4907-0170	⑦ tosiharu0915@icloud.com		
4   3   3	①大阪	②コロナ後の子ども食堂「ひまわり」		122
	③松山 和美	④医療福祉生協おおさか コープおおさか病院地区	⑤病院地区 古市支部運営委員【連絡先は 担当者の梶】	
	⑥070-5560-0129	⑦ m-kaji@health-coop.jp		
4   3   4	①岡山	②『水島こども食堂ミソラ』の取り組み		122
	③浅間 智子	④倉敷医療生活協同組合	⑤水島支部・運営委員・水島こども食堂ミソラ班	
	⑥086-448-2653	⑦ tanabe_a@kura-hcu.jp		
4   3   5	①大阪	②支部が子ども支援に取り組んでわかった「理想と現実のギャップ」		123
	③小倉 孝雄	④健康友の会みみはら	⑤鳳支部 副支部長	
	⑥072-244-8061	⑦ dogishi-h@mimihara.or.jp		
4   3   6	①大阪	②子どもたちが安心して通える無料塾をめざして		123
	③伊藤 孝	④西淀川・淀川健康友の会 西淀うちの支部	⑤	
	⑥090-6820-7491	⑦ takashi0626-1021@outlook.com		
4   3   7	①愛知	②地域の子どもたちの居場所づくり～あすなろ（学習支援）を通して出会った子どもたち～		124
	③中村 博子	④名南会健康友の会（医療法人名南会）	⑤緑支部 あすなろ役員	
	⑥052-692-7544	⑦ sosiki@meinan.or.jp		
4   3   8	①神奈川	②「こどもたちが人間らしく成長するために絵本の楽しさを伝える場を地域に」		124
	③田揚 江里	④よこはま健康友の会梶山支部	⑤サークル代表	
	⑥045-582-0167 (梶山支部)	⑦ tomonokai.kaziyama@gmail.com		



## 第4分科会「通い(つどい)の場・居場所づくりの実践」第4会場

ピュアリティまきび 3F 橋

演題番号	①県連名	②演題名		ページ
	③発表者	④所属共同組織名又は事業所名	⑤所属と役職	
	⑥電話番号	⑦メールアドレス		
4   4   1	①北海道	②笑いヨガで楽しく健康な身体づくり・地域づくり		126
	③ <sup>サナダ</sup> 眞田 <sup>ワカコ</sup> 若子	④十勝勤医協友の会連絡会	⑤芽室友の会世話人	
	⑥080-4043-5103	⑦ dolemiso_stay@yahoo.co.jp		
4   4   2	①東京	②歌うだけじゃない 「うた広場」		126
	③ <sup>ヨコヤマ</sup> 横山 <sup>ナオキ</sup> 直城	④城南保健生活協同組合	⑤健康増進室長	
	⑥03-3762-0266	⑦ yokoyama@jonanhoken.gr.jp		
4   4   3	①香川	②"miki カフェ" 素敵な健康づくりスタイル		127
	③ <sup>サトウ</sup> 佐藤 <sup>タエ子</sup> 多恵子	④香川医療生活協同組合	⑤白山支部 支部長	
	⑥080-3162-1583	⑦ taekokishi.60@gmail.com		
4   4   4	①愛知	②ポッチャ大会を通じた仲間づくり		127
	③ <sup>ナカムラ</sup> 中村 <sup>アサコ</sup> 朝子	④名南会健康友の会	⑤ふれあい病院地域支部	
	⑥052-692-7544	⑦ sosiki@meinan.or.jp		
4   4   5	①大阪	②このはな健康友の会「サークル活動や教室」の取り組み		128
	③ <sup>ヤマクラ</sup> 山倉 <sup>サトミ</sup> 智美	④このはな健康友の会(淀協此花)	⑤此花支部運営委員(このはな健康友の会副会長)	
	⑥06-6136-3520	⑦ konohanakenkoutomonokai@gmail.com		
4   4   6	①宮城	②くらしの保健室「ふらっと」・おゆずり会で次世代応援		128
	③ <sup>フジ</sup> 辻 <sup>ジュンコ</sup> 順子	④みやぎ東部健康福祉友の会	⑤幹事	
	⑥022-367-9027	⑦ ryotan521@yahoo.co.jp		
4   4   7	①鳥取	②他団体と連携でたまり場づくり		129
	③ <sup>タナカ</sup> 田中 <sup>アツコ</sup> 宏子	④鳥取医療生活協同組合健康まちづくり部	⑤健康まちづくり部員	
	⑥0857-24-1701	⑦ h-nakada@mcoop-tottori.jp		
4   4   8	①東京	②地域の中のつながりと居場所づくりについて		129
	③ <sup>モリオカ</sup> 森岡 <sup>イトコ</sup> 糸子	④江戸川健康友の会	⑤江戸川健康友の会事務局次長	
	⑥03-5679-7130	⑦ itoko-z000191@totokyogikai.jp		
4   4   9	①岐阜	②地域のたまり場『ほっとはうす』11年のまとめ		130
	③ <sup>オオツカ</sup> 大塚 <sup>カズコ</sup> 和子	④岐阜健康友の会	⑤藍川支部事務局長	
	⑥090-7954-9337	⑦ kenji-dragons@na.commufa.jp		
4   4   10	①兵庫	②戸ノ内組合員センターの役割		130
	③ <sup>オノデラ</sup> 小野寺 <sup>ひとみ</sup> ひとみ	④尼崎医療生活協同組合	⑤組合員活動部職員	
	⑥06-6499-5962	⑦ onodera.hit@amagasaki.coop		
4   4   11	①岡山	②「居場所」を開設し、地域のつながりを広げた支部の取り組み		131
	③ <sup>スミヨリ</sup> 住寄 <sup>善志</sup> 善志	④倉敷医療生活協同組合	⑤中島支部 支部運営委員長	
	⑥086-448-3369	⑦ ikeuti_m@kura-hcu.jp		



## 第4分科会「通い(つどい)の場・居場所づくりの実践」第5会場

ピュアリティまきび 3F 飛翔

演題番号	①県連名	②演題名		ページ
	③発表者	④所属共同組織名又は事業所名	⑤所属と役職	
	⑥電話番号	⑦メールアドレス		
4 5 1	①滋賀	②いつでも元気読者会「PPK (ピンピンコロリ)」		133
	③ <sup>マブチ</sup> 馬淵 <sup>マイコ</sup> 麻衣子	④ぜぜ健康友の会	⑤友の会員 (読者会担当)	
	⑥077-524-8114	⑦zeze@shigamin.jp		
4 5 2	①千葉	②来て、見て、楽しい! 友の会デー		133
	③ <sup>イワタ</sup> 岩田 <sup>ヨシコ</sup> 佳子、 <sup>スズキ</sup> 鈴木 <sup>ヨシコ</sup> 徳子	④千葉健生病院健康友の会	⑤千葉健生病院健康友の会 幹事	
	⑥043-276-4817	⑦yk-furusawa@min-iren-c.or.jp		
4 5 3	①愛知	②名南会健康友の会 みどり支部の活動について		134
	③ <sup>スズラ</sup> 鈴村 <sup>メイコ</sup> 晴子	④名南会健康友の会	⑤みどり支部	
	⑥052-692-7544	⑦sosiki@meinan.or.jp		
4 5 4	①愛媛	②支部の地域で安心してつながれる場「不用品交換市」		134
	③ <sup>ヤマモト</sup> 山本 <sup>イセミ</sup> 伊勢美	④愛媛医療生活協同組合	⑤桑原北支部 副支部長	
	⑥080-3162-5413	⑦isemi_y@yahoo.co.jp		
4 5 5	①岡山	②カラオケまつり成功の取り組み ～趣味を活かした楽しい友の会活動～		135
	③ <sup>ヒノデ</sup> 日出 <sup>マサカズ</sup> 正一	④岡山中央福祉会友の会	⑤幹事	
	⑥086-943-1616	⑦honbu@tuba.ocn.ne.jp		
4 5 6	①福岡	②ふくおか健康友の会城南支部の活動		135
	③ <sup>オオガ</sup> 大賀 <sup>コ</sup> サワ子	④福岡医療団 ふくおか健康友の会	⑤城南支部 支部長	
	⑥092-651-1522	⑦hr-murase@fid.jp		
4 5 7	①愛知	②終の棲家 老人ホーム「ひなた」で友の会のみんなと一緒に		136
	③ <sup>ミズヤ</sup> 水家 <sup>マサヒロ</sup> 政博	④名南会健康友の会	⑤中川診療所地域支部	
	⑥052-692-7544	⑦sosiki@meinan.or.jp		
4 5 8	①岐阜	②コロナ禍の「繋ぐ・繋がる」3年間の活動のまとめ		136
	③ <sup>サイトウ</sup> 斉藤 <sup>エツコ</sup> 恵津子	④岐阜健康友の会	⑤長良支部 事務局長	
	⑥090-8077-5671	⑦umegonoie@gufu-min.gr.jp		
4 5 9	①岡山	②新たなつながりを生んだ作品展		137
	③ <sup>ミゾグチ</sup> 溝口 <sup>ハツミ</sup> 初美	④岡山医療生活協同組合	⑤理事	
	⑥086-271-7880	⑦soshiki@okayama-health.coop		
4 5 10	①愛知	②5年ぶりのサロン再開 私たちのやりがいに		137
	③ <sup>スズキ</sup> 鈴木 <sup>ユカリ</sup> ゆかり	④名南会健康友の会	⑤名南ふれあい病院地域支部	
	⑥052-692-7544	⑦sosiki@meinan.or.jp		



## 第5分科会「地域まるごと健康づくりのとりくみ」第1会場

岡山国際交流センター 2F 国際会議場

演題番号	①県連名	②演題名			ページ
	③発表者	④所属共同組織名又は事業所名	⑤所属と役職		
	⑥電話番号	⑦メールアドレス			
5   1   1	①大阪	②「楽しかったね！」と笑顔あふれた「のんびり運動会」			139
	③松本 日登美	④南大阪医療生活協同組合	⑤組合員活動部職員		
	⑥070-6805-3824	⑦ kumikatu@moisk.jp			
5   1   2	①埼玉	②笑顔あふれるポッチャ			139
	③大庭 文枝	④医療生協さいたま生活協同組合県中地域県央地区	⑤理事		
	⑥080-4443-0628	⑦ fumie@qb4.so-net.ne.jp			
5   1   3	①千葉	②「オリジナル脳トレ遊びで笑顔満開！」友ちゃん体操			140
	③古澤 祐子	④千葉健生病院健康友の会	⑤千葉健生病院健康友の会 事務局長		
	⑥043-276-4817	⑦ yk-furusawa@min-iren-c.or.jp			
5   1   4	①愛媛	②けん玉&ポッチャで健康づくりとつながりづくり			140
	③足立 義忠	④愛媛医療生活協同組合	⑤愛媛医療生活協同組合 協立ブロック理事		
	⑥090-2826-0376	⑦ r-okabe@ehime-med.org			
5   1   5	①神奈川	②他生協と取り組む、モルック&健康チェック			141
	③城谷 創一	④川崎医療生活協同組合	⑤健康まちづくり推進部 部長		
	⑥044-266-7532	⑦ sou.shirovani@kawaikyo.or.jp			
5   1   6	①大阪	②健康チャレンジでつながりと健康づくり			141
	③尾崎 亜理子	④けいはん医療生活協同組合	⑤健康なまちづくり委員会 事務職員		
	⑥072-882-5025	⑦ 1-chiisapo@keihan-healthcoop.net			
5   1   7	①岡山	②ヘルスチャレンジの小中学校への広がり			142
	③中村 雷代	④倉敷医療生活協同組合	⑤理事		
	⑥086-448-3369	⑦ kakiuti_h@kura-hcu.jp			
5   1   8	①埼玉	②地域で広まる「健康ひろば」実践の紹介			142
	③菊池 明	④医療生協さいたま生活協同組合県北地域利根北地区	⑤行田協立診療所まちづくりコーディネーター		
	⑥070-2154-7346	⑦ a-kikuchi@mcp-saitama.or.jp			
5   1   9	①東京	②健和友の会の健康づくり活動を中心とした地域活動について			143
	③星野 光子	④健和友の会	⑤健和友の会副会長		
	⑥048-955-7872	⑦ a-ishigami@totokyogikai.jp			
5   1   10	①東京	②職員と共に進める地域での健康づくり、社会保障拡充の取り組み			143
	③橋本 京子	④東葛健康友の会	⑤副会長		
	⑥04-7159-1075	⑦ tk-tomonokai@nifty.com			
5   1   11	①京都	②京都・まんなか中京区でのコミュニティカフェを軸とした「友の会」づくり			144
	③柴 茂保	④京都市中・右京健康友の会	⑤副会長		
	⑥075-821-4185	⑦ 2025shiba@gmail.com			
5   1   12	①東京	②初めて取り組んだ友の会無料大腸がん検診の取り組みについて			144
	③石上 敦久	④みさと健和病院	⑤組織課課長		
	⑥048-955-7872	⑦ a-ishigami@totokyogikai.jp			



## 第5分科会「地域まるごと健康づくりのとりくみ」第2会場

岡山国際交流センター 5F会議室(1)

演題番号	①県連名	②演題名		ページ
	③発表者	④所属共同組織名又は事業所名	⑤所属と役職	
	⑥電話番号	⑦メールアドレス		
5   2   1	①新潟	②地域在宅高齢者のフレイルの現状調査とフレイル予防の取り組み		146
	フルカワ マサシ ③古川 理志	④新潟勤労者医療協会	⑤本部組織部	
	⑥0250-22-6851	⑦ furukawa_m@niiigata-min.or.jp		
5   2   2	①大阪	②共同組織と共に取り組んだ出前講座によるフレイル予防体操教室		146
	キタデ ヨシオ ③北出 祥夫	④健康友の会みみはら	⑤	
	⑥072-244-8061	⑦ trainer@mimihara.or.jp		
5   2   3	①福島	②フレイル予防としての太極拳教室の活動について		147
	イチカワ スズ ③市川 進	④郡山医療生活協同組合	⑤ブロック担当理事	
	⑥024-923-6212	⑦ sosiki@koriyama-h-coop.or.jp		
5   2   4	①埼玉	②いもっこ体操でフレイル予防と仲間増やし		147
	ヤキヌマ ヨシコ ③柳沼 好子	④医療生協さいたま 川越東支部	⑤支部長	
	⑥090-6797-2221	⑦		
5   2   5	①香川	②フレイルサポーターの養成・フレイル測定会に取り組んで		148
	アカマツ テルミ ③赤松 光美	④香川医療生活協同組合組合員活動部	⑤職員	
	⑥087-833-8115	⑦ akamatsu@kagawa.coop		
5   2   6	①佐賀	②春の健康ウォーキング		148
	タナカ ヨウヘイ ③田中 浩平	④本部	⑤	
	⑥0952-31-1249	⑦ k-tanaka@saga-iryuu-s.or.jp		
5   2   7	①大阪	②年未年始に取り組んだウォーキングチャレンジの取り組み		149
	タナカ ノリヘイ ③田中 則兵衛	④健康友の会みみはら	⑤	
	⑥072-244-8061	⑦ tanaka-n@mimihara.or.jp		
5   2   8	①福井	②「いち・に・散歩会」で地域の歴史・文化に触れ合う健康ウォーク		149
	ネセ エミ ③根谷 恵美	④福井県医療生活協同組合 丹南ブロック	⑤武生まちなか支部 いち・に・散歩会事務局	
	⑥0776-27-2318	⑦ naomi.takezawa@fukui-min-iren.com		
5   2   9	①東京	②組合員の要求から生まれた 月1ウォーク「まち歩き会」		150
	ホシノ ヒロコ ③星野 弘子	④城南保健生活協同組合	⑤常務理事	
	⑥03-3762-0266	⑦ yokoyama@jonanhoken.gr.JP		
5   2   10	①福岡	②コロナ禍での活動 ～健康づくり委員会でのウォーキング企画などの取り組み～		150
	フルカワ サクコ ③古川 咲子	④福岡医療団 ふくおか健康友の会	⑤東・東支部 支部長	
	⑥092-651-1522	⑦ hr-murase@fid.jp		
5   2   11	①北海道	②コロナ禍でも続けた「友の会ゆっくりウォーク」をさらに発展させ、地域との繋がりを大切に		151
	アサノイ ユカ ③浅野目 有香	④オホーツク勤医協 友の会	⑤総務課 北見友の会連絡会 事務局長	
	⑥0157-26-1300	⑦ lovelove_tossy@yahoo.co.jp		
5   2   12	①大阪	②地域住民とグランドゴルフを楽しむ取り組み		151
	カツタ ヒサコ ③勝田 久子	④医療福祉生協おおさか 加納地区	⑤理事	
	⑥090-5648-5884	⑦ m-ushiro@coop-osaka.or.jp 後統括課長		



## 第5分科会「地域まるごと健康づくりのとりくみ」第3会場

岡山国際交流センター 7F 多目的ホール

演題番号	①県連名	②演題名		ページ
	③発表者	④所属共同組織名又は事業所名	⑤所属と役職	
	⑥電話番号	⑦メールアドレス		
5 3 1	①東京	②病院・診療所のない地域で実行委員会を組織し、健康チェックに取り組む		153
	③石田 千恵子	④中野・杉並健康友の会	⑤中野・杉並健康友の会役員	
	⑥090-4701-8186	⑦jyarichie2004@yahoo.co.jp		
5 3 2	①長野	②東御市支部における、スーパーマーケットでのまちかど健康チェックについて		153
	③斉藤 茂彦	④東信医療生活協同組合	⑤組合員活動部 部長	
	⑥0268-23-8001	⑦kumikatsu-b@toshin-iryu.com		
5 3 3	①岡山	②地域での健康チェックの取り組み		154
	③岡 朋子	④岡山医療生活協同組合	⑤理事	
	⑥086-271-7880	⑦soshiki@okayama-health.coop		
5 3 4	①埼玉	②地域にひろげる健康チェックの取り組み（利根南地区鷲宮支部の取り組み）		154
	③足立 有司	④医療生協さいたま	⑤利根南地区 理事	
	⑥090-3436-1267	⑦yuyuji3hal2001@gmail.com		
5 3 5	①京都	②健康相談会で、住相談も行います		155
	③久守 一敏	④伏見健康友の会	⑤友の会幹事	
	⑥075-623-1134	⑦soumu@jounanshin.or.jp		
5 3 6	①岡山	②地域組合員を対象にしたスポット尿による塩分チェックチャレンジの報告		155
	③垣内 春菜	④倉敷医療生活協同組合	⑤	
	⑥086-448-3369	⑦kakiuti_h@kura-hcu.jp		
5 3 7	①沖縄	②支部での健康まつり		156
	③大城 郁男	④沖縄医療生協 伊良波支部	⑤理事、支部運営委員	
	⑥090-2962-6366	⑦ikuo-naomi71@nirai.ne.jp		
5 3 8	①長崎	②「いきいき健康フェスタ」に取り組んで		156
	③森川 恵美子	④長崎県健康友の会連絡会	⑤させば健康友の会 事務局長	
	⑥080-3221-9189	⑦kinaga@kenyukai.or.jp		
5 3 9	①大阪	②このはな健康まつりの取り組み		157
	③大西 義広	④このはな健康友の会（淀協此花）	⑤西島支部運営委員（このはな健康友の会前会長）	
	⑥06-6136-3520	⑦konohanakenkoutomonokai@gmail.com		
5 3 10	①大阪	②健康まつり「プチ縁日」		157
	③池田 義文	④淀川クリニック	⑤組合員活動部	
	⑥06-6927-1135	⑦yo-ikeda@coop-osaka.or.jp		
5 3 11	①奈良	②4年振りに再開した健康まつりの取り組み		158
	③林 健太	④健生会友の会	⑤友の会事務局長	
	⑥0745-22-2989	⑦k-hayashi@kenseikai-nara.jp		
5 3 12	①岡山	②岡山医療生協と地域が繋がる場所作り～健康づくりセンター大野辻の取り組み～		158
	③安延 京子	④岡山医療生活協同組合	⑤理事	
	⑥086-271-7880	⑦soshiki@okayama-health.coop		



## 第5分科会「地域まるごと健康づくりのとりくみ」第4会場

岡山国際交流センター 8F イベントホール

演題番号	①県連名	②演題名		ページ
	③発表者	④所属共同組織名又は事業所名	⑤所属と役職	
	⑥電話番号	⑦メールアドレス		
5   4   1	①大阪	②8020運動・子どもと高齢者のお口の健康		160
	③樋口 義治	④医療福祉生協おおさか 蒲生厚生診療所	⑤理事（メールアドレスは組活担当：白井の業務用アドレス）	
	⑥090-3490-3583	⑦t-shirai@health-coop.jp		
5   4   2	①岡山	②地域に広がるオーラルフレイル予防の取り組み		160
	③近藤 恵子	④倉敷医療生活協同組合	⑤理事	
	⑥086-448-3369	⑦oobayasi_ms@kura-hcu.jp		
5   4   3	①鹿児島	②『はみがきサポーター養成講座』健康な身体は歯から！		161
	③神野 矜子	④鹿児島医療生活協同組合	⑤南さつま支部運営委員	
	⑥099-260-3532	⑦sosiki@kiseikyoo.or.jp		
5   4   4	①岡山	②地域で気軽に参加出来る運動施設（フィットネスジム、コムコム）の紹介		161
	③佐藤 貴子	④岡山医療生活協同組合	⑤理事	
	⑥086-271-7880	⑦soshiki@okayama-health.coop		
5   4   5	①大阪	②あおぞら薬局の健康増進サポート活動！		162
	③齋藤 実希	④一般社団法人大阪ファルマブラン	⑤あおぞら薬局	
	⑥06-6477-8080	⑦aozora-faruma@nifty.com		
5   4   6	①岡山	②健康づくり活動を通して生まれた組合員さんとの絆		162
	③岡部 圭佑	④岡山医療生活協同組合	⑤コープデイサービス福浜	
	⑥086-902-0221	⑦fukuhama2@okayama-health.coop		
5   4   7	①北海道	②民医連道南ブロック友の会活動報告～職員と友の会との協働～		163
	③笠原 毅	④民医連道南ブロック友の会	⑤道南勤協函館稜北病院 事務次長	
	⑥0138-54-3113	⑦t-kasahara@donank.jp		
5   4   8	①東京	②血管年齢測定や自治体健診受診の勧め、介護予防のとりくみ		163
	③小栗 多美子	④江東健康友の会	⑤事務局長	
	⑥080-1089-7222	⑦tamiko-oguri@totokyogikai.jp		
5   4   9	①神奈川	②理事と協同で健康診断のお誘い電話かけ		164
	③荷見 正則	④神奈川みなみ医療生協本部	⑤組織部長	
	⑥046-853-8105	⑦h-sosiki@k-minami.or.jp		
5   4   10	①岡山	②げんき応援隊養成講座の取り組み		164
	③片山 章子	④倉敷医療生活協同組合	⑤	
	⑥086-448-3369	⑦		
5   4   11	①福岡	②行政と連携した友の会班会での『もの忘れ予防・相談検診』の取り組み		165
	③三宅 浄継	④社会医療法人 親仁会	⑤まちづくり推進部 部長	
	⑥0944-53-5801	⑦k-miyake@kome-net.or.jp		
5   4   12	①愛媛	②やりたいことをみんなで楽しくやってみよう一行く場があり出掛ける予定があるのが嬉しいんよー		165
	③佐々木 あゆみ	④愛媛医療生活協同組合	⑤愛媛医療生活協同組合 川内支部 支部長	
	⑥090-7146-2654	⑦ayu.sanomaki@gmail.com		



## 第6分科会「共同組織の“わ”を強め、あらたな担い手を広げるとりくみ」第1会場 第一セントラルビル1号館 9F大ホール

演題番号	①県連名	②演題名		ページ
	③発表者	④所属共同組織名又は事業所名	⑤所属と役職	
	⑥電話番号	⑦メールアドレス		
6   1   1	①愛知	②楽しく健康づくりをするために支部をつくりました！		167
	③池山 ミツオ 三男	④尾張健康友の会	⑤丹陽支部 支部長	
	⑥0586-76-8312	⑦ tomonokai@chiaki.com		
6   1   2	①山口	②医療生協 健文会の平和への取り組み		167
	③山崎 イクヨ 郁代	④医療生活協同組合 健文会	⑤防府支部	
	⑥0836-34-2510	⑦ sosiki_keibun@yahoo.co.jp		
6   1   3	①大阪	②住んでいる地域に支部を		168
	③杉原 まつ子 スギハラ マツコ	④大阪みなみ医療福祉生活協同組合	⑤	
	⑥090-5137-3251	⑦ matsuko.sugihara@outlook.jp		
6   1   4	①京都	②0から3へ 支部づくりが大躍進！？		168
	③甲田 賢太郎 コウダ ケンタロウ	④京都東健康友の会山科ブロック大宅診療所	⑤事務局	
	⑥075-581-5207	⑦ oyake-jim@shinwakai-min.jp		
6   1   5	①北海道	②地域での結びつきを強め、繋がり・広がり生き生きと活動するサークルづくり		169
	③飯田 尚志 イイダ タカシ	④道東勤医協友の会連合会	⑤鳥取支部 事務局長	
	⑥0154-64-9323	⑦ iida.takashi@camel.plala.or.jp		
6   1   6	①徳島	②班づくりに取り組んで		169
	③安富 千恵子 ヤストミ チエ子	④徳島健康生活協同組合	⑤国府支部 運営委員	
	⑥090-7781-8145	⑦ k-ishii-eiyo@kenkou-seikyou.com		
6   1   7	①京都	②友の会サークルが会員さん同士をつなぐ		170
	③尾浦 邦彦 オウラ ヒロヒコ	④伏見健康友の会	⑤友の会幹事	
	⑥075-623-1134	⑦ soumu@jounanshin.or.jp		
6   1   8	①京都	②アロマサークル活動		170
	③大槻 智子、 川原 久美子 オオツキ トモ子 カワハラ クミ子	④綾部健康友の会	⑤サークル責任者	
	⑥0773-43-0519	⑦ tomonokai@ninokuni.net		
6   1   9	①大阪	②2支部共同サークル `絵のある畑`メリアガーデンサークル活動		171
	③遠水 英子、 長井 佐智子 ハヤミ エイ子 ナガイ サチ子	④健康友の会みみはら	⑤新金岡支部世話人、新金岡支部支部長	
	⑥090-9710-6498	⑦ sachiko11317@gmail.com		
6   1   10	①石川	②スマホ班会の取り組み		171
	③村中 湛子 ムラナカ キヨ子	④石川県健康友の会連合会	⑤南加賀ブロック	
	⑥0761-58-5028	⑦ minamikaga.kenkoo@gmail.com		
6   1   11	①宮城	②診療所閉鎖してからのサークル活動の発展と3年連続会費納入100%を達成して		172
	③勝又 信嗣 カツマタ シノブ	④大崎健康福祉友の会	⑤遠田支部長	
	⑥0229-34-2259	⑦ tadano@zmkk.org		
6   1   12	①京都	②診療所がなくなっても、友の会活動は続けています！		172
	③吉田 貴代子 ヨシダ キヨ子	④京都市・右京健康友の会（西京健康友の会）	⑤常任幹事	
	⑥090-4277-0675	⑦ kyoutonakaukyou@gmail.com		



## 第6分科会「共同組織の“わ”を強め、あらたな担い手を広げるとりくみ」第2会場 第一セントラルビル1号館 3F中ホール

演題番号	①県連名	②演題名			ページ
	③発表者	④所属共同組織名又は事業所名	⑤所属と役職		
	⑥電話番号	⑦メールアドレス			
6   2   1	①東京	②コロナ禍を乗り越えたサークル活動と新たなとりくみ			174
	③ <small>ホンマ レイコ</small> 本間 玲子	④足立健康友の会北千住支部	⑤副支部長		
	⑥03-3870-4534	⑦ masahiko-z000153@totokyogikai.jp			
6   2   2	①東京	②5年前2ヶ所だったサークルが、コロナ禍を経て10ヶ所に広がった私たちの取り組み			174
	③ <small>アカバメ キミコ カワムラ カズコ サトウ シズカ</small> 赤羽目喜美子、 河村 和子、 佐藤 静香	④三多摩健康友の会 昭島支部	⑤保健委員会		
	⑥090-4059-2049	⑦ osizu_sato@icloud.com			
6   2   3	①佐賀	②共同組織活動 再起の取り組み			175
	③ <small>コダマ タクヤ</small> 児玉 拓也	④本部	⑤組織部副主任		
	⑥0952-31-1249	⑦ t-kodama@saga-iryuu-s.or.jp			
6   2   4	①大阪	②なかよしハウスと上田さんとの協働 2023年			175
	③ <small>ホリ カネミツ</small> 堀 金光	④医療福祉生協おおさか 支部センター なかよしハウス	⑤支部運営委員		
	⑥090-1714-1966 (対応者：能塚)	⑦ no_zu@yahoo.co.jp (対応者：能塚)			
6   2   5	①岡山	②心を伝えたい 絵手紙			176
	③ <small>ネギ カズコ</small> 根木 和子	④岡山中央福祉会 友の会	⑤幹事		
	⑥086-944-2266	⑦ sakuraen@iris.ocn.ne.jp			
6   2   6	①奈良	②定時定点の健康チェック			176
	③ <small>オガワ カズヤ ヤマベ レイヤ</small> 小川 和也、 山部 麗哉	④健生会友の会	⑤友の会事務局長		
	⑥0745-22-2989	⑦ k-hayashi@kenseikai-nara.jp			
6   2   7	①愛媛	②オレンジルーム設立から始まる つながり、づくり ～さあ、みながうらやむ居場所を一緒に作ろう！～			177
	③ <small>ミヤケ アツコ</small> 三宅 淳雄	④愛媛医療生活協同組合	⑤生協宇摩診療所 理事		
	⑥0896-25-0114 (宇摩診療所)	⑦ mi-itoh@ehime-med.org			
6   2   8	①香川	②組合員を点から線へ、そして面への広がり～カフェを通じたつながり作り			177
	③ <small>タカヤス トミオ</small> 高安 富男	④香川医療生活協同組合	⑤龍雲支部 支部長		
	⑥090-9772-8264	⑦ tom10@zpost.plala.or.jp			
6   2   9	①愛媛	②地域の中からつながりを広げ、誰もが参加しやすい支部活動			178
	③ <small>アサダ タマエ</small> 浅田 玉恵	④愛媛医療生活協同組合	⑤うしおに支部 班長		
	⑥089-990-8820	⑦ ooba@ehime-med.or.jp			
6   2   10	①徳島	②那賀川支部の取り組み			178
	③ <small>カワノ タカコ</small> 河野 孝子	④徳島健康生協 那賀川支部	⑤支部長		
	⑥080-6394-4452	⑦ anan@kenkou-seikyuu.com			



## 第6分科会「共同組織の“わ”を強め、あらたな担い手を広げるとりくみ」第3会場 第一セントラルビル2号館 8Fアース

演題番号	①県連名	②演題名		ページ
	③発表者	④所属共同組織名又は事業所名	⑤所属と役職	
	⑥電話番号	⑦メールアドレス		
6 3 1	①三重	②つながり。ひろがれ。みえ医療福祉生活協同組合		180
	③ <sup>ウエダ ナミ</sup> 上田 奈美	④みえ医療福祉生活協同組合	⑤組織部	
	⑥0596-24-7141	⑦miecoop.ise2@gmail.com		
6 3 2	①大阪	②支部結成から8年かけて、4課題の達成めざした活動。特に協同基金の積み立て参加者を増やしてきた活動について		180
	③ <sup>コガ ミツマサ</sup> 古賀 光政	④健康友の会みみはら	⑤もず支部 支部長	
	⑥090-7107-4324	⑦		
6 3 3	①東京	②仲間増やしを友の会と職員と力を合わせて目標の超過達成（月間目標、年間目標）		181
	③ <sup>ウエキ コウジ</sup> 植木 紘二	④中野・杉並健康友の会	⑤中野・杉並健康友の会会長	
	⑥090-2416-0864	⑦kouji.ueki.0412@gmail.com		
6 3 4	①栃木	②大学生とひろげる“わ” 一宇都宮東支部から元気を届けるー		181
	③ <sup>カトウ フカ</sup> 加藤 和夏	④栃木保健医療生活協同組合	⑤地域活動部	
	⑥028-600-1606	⑦waka.kato@tochigihoken.or.jp		
6 3 5	①福岡	②スクエアステップサークルを通した新たな繋がり作り		182
	③ <sup>ヨネムラ リン</sup> 米村 理恵	④社会医療法人親仁会 本部	⑤総務部課長	
	⑥0944-53-2711	⑦r-yonemura@kome-net.or.jp		
6 3 6	①埼玉	②お手紙作戦で広がりがづくり		182
	③ <sup>ヒラシマ サト</sup> 平嶋 悟	④医療生協さいたま かすかべ生協診療所	⑤まちづくりコーディネーター	
	⑥070-2154-7361	⑦k-sosiki@mcp-saitama.or.jp		
6 3 7	①愛媛	②支部活動を通じて、地域の人とつながり、健康の輪を広げよう！		183
	③ <sup>ミヅエ</sup> 村瀬 瑞恵	④愛媛医療生活協同組合	⑤今治中支部 支部長	
	⑥090-7142-1466	⑦mizuem@mac.com		
6 3 8	①大阪	②担い手づくりの取り組み		183
	③ <sup>ハタノ ヤスキ</sup> 波多野 泰輝	④大阪みなみ医療福祉生活協同組合 堺北診療所	⑤	
	⑥072-233-6569	⑦kumikatu-3@osakaminami.net		
6 3 9	①石川	②「共同組織と民医連を学ぶ移動学習会」に取り組んで		184
	③ <sup>ウジタ ミヨ</sup> 氏田 都	④石川勤労者医療協会	⑤健康推進部	
	⑥076-253-1540	⑦lapaz@ishikawa-kinikyo.jp		
6 3 10	①愛媛	②多世代参加の取組み 一浜っ子クラブ・ハロウィンナイトー		184
	③ <sup>ヤマシタ アケミ</sup> 山下 曙美	④愛媛医療生活協同組合	⑤三津浜支部 支部長	
	⑥090-1327-6789 (地域事業担当)	⑦yamamototu@ehime-med.org		
6 3 11	①大阪	②子育て世代への認知度アップと次世代へのバトンタッチへの礎づくりへの「たしま子ども夜店まつり」の取り組み		185
	③ <sup>フジオカ トシオ</sup> 藤岡 俊夫	④医療福祉生活協同組合おおさか	⑤理事	
	⑥090-3716-4156	⑦t-fujioka@asuka18.com		
6 3 12	①愛媛	②担い手交流会をとおしてステップアップを目指す		185
	③ <sup>タドコロ シンジ</sup> 田所 真司	④愛媛医療生活協同組合	⑤愛媛医療生活協同組合 道後支部長	
	⑥080-9532-6510	⑦ikasarete@icloudo.com		



## 第6分科会「共同組織の“わ”を強め、あらたな担い手を広げるとりくみ」第4会場 第一セントラルビル2号館 6F プルメリア

演題番号	①県連名	②演題名		ページ
	③発表者	④所属共同組織名又は事業所名	⑤所属と役職	
	⑥電話番号	⑦メールアドレス		
6   4   1	①北海道	②札幌西・手稲健康友の会ニュース「ていねやま」の紹介		187
	③高松 功	④札幌西・手稲健康友の会	⑤札幌西・手稲健康友の会 事務局次長	
	⑥011-666-2877	⑦nishiku-soshiki@kin-ikyo.or.jp		
6   4   2	①奈良	②友の会会報を人と人のつながりを大切に紙面づくりに！		187
	③杉本 芳子	④平和会健康友の会	⑤生駒支部 編集委員	
	⑥0743-76-6352	⑦soshiki@heiwakai.or.jp		
6   4   3	①岩手	②みんな元気に プチ健康まつり		188
	③佐藤 カツエ	④盛岡医療生活協同組合	⑤理事	
	⑥019-635-6253	⑦s-suzuki@morioka-medi-coop.or.jp		
6   4   4	①富山	②多世代がゆるやかにつながる・えがお夏祭まつり開催		188
	③石原 朝子	④富山医療生活協同組合 山室支部	⑤理事	
	⑥076-441-8351	⑦akagawa-y@toyama-hcoop.com		
6   4   5	①愛媛	②他団体との連携と計画的な支部企画の実践		189
	③茅原 千賀子	④愛媛医療生活協同組合	⑤泉川ブロック中大支部 支部長	
	⑥090-8600-1207	⑦kawahara@ehime-med.org		
6   4   6	①兵庫	②組合員と職員の交流班会「料理研究会」		189
	③春木 圭介	④たじま医療生活協同組合	⑤本部職員	
	⑥0796-24-7035	⑦info@tajima-coop.com		
6   4   7	①岡山	②地域の団体と連携・協力に関する包括協定書を結び商品の開発		190
	③久戸瀬 圭典	④岡山医療生活協同組合	⑤健康まちづくりセンター 課長	
	⑥086-271-7880	⑦soshiki@okayama-health.coop		
6   4   8	①大阪	②医療生協解散から健康友の会へ		190
	③坪井 明人	④健康友の会ふくしま	⑤会長	
	⑥06-6461-6822	⑦soshiki-fukushima@yodokyo.or.jp		
6   4   9	①福岡	②まちづくり企画室 ～地域との関わり（初年度）～		191
	③松尾 俊宏	④千鳥橋病院	⑤まちづくり企画室 課長	
	⑥092-651-1522	⑦ts-matsuo@fid.jp		
6   4   10	①東京	②地域との協働で誰ひとり取り残さないまちづくりを～診療所職員と組織部員を兼任した活動の2年間を振り返る～		191
	③宇田川 展子	④西都保健生活協同組合	⑤みその診療所事務・組織部（小平支部担当）	
	⑥042-342-7270	⑦misonososiki@gmail.com		
6   4   11	①京都	②12健康友の会で共同利用する「Noプログラム、無料クラウド会員システム」を稼働して3年の到達と課題		192
	③堀岡 真人、 田中 秀行	④公益社団法人京都保健会・NPO ほげんかい	⑤組織社保部	
	⑥090-7341-9486	⑦horioka@kyoto-hokenkai.or.jp		



## 第7分科会「民医連職員と共同組織がいっしょにすすめるとりくみ」第1会場 第一セントラルビル1号館 5F A会議室

演題番号	①県連名	②演題名		ページ
	③発表者	④所属共同組織名又は事業所名	⑤所属と役職	
	⑥電話番号	⑦メールアドレス		
7   1   1	①岐阜	②共同組織（岐阜健康友の会）と取り組んだ地域訪問行動の結果と今後の課題		194
	③早川 國弘	④医療法人 岐阜勤労者医療協会 本部	⑤組織部 課長	
	⑥058-244-3522	⑦ k-hayakawa@gifu-min.gr.jp		
7   1   2	①京都	②職員ととりくむ地域訪問活動		194
	③松本 淳子	④京都東健康友の会洛北ブロック洛北健康友の会	⑤副会長	
	⑥080-3132-2593	⑦ jijunko-matsu@ezweb.ne.jp		
7   1   3	①鳥根	②地域と職員で取り組んだ「まめなか訪問」を振り返って		195
	③深津 孝雄、 ヤマダ ヨシノブ 山田 美信	④ひかわ医療生活協同組合	⑤伊波野支部支部長、出西支部支部長	
	⑥0853-72-4577	⑦ chikatu@hikawa-hp.com		
7   1   4	①東京	②「職員と力をあわせ発展した20年余の地域活動」		195
	③中村 良平	④八王子・たま健康友の会八王子西部支部	⑤八王子西部支部副支部長	
	⑥090-4954-7251	⑦ hachi-tama@t-kenseikai.jp		
7   1   5	①東京	②ゆたかなつながりをはぐくむフードバンク		196
	③香取 三恵子	④東京保健生活協同組合	⑤さくら通り支部 支部長	
	⑥090-2735-3993	⑦ m.katori.312@gmail.com		
7   1   6	①三重	②うふふ交流会－職員が組合活動に触れ、組合員さんが事業活動に触れる、楽しみながら互いを知る取り組み－		196
	③古野 真平	④みえ医療福祉生協	⑤組合員活動部	
	⑥059-330-0808	⑦ y-kumikatu@y-medico.com		
7   1   7	①山梨	②コロナ禍に負けない友の会活動を追求して・・・職員とともに取り組んだ仲間ふやし月間、目標を達成した経験		197
	③生松 みち子	④甲府健康友の会	⑤幹事・事務局長	
	⑥005-221-8725	⑦ 11-soshikik@s.yamanashi-min.jp		
7   1   8	①沖縄	②沖縄協同病院 組織活動委員会の活動報告		197
	③玉城 義也	④沖縄協同病院	⑤医局事務課・課長	
	⑥098-853-1200	⑦ okikyo08@crocus.ocn.ne.jp		
7   1   9	①岐阜	②高齢者施設つくる会の25年間のあゆみと活動報告		198
	③堀 誓光	④高齢者施設をつくる会	⑤会長	
	⑥058-244-1200	⑦ ankinoie@jupiter.ocn.ne.jp		
7   1   10	①福岡	②北九州市道路サポーターに登録して		198
	③明石 成喜	④北九州健康友の会	⑤小倉西支部・支部長	
	⑥090-4586-4021	⑦ iwamoto@kenwakai.gr.jp		



## 第7分科会「民医連職員と共同組織がいっしょにすすめるとりくみ」第2会場 第一セントラルビル1号館 5F B会議室

演題番号	①県連名	②演題名		ページ
	③発表者	④所属共同組織名又は事業所名	⑤所属と役職	
	⑥電話番号	⑦メールアドレス		
7   2   1	①大阪	②鳳クリニックの建て替えと支部で出来ること（コロナ禍を抜けて…）		200
	③江戸 道子	④健康友の会みみはら	⑤友の会会長・ふくいずみ支部理事	
	⑥	⑦		
7   2   2	①熊本	②職員、友の会みんなでリニューアルを成功させよう！		200
	③荒川 真美	④水保協立病院	⑤総務課 課長	
	⑥0966-63-1823	⑦ arakawa@mk-kyouritu.com		
7   2   3	①兵庫	②姫路医療生協グランプリ 強化月間杯を開催して		201
	③原 典子	④姫路医療生活協同組合	⑤地域サービス部員	
	⑥079-285-3399	⑦ sosiki@himeji-mcoop.or.jp		
7   2   4	①大阪	②新診療所建て替え運動		201
	③前川 哲	④はなぞの生協診療所	⑤理事	
	⑥090-4307-5359	⑦ m-ushiro@coop-osaka.or.jp 後統括課長		
7   2   5	①東京	②診療所の新築・移転、圏域の事業所と友の会による「圏域交流会」を力に「仲間ふやし」に成功している具体的な取り組み		202
	③井上 忠男	④三多摩健康友の会、健生会	⑤副会長・武蔵村山支部長、社会医療法人社団健生会 常務理事	
	⑥090-1616-2873	⑦ tadao5919@outlook.jp		
7   2   6	①岐阜	②新病院建設運動と健康友の会の役割		202
	③大塚 研二	④岐阜健康友の会	⑤会長	
	⑥080-2649-6469	⑦ kenji-dragons@na.commufa.jp		
7   2   7	①岐阜	②地域にひらかれたみんなにやさしい病院		203
	③中尾 美絵	④みどり病院	⑤事務長	
	⑥058-241-0681	⑦ mknakao@gifu-min.gr.jp		
7   2   8	①大阪	②大阪・茨木診療所の建設運動に取組んで（約2年間の足跡）		203
	③藤野 俊弘	④茨木診療所	⑤非常勤職員	
	⑥072-665-5927	⑦ fujino-toshihiro@yodokyo.or.jp		
7   2   9	①東京	②『健生会グループ立川圏域在宅医療介護3法人・健康友の会連携会議』の歩み：医療介護福祉の複合体の強みと共同組織との連携を活かした安心して住み続けられる街づくり。		204
	③有蘭 聡	④社会医療法人社団健生会	⑤法人事務局介護事業部 介護事業部長	
	⑥042-523-2375	⑦ arizono@t-kenseikai.jp		



## 第7分科会「民医連職員と共同組織がいっしょにすすめるとりくみ」第3会場 第一セントラルビル1号館 5F D会議室

演題番号	①県連名	②演題名			ページ
	③発表者	④所属共同組織名又は事業所名	⑤所属と役職		
	⑥電話番号	⑦メールアドレス			
7   3   1	①岡山	②研修の中に当事者、家族との関わりを取り入れて			206
	③中川 俊彦 <small>ナカガワ トシヒコ</small>	④林道倫精神科神経科病院	⑤医局事務課		
	⑥086-272-8811	⑦ hama472@po.harenet.ne.jp			
7   3   2	①山梨	②小児リハビリからつながる 友の会活動と仲間づくり			206
	③伊東 仁香 <small>イトウ キミカ</small>	④石和共立病院	⑤小児リハ室 室長		
	⑥055-263-3131 (内線9338)	⑦ k-itou@s.yamanashi-min.jp			
7   3   3	①青森	②出張出前講座			207
	③鈴木 健仁 <small>スズキ タケヒト</small>	④株式会社ファルマ	⑤課長		
	⑥0172-37-6016	⑦ phjimu3@jomon.ne.jp			
7   3   4	①岡山	②患者の家から地域が見える ～回復期リハ病棟の自宅訪問の実績～			207
	③佐藤 雅昭 <small>サトウ マサアキ</small>	④倉敷医療生活協同組合	⑤コープリハビリテーション病院 リハビリテーション科 科長		
	⑥086-444-3212	⑦ post@coopreha.jp			
7   3   5	①東京	②孤立死事例を通して			208
	③山脇 春香 <small>ヤマワキ ハルカ</small>	④社会医療法人社団健生会 けんせい歯科	⑤事務長		
	⑥042-646-8883	⑦ jimuchou.kenseisika-dc@t-kenseikai.jp			
7   3   6	①奈良	②事業所のない地域で居場所づくり、様々な職種の職員が講師となって健康講座開催。			208
	③中嶋 潤二 <small>ナカジマ ジュンジ</small>	④健康まちづくり推進部	⑤事務局長		
	⑥0742-24-7322	⑦ nakajimajun@okatanikai.jp			
7   3   7	①東京	②マフ作りを通じた立川相互病院看護部との共同の取り組み			209
	③佐藤 まさ代 <small>サトウ マサヨ</small>	④三多摩健康友の会 立川支部	⑤立川支部事務局長		
	⑥042-525-9393	⑦ syaho@tachisou.or.jp			
7   3   8	①大阪	②新たな公害病「PFAS」について、共同組織とのとりくみ			209
	③市川 健一 <small>イチカワ ケンイチ</small>	④淀川勤労者厚生協会附属相川診療所・健康友の会あいかわ	⑤組織担当課長		
	⑥090-1910-6511	⑦ ichikawa@aikawabyouin.com			
7   3   9	①福島	②応えたい、届けたい ～友の会活動を通しての地域とのつながり～			210
	③平山 のぞみ <small>ヒラヤマ ノゾミ</small>	④社会福祉法人わたり福祉会はなネット友の会	⑤事務職員		
	⑥024-542-8755	⑦ honbu@watari.or.jp			
7   3   10	①大阪	②豊中診療所70周年記念文化行事			210
	③東 哲也 <small>アサヒ テツヤ</small>	④医療福祉生活協同組合おおさか ほくせつ地区	⑤組合員活動部一般職員		
	⑥06-6840-7601	⑦ t-azuma@coop-osaka.or.jp			

## 分科会演題一覧(県連別)

演題番号	県連	演題名	発表者	所属共同組織名 又は事業所名	ページ
4-1-4	北海道	コロナ禍で中止していたサロン再開の工夫	斉藤 淑子	道央連絡協議会 苫小牧健康友の会	109
4-1-10	北海道	まちづくり交流館の活動を通して	神長 まゆみ	道北勤医協	112
4-4-1	北海道	笑いヨガで楽しく健康な身体づくり・地域づくり	真田 若子	十勝勤医協友の会連絡会	126
5-2-11	北海道	コロナ禍でも続けた「友の会ゆっくりウォーク」をさらに発展させ、地域との繋がりを大切に	浅野目 有香	オホーツク勤医協 友の会	151
5-4-7	北海道	民医連道南ブロック友の会活動報告～職員と友の会との協働～	笠原 毅	民医連道南ブロック友の会	163
6-1-5	北海道	地域での結びつきを強め、繋がり・広がりで生き生きと活動するサークルづくり	飯田 尚志	道東勤医協友の会連合会	169
6-4-1	北海道	札幌西・手稲健康友の会ニュース「ていねやま」の紹介	高松 功	札幌西・手稲健康友の会	187
2-2-7	青 森	組合員のいのちを守る～電話相談からの生活保護の申請へ～	福士 学	青森保健生活協同組合	74
7-3-3	青 森	出張前講座	鈴木 健仁	株式会社ファルマ	207
6-4-3	岩 手	みんな元気に プチ健康まつり	佐藤 カツエ	盛岡医療生活協同組合	188
3-1-5	宮 城	加美支部助け合いの会食料支援を行って	佐藤 博子	大崎健康福祉友の会	78
3-2-1	宮 城	利用者から喜ばれ、活動の輪が広がる助け合いの会	平尾 伸二	仙台南健康友の会	82
3-2-10	宮 城	作業療法士としての友の会事務局を担当して	福岡 祥子	長町病院 (仙台南健康友の会)	86
4-4-6	宮 城	くらしの保健室「ふらっと」・おゆずり会で次世代応援	辻 順子	みやぎ東部健康福祉友の会	128
6-1-11	宮 城	診療所閉鎖してからのサークル活動の発展と3年連続会費納入100%を達成して	勝又 信嗣	大崎健康福祉友の会	172
2-1-10	福 島	公害の地であり、人間裁判の地でもある岡山から、福島原発公害を考える	工藤 史雄	浜通り医療生活協同組合	69
3-5-1	福 島	地域の小さな交通 ～渡利おでかけサポートの会～	秋葉 みち子	福島医療生協	101
5-2-3	福 島	フレイル予防としての太極拳教室の活動について	市川 進	郡山医療生活協同組合	147
7-3-9	福 島	応えたい、届けたい ～友の会活動を通しての地域とのつながり～	平山 のぞみ	社会福祉法人わたり福祉会はなネット友の会	210
3-5-3	群 馬	高齢者の通院手段の課題に対する地域連携と取り組みの拡充	中島 進	群馬中央医療生活協同組合	102
4-1-3	群 馬	病院の敷地内に地域の居場所づくり	田嶋 厚子	群馬中央医療生活協同組合	109
1-2-9	埼 玉	社会保障問題に触れ、若い世代の政治参加を広げる憲法集会	原田 清一郎	医療生協さいたま生活協同組合	63
4-2-6	埼 玉	誰もが自由に来られる場 HAPPY くまここの取組み	岸本 治憲	熊谷生協病院	117
5-1-2	埼 玉	笑顔あふれるポッチャ	大庭 文枝	医療生協さいたま生活協同組合県中地域県央地区	139
5-1-8	埼 玉	地域で広まる「健康ひろば」実践の紹介	菊池 明	医療生協さいたま生活協同組合県北地域利根北地区	142
5-2-4	埼 玉	いもっこ体操でフレイル予防と仲間増やし	柳沼 好子	医療生協さいたま 川越東支部	147
5-3-4	埼 玉	地域にひろげる健康チェックの取り組み (利根南地区鷲宮支部の取り組み)	足立 有司	医療生協さいたま	154
6-3-6	埼 玉	お手紙作戦で広がりづくり	平嶋 悟	医療生協さいたま かすかべ生協診療所	182
3-1-4	新 潟	「秋葉区食料生活支援の活動を通じて見えて来たもの一住みよいまちづくりのために今、必要とされるもの」	机 文明	新潟勤労者医療協会・下越病院	77
5-2-1	新 潟	地域在宅高齢者のフレイルの現状調査とフレイル予防の取り組み	古川 理志	新潟勤労者医療協会	146
7-1-7	山 梨	コロナ禍に負けない友の会活動を追求して……職員とともに取り組んだ仲間ふやし月間、目標を達成した経験	生松 みち子	甲府健康友の会	197
7-3-2	山 梨	小児リハビリからつながる 友の会活動と仲間づくり	伊東 仁香	石和共立病院	206
3-4-2	長 野	災害弱者といわれないために防災知識を深めよう	高橋 敦子	健康クラブ泉の会	96
4-1-1	長 野	月1回の「おしゃべりカフェ」は「元気の素」！ ～コロナ禍の中でもつづけたみんなが集まる企画の取り組み～	美斉津 陽子	中信健康友の会塩尻連絡会	108
5-3-2	長 野	東御市支部における、スーパーマーケットでのまちかど健康チェックについて	斉藤 茂彦	東信医療生活協同組合	153
6-3-4	栃 木	大学生とひろげる「わ」 一宇都宮東支部から元気を届ける	加藤 和夏	栃木保健医療生活協同組合	181
4-5-2	千 葉	来て、見て、楽しい！友の会デー	岩田 佳子、 鈴木 徳子	千葉健生病院健康友の会	133
5-1-3	千 葉	「オリジナル脳トレ遊びで笑顔満開！」友ちゃん体操	古澤 祐子	千葉健生病院健康友の会	140
1-2-5	東 京	戦争体験を語りつぐつどい ～19年間の歩み～	羽田野 美知子	東京保健生活協同組合	61
2-1-2	東 京	PFAS 汚染は「いのちと人権の問題」～共同組織ともに791人の血液検査の実践を通してわかったこと～	蓮池 安彦	社会医療法人社団健生会	65
2-1-3	東 京	有機フッ素化合物 (PFAS) 汚染から住民のいのちと健康を守る「立川市民の会」のとりのくみ	大橋 光雄、 巢内 君江、 井出 由美子、 佐々木 憲幸	三多摩健康友の会	66
2-2-1	東 京	日の出町の医療費無料化の現状と課題	折田 真知子	三多摩健康友の会 秋流支部	71
2-2-4	東 京	健康権としての歯科受診	金井 直樹	立川相互病院	72
2-2-6	東 京	10年目をむかえた、なんでも相談会の取り組み	名和 孝夫	東京ほくと医療生協 組織部	73
3-2-3	東 京	高齢化の進む大団地の一人暮らし高齢者の支え合い・助け合い活動の29年	松澤 亘代	健和友の会みさと健和団地診療所支部	83
3-2-6	東 京	会員同士の助けあい「送迎ボランティア」として見えてきたこと	村井 良一	八王子・たま健康友の会八王子支部	84
3-2-7	東 京	四ツ木診療所と連携し、よつぎサロンの利用を開始したTさんの事例	谷澤 雅子	葛飾健康友の会	85

演題番号	県連	演題名	発表者	所属共同組織名 又は事業所名	ページ
3-3-5	東 京	町会・商店会とのつながりを深め、地域ぐるみで医療の拠点を守る活動に	伊香 忠志	代々木健康友の会	91
3-3-8	東 京	足立区内で3つの高齢者サロンに取り組んだ経験	中村 和司	NPO 法人たんぼば会	92
4-4-2	東 京	歌うだけじゃない 「うた広場」	横山 直城	城南保健生活協同組合	126
4-4-8	東 京	地域の中のつながりと居場所づくりについて	森岡 糸子	江戸川健康友の会	129
5-1-9	東 京	健和友の会の健康づくり活動を中心とした地域活動について	星野 光子	健和友の会	143
5-1-10	東 京	職員と共に進める地域での健康づくり、社会保障拡充の取り組み	橋本 京子	東葛健康友の会	143
5-1-12	東 京	初めて取り組んだ友の会無料大腸がん検診の取り組みについて	石上 敦久	みさと健和病院	144
5-2-9	東 京	組合員の要求から生まれた 月1ウォーク「まち歩きの会」	星野 弘子	城南保健生活協同組合	150
5-3-1	東 京	病院・診療所のない地域で実行委員会を組織し、健康チェックに取り組む	石田 千恵子	中野・杉並健康友の会	153
5-4-8	東 京	血管年齢測定や自治体健診受診の勧め、介護予防のとりくみ	小栗 多美子	江東健康友の会	163
6-2-1	東 京	コロナ禍を乗り越えたサークル活動と新たなとりくみ	本間 玲子	足立健康友の会北千住支部	174
6-2-2	東 京	5年前2ヶ所だったサークルが、コロナ禍を経て10ヶ所に広がった私たちの取り組み	赤羽目 喜美子、 河村 和子、 佐藤 静香	三多摩健康友の会 昭島支部	174
6-3-3	東 京	仲間増やしを友の会と職員と力を合わせて目標の超過達成（月間目標、年間目標）	植木 紘二	中野・杉並健康友の会	181
6-4-10	東 京	地域との協働で誰ひとり取り残さないまちづくりを～診療所職員と組織部員を兼任した活動の2年間を振り返る～	宇田川 展子	西都保健生活協同組合	191
7-1-4	東 京	「職員と力をあわせ発展した20年余の地域活動」	中村 良平	八王子・たま健康友の会八王子西部支部	195
7-1-5	東 京	ゆたかなつながりをはぐくむフードバンク	香取 三恵子	東京保健生活協同組合	196
7-2-5	東 京	診療所の新築・移転、圏域の事業所と友の会による「圏域交流会」を力に「仲間ふやし」に成功している具体的な取り組み	井上 忠男	三多摩健康友の会、健生会	202
7-2-9	東 京	「健生会グループ立川圏域在宅医療介護3法人・健康友の会連携会議」の歩み：医療介護福祉の複合体の強みと共同組織との連携を活かした安心して住み続けられる街づくり。	有菌 聡	社会医療法人社団健生会	207
7-3-5	東 京	孤立死事例を通して	山脇 春香	社会医療法人社団健生会 けんせい歯科	208
7-3-7	東 京	マップ作りを通じた立川相互病院看護部との共同の取り組み	佐藤 まさ代	三多摩健康友の会 立川支部	209
1-1-9	神奈川	「大逆事件を学ぶ班の設立」	中村 直敏	神奈川北中央医療生活協同組合	57
3-1-3	神奈川	地域で活きる楽しい職員班会 ～フードパントリーへ形を変えて～	川本 修三	医療生協かながわ生活協同組合	77
3-5-12	神奈川	低山会班のとりくみ（組合員の増やし方伝授します）	阿内 正喜	医療生協かながわ生活協同組合	106
4-3-8	神奈川	「こどもたちが人間らしく成長するために絵本の楽しさを伝える場を地域に」	田揚 江里	よこはま健康友の会梶山支部	124
5-1-5	神奈川	他生協と取り組む、モルック&健康チェック	城谷 創一	川崎医療生活協同組合	141
5-4-9	神奈川	理事と協同で健康診断のお誘い電話かけ	荷見 正則	神奈川みなみ医療生協本部	164
4-1-5	富 山	「サロン梅の湯は心のオアシス」	浦本 恵美子	社会福祉法人とやま虹の会友の会	110
6-4-4	富 山	多世代がゆるやかにつながる・えがお夏祭り開催	石原 朝子	富山医療生活協同組合 山室支部	188
3-3-3	石 川	民医連の事業所のない地域での健康友の会運動	三浦 善吉	石川県健康友の会連合会能登中部ブロック	88
3-3-4	石 川	人間の尊厳に満ちたまちづくり～県営住宅に住む方々に寄り添って	木村 吉伸	石川県健康友の会連合会	90
3-4-4	石 川	1.1能登半島地震被災地の友の会と民医連の取り組み	佐渡 麗子	石川県健康友の会連合会	97
3-4-5	石 川	被災した会員を励まし安心して住み続けられるまちをともにつくる	山内 勝人	公益社団法人石川勤労者医療協会	98
3-4-6	石 川	「かんばろう内灘 KSNJ」を結成しての取り組み	角田 和嘉	石川県健康友の会連合会 金沢北ブロック	98
3-4-7	石 川	1.1能登半島地震被災地での取り組みと課題	稲元 イクヨ	石川県健康友の会連合会能登中部ブロック	99
4-1-6	石 川	サロンほっと 10年の取り組みのまとめ	西 博人	石川県健康友の会連合会	110
4-1-9	石 川	西ブロックえがお会館でのつどい、居場所のとりくみ	豊田 とよ子	石川県健康友の会連合会西ブロック	112
6-1-10	石 川	スマホ班会の取り組み	村中 湛子	石川県健康友の会連合会	171
6-3-9	石 川	「共同組織と民医連を学ぶ移動学習会」に取り組んで	氏田 都	石川勤労者医療協会	184
4-2-3	福 井	さまざまな世代の居場所づくりを目指して ～組合員ルーム「だん・だん」の取り組み～	清水 雅美	福井県医療生活協同組合	121
5-2-8	福 井	「いち・に・散歩会」で地域の歴史・文化に触れ合う健康ウォーク	根谷 恵美	福井県医療生活協同組合 丹南ブロック	149
4-4-9	岐 阜	地域のたまり場『ほっとはうす』11年のまとめ	大塚 和子	岐阜健康友の会	130
4-5-8	岐 阜	コロナ禍の「繋ぐ・繋がる」3年間の活動のまとめ	斎藤 恵津子	岐阜健康友の会	136
7-1-1	岐 阜	共同組織（岐阜健康友の会）と取り組んだ地域訪問行動の結果と今後の課題	早川 國弘	医療法人 岐阜勤労者医療協会 本部	194
7-1-9	岐 阜	高齢者施設つくる会の25年間のあゆみと活動報告	堀 誓光	高齢者施設をつくる会	198
7-2-6	岐 阜	新病院建設運動と健康友の会の役割	大塚 研二	岐阜健康友の会	202
7-2-7	岐 阜	地域にひらかれたみんなにやさしい病院	中尾 美絵	みどり病院	203

演題  
取り下げ

演題番号	県連	演題名	発表者	所属共同組織名 又は事業所名	ページ
3-3-9	愛知	《居場所・生きがい・支えあい》による〈まちづくり〉体験：サロン街「ニコニコ堂」	早川 雅澄	尾張健康友の会	93
3-5-5	愛知	まちなみチェック～誰もが安心して歩道を利用できるように～	山岸 専吾	尾張健康友の会	103
4-3-7	愛知	地域の子どもの居場所づくり～あすなろ（学習支援）を通して出会った子どもたち～	中村 博子	名南会健康友の会（医療法人名南会）	124
4-4-4	愛知	ポッチャ大会を通じた仲間づくり	中村 朝子	名南会健康友の会	127
4-5-3	愛知	名南会健康友の会 みどり支部の活動について	鈴木 晴子	名南会健康友の会	134
4-5-7	愛知	終の棲家 老人ホーム「ひなた」で友の会のみんなどと一緒に	水家 政博	名南会健康友の会	136
4-5-10	愛知	5年ぶりのサロン再開 私たちのやりがいに	鈴木 ゆかり	名南会健康友の会	137
6-1-1	愛知	楽しく健康づくりをするために支部をつくりました！	池山 三男	尾張健康友の会	167
3-1-1	三重	Win-Winの関係で なかまも増えて につこにこ がーこのパントリーー3年の軌跡	福岡 由紀	みえ医療福祉生活協同組合	76
6-3-1	三重	つながり。ひろがれ。みえ医療福祉生活協同組合	上田 奈美	みえ医療福祉生活協同組合	180
7-1-6	三重	うふふ交流会ー職員が組合活動に触れ、組合員さんが事業活動に触れる、楽しみながら互いを知る取り組みー	古野 真平	みえ医療福祉生協	196
3-5-2	滋賀	高齢者の移動手段確保へ	立入 善治	しが健康医療生活協同組合	101
3-5-11	滋賀	京阪電車石坂線のホームベンチ・スロープ・階段手すり設置を求める請願行動	高頭 功	膳所診療所	106
4-2-8	滋賀	歴史ある町で、人気の日本史講座始まる	池端 治恵子	しが健康友の会	118
4-5-1	滋賀	いつでも元気読者会「PPK（ピンピンコロリ）」	馬淵 麻衣子	ぜぜ健康友の会	133
1-1-6	京都	平和を守れの声を発信する友の会へ！毎月の宣伝行動や19行動に参加して	牧田 瑠美子	京都東健康友の会	55
1-2-1	京都	診療所30周年記念事業として、憲法九条石碑を共に建立したとくみ	稲次 豊	まいづる協立診療所	59
1-2-6	京都	「戦争では無く平和の準備を！」私たちの取り組み	行松 美津子	上京健康友の会	61
2-1-4	京都	宇治市におけるPFAS調査について	堂本 吉次	やましろ健康医療生活協同組合	66
3-3-12	京都	タワー・マンションから京都の景観を守る	加藤 政好	京都東健康友の会 左京ブロック 岡崎支部	94
3-5-10	京都	介護に関する聞き取り調査報告	山本 智之	丹後健康友の会	105
4-2-1	京都	男の「いいかげんな」料理教室 10年目を迎えて	渡守 伸次	吉祥院健康友の会	115
4-2-2	京都	男の料理教室の取り組み紹介	尾崎 武志	春日健康友の会	115
4-2-4	京都	居場所づくり（高齢者も子育て世代も…）	是恒 千鶴子	京都東健康友の会左京ブロック 大原支部	116
5-1-11	京都	京都・まんなか中京区でのコミュニティカフェを軸とした「友の会」づくり	柴 茂保	京都中・右京健康友の会	144
5-3-5	京都	健康相談会で、住相談も行います	久守 一敏	伏見健康友の会	154
6-1-4	京都	0から3へ 支部づくりが大躍進!?	甲田 賢太郎	京都東健康友の会山科ブロック大宅診療所	168
6-1-7	京都	友の会サークルが会員さん同士をつなぐ	尾浦 邦彦	伏見健康友の会	170
6-1-8	京都	アロマサークル活動	大槻 智子、川原 久美子	綾部健康友の会	170
6-1-12	京都	診療所がなくなっても、友の会活動は続いています！	吉田 貴代子	京都中・右京健康友の会（西京健康友の会）	172
6-4-11	京都	12健康友の会で共同利用する「No プログラム、無料クラウド会員システム」を稼働して3年の到達と課題	堀岡 真人、田中 秀行	公益社団法人京都保健会・NPO ほけんかい	192
7-1-2	京都	職員ととりくむ地域訪問活動	松本 淳子	京都東健康友の会洛北ブロック洛北健康友の会	194
2-1-1	大阪	大阪市西淀川区佃地域のPFASの取り組みについて	牧野 芳幸	西淀川・淀川健康友の会	65
3-2-4	大阪	支部活動を中心とした助け合い	野口 桂子	医療福祉生活協同組合おおさか	83
3-2-8	大阪	「家族の会 つなぐ」 結成までとこれから～	伊東 美紀	大阪きつがわ医療福祉生活協同組合訪問看護ステーションさくら通り	85
3-3-1	大阪	みんなで街づくりー公園ウォッチング（公園実態調査）のとりくみ	北山 良三	西淀川・淀川健康友の会	89
3-3-7	大阪	安全で安心して暮らせる綺麗なまちづくりを目指して。（ごみ拾いウォーキングの取り組み。）	南野 ウメ子	医療福祉生協おおさか 豊新・上新庄支部	92
3-4-3	大阪	手軽で簡単おいしい防災食について	田口 美奈子	医療福祉生協おおさか 本部組合員活動部	97
3-5-4	大阪	通院だけじゃない！ お買い物から墓参りまで・・・高齢者の外出の楽しさを支える「おでかけ助っ人隊」	城 世津子	健康友の会みみはら	102
4-1-8	大阪	たまり場：まちなかホットハウスでの地域交流	嶋田 早苗	医療福祉生協おおさか 東エリア 支部	111
4-1-12	大阪	たまり場「おびたすぎ」から広がるつながり	岸田 宗春	健康友の会あいかわ	113
4-2-7	大阪	みんなの居場所「だんだん」を作って	今井 佳代子	大阪みなみ医療福祉生活協同組合	118
4-3-1	大阪	子ども食堂を始めました	吉田 由美子	コープ診療所	121
4-3-2	大阪	地域の子どもの食堂の運営に友の会支部として参加して	西村 俊治	西淀川淀川健康友の会はっぴいひめじま支部	121
4-3-3	大阪	コロナ後の子ども食堂「ひまわり」	松山 和美	医療福祉生協おおさか コープおおさか病院地区	122
4-3-5	大阪	支部が子ども支援に取り組んでわかった「理想と現実のギャップ」	小倉 孝雄	健康友の会みみはら	123

演題番号	県連	演題名	発表者	所属共同組織名 又は事業所名	ページ
4-3-6	大阪	子どもたちが安心して通える無料塾をめざして	伊藤 孝	西淀川・淀川健康友の会 西淀うちの支部	123
4-4-5	大阪	このはな健康友の会「サークル活動や教室」の取り組み	山倉 智美	このはな健康友の会（淀協此花）	128
5-1-1	大阪	「楽しかったね！」と笑顔あふれた「のんびり運動会」	松本 日登美	南大阪医療生活協同組合	139
5-1-6	大阪	健康チャレンジでつながりと健康づくり	尾崎 亜理子	けいはん医療生活協同組合	141
5-2-2	大阪	共同組織と共に取り組んだ出前講座によるフレイル予防体操教室	北出 祥夫	健康友の会みみはら	147
5-2-7	大阪	年末年始に取り組んだウォーキングチャレンジの取り組み	田中 則兵衛	健康友の会みみはら	149
5-2-12	大阪	地域住民とグランドゴルフを楽しむ取り組み	勝田 久子	医療福祉生協おおさか 加納地区	151
5-3-9	大阪	このはな健康まつりの取り組み	大西 義広	このはな健康友の会（淀協此花）	157
5-3-10	大阪	健康まつり「プチ縁日」	池田 義文	淀川クリニック	157
5-4-1	大阪	8020運動・子どもと高齢者のお口の健康	樋口 義治	医療福祉生協おおさか 蒲生厚生診療所	160
5-4-5	大阪	あおぞら薬局の健康増進サポート活動！	齋藤 実希	一般社団法人大阪ファルマプラン	162
6-1-3	大阪	住んでいる地域に支部を	杉原 まつ子	大阪みなみ医療福祉生活協同組合	168
6-1-9	大阪	2支部共同サークル「絵のある畑」メリアガーデンサークル活動	速水 英子、 長井 佐智子	健康友の会みみはら	171
6-2-4	大阪	なかよしハウスと上田さんとの協働 2023年	堀 金光	医療福祉生協おおさか 支部センター なかよしハウス	175
6-3-2	大阪	支部結成から8年かけて、4課題の達成めざした活動。特に協同基金の積み立て参加者を増やしてきた活動について	古賀 光政	健康友の会みみはら	180
6-3-8	大阪	担い手づくりの取り組み	波多野 泰輝	大阪みなみ医療福祉生活協同組合 堺 北診療所	183
6-3-11	大阪	子育て世代への認知度アップと次世代へのバトンタッチへの礎づくりへの「たしま子ども夜店まつり」の取り組み	藤岡俊夫	医療福祉生活協同組合おおさか	185
6-4-8	大阪	医療生協解散から健康友の会へ	坪井 明人	健康友の会ふくしま	190
7-2-1	大阪	鳳クリニックの建て替えと支部で出来ること（コロナ禍を抜けて…）	江戸 道子	健康友の会みみはら	200
7-2-4	大阪	新診療所建て替え運動	前川 哲	はなぞの生協診療所	201
7-2-8	大阪	大阪・茨木診療所の建設運動に取り組んで（約2年間の足跡）	藤野 俊弘	茨木診療所	203
7-3-8	大阪	新たな公害病「PFAS」について、共同組織とのとりくみ	市川 健一	淀川勤労者厚生協会附属相川診療所・ 健康友の会あいかわ	209
7-3-10	大阪	豊中診療所70周年記念文化行事	東 哲也	医療福祉生活協同組合おおさか ほく せつ地区	210
3-3-2	兵庫	地域に支えられひろがり続ける「たんぼの家」の活動	宮田 妙子	神戸医療生協 長田北部支部	89
3-3-6	兵庫	北区支部の安心して暮らせるまちづくり・最終章	川崎 寿恵	神戸医療生活協同組合	91
3-3-10	兵庫	ゆかいな秋祭り in ぼんでん	辻本 直樹	尼崎医療生活協同組合	93
3-5-8	兵庫	市民の命と健康を守るために ― 芦屋保健所の統廃合計画 反対と子供医療費無料制度拡充のたたかい	濱本 鶴男	東神戸医療互助組合	104
4-2-10	兵庫	2023年はチャレンジイヤーに、2024年はさらなる飛躍の年に	前田 優香	宝塚医療生活協同組合	119
4-4-10	兵庫	戸ノ内組合員センターの役割	小野寺 ひとみ	尼崎医療生活協同組合	130
6-4-6	兵庫	組合員と職員の交流班会「料理研究会」	春木 圭介	たじま医療生活協同組合	189
7-2-3	兵庫	姫路医療生協グランプリ 強化月間杯を開催して	原 典子	姫路医療生活協同組合	201
1-1-3	奈良	「職員と共同した平和のとりくみについて」	米久 禮子	平和会健康友の会	54
1-1-4	奈良	法人・友の会がいっしょになって憲法9条まもる取り組みを	小田 正明	なら健康友の会	54
5-3-11	奈良	4年振りに再開した健康まつりの取り組み	林 健太	健生会友の会	158
6-2-6	奈良	定時定点の健康チェック	小川 和也、 山部 麗哉	健生会友の会	176
6-4-2	奈良	友の会会報を人と人のつながりを大切に紙面づくりに！	杉本 芳子	平和会健康友の会	187
7-3-6	奈良	事業所のない地域で居場所づくり、様々な職種の職員が講師 となって健康講座開催。	中嶋 潤二	健康まちづくり推進部	208
3-1-2	和歌山	地域でひろがる助け合いの活動とフードバンクの取り組みについて	中嶋 一雄	和歌山中央医療生活協同組合	76
2-2-3	鳥取	経営再建のとりくみ	福嶋 晴彦	米子医療生活協同組合	72
2-2-5	鳥取	食料無料市のとりくみ	田中 照久	米子診療所	73
4-4-7	鳥取	他団体と連携でたまり場づくり	田中 宏子	鳥取医療生活協同組合健康まちづくり 部	129
1-1-5	島根	憲法・平和を守る取り組みについて	村上 民男	出雲医療生活協同組合	55
1-2-4	島根	平和のパトンをつなぐ	井上 薫	松江保健生活協同組合	60
3-1-6	島根	フードバンクとつながって “未来（あした）へ”	佐渡 真理	松江保健生活協同組合	78
7-1-3	島根	地域と職員で取り組んだ「まめなか訪問」を振り返って	深津 孝雄、 山田 美信	ひかわ医療生活協同組合	195
1-2-2	岡山	日本国憲法第九条の碑建立に向けた取り組み	青木 弘人	倉敷医療生活協同組合	59
1-2-7	岡山	38年間続いている自治体と市民団体が共同で取り組む市民平和祭	児島 和則	津山医療生活協同組合	62
2-1-5	岡山	SDGs＝地域に拡がるへちまプロジェクトの取り組み	志賀 雅子	倉敷医療生活協同組合	67
2-1-6	岡山	「地域の団体と協働で作成した環境学習資料 ～共同組織・ 職員等の環境問題への啓発強化をめざして」	福田 憲一	倉敷医療生活協同組合	67

演題番号	県連	演題名	発表者	所属共同組織名 又は事業所名	ページ
2-1-7	岡山	環境問題に身近なところから取り組む「環境チャレンジ」は じめました	井上 睦美	倉敷医療生活協同組合	68
2-1-8	岡山	身近な場所から始める環境のと里克み「海ごみ回収」に参加 して	北村 慶子	倉敷医療生活協同組合	68
2-1-9	岡山	「さよなら原発倉敷金曜アクション」の取り組み	和泉 かよ子	倉敷医療生活協同組合	69
2-2-2	岡山	国民健康保険資格証明書解除に向けての取り組み ～倉敷市 との懇談会を開催して～	森田 千賀子	倉敷医療生活協同組合	71
2-2-8	岡山	外来における民医連看護の実際	三宅 和子	倉敷医療生活協同組合	74
3-1-10	岡山	地域で取り組む助け合い・支え合いの活動「ザワザワランチ」	木川 佳子	倉敷医療生活協同組合	80
3-2-2	岡山	ご近所のちょっと困ったの助け合い「ちどり助け愛たい」の 紹介	竹島 智子	倉敷医療生活協同組合	82
3-2-5	岡山	給食サービスボランティア活動について	猶原 眞弓	倉敷医療生活協同組合	84
3-2-9	岡山	利用者・利用者家族の思いを聞き、その人らしく生きることを 学ぶ	國塩 ゆり	岡山医療生活協同組合	86
3-2-11	岡山	地域で取り組む呼吸リハビリ ～公害健康被害予防事業とく らしき COPD ネットワーク～	藤原 園子	(公財)水島地域環境再生財団(みず しま財団)	87
3-3-11	岡山	住み慣れた地域で暮らし続けるために ～認知症の理解とつ ながり再構築を目指したカフェの取り組み～	加嶋 夏代、 森 いく子	岡山ひだまりの里病院/林友の会	94
3-5-6	岡山	精神障害者の医療費助成実現をめざして	頭師 裕貴	林友の会	103
4-1-2	岡山	居場所づくりのための支部主催のサロン活動「おしゃべりカ フェ」	池上 尚美	倉敷医療生活協同組合	108
4-1-11	岡山	地域に開かれた認知カフェ《虹のカフェ》 7年目を迎えて	緋田 美代子	岡山医療生活協同組合	113
4-2-9	岡山	『食べる』でつながるみんなの“わ”	重本 淳子、 安井 直美	岡山中央福祉会 中野けんせいえん	119
4-3-4	岡山	『水島子ども食堂ミソラ♪』の取り組み	浅間 智子	倉敷医療生活協同組合	122
4-4-11	岡山	「居場所」を開設し、地域のつながりを広げた支部の取り組 み	住寄 善志	倉敷医療生活協同組合	131
4-5-5	岡山	カラオケまつり成功の取り組み ～趣味を活かした楽しい友 の会活動～	日出 正一	岡山中央福祉会友の会	135
4-5-9	岡山	新たなつながりを生んだ作品展	溝口 初美	岡山医療生活協同組合	137
5-1-7	岡山	ヘルスチャレンジの小中学校への広がり	中村 富代	倉敷医療生活協同組合	142
5-3-3	岡山	地域での健康チェックの取り組み	岡 朋子	岡山医療生活協同組合	154
5-3-6	岡山	地域組合員を対象にしたスポット尿による塩分チェックチャ レンジの報告	垣内 春菜	倉敷医療生活協同組合	155
5-3-12	岡山	岡山医療生協と地域が繋がる場所作り～健康づくりセンター 大野辻の取り組み～	安延 京子	岡山医療生活協同組合	158
5-4-2	岡山	地域に広がるオーラルフレイル予防の取り組み	近藤 恵子	倉敷医療生活協同組合	160
5-4-4	岡山	地域で気軽に参加出来る運動施設(フィットネスジム、コム コム)の紹介	佐藤 貴子	岡山医療生活協同組合	161
5-4-6	岡山	健康づくり活動を通して生まれた組合員さんとの絆	岡部 圭佑	岡山医療生活協同組合	162
5-4-10	岡山	げんき応援隊養成講座の取り組み	片山 章子	倉敷医療生活協同組合	164
6-2-5	岡山	心を伝えたい 絵手紙	根本 和子	岡山中央福祉会 友の会	176
6-4-7	岡山	地域の団体と連携・協力に関する包括協定書を結び商品の開 発	久戸瀬 圭典	岡山医療生活協同組合	190
7-3-1	岡山	研修の中に当事者、家族との関わりを取り入れて	中川 俊彦	林道倫精神科神経科病院	206
7-3-4	岡山	患者の家から地域が見える ～回復期リハ棟の自宅訪問の 実績～	佐藤 雅昭	倉敷医療生活協同組合	207
1-2-8	広島	「平和夏のつどい」で被爆ピアノを通してヒロシマを考える	坂本 貴志	広島医療生協 平和・まちづくり委員 会	62
3-1-8	広島	食料日用品無料広場のと里克み	植村 敦子	本部・組織部	79
3-4-1	広島	田方支部防災カフェ班の活動～私たちにも出来る身近な防災 を提案!!～	山下 則江	広島中央保健生活協同組合	96
4-2-5	広島	「地域の茶の間」から「社会性のある居場所」としてのサロ ンを	小松 京子	広島中央保健生活協同組合	117
1-1-7	山口	医療生協 健文会の平和への取り組み	近藤 栄次郎	医療生活協同組合 健文会	56
3-1-9	山口	医療生協健文会 「何でも相談&食材支援」 ずーっと繋がる これからも繋がる	河野 由美子	医療生協健文会	80
6-1-2	山口	医療生協 健文会の平和への取り組み	山崎 郁代	医療生活協同組合 健文会	167
6-1-6	徳島	班づくりに取り組んで	安富 千恵子	徳島健康生活協同組合	169
6-2-10	徳島	那賀川支部の取り組み	河野 孝子	徳島健康生協 那賀川支部	178
4-4-3	香川	“miki カフェ” 素敵な健康づくりスタイル	佐藤 多恵子	香川医療生活協同組合	127
5-2-5	香川	フレイルサポーターの養成・フレイル測定会に取り組んで	赤松 光美	香川医療生活協同組合組合員活動部	148
6-2-8	香川	組合員を点から線へ、そして面への広がり～カフェを通じた つながり作り	高安 富男	香川医療生活協同組合	177
4-5-4	愛媛	支部の地域で安心してつながれる場「不用品交換市」	山本 伊勢美	愛媛医療生活協同組合	134
5-1-4	愛媛	けん玉&ポッチャで健康づくりとつながりづくり	足立 義忠	愛媛医療生活協同組合	140
5-4-12	愛媛	やりたいことをみんなで楽しくやってみようー行く場があり 出掛かける予定があるのが嬉しいんよー	佐々木 あゆみ	愛媛医療生活協同組合	165
6-2-7	愛媛	オレンジルーム設立から始まるつながり、づくり ～さあ、 みなごうらやむ居場所を一緒に作ろう!～	三宅 淳雄	愛媛医療生活協同組合	177
6-2-9	愛媛	地域の中からつながりを広げ、誰もが参加しやすい支部活動	浅田 玉恵	愛媛医療生活協同組合	178

演題番号	県連	演題名	発表者	所属共同組織名 又は事業所名	ページ
6-3-7	愛媛	支部活動を通じて、地域の人とつながり、健康の輪を広げよう！	村瀬 瑞恵	愛媛医療生活協同組合	183
6-3-10	愛媛	多世代参加の取組み 一浜っ子クラブ・ハロウィンナイト	山下 曙美	愛媛医療生活協同組合	184
6-3-12	愛媛	担い手交流会をとおしてステップアップを目指す	田所 真司	愛媛医療生活協同組合	185
6-4-5	愛媛	他団体との連携と計画的な支部企画の実践	茅原 千賀子	愛媛医療生活協同組合	189
3-1-7	福岡	やってよかった！食料支援	能美 聡子	北九州健康友の会	79
3-5-9	福岡	熱中症対策に関する自治体交渉 ～気候変動適応法の改定を受けて～	吉久 安則	北九州健康友の会 本部	105
4-5-6	福岡	ふくおか健康友の会城南支部の活動	大賀 サワ子	福岡医療団 ふくおか健康友の会	135
5-2-10	福岡	コロナ禍での活動 ～健康づくり委員会でのウォーキング企画などの取り組み～	古川 咲子	福岡医療団 ふくおか健康友の会	150
5-4-11	福岡	行政と連携した友の会班会での『もの忘れ予防・相談検診』の取り組み	三宅 浄継	社会医療法人 親仁会	165
6-3-5	福岡	スクエアステップサークルを通じた新たな繋がり作り	米村 理恵	社会医療法人親仁会 本部	182
6-4-9	福岡	まちづくり企画室 ～地域との関わり（初年度）～	松尾 俊宏	千鳥橋病院	191
7-1-10	福岡	北九州市道路サポーターに登録して	明石 成喜	北九州健康友の会	198
5-2-6	佐賀	春の健康ウォーキング	田中 浩平	本部	148
6-2-3	佐賀	共同組織活動 再起の取り組み	児玉 拓也	本部	175
4-1-7	長崎	いこいの家に行こい	北原 辰巳	させば健康友の会	111
5-3-8	長崎	「いきいき健康フェスタ」に取り組んで	森川 恵美子	長崎県健康友の会連絡会	156
1-2-3	熊本	くすのき憲法九条記念碑建立実行委員会 記念碑建立の取り組み	渡邊 孝宏	くわみず病院附属くすのきクリニック	60
3-5-7	熊本	補聴器購入に自治体独自の補助制度を求める「熊本みみの会」の取り組みについて	井上 晋	くまもと健康友の会	104
7-2-2	熊本	職員、友の会みんなでリニューアルを成功させよう！	荒川 真美	水俣協立病院	200
1-1-8	鹿児島	平和文集の発刊について	池田 英子	鹿児島医療生活協同組合	56
5-4-3	鹿児島	『はみがきサポーター養成講座』健康な身体は歯から！	神野 玲子	鹿児島医療生活協同組合	161
1-1-1	沖縄	「日米一体化で進む南西諸島ミサイル基地配備」	上里 清美	沖縄医療生活協同組合	53
1-1-2	沖縄	うるま市における「東山ゴルフ場跡地における自衛隊訓練場建設阻止の闘い」	伊波 宏俊	沖縄医療生活協同組合／うるまブロック・石川支部	53
5-3-7	沖縄	支部での健康まつり	大城 郁男	沖縄医療生活協 伊良波支部	156
7-1-8	沖縄	沖縄協同病院 組織活動委員会の活動報告	玉城 義也	沖縄協同病院	197

**第1分科会 第1会場**  
**「地域に広がる憲法9条・**  
**平和を守るとりくみ」**

**岡山国際交流センター B1F レセプションホール**

演題番号 1-1-1

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
沖縄	沖縄医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ウエザト キヨミ 上里 清美	運営委員、班長	第1分科会

発表テーマ
「日米一体化で進む南西諸島ミサイル基地配備」

内容（発言要旨）

「台湾有事は日本の有事」だと政府は言う。もし中国が台湾を攻撃するような事態が起きれば、中国に対し武力行使も辞さないと言ましい。宮古島、石垣島、与那国島に陸自ミサイル基地を配備した。宮古島にはミサイル車両、最新鋭レーダー、弾薬庫、射撃訓練所が配備され、今年度に電子戦部隊を配備する予定だ。2015年宮古島への陸自配備が打診された時、住民に「弾薬は置かない」「ヘリは飛ばさない」と説明していた。南西諸島は、防衛の空白地帯で中国が攻めてくるかも知れないと住民を煽り、「基地があれば攻撃の対象になる」と危惧する住民に「基地があれば抑止になって攻撃してこないで安心」と地域住民に説明した。反対する住民の声を無視して2017年に工事は始まり2019年に宮古島駐屯地開設。開設式典では、造らないと約束した弾薬庫が置かれ弾薬が配備されていることが判明。2020年には保良訓練所が開設。集落から200m程しか離れておらず弾薬庫2棟が置かれ、現在1棟を建設中である。集落住民は「弾薬を抱いては眠れない」と毎日抗議のスタンディングを行なっている。

中国を牽制するアメリカの戦略により、日本は自衛隊をアメリカ軍指揮下に置き、一体となって戦う訓練を行っている。米軍と自衛隊が一体に訓練しているのは、「離島奪還作戦」である。一旦敵に島を占領させた後に、海と空からミサイルをぶち込んで敵を殲滅させ、海岸から水陸両用車で上陸し、島を奪還するというとんでもない訓練を行なっている。

沖縄戦の教訓は「軍隊は住民を守らない」「基地は攻撃の対象」「命こそ宝」である。憲法九条を守り「紛争の解決は話し合い、外交で解決する」ための努力を強めて欲しい。私たちは、戦争を許す政治を決して許さず、憲法九条を守る政治家を選ぶ一人一人になろう！

所属している組織の概要	
沖縄医療生活協同組合は約9万8千名の組合員、地域に44の支部があり、みやこ支部運営委員として活動。	
TEL 090-7982-5878	メール kiyomiuezato@gmail.com

演題番号 1-1-2

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
沖縄	沖縄医療生活協同組合／うるまブロック・石川支部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
イハ ヒロシ 伊波 宏俊	副支部長・会計	第1分科会

発表テーマ
うるま市における「東山ゴルフ場跡地における自衛隊訓練場建設阻止の闘い」

内容（発言要旨）

昨年12月、防衛省は突然新聞紙上で、うるま市石川の東山にある東山ゴルフ場跡地に陸自訓練場建設を発表しました。

事前に地域住民に何の説明もせずです。

地元旭区自治会は急遽自治会役員会を開き全会一致で反対決議を行い、同時に石川地域自治会長連絡協議会にも共闘の申し入れ、地域としても絶対反対で一致しました。

この闘いは、旭区在住のすべての住民が絶対反対で一致しました。理由は同訓練場が住民の居住地とあまりにも隣接しているうえに、お隣には沖縄県少年の家が金網のフェンス越しにあるからです。

市民の会の役員には元自民県会議員や元石川市議会議員の全員、旧石川市長までが名を連ねたのです。

石川地域のオール石川の闘いはオールうるま市全域へと広がり、その後オール沖縄県議会の全会一致決議に発展したのです。

今政府が進めている対中国を仮想敵国する政策は、実態が国民に知れ渡ると頓挫することを示しているのではないのでしょうか。

所属している組織の概要	
活動地域は、沖縄県うるま市。活動地域の人口は約126,000人。所属する共同組織の人数は98,446人。	
TEL 090-7459-1124	メール

演題番号 1-1-3

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
奈良	平和会健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ヨネヒサ 米久 レイコ 禮子	吉田病院支部 支部長	第1分科会

発表テーマ
「職員と共同した平和のとりくみについて」

内容（発言要旨）

平和会では、健康友の会と職員の共同で平和活動にとりくんでいる。駅前署名宣伝や外来待合友の会コーナーなどで来院者への訴え、機関紙友の会だよりへ署名の訴え、法人ニュースに友の会会員から職員に向けたメッセージ「平和徒然草」の連載など、憲法改悪を許さないための活動を毎月継続してきた。

昨年には、コロナ禍で中止していた「平和のつどい」が4年ぶりに吉田病院で開催された。「つどい」では、新人職員の原水爆禁止世界大会報告をはじめ、平和コンサートや紙芝居、友の会サークルによる作品展示、広島の高校生による被爆体験を聞き取った原爆の絵の展示、映画「ひろしま」上映会など、どれも秀逸な平和へのメッセージであった。職員と友の会の共同による日常の平和活動の成果が形となって、「平和の尊さ」と「平和を守る」勇気が参加者全員の中にうまれた。

私たちはこうした経験を活かし、さらに活動の幅を広げていきたい。

所属している組織の概要	
奈良県奈良市。活動地域の人口は約35万人。所属する共同組織の人数は4800人。	
TEL 090-8365-7704	メール soshiki@heiwakai.or.jp

演題番号 1-1-4

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
奈良	なら健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
オダ 小田 マサアキ 正明	副会長	第1分科会

発表テーマ
法人・友の会がいっしょになって憲法9条まもる取り組みを

内容（発言要旨）

なら健康友の会は医療法人岡谷会・奈良ヘルスケアサービスとともに憲法9条守る取り組みを行っています。毎月1回 JR 奈良駅前前で合同で宣伝行動を行い、職員と友の会役員で大体13名ほどでにぎやかに宣伝を行っています。また、おかたに病院の待合や、診療所の待合では支部の役員さんが中心に職員と一緒に署名のお願いを行っています。署名は「憲法改悪を許さない全国署名」を中心としながらも、昨年末からは「現行の保険証を残してください」署名も一緒に取り組んでいます。岡谷会の「改憲許さない推進本部会議」には職員だけでなく、なら健康友の会の役員から2名が委員で毎回の会議に参加しています。そしてなら健康友の会幹事会で会議報告を行っています。5/1現在で憲法署名は岡谷会で15000筆目標に対して3371筆（22.5%）と、まだまだの到達です。これからも引き続き月1回の駅前宣伝、病院、診療所待合での署名行動を行っていきます。

所属している組織の概要	
なら健康友の会は、奈良市東部と大和郡山市に7つの支部があり、会員総世帯数は約16000世帯です。	
TEL 0742-24-7322	メール nakajimajun@okatanikai.jp

演題番号 1-1-5

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
鳥根	出雲医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ムラカミ 村上 タミオ 民男	社保・平和・まちづくり 委員会委員長	第1分科会

発表テーマ
憲法・平和を守る取り組みについて

内容（発言要旨）

①憲法を守る活動については、日本国憲法そのものを学び、知ることを重点に、学習と合わせ憲法改悪を許さない署名活動などに取り組んできました。憲法の学習会は2017年には落語家でもある飯田美弥子弁護士、2018年には琉球新報政治部長の島陽子さん、2020年には日弁連の椋大樹弁護士を講師に学習講演会を200人～300人規模で成功させてきました（17年、18年は斐川医療生協と共催）。コロナ禍にあって4年ほどできませんでしたが、ようやく2024年は4月13日に「明日の自由を守る若手弁護士の会」から橋澤加世弁護士を講師に100人の市民、組合員の参加で開催しました。委員会では大きな規模の学習と共に支部などに出向いての委員会のメンバーが自分の思いを語る小規模な学習会も大事にしようと話し合っています。

②平和を守る活動は、以前は原水爆禁止世界大会への参加、平和行進の取り組みが中心でしたが、今それと合わせて出雲市に残る戦争遺跡、旧日本海軍「大社基地」群などの保存、その存在を残し戦争の悲惨さ、平和の大切さを訴える取り組みもあわせて行っています。

所属している組織の概要	
活動地域は鳥根県出雲市を中心にした地域。出雲医療生協の組合員は19支部約14,800人(2024年3月末)	
TEL 090-7978-1946	メール t-murakami@my.izumo-net.ne.jp

演題番号 1-1-6

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
京都	京都東健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
マキタ 牧田 ルミ子 瑠美子	東山ブロック 会長	第1分科会

発表テーマ
平和を守れの声を発信する友の会へ！毎月の宣伝行動や19行動に参加して

内容（発言要旨）

安倍元首相の国葬に怒りの声をあげた、役員が横断幕を作成し、職員も一緒に憲法違反の国葬反対と声をあげ、宣伝行動をしたことがきっかけで、憲法守れ、大軍拡、安保3文書反対、ガザ攻撃やめろ!!などの横断幕をつくり、毎月、役員会のあとで、地域の9条の会と合同で宣伝を続けています。

毎月の19行動や、憲法集会にも参加し、横断幕は注目をあびています。

これからも、協力・共同で平和を守れ、憲法を守れの声を発信していきます。

所属している組織の概要	
京都市東山区、人口約35000人 友の会1100人 5支部	
TEL 090-4649-7564	メール makita.hiroshi@rouge.plala.or.jp

演題番号 1-1-7

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
山口	医療生活協同組合 健文会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
コソドウ 近藤 エイジロウ 栄次郎	理事	第1分科会

発表テーマ	
医療生協 健文会の平和への取り組み	

内容（発言要旨）

2023年度7月にフィールドワークとして「長生炭鉱水非常の見学、宇部大空襲を学ぶ」を開催。地域組合員と職員が一緒に行動できた。長生炭鉱とは戦時中、多くの朝鮮人労働者が送り込まれた場所でした。1942年に水没事故が起き、日本人を含む183名が犠牲になり、いまだに海の底に眠っています。炭鉱の遺跡を初めて見た若い職員からは「じぶんの住む地域でこのような事が起きていたとは知らなかった。これは忘れてはいけないこと」などの感想があった。このフィールドワークを通じて同10月に「平和フェスタ」を開催しました。幅広い世代に参加してもらうために、午前中はアニメ映画「はだしのゲン」を上映。これには親子連れがたくさん参加してくれました。親世代は観たことがあるこの映画を、ぜひ子の世代に繋げたいとの思いで連れてきてくれました。午後は瀨瀬 厚先生による「進みゆく日本の新たな戦前」をテーマに講演をして頂きました。ウクライナ情勢も交えながらとても分かり易い講演内容でした。延べ263名の参加につながりました。こうした取り組みをしながら、地域ではウクライナ、ガザ募金を続けており、12月には病院前で大々的なガザ侵攻反対のアピール集会を開くことができました。平和を守るための活動は少しずつですが、着実に幅広い世代に広がっています。

所属している組織の概要	
活動拠点は山口県宇部市宇部協立病院。活動地域は宇部市、山陽小野田市、下関市、山口市、美祿市、防府市となり、診療所2か所、歯科診療所3か所、介護事業所、訪問STなど9か所を有している。組合員18,904名 出資金5億8596万円	
TEL 0836-34-2510	メール sosiki_keubun@yahoo.co.jp

演題番号 1-1-8

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
鹿児島	鹿児島医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
イケダ ヒデコ 池田 英子	霧島始良ブロック 担当理事	第1分科会

発表テーマ	
平和文集の発刊について	

内容（発言要旨）

「平和文集」とは、鹿児島医療生協が、『二度と戦争は起こしてはならない』という想いを語り継ぐために1990年より毎年まちづくり委員会が中心になり、現在までに39号まで発刊しております。平和文集の構成は、戦争体験談・原水爆禁止世界の感想・各地域での親子平和企画や平和学習会の報告・戦跡紹介になっております。親子平和企画や平和学習会は各地域で開催しており、2023年度は親子平和企画を17ヶ所、平和学習会を8ヶ所で開催し、全体で852名（大人288名、子ども564名）の参加がありました。霧島始良ブロックでは、毎年地域の児童クラブで戦争や平和に関するDVDの上映や紙芝居の読み聞かせを行っております。2023年度は親子平和企画を5ヶ所、平和学習会を1ヶ所で開催し大人31名、子ども162名の参加となり、子どもたちからは平和企画の内容に関する感想をたくさんいただきました。戦争の悲惨さや平和の尊さを地域の子どもたちや若い世代に語り継いでいくために今後も取り組んでいきたいと思っております。

所属している組織の概要	
鹿児島県北部地域で構成する霧島始良ブロック	
TEL 099-260-3532	メール sosiki@kiseikyo.or.jp

演題番号 1-1-9

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
神奈川	神奈川北中央医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ナカムラ ナオトシ 中村 直敏	組織部	第1分科会

発表テーマ
「大逆事件を学ぶ班の設立」

### 内容（発言要旨）

「大逆事件」は明治の末に起こった社会主義者への弾圧事件です。思想家や宗教家そしてジャーナリストなど24名の逮捕者のうち12名をテロリストとして処刑するに至りました。これ以降、翼賛的な思想に日本が傾くきっかけともなります。その犠牲者の一人の僧侶「内山愚童」の血縁者が地域にご存命であることが9条の会をつうじてわかりました。また、それをきっかけに医療生協にも加入いただきました。その方を含めこの問題を深く知ろうと相模原南部支部のメンバー5名で「大逆事件を学ぶ班」が立ち上がりました。健康づくりや趣味でつながる班は今までにありましたが、学習や研究をおこなう班は新しい班の形と言えます。愚童の月命日に班会を開催することや、愚童ゆかりの地を訪れるなどの普段の活動の報告をいたします。

所属している組織の概要	
組合数15,328人（2024年3月末現在） さがみ生協眼科・内科 眼科中心のクリニック 1 日平均120人程度	
TEL 427482261	メール hokuou01@hokuou-iryuu.or.jp

**第1分科会 第2会場**  
**「地域に広がる憲法9条・**  
**平和を守るとりくみ」**

**岡山国際交流センター 3F 研修室**

演題番号 1-2-1

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
京都	まいづる協立診療所	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
イナツキ ヌツカ 稲次 豊	舞鶴健康友の会 事務局長	第1分科会

発表テーマ
診療所30周年記念事業として、憲法九条石碑を共に建立したとりくみ

内容（発言要旨）

2022年10月に、まいづる協立診療所は開設30周年を迎えた。診療所からは、30周年記念事業をとりくみにあたっては「かつてない憲法の危機という認識のもと、平和憲法を守り抜くことを今期最大の課題とし、組織をあげて全力でとりくむ」との全日本民医連方針に沿った内容にしたい。一つは「憲法九条の碑を建てる」こと、二つ目には「松元ヒロさんのライブ」を行いたいとの提案であった。舞鶴健康友の会では、三役会議、世話人会（役員会）で特に異議はなく、共に成功させる立場でとりくむことを確認。2022年6月に開催した定期総会でも確認され、さっそく寄付金集めにとりくんだ。寄付金は7～10月までで目標とした50万円を超え、最終的には134人から62万円のご協力をいただいた。11月23日にまだコロナ禍であったが、「松元ヒロソロライブ」を150人の参加で成功させ、11月29日には九条石碑のお披露目を行うことができた。九条石碑の建立は地元新聞に写真付きで記事にいただいた。そして、全日本民医連70周年記念事業の一つにもなり全国に広がりつつある。

所属している組織の概要	
活動地域は京都府舞鶴市。活動地域の人口は約76,000人。所属する共同組織の人数は約1,000人。舞鶴市には日本海側唯一の海上自衛隊の基地があり、近年その強化が図られている。	
TEL 0773-76-7883	メール maishin@mocha.ocn.ne.jp

演題番号 1-2-2

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	倉敷医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
アオキ ヒロト 青木 弘人	玉島協同病院 事務長	第1分科会

発表テーマ
日本国憲法第九条の碑建立に向けた取り組み

内容（発言要旨）

2023年に倉敷医療生活協同組合は創立70周年を迎え、記念行事として玉島・浅口ブロックの組合員とともに、実行員会を立ち上げ、病院敷地内に日本国憲法第九条の碑を建立することにした。石碑設置に係る費用150万円を碑の建立に賛同いただける方に、1口500円を上限口数を設けず、組合員のみならず、幅広くより多くの方に呼びかけ、現在取り組みを進めている最中です。4月末時点で120万円を超える賛同金が集まっています。2月に基礎工事を行い、全日本民医連の九条の碑助成金も申請しています。5月中旬には石碑が仕上がり設置工事を行い、6月2日（日）に除幕式を予定しています。昨今の世界情勢や国内の戦争をする国づくりへの動きに対し、恒久平和を謳った九条の碑を建立し、地域の平和活動の拠点として活用していく予定です。集会当日には建立後の取り組みも含め、報告したいと考えています。

所属している組織の概要	
岡山県倉敷市に立地するケアミックスの108床の病院。2014年12月に現在の場所に移転し、透析医療も開始。	
TEL 086-523-1234	メール jimutyo@tamakyo.com

演題番号 1-2-3

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
熊本	くすみず病院附属くすのきクリニック	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ワタナベ タカヒロ 渡邊 孝宏	北部健康友の会事務局	第1分科会

発表テーマ
くすのき憲法九条記念碑建立実行委員会 記念碑建立の取り組み

内容（発言要旨）

民医連新聞に京都まいつる協立診療所の記事が掲載され、全日本民医連より70周年記念事業の取り組みの呼びかけがなされた昨年5月からくすのきクリニック・くすの木薬局の職員、北部健康友の会運営委員で構成される「くすのき憲法九条建立実行委員会」で取り組み、今年3月27日くすのきクリニックの花壇に「憲法九条記念碑」が完成しました。4月17日の完成式では、社会医療法人芳和会の積理事長、北部健康友の会宮川会長、新旧院長の挨拶を頂き、この世の中、この地域を平和にしたいという皆さんの願いが一つになったような雰囲気の中、松本久先生作詞・作曲「Peace 平和を編む」をオカリナサークル演奏とともに合唱しました。昨年秋より寄付を募り、横幅120cm高さ125cm、約70万円の記念碑を建立することができました。くまもと九条の会の方を含む友の会関係の方のべ69名と職員のべ26名の方に寄付のご協力をいただき、記念碑建立を実現することができました。

所属している組織の概要	
活動地域は、熊本県熊本市。活動地域の人口は約73万人。北部健康友の会の人数は約2,000人。	
TEL 096-339-0187	メール kusu.jimutyou@kusunokclinic.or.jp

演題番号 1-2-4

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
鳥根	松江保健生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
イノウエ 薫 井上 薫	まちづくり委員会(理事)	第1分科会

発表テーマ
平和のバトンをつなぐ

内容（発言要旨）

松江保健生協は4つの他団体と共同で実行委員会を構成し、平和を守る取り組みとして「戦争体験を語り継ぐ集い」を毎年開催しています。この集いは1988年の開催を第1回として今年の12月で36回目の開催になります。再び戦争を起こさないために、戦争体験とその教訓を正しく真実として語り継ぐことを目的として開催してきました。戦争に巻き込まれた方々の体験談を朗読劇やディスカッションなどを通じて広く伝える活動をしてきました。ウクライナやパレスチナなどで戦闘が激化し、平和活動の継承が喫緊とされている現在、新しい世代へ平和のバトンをつないでいくことの大切さを伝えていきます。本日は昨年行われた「第35回戦争体験を語り継ぐ集い」について主にお伝えします。

所属している組織の概要	
活動地域：鳥根県松江市、活動地域の人口：約203,000人、所属する共同組織の人数：32683人（3月末現在）	
TEL 0852-27-3774	メール sosiki@aioros.ocn.ne.jp

演題番号 1-2-5

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
東京	東京保健生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ハタノミチコ 羽田野美知子	学園通り支部 副支部長 柿の木ハウス代表	第1分科会

発表テーマ
戦争体験を語りつぐつどい ～19年間の歩み～

内容（発言要旨）

学園通り支部では、2005年支部発足以来、戦争体験を語る会を毎年開催し、今年で20年となる。きっかけは、ささやかな戦争体験を持つ組合員の“戦争は二度とごめん”という思いであったが、地域で健康に住み続ける為には“平和あってこそ”の理念で継続してきた。戦争を知らない若い世代にも伝えたいと願ってきた。

第1回18名の参加で始まった集いは、第15回180名、第18回142名と大きく発展してきた。他支部や他団体にも呼びかけ、当日参加できない人や子ども達にも事前の取り組みでタペストリー作成に参加してもらった。地元に住み、活躍されている有名人のパワーを十分に活かさせてもらい、ちばてつやさん、高畑勲さん、96歳になられた暉峻淑子さんらをお迎えし、あふれる感動を共有してきた。コロナ禍で開催できなかった年は、支部だよりへの投稿があり亡くなられたパートナーへの短歌を紹介してくれた。コロナ禍後の2年間は「平和と音楽のつどい」として開催し、音楽の持つ力で、より深い一体感を感じられる場になっている。

“戦争は二度と繰り返させてはならない”と参加者一同の強い思いを共有出来る場となっている。毎年確実に取り組み、成功体験を共有することが継続のエネルギーになっている。20年となる今年は“中国残留虎児”の方のお話を聞こうと準備を進めている。若い層への参加を呼びかけたい。

所属している組織の概要	
東京保健生活協同組合の概要(2024年3月31日時点) 組合員数：45,470人 出資金総額：19億円 協議会数：6（文京区・練馬区・豊島区・新宿区・台東区・中央区） 班会数：156班 開催数：3,346回	
TEL 090-9205-3051	メール hamichiko2005.10.15@gmail.com

演題番号 1-2-6

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
京都	上京健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ユキマツ 行松	ミヅコ 美津子	上京健康友の会 常任役員
		第1分科会

発表テーマ
「戦争では無く平和の準備を！」私たちの取り組み

内容（発言要旨）

上京健康友の会は結成46年、西陣のど真ん中に位置しています。コロナ禍で活動内容も大きく制限されていますが、この間の重点課題として取り組んでいる平和活動を報告したいと思います。一つ目は、ロシアがウクライナ侵攻を開始した2022年の2月から取り組んでいる、戦争反対のアピール行動です。毎月定例日に、診療所前でマイク宣伝や「軍拡か社会保障か」のシール投票や署名活動もあわせておこなっています。2つ目は、8月の平和の七夕まつりです。平和の波行動として、広島・長崎の原爆投下パネル展示、平和学習会、平和の鐘つき、笹に平和のメッセージの七夕飾りも地域の人々と実行委員会形式で企画しています。3つ目は「西陣空襲の地を訪ねて」と題して西陣の町家・古武宅での学習会と地域ウォッチングです。この間の取り組みを通じて、私たちは改めて、憲法9条を生かした平和を守ることの大切さを実感しています。今回、具体的な取り組みを通して平和を守るとはどういうことなのか、皆さんと一緒に考えたいと思います。

所属している組織の概要	
京都府京都市上京区。活動地域の人口は、上京区8万3千人・北区11万5千人合わせて、約20万人。所属する共同組織の人数は約4千600人。	
TEL 075-432-1411	メール soshiki01@kamigyohp.org

演題番号 1-2-7

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	津山医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
コジマ カズノリ 児島 和則	理事 社保委員	第1分科会

発表テーマ
38年間続けている自治体と市民団体が共同で取り組む市民平和祭

内容（発言要旨）

◎津山市では毎年8月に市と市民団体が共同で市民平和祭を行っています。

◎実行委員会の構成は市民団体側は、被爆者の会・連合系傘下の労組・地域原水協所属の団体。市側は総務課と教育委員会から1人ずつ実行委員が参加します。5月から10月まで月1回の会議で準備します。

◎活動内容は、パネル展、子供向け映画会、親子平和バスツアー、FM放送で高校生の番組で被爆二世の方との対談をしています。

初日では、オープニングセレモニーが市役所ホールで行われ、市長・教育長・議会議長が参加。終了後、市長室で実行委員会との要望・懇談会があります。

◎費用70万円は市の補助金です。宣伝は市の広報、FM放送での宣伝、市内の小中学校の全生徒にチラシが配られます。

◎平和祭のきっかけは、1985年の「非核兵器平和都市宣言」の制定で、その後ほぼ毎年開催されています。

◎今後の課題としては実行委員会の高齢化です。特に柱となる被爆者の会や被爆二世の会、一部の市民団体の高齢化があります。

なお、高校生のFM番組での参加は2年前から始まりました。

所属している組織の概要	
活動地域：岡山県の県北部、津山市等3市7町村 人口 約207,000人 共同組織 4,800人	
TEL 080-5757-6181	メール k_kojima417@yahoo.co.jp

演題番号 1-2-8

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
広島	広島医療生協 平和・まちづくり委員会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
サカモト タカシ 坂本 貴志		第1分科会

発表テーマ
「平和夏のつどい」で被爆ピアノを通してヒロシマを考える

内容（発言要旨）

広島医療生協では、毎年6月に平和夏のつどい、12月に平和冬のつどいを開催し、地域組合員と職員に平和について考えてもらっている。

2024年の平和夏のつどいでは、矢川ピアノ工房さんに協力いただき、医療生協内のホールで被爆ピアノの演奏会を実施した。被爆ピアノとは、原爆投下時1945年8月6日広島、8月9日長崎で爆心地より約3km以内で原爆の爆風、熱線、放射能等の被害を受けたピアノの事をいう。今回は、被爆ピアノ1台を医療生協内のホールに搬入し、第一部として法人内の保育園児を対象に被爆ピアノとふれあう時間を設けた。また、第二部として、地域組合員、職員を対象に矢川ピアノ工房さんの活動紹介、被爆ピアノを使用した絵本の朗読、演奏会、平和を願う歌の合唱などを行った。

普段、あまりふれあうことの無い被爆ピアノを通して、園児、地域組合員、職員にとっては、改めて戦争、原爆の悲惨さ、平和の尊さを考える貴重な時間となった。一方で、依然として岸田首相は平和憲法改悪の意欲を示しており、広島医療生協としては平和憲法を守り、広く平和の尊さを訴える活動を続けていきたい。

所属している組織の概要	
活動地域は、広島県広島市安佐南区・安佐北区、東広島、県北地域。所属する共同組織の人数は約4万1千人。	
TEL 082-879-8124	メール kenmati@hiroshimairyo.or.jp

演題番号 1-2-9

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
埼玉	医療生協さいたま生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ハラダ セイイチロウ 原田 清一郎	秩父地区 まちづくり コーディネーター	第1分科会

<b>発表テーマ</b>
社会保障問題に触れ、若い世代の政治参加を広げる憲法集会

内容（発言要旨）

所沢市内では市内の団体が集い、「憲法集会」を実施していた。しかし例年若い世代の参加が少ない状態であった。

そこで、2024年度は若い世代・働く世代の参加を広げるため市内の各労働組合へ声がかかった。

その中に、以前より自治体キャラバンなどを通じて地域社保協の会議に積極的に参加していた私も参加の依頼が来た。

6月の開催に向け2月より例会に参加し、「若い世代・働く世代の声を聞き地域で考える」をテーマに各労働組合へ参加を呼びかけてきた内容と実際の若い世代の参加などについて発表する。

<b>所属している組織の概要</b>	
活動地域は埼玉県全域で組合員は約24万人。担当地域は埼玉県西部部の所沢市（人口34万人強）で組合員約12,000人。	
TEL 070-2154-7359	メール s-harada@mcp-saitama.or.jp

## 第2分科会 第1会場

「いのちと人権をまもり、環境・  
福祉を向上させるとりくみ」

NPD 貸会議室 岡山高島屋 フロア A

演題番号 2-1-1

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	西淀川・淀川健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
マキノ 牧野 芳幸	佃支部事務局長	第2分科会

発表テーマ
大阪市西淀川区佃地域のPFASの取り組みについて

内容（発言要旨）

佃地域は、左門渡川と神崎川の間にある中州的な街です。古くは江戸時代に河口の特性を生かし、佃煮を作ってそれが徳川家に好まれ、東京の佃島に職人を召し上げられたと言うエピソードを持つ地域です。しかし、現在はその上流には化学工場が立ち並びその中にはあの悪名高きダイキン工業のPFAS工場があります。また、公害の町西淀川の片鱗を残す工場も減ったと言えども数多く残っています。大きなトラックも往来しています。以前には泡消火剤の工場もあったようです。そんな中、淀川勤労者厚生協会の提起を受け、西淀川区佃支部でも10人のPFAS採血検査を組織しようと世話人会で決めました。まずは、PFASの学習会を開催しました。淀協からは一支部10人程度を組織するという提起でしたので12人を集めました。講師は淀川勤労者厚生協会役員です。その後採血を一番近い千北診療所で参加者全員が採血を行いました。ところがその殆どの方が20ng/Lを超えました。全員の結果が出た時点でもう一度学習会を開催しました。

所属している組織の概要	
活動地域は大阪市西淀川区佃と言う地域です。約7000世帯の地域の中で会員数は1230世帯です。	
TEL 090-3873-2098	メール 1003-yosiyuki@ezweb.ne.jp

演題番号 2-1-2

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
東京	社会医療法人社団健生会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ハスイケ 蓮池 安彦	健生会 PFAS 専門委員会事務局長(社保組織部長)	第2分科会

発表テーマ
PFAS 汚染は「いのちと人権の問題」～共同組織とともに791人の血液検査の実践を通してわかったこと～

内容（発言要旨）

健生会 PFAS 専門委員会の事務局として、三多摩30自治体791人のPFAS血液検査、相談外来の取組を報告します。

【背景】私たちの取組みは、2020年2月、PFAS問題が沖縄で明らかとなり「横田基地の撤去を求める西多摩の会」が中心となって京都大学の小泉昭夫名誉教授を講師に「PFOS・PFOAの汚染を知る学習会」を開催したのが始まりです。その後のコロナ禍でオンラインでの学習会をつうじて、2022年に「多摩地域のPFAS汚染を明らかにする会」を結成して、地域住民、京大の専門家、地域の医療機関の3者共同で、汚染の実態を明らかにするために取り組んできました。地域住民の健康不安に寄り添うために、日本初となるPFAS相談外来の開設やPFASガイドブックを用いての学習・啓発活動を行っています。

【結果】791人ほぼ全員からPFASが検出され、健康被害の恐れがある4PFAS合計値20ng/ml(米国基準)を超えた方が全体の46%と汚染の深刻な実態が明らかになりました。PFAS相談外来への受診者は80人程度ですが、米国科学・工業・医学アカデミー「臨床医へのガイダンス(2022版)」で指摘されている健康リスクへの対応が求められていることが明確になりました。

【考察及び結論】新たな公害とも言われるPFAS汚染は、誰もが無縁ではられない、健康を左右する社会的要因であり、医学的対応と社会的処方求められています。具体的には、医学的対応として、いつでも誰もが検査できる体制や健康フォローアップ、排泄促進剤の開発などです。社会的処方としては、「予防原則」に基づく施策や除染技術開発など環境科学の育成と企業の社会的責任を義務付けることが求められます。

所属している組織の概要	
活動地域は、東京都三多摩地域に立川相互病院など34事業所を運営。2つの健康友の会（三多摩健康友の会と八王子・たま健康友の会）が三多摩20自治体（30自治体で人口約400万人）に15支部あり、会員数は合計で約3万人。	
TEL 042-523-2375	メール hasuike@t-kenseikai.jp

演題番号 2-1-3

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
東京	三多摩健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
大橋 光雄、巢内 君江、井出 由美子、佐々木 憲幸	副会長	第2分科会

発表テーマ
有機フッ素化合物（PFAS）汚染から住民のいのちと健康を守る「立川市民の会」のとりくみ

内容（発言要旨）

東京都の水道水、特に多摩地域は、かつて地下水を利用し、都は「多摩の地下水は美味しい」「東京の水道水は安全」とアピール。ところが2020年1月「横田基地近くの立川の井戸からから1,340 ng/Lの高濃度の有機フッ素化合物が検出された」との報道に、「横田基地の撤去を求める西多摩の会」の人たちが衝撃を受け、「有機フッ素化合物とは何か」「汚染源はどこか」などの学習を重ね、「多摩の会」を立ち上げ、運動を推進。22年11月～23年6月、「多摩の会」が多摩全市町村971人の血液検査を実施したところ、調査対象ほぼ全てからPFASを検出。「健康被害の恐れがある」と示された米国アカデミー指針値を超える割合が、全体で46.1%、国分寺市で92.9%、立川市では74.4%の人が4 PFAS（PFOS、PFOA、PFHxS、PFNA）で米国指針値を超える値を示した。また、「多摩の会」が行った多摩地域150ヵ所近くの地下水調査では、横田基地南東の井戸から国の定める暫定指針値の62倍の3,101ng/LのPFASが検出され、立川市の地下水が高濃度で汚染されている実態が明らかになった。私たちは、PFAS汚染から、市民の命と健康、都市農業などを守るため、「PFAS汚染を明らかにする立川市民の会」を立ち上げ、住民の血液検査の実施、地下水・土壌の汚染状況の調査、公共施設への浄化装置の設置、横田基地への立ち入り調査の実施などを求め運動を開始。昨年9月に行われた立川市長選挙でPFAS汚染対策に関する候補者アンケートを実施、PFAS汚染対策に積極的にとりくむ候補の勝利に向け活動、「市民と野党の共同候補」が当選し、立川市のPFAS汚染対策に関するとりくみが一気に進むこととなった。さらに、この市長あてのPFAS汚染対策を求める署名を1547筆、第1次として提出した。

所属している組織の概要	
活動地域は、東京都立川市。「PFAS汚染を明らかにする立川市民の会」の活動地域の人口は、約18万5千人。共同組織の人数は7535人。人口比4.1%、世帯比7.9%。	
TEL 080-8913-2267	メール ohm593c@gmail.com

演題番号 2-1-4

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
京都	やましろ健康医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
堂本 吉次	理事	第2分科会

発表テーマ
宇治市におけるPFAS調査について

内容（発言要旨）

2022年に宇治駐屯地（関西補給処）のPFAS調査が暫定基準値の17万倍と高値であることが公表されました。その後、23年10月に京都保健会小泉医師と京都大学原田准教授より基地周辺の実態調査として、採血と結果返しの取り組みの打診がありました。

検査費用は京都大学が研究費名目として負担し、当初予定していなかった生化学検査も、京都民医連より援助を頂き実施出来ました。また、すでに調査をされていた大阪民医連にご協力を頂きました。職員・理事や地域の方を対象に学習会を重ね、具体化していきました。

水道系統別に地元共産党議員を中心として後援会の方々への説明会を行い、24年1月京都大学宇治キャンパスとあさくら診療所で計100人を対象に検査を実施しました。検査には医科のみならず、他事業所の職員も参加し、また京都民医連より1人の支援を受けて実施しました。

5月には結果返しを行い、またあさくら診療所ではPFAS相談外来も実施しています。しかしなにより国と自治体に責任ある対応を求めたいところです。

所属している組織の概要	
活動地域 京都府南部 組合員4965人	
TEL 0774-46-5151	メール doumoto@live.jp

演題番号 2-1-5

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	倉敷医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
シガ 志賀 マサコ 雅子	支部運営委員	第2分科会

発表テーマ
SDGs = 地域に広がる へちまプロジェクトの取り組み

内容（発言要旨）

倉敷医療生活協水島支部では、2021年から、身近な生活の中から環境問題を考える運動として、へちまを種から育て、へちまを収穫し、へちまたわしを作るという活動に、地域ぐるみで取り組んでいます。「へちまプロジェクト」と名付けたこの取り組みについて、現在までこの取り組みを継続し、地域に大きく広がってきました。その経過と成果について報告します。

◆2021年～2022年の取り組み：①支部運営委員を中心に、へちまの苗を育て、組合員さんに配布。他の支部より問い合わせあり。反響が広がる②子ども企画として環境学習会、へちまつくりを行なう

◆2023年の取り組み：①へちまを育て、へちまたわしを作る「へちま育てたい」を募集②46名がメンバー登録し、学習会の開催、情報交換などを行ない、活動のネットワークができる③地域内の小学校2校に、種を贈る。内1校で4年生の学習で利用される④子ども企画として、環境学習、へちまたわし作りを行う

◆2024年度の取り組み：①「へちま育てたい」のメンバーの増加②生徒会活動として高校生が参加③グリーンカーテンコンクール、環境問題をテーマとした健康まつりの開催（予定）

所属している組織の概要	
活動地域は、岡山県倉敷市。活動地域の人口は約48万人。所属する共同組織の人数は約63,000人。	
TEL 086-448-3369	メール tanabe_a@kura-hcu.jp

演題番号 2-1-6

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	倉敷医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
フクタ ケンイチ 福田 憲一	理事(環境委員会委員長)	第2分科会

発表テーマ
「地域の団体と協働で作成した環境学習資材～共同組織・職員等の環境問題への啓発強化をめざして」

内容（発言要旨）

倉敷医療生活協同組合（以後 当生協）は昨年7月に専門委員会として環境委員会（以後 委員会）を、約20年ぶりに再発足させた。委員会を再発足させるにあたり、取り組むこととして①「地球温暖化に対する啓発活動の推進」、②「プラスチックを中心とした海洋ごみ問題の解決に向けた学習とごみ削減対策の推進」を中心的な課題として位置づけた。

「温暖化」問題では、当生協が岡山県下で最大の温室効果ガス排出地である水島コンビナートの隣接地であること、「海ごみに問題」では日本最大の閉鎖性海域の瀬戸内海沿岸地域であることなどを考慮し、二つのテーマとも当生協独自の教材を開発することとした。資材の開発・作製に当たっては、倉敷大気汚染公害裁判の和解金での設立後、約25年間に亘って地域の「環境再生」に取り組んでいる、(公財)水島地域環境再生財団（通称：みずしま財団）の協力を得た。みずしま財団は岡山県会議員からの委託事業として、県が公表する「岡山県温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」を受けての「提言」を毎年発信していることや、財団設立当初から海ごみ問題へ取り組んでいることから、二つのテーマとも豊富な知見を有している。

学習資材の作成という限られた課題ではあったが、地域の組織との“協働取り組み”を行うことは当生協、みずしま財団双方にとって有意義なものと言え、委員会のメンバーにとっても深い学びに繋がった。二つのテーマとも、約25分間のDVDにまとめ、今年度から組合員間での学習に供して各地で視聴が始まっており、概ね好評である。この取り組みが地域で活動する団体と協働して運動を進める一つのモデルとなるものと考えられた。今後、作成した資材を使つての「学習活動」の前進を図りたい。

所属している組織の概要	
活動地域は、岡山県西部の7市3町。組合員数約63,000人	
TEL 086-448-3369	メール fukuta@mizushima-f.or.jp

演題番号 2-1-7

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	倉敷医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
イノウエ ムツミ 井上 睦美	健康事業部 まちづくり課 主任	第2分科会

発表テーマ
環境問題に身近なところから取り組む「環境チャレンジ」はじめました

内容（発言要旨）

当組合は2023年度、15年ぶりに委員会再編されて7月に環境委員会が設置された。設置の経過には、社会的背景として気候変動によると推測される自然災害の続発などの社会状況の大きな変化が挙げられる。環境委員会では①支部、班などの単位で学びを広げる取り組み、②水島地域環境再生財団などと連携した参加・体験して学ぶ取り組み、③地域住民と一緒に取り組む活動を広める取り組みの3点を軸に活動を行うこととした。

委員会ではこれまでに、ヘチマプロジェクトや用水路のごみを回収する海ボウズプロジェクト、また川ごみ回収などの取り組みを地域のなかで行ってきた。

今回企画した「環境チャレンジ」は、生活の身近なところで、ちょっとした工夫でムダを減らし環境にやさしい製品やサービスを選ぶことでCO2削減にチャレンジすることを目的とし、無理のない範囲で広く参加できるものとした。

具体的には「食べ残しをなくそう」「ごみの分別をしよう」など6コースから1つ選択し、30日間の取り組みを報告してもらうようにしている。なお、コース内容は環境省「ゼロカーボンアクション30」を参考とした。「環境チャレンジ」は2024年6月～11月末までをチャレンジ実施期間としている。今回、現在の取り組み状況を報告する。

所属している組織の概要	
活動地域：岡山県西南部 活動地域（岡山県）人口：1,865,478人 組合員数：63,372人	
TEL 086-448-3369	メール inoue_m@kura-hcu.jp

演題番号 2-1-8

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	倉敷医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
キタムラ ケイコ 北村 慶子	支部運営委員	第2分科会

発表テーマ
身近な場所から始める環境のとりくみ「海ごみ回収」に参加して

内容（発言要旨）

- 「海ごみ回収」につながった前年度の「川ごみ回収」の取り組み
- 自分たちの住む地域でもできることから
- 身近な場所の取り組みが全国に紹介されて…意識の変化が
- 小地域ケア会議とも連携した取り組みの発展

所属している組織の概要	
倉敷医療生協は、岡山県西北部を活動エリアとし、組合員約63,000人です。黒崎支部は県西南部の瀬戸内海に面した支部です。日本の渚100選で日本最古の海水浴場「沙美海岸」が地区の中心部にあります。	
TEL 086-448-3369 (玉島事務所)	メール kawahara_m@kura-hcu.jp

演題番号 2-1-9

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	倉敷医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
イヅミ 和泉 かよ子	理事	第2分科会

発表テーマ
「さよなら原発倉敷金曜アクション」の取り組み

内容（発言要旨）

2011年東日本大震災による福島第1原発事故を受けて、全国で「原発なくせ」の運動が広がった。

2012年7月12日に行われた「さよなら原発全国集会」（17万人参加）には、倉敷医療生協から54名が参加したが、そのメンバーを中心に、倉敷でも「さよなら原発集会」を開こうという声があり、同年7月27日（金）倉敷みらい公園を会場に「さよなら原発倉敷集会」を開催した。

「原発なくせ」の運動を大きく進め市民の世論にしていくためには、継続的な取り組みが必要との意見が出され、毎週金曜日に開催を決定。人通りの多い、倉敷駅南口デッキを会場に変更し、「さよなら原発倉敷金曜アクション」としてスタートした。

このアクションは、コロナの緊急事態宣言時を除き、毎週金曜日に粘り強く続けられ、2024年5月10日で616回を数えている。

毎回、シール投票、参加者によるスピーチ、音楽隊が原発や平和を求める歌や演奏、私が毎週ケーキを焼いてメッセージ入りの袋に入れて配布したり、手作りのプラカードや横断幕を持ち寄りアピールしたりと多彩な取り組みが行われている。こうした中で、駅利用者が飛び入りでスピーチ、外国のアーティストが演奏に参加、福島からの避難者が訴え、高校生が毎週参加など、毎週継続して取り組んでいることで、多くの人に「原発なくせ」のアピールが出来ている。

これからも、あきらめず、粘り強くさよなら原発の運動をすすめていきたい。

所属している組織の概要	
活動地域：岡山県西南部 活動地域（岡山県）人口：1,865,478人 組合員数：63,372人	
TEL 086-448-3369	メール tanabe_a@kura-hcu.jp

演題番号 2-1-10

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
福島	浜通り医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
クドウ フミオ 工藤 史雄	組織部長	第2分科会

発表テーマ
公害の地であり、人間裁判の地でもある岡山から、福島原発公害を考える

内容（発言要旨）

2011年3月11日の東日本大震災と東電福島第一原発事故から13年が経過し、風化と“復興”が進行する中、「福島は今」を報告しながら、日本史上最大の公害である福島第一原発事故について考えます。

ALPS 処理汚染水の海洋放出、避難者の切り捨て、国の責任を認めない最高裁判決など、この間の福島を巡る情勢の報告。復興予算頼みの被災地行政、巨大な利権、大規模開発。気の遠くなる廃炉作業と先行の決まらないデブリ。進まない帰還と見通せない将来像。

福島を見つめることは、私たちがこの国の在りようを見つめ直すことにつながります。私たちが寄り添うべきは誰か、私たちがなすべきことは何かが見えてきます。

「福島」は終わっていない、だからこそ伝え続けなければならない、“原発ゼロ”のその日まで。

所属している組織の概要	
浜通り医療生協……原発事故の避難指示区域を定款地域に持つ いわき市民訴訟……国と東電を被告にいわき市民1400人が原告となった。東電相手では勝訴、国相手には敗訴確定。ALPS 処理汚染水差止訴訟……2023年に強行された ALPS 処理水の海洋放出の差し止めを求める訴訟。	
TEL 080-5041-0663	メール kudou@hamadori-coop.jp

## 第2分科会 第2会場

「いのちと人権をまもり、環境・  
福祉を向上させるとりくみ」

ピュアリティまきび 2F白鳥

演題番号 2-2-1

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
東京	三多摩健康友の会 秋流支部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
オリタ マチコ 折田 真知子	秋流支部支部長	第2分科会

発表テーマ
日の出町の医療費無料化の現状と課題

内容（発言要旨）

2008年、後期高齢者医療制度が開始され、高齢者の多くが差別的医療に怒り、反対の署名運動が各地で展開されていました。私ども日の出町でも、自治体キャラバンが8月に実施され、その席上で、沢内村では医療費無料化により、早期発見・早期治療で重篤化を防ぐとくみが効果を上げ、医療費の抑制につながっている。是非、日の出町でも検討して欲しい、この話を町長さんに伝えて下さいとお願いしました。実は町長も沢内村の視察をしたことがあり、心を動かされていたようです。その翌月の敬老大会で、長寿化対策日本一お年寄りに優しいまちづくりが実現したのです。75歳以上の医療費の無料化として、所得制限なしで診療・入院・薬代等の窓口負担が償還払いではありませんが、無料になりました。その後2015年からは70歳から74歳までの医療費が月額2000円を超えると、それ以降の医療費が全額を町が助成する制度が発足しました。東京都の後期高齢者医療保険のデータでは、日の出町の一人当たりの平均医療費は63万円と都の平均より20万円ほど低く推移しています。人口減少と高齢化率の上昇は、どの自治体でも課題となっており、日の出町も、高齢化率が数年後50%になるとして、2022年度町単独福祉の見直しを行い、助成の限度額を月額5000円までとする事となりました。この見直しでも、72%の方が限度内におさまるという事です。高齢者の皆さんが自分の住む自治体に向け、予算の1%を高齢者の医療費助成制度に使えと言う要求は、医療費を低く抑えるためにも効果を上げるんだと発信して頂きたいと思います。

所属している組織の概要	
東京都あきる野市・西多摩郡日の出町・檜原村人口は合わせて97,653人。秋流支部の共同組織人数は約650人です。	
TEL 090-6529-2743	メール tx088146-5371@tbz.t-com.ne.jp

演題番号 2-2-2

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	倉敷医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
モリタ チカコ 森田 千賀子	水島協同病院 地域連携・患者サポートセンター 医療福祉相談室室長	第2分科会

発表テーマ
国民健康保険資格証明書解除に向けての取り組み ～倉敷市との懇談会を開催して～

内容（発言要旨）

はじめに)  
国民健康保険法では保険料を納付しない場合は保険証の代わりに資格証明書を発行することができ、しばしば保険制度が利用できなくなる事態がおこる。資格証明書の発行は受診抑制となり、医療福祉相談室では、これらの人の相談を受けてきたが、2020年頃より、国保資格証明書の解除相談をしても、解除に至らない事例が相次いだ。これについて、倉敷市との懇談を持ち、解決に至ることができた。この活動について報告する。

（考察）

今回の懇談で、資格証明書は、ペナルティではなく、滞納者との話し合いの場を持つためのものだということが再確認された。資格証明書は、患者にとっては医療機関の受診を控えざるを得ない状況に追いやられ、その受療権を侵害するものだと考え、市民の立場にたった窓口対応をお願いしたい。

ソーシャルワーカーの倫理綱領では、「社会正義」がその原理とされ、社会へのはたらきかけは倫理的責任であるとされ、ソーシャルワークは社会変革や社会開発の実践であるとされている。「仕方ない」ではなく、おかしいことはおかしいと患者の立場に立って、その権利擁護をしていく姿勢が求められる。

所属している組織の概要	
倉敷医療生協：岡山県倉敷市 水島協同病院：総合病院 法人内のセンター病院	
TEL 086-444-3211	メール kaigo@mizukyo.jp

演題番号 2-2-3

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
鳥取	米子医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
フクシマ 福嶋 晴彦	常務理事	第2分科会

発表テーマ
経営再建のとりくみ

内容（発言要旨）

- ①事業所は無床診療所3ヶ所、デイサービス2ヶ所、有料老人ホーム、居宅、訪問看護、訪問リハビリテーション。
- ②70年間の歴史で約1億円の累積欠損金があり、なかなか解消できずに経過していた。
- ③2021年度から事業高の減少（予算割れ・前年実績割れ）から資金流出が続き、2022年第一四半期の財務状況から公認会計士・鳥取県民医連と相談のうえで、米子医療生活協同組合経営対策委員会を立ち上げた。
- ④すべての職員に現状を知らせて状況を共有することから始め、エリアごとの会議を定例化して具体的な対策をすすめる、経営診断行い他県からの指導・助言をもらい、それを受けて事業構造を転換する方向性をもって議論をすすめた。
- ⑤理事会や共同組織でもタイムリーで実態に即した現状報告を行い、利用促進や積立増資などの訴えも行ってきた。
- ⑥一年間の取り組みで一定の改善が見られたので取り組みの概要と成果・課題を報告する。

所属している組織の概要	
鳥取県米子市にある医療生活協同組合。エリアは鳥取県西部2市2郡（2市6町1村）。事業所は米子市内。創立は1953年6月。法人の共同組織は約6500人、事業高は5億8000万円強（2023年度末）。	
TEL 0859-35-5123	メール ymcsosiki1202@helen.ocn.ne.jp

演題番号 2-2-4

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
東京	立川相互病院	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
カナイ 金井 直樹	歯科	第2分科会

発表テーマ
健康権としての歯科受診

内容（発言要旨）

歯科口腔保健は健康で質の高い生活を営む上で基礎的かつ重要な役割を果たしており、健全な食生活の実現や社会生活等の質の向上に寄与しているとされています。健康権としての歯科受診を位置づけどの年代にも適切な歯科受診がなされるよう、友の会と歯科との取り組みでは班会活動や歯科無料健診等を行ってきました。しかし、昨今の情勢や貧困等の問題から歯科受診は後回しにされる傾向があり、また高齢となり外来受診が出来なくなることさらに口腔の問題は放置されます。

実際立川相互病院の入院患者のなかにも高齢の為、歯科外来受診ができなくなり口腔崩壊と呼ばれるような状態になっている方が少なくありません。

日本歯科医学会の研究では要介護高齢者290名を調べた結果 [(平均年齢86.9±6.6歳) 在宅・グループホーム・通所・病棟・老健・特養など] 歯科治療が必要な人が64.3%おり、その内実際に歯科治療を受けた要介護者は2.4%でした。

このことから立川相互病院では病棟での患者の拾い上げを行い出来るだけ口腔管理を行っていくことや、通院困難になった場合には往診へつながるよう情報発信を行っていますが、さらに友の会と協働して患者の健康権としての歯科受診を守る取り組みが大切だと感じています。

所属している組織の概要	
東京都立川市 三多摩健康友の会 会員数約25000人	
TEL 0570-05-2585	メール shika@tachisou.or.jp

演題番号 2-2-5

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
鳥取	米子診療所	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
田中 照久 <small>タナカ テルヒサ</small>	事務長	第2分科会

発表テーマ
食料無料市のとりくみ

内容（発言要旨）

- ①米子診療所エリアは元々生活保護世帯を含む低所得者の割合が高い。（患者全体の10%を超える）
- ②2020年新型コロナウイルス感染症のパンデミック発生の時期に鳥取県民医連の指導のもとで米子市・境港市の公営住宅（約1100戸）へ生活アンケートを実施、約60件回答があり、そのうち約20人と連絡が取れて相談・支援を実施した。
- ③米子市には鳥取大学医学部キャンパス、YMCA 米子医療福祉専門学校があり、2021年5月に法人と地域の団体が共同で「フードプロジェクト」を開始、食料支援と生活相談を始めた（現在7回実施）
- ④鳥取民医連では公営住宅自治会と連携して食料無料市を開始しており、法人（米子医療生協）でも検討を開始、法人と米子診療所・法人社保・平和委員会が共催で2022年12月24日に米子診療所内で開催した。当日は40人以上が来所、お届け希望が20人あった。その後、おおよそ4か月おきに実施し、2024年7月に第5回目を実施した。
- ⑤多くの職員・共同組織、農民連や購買生協、公民館や米子市社協などの理解と協力を得て、多大な成果と課題とを経験してきた。「どこまで広げるのか」「いつまで継続するのか」など民医連綱領の根本的な議論も重ねながらの歩みを報告する。

所属している組織の概要	
鳥取県米子市にある米子医療生活協同組合に3つある診療所の一つ（無床）。米子市中心部に位置する。開所は法人と同じく1953年4月。法人の共同組織は約6500人、当診療所エリアでは約2500人。	
TEL 0859-34-1201	メール ymcyonago1201@image.ocn.ne.jp

演題番号 2-2-6

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
東京	東京はくと医療生協 組織部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
名和 孝夫 <small>ナワ タカオ</small>	なんでも相談会 実行委員会事務局次長	第2分科会

発表テーマ
10年目をむかえた、なんでも相談会の取り組み

内容（発言要旨）

人助けを行う中で民医連医療 格差貧困社会が地域にもたらした影響を学びます。

1. 相談に来る人々

相談会場のテントの近くで逡巡する方、なんでも相談会の横断幕やのぼりを見つめている方、相談者の半数が高齢者で80代が全体の14%を占めています。「家賃が払えない」というUR賃貸住宅に住む高齢者の相談、夫婦が、お一人暮らしとなって年金収入が減るという困窮。リストラやパワハラ相談も多い。

2. 相談ビラの宣伝の重要性

毎月、地域を変えて様々な共同組織、社保協などの力を借りて全戸配布をしています。半年前のビラを握りしめてくる方や高齢化の進んだ団地の掲示板をみてる方もいます。

3. 10年間で900人の相談にのる

相談内容の34%が医療福祉、居住が19%などで、時には、公園でホームレスとの対話から生活保護申請までに至ることもある。

4. これからのなんでも相談会

76回の相談会すべてに参加しました。会場設営、呼び込みから、相談までがライフワークとなっている。これからもできる事を続けていきたい。

所属している組織の概要	
活動地域は、東京都北区、荒川区、足立区西部。所属する東京はくと医療生協の組合員数は約3万人。	
TEL 03-3913-9100	メール daiki_goto@tokyohokuto.or.jp

演題番号 2-2-7

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
青森	青森保健生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
フクシ マチ 福士 学	組織部 主任	第2分科会

発表テーマ
組合員のいのちを守る～電話相談からの生活保護の申請へ～

内容（発言要旨）

生活保護制度は、日本国憲法第25条に規定する理念に基づき、何らかの原因で日々の暮らしに困っているかたに対して、国の責任において、生活するために必要な当面の生活を保障し、その人が自分で生活できるように手助けする制度です。

青森市のHPにも「生活保護の申請は国民の権利です。生活保護を必要とする可能性はどなたにもあるものですので、お困りの場合はためらわずにご相談ください。」と記載しております。

4/8（月）組織部へAさん（80歳）より突然電話がかかってきました。私が電話をとり要件を聞くとAさんから「生活保護を申請したいです…」と第一声がありました。

4/9（火）自宅でAさんから詳しく話を聞くと、地域の組合員さんから「困りごとがあったら組織部へ連絡すればいいよ」と紹介されたそうです。

年金は26,000円（1か月13,000）しか出ておらず、貯金を切り崩してなんとか生活をしてきたがそれも底が尽きた状態。

私はこの状況を聞いた時グッと胸が締め付けられる思いとなりました。

一刻を争う事態と判断し、4/10（水）に一緒に市役所へ申請へ行きました。

今回の例は氷山の一角だと思います。まだまだ地域では生活困窮している方がたくさん隠れているかと思っています。

改めて部署の中でも「生活保護申請」について学習し、地域の困ったに寄り添い解決をしていきたいと考えています。

所属している組織の概要	
活動地域は、青森県青森市、蓬田村、外ヶ浜町、今別町。所属する共同組織の人数は約42,000人。	
TEL 017-762-5888	メール soshikibu@aomori-h-coop.com

演題番号 2-2-8

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	倉敷医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ミヤケ カズコ 三宅 和子	水島協同病院 看護部 外来看護2科 主任看護師	第2分科会

発表テーマ
外来における民医連看護の実際

内容（発言要旨）

近年、社会構造の変化に伴う貧困や孤立により、日々、生活することに精一杯で、健康問題は後回しにする患者が多くみられます。こうした中、外来看護師は「生活と労働の視点」で患者をとらえ、受療権や健康権の妨げになる健康の社会的決定要因（SDH）は何かを見極め、「その人がその人らしく生活する事を支援する」事を大切にしています。外来では、「気になる患者」のピックアップやカンファレンス、必要な制度は何か検討し、民医連の大切にしている「患者をみる視点」を高めてきました。また患者や家族の関心や気がかりに焦点を当て、多職種で情報共有・連携しながら個別的な看護を提供しています。今回、外来における在宅療養の取り組みの一つである「気になる患者訪問」を中心に、患者の実態を紹介するとともに、外来看護師の意識の変化、今後の課題と展望について報告します。

所属している組織の概要	
当院は、岡山県倉敷市にあります。市の人口は約47万8000人、所在地である水島地域の人口は約8万8500人。1953年に地域住民の出資で水島診療所として開設し、その後、倉敷医療生活協同組合として発展しています。	
TEL 086-444-3211	メール kango@mizukyo.jp

## 第3分科会 第1会場

「安心して住み続けられる  
まちづくりのとりくみ」

ホテルグランヴィア岡山 3F クリスタル(A)

演題番号 3-1-1

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
三重	みえ医療福祉生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
フクオカ ヌキ 福岡 由紀	組合員活動部	第3分科会

発表テーマ
Win-Winの関係で なかまも増えて にっこ にこ がーこのパントリー3年の軌跡

内容（発言要旨）

診療所で月に1回フードパントリーを始めて3年ちょっと経ちました。名前は「がーこのパントリー」です。うちの特色は医療機関でパントリーをしているということと、渡している食料の9割が「コープみえ」の協力によるもの、受け取れる対象者がひとり親世帯、高齢者の貧困世帯と限定していることです。パントリーを始める際に当時の組合員活動部の課長に報告したら、「きっと新しい担い手が室の山みたいにかくさん見つかると思うよ。頑張って」と声掛けをしてもらいました。その言葉を何気に聞きながら、まずは食料確保をするためにコープみえと食料提供の協定を締結したこと、市役所の子ども未来課の担当者の人から、ひとり親世帯を紹介してもらうことから始めました。パントリーを継続しながら、食料提供をする側される側がともに影響され、それぞれが自分たちは何ができるかを考えるようになりました。立場は違っても誰かのために役に立ちたい、その想いはみんな同じだということを3年間の活動を振り返りながら報告します。

所属している組織の概要	
活動拠点は三重県北部に位置する桑名市です。知る人ぞ知る「その手は桑名の焼き蛤」で有名ですが、焼き蛤を安価で食べられる食堂はまかぜが伊賀町診療所の近くにありま。桑名地域の組合員数は2500人弱です。	
TEL 0594-23-0313	メール igamatil@k-hewcoop.jp

演題番号 3-1-2

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
和歌山	和歌山中央医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ナカジマ カズオ 中嶋 一雄	まちづくり組合員 活動推進部 部長	第3分科会

発表テーマ
地域でひろがる助け合いの活動とフードバンクの取り組みについて

内容（発言要旨）

各地域で広がる和歌山中央医療生協の「助け合い」活動や、ひとりぼっちをなくす取り組みを報告。  
また、これまで8回開催してきたフードバンクの取り組みで生まれてきた地域との繋がりボランティア支援の輪  
さらに継続してきたからこそ見えてきた「助け合い」活動の難しさと、職員・組合員の成長と学びを発表します。

所属している組織の概要	
和歌山中央医療生協（組合員数23,379人、出資金1,130,828,619円 2024年3月31日） 活動地域は和歌山県下で、中心は和歌山市（人口約35万人）とその周辺市	
TEL 074-5121	メール nakajima-k02@outlook.jp

演題番号 3-1-3

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
神奈川	医療生協かながわ生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
カワモト シュウゾウ 川本 修三	本部 育成室長(医療生協 かながわ瞳班班長)	第3分科会

発表テーマ
地域で生きる楽しい職員班会 ～フードパントリーへ形を変えて～

内容（発言要旨）

2018年11月、職員5名と退職者1名で、業務を離れ地域で活動を行おうと班を立ち上げた。それぞれが地域でやりたいことを出し合いながら会場探しも平行し行った。地域の居酒屋で打ち合わせを行っている時、店主より「場所を貸してもよい。こども食堂に興味がある」と申し出があり、その場所で店主も一緒に班活動の取りかかりとして「地域食堂」を行うことにした。

2019年7月に第1回を開催し、月1回の開催を継続しているが、コロナ禍の影響を受け、フードパントリーへ変更している。10名に満たない人数で始まったが、社会福祉協議会との連携も密になり、今年4月現在で約30世帯70名、2歳から86歳までと増加し、年齢層も幅広いものとなっている。

更に神奈川県の子ども食堂・地域食堂ネットワークへ参加、市のネットワークの立ち上げにかかわるなど地域での連携も深まっている。

課題は多いが、継続できているのは地域の要望に添った活動になっていること、班員のやりがいや楽しみとなっていることが大きな要因である。

所属している組織の概要	
発表する班の活動地域は神奈川県藤沢市六会地区で藤沢市の北部にある。藤沢市の人口は約435,000人、六会地区には約36,000人。組合員数は藤沢市全体で約4,100人、北部地域で約500人。市内の事業所は診療所1か所。	
TEL 045-862-9860	メール ikusei01@mc-kanagawa.or.jp

演題番号 3-1-4

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
新潟	新潟勤労者医療協会・下越病院	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ツクエ フミアキ 机 文明	健康友の会新津総支部 事務局員	第3分科会

発表テーマ
「秋葉区食料生活支援の活動を通じて見えて来たもの—住みよいまちづくりのために今、必要とされるもの—」

内容（発言要旨）

私たち下越病院健康友の会は新日本婦人の会や生活と健康を守る会等、他の民主団体の協力を得ながらコロナ禍で生活に困窮する人達への生活支援をという主旨で「秋葉区食料生活支援プロジェクト」という企画を立ち上げ、2021年5月より、おおむね2ヶ月に1回のペースで秋葉区内各地域のコミュニティーセンター等の会場を借り、各種食料や洗剤・トイレトペーパー・生理用品等、生活必需品の無料提供を行ってまいりました。もともとはこの企画を立ち上げる前年（2020年）秋、「コロナ禍で生活に困っている人達の困りごと相談の活動を始めたい」ということから「困りごと無料相談所」を開設したいという企画が持ち上がったのですが、「生活に困っている人はそのことを人に話すのに抵抗があるものなので、それではなかなか来てくれないだろう」ということで、「であれば支援物資を無料配布し、その際にアンケートや相談コーナーの形で利用者の生活状態や困りごとを見出していくのはどうか」ということで始められたのがこの企画でした。毎回150人以上の利用者があり、すでに回数はこの7月で20回を数えます。今回は約3年半に及ぶこの活動の詳細を報告し、生活困窮の実態、そして誰もが安心して住めるまちづくり、幸せに生きられる社会の構築に求められるのは何かということについて発表させて頂ければと思います。

所属している組織の概要	
新潟勤労者医療協会健康友の会・新津総支部は秋葉区の下越病院内に事務局を有し、現在会員総数約1万5000人。各地域支部を単位として、各種班会や健康セミナー・健康チェック等を開催し、病院を支え、住みよいまちづくりのために活動しています。	
TEL 0250-22-6851	メール tsukue_f@niigata-min.or.jp

演題番号 3-1-5

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
宮城	大崎健康福祉友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
サトウ ヒロコ 佐藤 博子	加美支部幹事	第3分科会

発表テーマ
加美支部助け合いの会食料支援を行って

内容（発言要旨）

加美支部では「困ったときはおたがいさま」「支援をお届けいたします」として食料支援を立ち上げ始めて2年になりました。「一人一人」への支援についてはお知らせのチラシを作り、新聞折り込みや、集合住宅へポストイン、また町の福祉課の情報で繋がった方もいます。また支援物資や支援金の提供には、みやぎ生協フードバンク、加美よつば農協、地域の建設会社、また「河北新聞を見て」と地域住民の方々などから支援をいただき実施することができました。今年度6月から夏・秋・冬と100人程の方に届け、生活実態が見え、見守りにつながっています。しかし、この取り組みは一時的な対処療法であり、格差社会化や社会保障の脆弱さの中でのサインです。だからこそ、私たちの活動の中でこの根本原因について知る為、学習会や自治体交渉などが必要になります。この間、学習会では「国保税のしくみ」「風力発電設置問題」「認知予防」などと多面的に開催し、加美町新町長の石山さんと4つの項目について懇談しました。これからも地域に高くアンテナを掲げ「安心して住み続けられる町づくり」「健康づくり」健康長寿を目指し、皆さんと共に当たり前の幸せづくりに近づけていきます。

所属している組織の概要	
活動地域は、宮城県加美郡加美町及び色麻町。活動地域の人口は約28,000人。所属する共同組織の人数は675人（339世帯）。	
TEL 0229-23-8089	メール tadano@zmkk.org

演題番号 3-1-6

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
鳥根	松江保健生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
サド マリ 佐渡 真理	組合員活動委員会事務局 ・フードバンク(理事)	第3分科会

発表テーマ
フードバンクとつながって “未来(あした)へ”

内容（発言要旨）

はじめに・・・地域活動のひとつに他団体（フードバンクしまね あったか元気便）への協力と協同があります。①フードバンクとは②鳥根にも子どもの貧困があるのかどうか ③子どもの貧困は遠い国のことではなく、未来に関わる問題としてどう取り組んでいくのか。

鳥根県自治体別就学援助者数のデータをもとに、フードバンクしまねあったか元気便の取り組みを紹介いたします。

そして、私たち松江保健生協とフードバンクと協同の取り組みとして、食品・時間・お金で応援し組合員さんの大活躍でたすけあいが進んでいます！ フードバンクしまね あったか元気便 年次推移 ひろがり から つながりへ → つながりから 支え合いへ

そして、あったか元気便の応援自販機の紹介とフードバンクの取り組みから こどもたちよりメッセージ紹介。

フードバンクあったか元気便の皆さんより松江保健生協への想い、そしてこの取り組みのこれからの課題についてお伝えいたします。

所属している組織の概要	
活動地域：鳥根県松江市、活動地域の人口：約203,000人、所属する共同組織の人数：32683人（3月末現在）	
TEL 0852-27-3774	メール sosiki@aioros.ocn.ne.jp

演題番号 3-1-7

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
福岡	北九州健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ノウミ サトコ 能美 聡子	小倉南支部 副支部長	第3分科会

発表テーマ
やってよかった！食料支援

内容（発言要旨）

団地の自治会や病院職員と一緒に食料支援会  
2022年11月29日（火）11：00～12：00徳力団地  
集会所（北九州市小倉南区）で食料支援会を実施。  
目標50食に対して予約数101世帯・130食。来場  
者は106人で、133食の支援（目標達成率266%）。  
食料はフードバンクライフアゲインさんより、  
お米は大手町リハビリテーション病院職員の皆よ  
り110kg、友の会員さんたちより60kg。  
来場者のほとんどは徳力団地とその周辺の高齡  
者でした。中には北九州大学の学生さん5名や小  
さなお子さんを連れてお母さんもいました。食料  
を受け取った方は、「助かります」や「ありがとう」  
と喜んでいました。参加した職員（エスコート部  
隊）からは、「食料をもらった後はカートが重く  
なり、小さな段差でも苦労していたので、家まで  
付き添いをして良かった。」「地域の方とふれあえ  
る取り組みで楽しい」などの感想がありました。  
食料支援会に来てくれた方々で、今後もつな  
がりが特に必要と思われる方35名に対して、お礼状  
と返信用の感想記入用紙をお渡しし、17名の方か  
ら返信を頂きました。3月のさくらまつりポール  
ウォーキングの時にもささやかな食料支援を実施  
し、繋がっています。今後も今までの繋がりを大  
切にして、その上で新しく繋がっていきます。

所属している組織の概要	
活動地域は、福岡県北九州市小倉南区。活動地域の人口は約20万人。所属する共同組織の人数は約1300世帯。	
TEL 093-592-1166	メール masaharutaka@kenwakai.gr.jp

演題番号 3-1-8

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
広島	本部・組織部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ウエムラ アツコ 植村 敦子	城北支部 支部長	第3分科会

発表テーマ
食料日用品無料広場のとりくみ

内容（発言要旨）

2021年7月から、食料支援の「食料&日用品無  
料広場」に取り組んでいます。開催数は、2024年  
5月末現在で、城北地域16回、ふれあい地域2回  
です。延べ1,079人の方に配布、1回平均は60人  
です。コロナは収まっていますが、物価高の影響  
か、来られる方が少しずつ増えてきました。新規  
の方が増え、来られている方の紹介や社協・福山  
市から聞いたと言われる方も増えてきています。  
生活がたいへんな方に組合員さんがお届けしてい  
るところもあります。先日も届けてもらったとい  
う方からお礼の電話が入り、「届けてくださる方が、  
時々大丈夫ですかと心配して見に来てくれるん  
です」と話してくれました。回を重ねるごとに、つ  
ながりや新しい広がりもあります。お米や食料の  
提供、カンパ金でなんとか賄っていますが、物価  
高騰の現在は、継続していくための持続可能な取  
り組みを模索中です。

所属している組織の概要	
活動地域は、広島県福山市。活動地域の人口は約41万人。所属する共同組織の人数は約1万2千人。	
TEL 084-999-9900	メール miyazawa@fico-op.jp

演題番号 3-1-9

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
山口	医療生協健文会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
カワノ ユミコ 河野 由美子	常務理事	第3分科会

発表テーマ	
医療生協健文会 「何でも相談&食材支援」 ずーっと繋がる これからも繋がる	

内容（発言要旨）

・健文会では2拠点で食材支援をおこなっています。組合員や地域の人「困った」をどうにかしたい、人のご縁や繋がりを大切にしたいという思いでスタートしました。限られた食材を多くの人に手渡したいとの思いから1世帯1袋、コロナ禍中も開催しました

・山陽小野田市での開催は偶数月（年金受給直前の土曜日）に第1回目は小野田診療所前で開催。現在は元デイサービスの建物と小野田診療所前で午前・午後でおこない、60～70袋を準備しています。

・宇部市での開催は奇数月第4週目の水曜日、協立病院向かいの生協ふれあい会館で開催。当初50袋だった食材支援は現在70袋を準備しています。無償で頂いた衣類や日用品のフリーマーケットも好評です。

・山陽小野田市では食材費の半分はカンパで賄われ、直接食材を診療所に届けてくれる患者さんや畑にできた野菜を定期的に届けてくれる組合員もいます。診療所の事務職員も支援準備に関わりながら共に進めています。宇部市では「支援されるだけでなく、何かしたい、手伝いたい」との思いがあり、前日準備から多くの方がボランティアスタッフとして関わっています。山口フードバンクからの寄付や組合員カンパ、法人からの助成金を使い食材を準備します。「何が入っていたらいいかな？ちょっとお菓子があるといいな」など食材を買いたす、米の計量、袋詰めなどボランティアスタッフの皆さんがいなければ到底できません。

・2か月に1度会う、それが重なり顔見知りになっていく。気軽に声を掛け合う関係ができ、「本当に困っていること」を話してくださる。小さなきっかけで繋がっていること、広がっていることを実感しています。昨年末から、小さな子どもを連れた女性の参加があります。これからも困っていることや悩んでいる人を自分事として受け止め、隣にいる誰かと顔を見て、話して、繋がっていきたいと思います。

所属している組織の概要	
山口県内全体で18904名の組合員がいます。食材支援カンパについては病院や診療所、歯科でカンパ箱を置き行っています。宇部市は2020年12月28日、山陽小野田市は2021年10月9日からスタート（2か所）。以降、2つのエリアで隔月・定例開催を継続中です（3か所）	
TEL 0836-34-2510	メール sosiki_kenbun@yahoo.co.jp

演題番号 3-1-10

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	倉敷医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
キガワ ヨシコ 木川 佳子	支部運営委員	第3分科会

発表テーマ	
地域で取り組む助け合い・支え合いの活動「ザワザワランチ」	

内容（発言要旨）

●浅口市金光町福永宮東地区での「ザワザワランチ」（シルバー食堂的な取り組み）について

- ・はじめるきっかけとなった町内の「子ども食堂」の取り組み
- ・自分たちの住む地域の実情にあわせた活動内容の検討
- ・そしていよいよ開始にむけた準備開始
- ・いざスタートして、わかったこと
- ・コロナ禍の功罪…弁当形式に変えて、広がる協力者の輪、地域の見守り&支えあいの一環に
- ・そしてこれから…行政や社会福祉協議会、地域包括支援センターなどとの関係づくり

所属している組織の概要	
倉敷医療生協は、岡山県西北部を活動エリアとする組合員約63,000人の組織です。浅口市金光町は県西部に位置し約900人の組合員1つの支部で活動しています。	
TEL 086-525-7722 (玉島事務所)	メール katayama_f@kura-hcu.jp

## 第3分科会 第2会場

「安心して住み続けられる  
まちづくりのとりくみ」

ホテルグランヴィア岡山 4F フェニックス(A)

演題番号 3-2-1

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
宮城	仙台南健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ヒラオ シンジ 平尾 伸二	事務局長	第3分科会

発表テーマ
利用者から喜ばれ、活動の輪が広がる助け合いの会

内容（発言要旨）

仙台南健康友の会では、2021年5月より「助け合いの会」活動を開始しました。

活動内容は草取り・剪定が多数です。患者の退院先の環境整備、院内での患者の付き添い、ベッドの移動・組み立て、ゴミ出し、家電の取り付けなど、様々な依頼があります。長町病院の職員を通じての依頼もあります。

利用者からは大変喜ばれています。ボランティアからも「利用者が喜ぶのを見ると本当にうれしくなる」「コロナで引きこもり気味だったが、ボランティアに参加して前向きになった」などの感想が寄せられています。ボランティアは友の会だよりや口コミ、ボランティアセンターなどを通じて参加がひろがっています。

利用者・ボランティアの輪を広げながら、今後とも地域の困っている方々に寄り添った活動を強めていきます。将来的には有償運送事業などにも取り組んでいきたいと考えています。そのためにも、他県の経験に学びながらNPO法人取得の検討を進めていきたいと思ひます。

所属している組織の概要	
活動地域は仙台市太白・若林区・名取市など。構成員数は約4,100人。	
TEL 022-248-6702	メール hirao55@zmkk.org

演題番号 3-2-2

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	倉敷医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
タケシマ トモコ 竹島 智子	非常勤理事	第3分科会

発表テーマ
ご近所のちょっと困ったの助け合い「ちどり助け愛たい」の紹介

内容（発言要旨）

1、結成まで。2017年水島周辺のサロンに通う65歳以上方へ暮らしのアンケートを実施。結果、ちょっとした困りごとが上位を占めた。そこでご近所のちょっと困ったの助け合いを行うことになった。

2、ちどり助け愛たいの構成と運営。ちょこっと隊（支援をする人）・ありがたい（支援を希望する人）・町内会長・愛育委員・社会福祉協議会・高齢者支援センター・医療生協などで構成し 毎月会議を行い、近所の困りごと発見・支援状況・学習会などしている。利用方法は利用する人が1枚150円15分の回数券を買い、支援してもらった方にお礼として回数券を渡し、コーディネーターがお金と引き換える。

3、支援の紹介 Aさんの支援はゴミ出し。困っているところをちょこっと隊が見かねて高齢者支援センターの方と一緒に訪問し支援につながった。日ごろからちょこっと隊が気にかけていた。Bさんは介護サービスの利用が日曜日だけ調整できずちょこっと隊が見守りをした。介護サービスの隙間の支援ができた。Cさんは社会福祉協議会を通して家の片付けを手伝ってほしいと依頼あり、週1短時間の片付けを手伝っている。近所に助けてくれる人がいると言われ社会とのつながりができた。

4、まとめ①毎月の会議がキーワード。ちょこっと隊の見守りがあり困りごとに対応できる。助け合いで対応できないことは、高齢者支援センター、社会福祉協議会の方が構成メンバーのため公的な支援につながる。②回数券を利用することで頼みやすい。③ご近所のためゆるやかなつながりも大事。

所属している組織の概要	
岡山県倉敷市水島西ちどり町ちどり団地周辺。活動地域の人口は約4000人。内組合員の人数は1429人。	
TEL 080-6305-1804	メール kanon0304tomoko@gmail.com

演題番号 3-2-3

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
東京	健和友の会みさと健和団地診療所支部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
マツザワ ノブヨ 松澤 亘代	友の会ボランティア班長	第3分科会

発表テーマ
高齢化の進む大団地の一人暮らし高齢者の支え合い・助け合い活動の29年

内容（発言要旨）

- 「毎日毎日何もすることがない。寂しくて死にたい」呼び寄せ老人<高齢者>の声を聴く  
診療所看護師と友の会役員が一人暮らしの患者さんを訪問  
深刻な状況が明らかになる― 日中ひとり・閉じこもり・話すご近所さんがいない  
とにかく楽しめる、美味しい企画を／お花見会・茶話会など―友の会の協力で開催  
往診中の患者さんの「孤独死」一団地内で「孤独死」が頻発
- 1996年8月、2002年8月「高齢者の生活実態調査」実施  
・・・調査結果はその後の状況を示唆  
今は（当時）元気な高齢者が多い／一人生活者<人数的>多く／団地の全域に広がっている  
近所の付き合いが希薄である／生活関係が<自己完結的>／意識されない「孤立」
- 「知り合って、助け合って」・・・自主組織として『一人暮らししたんぼの会』1996年4月発足  
一人暮らしは気楽ですが不安とたたかう生活です  
知り合うことが事のはじまり  
助けあうことができるよう 仲間づくりをしていきましょう  
4会員は、仲間や誰かにいつも見守られている  
住まい地域ごとに「世話人さん」がいる― 月3回以上の“お元気確認”  
地域に「一人暮らしの会」が知れている―包括支援S、介護事業所、病院・医師からの紹介  
緊急時連絡先の把握― 気になる会員、認知症の会員などのサポート活動へ
- 「一人暮らしの高齢者」を支える「友の会・ボランティア班」のかかわり  
会場設営、送迎、会食調理、傾聴／会員の生活アンケート（隔年実施）  
生活支援の助言、団地生活で遭遇する困難事例、災害時に備え等等  
「会員のつながりマップ」づくり →支え合い・助け合いのマップに
- 住み慣れた地域で、最後まで安心して暮らせる「安心の地域ケア」が此処にはある

所属している組織の概要	
活動地域は、埼玉県三郷市。活動地域の人口は約14万人。所属する共同組織の人数は約14000人。	
TEL 048-958-3852	メール a-ishigami@totokyogikai.jp

演題番号 3-2-4

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	医療福祉生活協同組合おおさか	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ノグチ ケイコ 野口 桂子	赤川ヘルパーステーション	第3分科会

発表テーマ
支部活動を中心とした助け合い

内容（発言要旨）

助け合いの会は「いつまでも安心して住み慣れた地域で暮らしたい」「ちょっとの手助けがあれば自立して生活できるのに」そんな組合員の声から始まりました。旭区のあかがわ診地区では支部活動の一環として各支部長が中心となり月に一回の役員会を実施して事例検討等を行っています。助け合いの会を通じて組合員同士の繋がりも広がっているように思います。日々の生活の中で今までは一人で出来ていた事ができずどうしようと思っていたが「チョコっとさん」ができたことで、気兼ねなく利用出来て助かっていると喜ばれている組合員さんも少しずつですが増えています。「チョコっとさん」の支援をきっかけに介護保険や医療に繋がった事で安心安全な生活を過ごされている方もおられます。介護保険で訪問ヘルパーを利用されている組合員さんも多くおられます。でも決まり事が多く時間不足や出来ない事があると、訪問しているヘルパーさんからの報告が時々あります。「チョコっとさん」を利用してもらったらとの提案でコーディネーターが訪問して面談させていただきました。鳥かごの掃除、鳥の餌の購入、ベランダの片付け、引っ越しの準備片付け、お墓参り、押し入れの片付け、粗大ごみ回収の手伝いなど希望される事が多々あるのです。訪問しているヘルパーさんにも活動会員になってもらい空き時間に協力してもらっています。全盲の組合員宅に月に一度支援でしたが回数を重ねることで通院介助の支援も希望されるようになりました。年に一度の総会も実施しています。まだまだ問題点や課題はあると思いますが組合員の相互信頼のもとで助け合いの活動が実施され組合員さんの身近な存在になるよう努力したいと思っています。

所属している組織の概要	
活動地域は、大阪府大阪市旭区。活動地域の人口は約9万人。所属する共同組織の人数は約30人。	
TEL 070-5458-6705	メール akashin3008@gmail.com

演題番号 3-2-5

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	倉敷医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ナオハラ ユミ 猶原 真弓	給食サービス ボランティア活動組合員	第3分科会

発表テーマ
給食サービスボランティア活動について

内容（発言要旨）

- 助け合い活動の原点…暮らしを知り、私の困ったの共有化
- 給食サービスボランティアの始まりについて…一人の独居男性入院患者との出会い
- 給食サービスボランティア活動の歩みと活動の広がり
- 給食サービスボランティア活動を通じて見えてきたこと、そしてこれから

演題番号 3-2-6

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
東京	八王子・たま健康友の会八王子支部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ムライ リョウイチ 村井 良一	健康友の会八王子支部 事務局長	第3分科会

発表テーマ
会員同士の助けあい「送迎ボランティア」として見えてきたこと

内容（発言要旨）

会員同士の助けあい「送迎」を2012年7月にはじめて12年になろうとしています。「とても助かります」といつも喜ばれ、ドアツードアで、多くの会員さんたちと関わってきました。障害があり、車の乗り降りも大変な方、独居や高齢の二人住まいの方など、最近は通院に苦労する様子も増えて来ました。そんな中で患者さんだけでなく、家族の大変さです。Aさんは、がっしりした大きな体格の方で半身マヒがあります。しかしAさんは、自力でやりたいという思いが強い（と思われる）。車に乗り込むにも支えになる場所やものを指示してゆっくり動く。時間がかかる。運転手と介助の2人がかりで移動する。そばで妻は見守る、車から降りる、エレベーターに乗る、診察室に移動する、どの動作も大変です。でもそれは時間をかけて介助があれば何とかできました。気になったのは、Aさんを見守り続ける家族、特に妻の大変さです。顔は明らかに疲労困憊、青ざめてみえました。患者さんだけでなく、その家族の生活も気にかける必要を強く感じました。この会員さんは、歯科の患者さんで、早速、訪問診療に切り替えていただきましたが、家族特に妻への関りをどうするか今後の課題です。

所属している組織の概要	
倉敷医療生協は、岡山県西北部を活動エリアとする組合員約63,000人の組織です。「給食サービスボランティア活動」は、倉敷市の南部水島地区で取り組まれている活動です。	
TEL 086-448-3369	メール tooya_t@kura-hcu.jp

所属している組織の概要	
活動地域は、東京都八王子市にある3つの支部の一つ、八王子の長房地域、西部地域を除く市の中心から南北東の人口約40万人位。会員数は2400人。	
TEL 090-1804-0919	メール hachi-tama@t-kenseikai.jp

演題番号 3-2-7

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
東京	葛飾健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ヤザワ マサコ 谷澤 雅子	事務局	第3分科会

発表テーマ
四ツ木診療所と連携し、よつぎサロンの利用を開始したTさんの事例

内容（発言要旨）

葛飾健康友の会は、四ツ木診療所と連携し、健康増進の取り組み、「よつぎサロン」「保健学校」「歩こう会」を実施し、趣味のサークル活動は「そば打ち」「書道」「カラオケ」を運営しています。よつぎサロンは「雑誌：はるめく」で有名な「きくち体操」を取り入れた運動を中心に、レク・脳トレを実施。よつぎサロン利用者のTさんの事例を通して活動を紹介します。Tさんは、同居していた妹さんをコロナ感染症で急に亡くしました。一人暮らしになり、不安と孤独のなかで、とても落ち込んでいました。受診した四ツ木診療所の看護師が、Tさんの状況を知りよつぎサロンを紹介。友の会の担当者が面談したところ、精神的な落ち込み、難聴、歩行不安定な状態で、サポートが必要な状態でした。友の会の会員で協力し、会場までの送迎や聞こえにくそうな場面で声掛けするなどを行いました。利用開始時は一人では会場に来ることができなかつたTさんでしたが、3月からは心身の状態が安定し、ひとりで参加できるようになりました。Tさんの事例では、コロナ感染で大切な家族を突然喪い、悲しみや不安の中でつらい思いをしている方を四ツ木診療所が発見し、仲間づくり・健康づくりを行っているよつぎサロンで受け止め、笑顔と健康を取り戻すことができました。今後も診療所との連携を更に強化し、困難を抱えるひとり一人に寄り添った活動を継続していきたいと思ます。

所属している組織の概要	
葛飾区は人口46万。高齢化率24.3%。葛飾健康友の会は会員数632名。活動圏域は、医療法人財団健和会・四ツ木診療所の診療圏の立石と四ツ木地区	
TEL 03-3694-1661	メール masako-00150@totokyogikai.jp

演題番号 3-2-8

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	大阪きづがわ医療福祉生活協同組合 訪問看護ステーションさくら通り	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
イトウ ミキ 伊東 美紀	看護師	第3分科会

発表テーマ
「家族の会 つなぐ」 結成までとこれから～

内容（発言要旨）

【序論】当訪問看護ステーションでは以前よりグリーンケアとして、遺族訪問を不定期に実施していた。機関紙でその記事を見た介護中の妻より、当事者に会いたいと訪問看護師に相談があった。職員間で、他にも在宅看取りされたご家族がいるので、みんなで集まったらどうかとアイデアが浮かび、第1回目を開催した。【本論】初めて会ったと思えないほど皆さんが打ち解けられ、やはり経験したもの同士でないと分かり合えないこともあるんだと話が弾み、第2回目以降につながった。その後も四季の行事等、イベントを通し生まれ、第5回目まで続いている。現在、地域の繋がりが薄れ、大切な人を失った悲しみを癒す場が減っている。この会が、その役割を担うことを期待する。【結論】つなぐ会員が主体となって、継続できることを目標に、今後も遺族と会をつなぐ役割として訪問看護がサポートしていく。

所属している組織の概要	
活動地域は、大阪府大阪市の港エリア。訪問看護ステーションさくら通りでは、隣接するみなと生協診療所と連携し、在宅医療を展開しています。また、西成・大正にサテライトの事業所もあるので様々な地域での対応が可能です。「断らない」を理念として、利用者さん・ご家族に寄り添う訪問看護を提供しています。	
TEL 06-6571-8585	メール ito.aymk@gmail.com

演題番号 3-2-9

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	岡山医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
クニシオ 國塩 ゆり	介護事業部 訪問看護ステーション さくらんぼ・副主任	第3分科会

発表テーマ
利用者・利用者家族の思いを聞き、その人らしく生きることを学ぶ

内容（発言要旨）

訪問看護利用中の利用者で90歳代後半の女性です。（以降 M 氏）主病名は腎不全末期で次男と2人暮らしです。次男は治療院を経営しており日中不在です。M 氏にはあと2人の子供がいますが、県外在住です。

母親のために家族が団結し、交代で介護をされています。徐々に全身の浮腫がみられ、喘鳴の出現と余命長くないと主治医にいわれました。しかし、何度も持ち直し、好きなカツカレーにお寿司、うどんを食べに外食をしました。花見をしに家族で外出もされました。家族は寝たきりにさせないように。自分でしたいという思いを聞いていました。M 氏は体調がいい日は歌を歌い、笑顔で話をされました。

家族の介護に合わせて1日1回から3回に訪問看護の回数を調整し、自宅で M 氏が生活できるようにサポートをした経過と訪問看護師として利用者と家族との関りで学んだことを振り返りたいと思います。

所属している組織の概要	
活動地域は、岡山県岡山市。活動地域の人口は約71万人。所属する共同組織の人数は約700人。	
TEL 086-276-5599	メール kunishio@mb.okaky.or.jp

演題番号 3-2-10

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
宮城	長町病院(仙台南健康友の会)	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
フクオカ ショウコ 福岡 祥子	作業療法士(事務局次長)	第3分科会

発表テーマ
作業療法士として友の会事務局を担当して

内容（発言要旨）

仙台南健康友の会（長町病院・地域健康課）に配属された作業療法士が、友の会の事務局として関わってきた活動内容と、リハビリ職が共同組織の中で活動してきた中で感じたことを紹介します。

活動内容は、事務局としての業務（会費などの管理、班会業務・告知、班会参加・講師担当・財政活動など）はもちろん、病院職員の友の会行事への促し、他部署との連絡調整などが主になっています。

作業療法士（リハビリ職）が友の会で活動して感じたことが3点あります。

1つ目は、介護予防の視点で自分の得意とする分野をいかせることです。友の会には活動性の高い方も多く、元気なイメージがあります。しかし、そうではない方も多くおられ、フレイル予防（体力予防・認知症予防）活動は重要です。

2つ目は、友の会の活動が居場所づくり・人とのつながりに大きく貢献していると思われ、精神賦活・社会性の維持にとっても効果があると思うのです。

最後3つ目は、作業療法士を含むリハビリ職種の職域拡大につながる点です。我々リハビリ職種は看護・介護職と同様に、体の不自由な方に関わる仕事です。そのため体力は仕事に大きく左右されます。私自身休業し、体力が戻らないことが理由で友の会に配属となった経過があります。体の負担を考えると病院や施設での仕事は大きく、それができなくなった時の不安は大きいです。リハビリの専門性をいかしつつ、地域に出て活動ができる共同組織の存在はとても大きいと考え、これから広がっていくことを期待したいです。

所属している組織の概要	
活動地域は、仙台市太白区・若林区・名取市など。構成員数は4,100人。	
TEL 022-248-6702	メール n-shoko@zmkk.org

演題番号 3-2-11

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	(公財)水島地域環境再生財団 (みずしま財団)	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
フジワラ ソノコ 藤原 園子	事務局長	第3分科会

<b>発表テーマ</b>
地域で取り組む呼吸リハビリ ～公害健康被害 予防事業とくらしき COPD ネットワーク～

### 内容（発言要旨）

#### 【背景】

・公害認定患者は高齢化し、QOLが低下している。  
2007年度高齢認定患者のためのリハビリテーションの開発が、大阪の公害地域再生センターが中心に実施され、倉敷医療生協の水島協同病院の医師・理学療法士・検査技師等が関わってきた。  
・1974年制定の公害健康被害補償法は法改正により1988年に新規認定が打ち切り。旧公害指定地域で新たな患者が発生しないとはいえ、(独法)環境再生保全機構、48自治体を実施する公害健康被害予防事業が取り入れられた。

#### 【目的】

・地域住民のCOPDの予防・早期発見を目的に、2008年からみずしま財団が調整役となり、倉敷医療生協、倉敷市保健所、倉敷連合医師会が構成メンバーの「ぜん息・COPD検討会」を立ち上げた(2015年に「くらしきCOPDネットワーク」と改名)。

#### 【内容】

・「息切れとうまく付き合うコツ、教えます」と名付けた呼吸ケア・リハビリ講座を実施。理学療法士等が講師となる体験講座、愛育委員・保健師と協力した肺年齢測定、フライングディスクやスポーツウエルネス吹矢体験を取り入れて、地域で展開している。

#### 【結果】

・多様な立場が協働することで、コロナ禍の中でも中止せずに実施できた公害健康被害予防事業として注目されている。

<b>所属している組織の概要</b>	
倉敷市水島は人口9万人。1960年代大気汚染公害により呼吸器疾患に住民が苦しみ、約4,000人が公害健康被害補償法の認定を受けた。倉敷公害訴訟の解決金の一部を基金に患者らが2000年にみずしま財団を設立、環境再生のまちづくりが進められている。	
TEL 086-440-0121	メール fujiwara@mizushima-for.jp

## 第3分科会 第3会場

「安心して住み続けられる  
まちづくりのとりくみ」

ホテルグランヴィア岡山 4F フェニックス(B・C)

演題番号 3-3-1

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	西淀川・淀川健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
北山 良三	会長	第3分科会

発表テーマ
みんなで街づくりー公園ウォッチング（公園実態調査）のとりくみ

内容（発言要旨）

安心して住み続けられる街づくりのためにとりくんだ公園ウォッチング（調査）について報告する。

1. 調査の概要

- ①期間 2023年10月～11月
- ②対象 西淀川区淀川区内の公園66か所
- ③参加者 西淀川・淀川健康友の会会員と他16団体構成員 のべ178人
- ④調査結果の特徴

・全て公園に整備されるべき設備（時計・出入口のバリアフリーなど）で問題ある公園あり。  
・雑草がひどく子どもが遊べない、不必要に樹木が伐採されている公園あり。  
・洋式トイレ設置の要望が多数あり。

2. 西淀川区での調査後のとりくみ（大阪市をよくする会と共同のとりくみ）

・西淀川区内連合町会長会議に調査内容を報告し懇談を行った。

・「問題点改善への要望」を大阪市公園事務所に申し入れ・懇談を行った。

・西淀川区に対し申し入れ・懇談を行う予定。

3. 調査をとりくんで

・健康友の会会員と各種団体の幅広い構成員が参加し、連携して楽しく取り組むことができた。

・身近な要求をまとめ「安心して住み続けられる街づくり」に向けて運動化する経験ができた。

所属している組織の概要	
大阪市の北西部にある西淀川区（人口95千人）・淀川区（人口183千人）で活動。会員世帯数23,365世帯。	
TEL 06-6472-6453	メール hhidakal446@gmail.com

演題番号 3-3-2

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
兵庫	神戸医療生協 長田北部支部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
宮田 妙子	運営委員	第3分科会

発表テーマ
地域に支えられひろがり続ける「たんぼぼの家」の活動

内容（発言要旨）

長田北部支部は1999年7月に結成しました。当時の組合員数は383人。支部運営委員は5名のスタートでした。

2006年5月に生協会館「たんぼぼの家」が誕生しました。

「たんぼぼの家」を地域の居場所として軌道に乗せるために様々な活動をしました。

- ①地域を探索して危険場所をチェックし要求にまとめ自治体交渉
- ②食事会の開催。コロナ禍には配食サービスに変更し継続。今では見守りも兼ねた毎週のサンキュー弁当も実施。
- ③地域の助け合い活動。様々な地域の「困った」に応え17年間で延べ支援件数は7,971件、延べ支援者数は11,211名（24年3月末）
- ④毎月1回の資源回収。資源置き場の貸しガレージには、日常的に地域の方からの資源が集まります。
- ⑤市民花壇「たんぼぼの家」の周りにきれいな花壇をつくり、地域の方にもおすそ分け。
- ⑥夏には平和のつどい。冬にはクリスマスイルミネーション。

地域の要求に応え、工夫したとりくみで、「たんぼぼの家」は地域になくてはならない存在になっています。

所属している組織の概要	
神戸市長田区の北部に位置する支部。地域の人口は約15,000人。組合員数は約950人。	
TEL 078-641-4322	メール goto.y@kobe-iseikyo.or.jp

演題番号 3-3-3

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
石川	石川県健康友の会連合会 能登中部ブロック	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ミウラ 三浦 ゼンキチ 善吉	中能登健康友の会代表	第3分科会

発表テーマ
民医連の事業所のない地域での健康友の会運動

内容（発言要旨）

民医連の事業所のない地域に、自治体や法人の担当部署の協力で、友の会運動を広げています。体操教室は、5人の役員だけでスタートし、口コミで参加者は少しずつ増えました。教室が定着した頃会員から「体の元気もいいが頭も大切」ということで「脳いきいき教室」と「お楽しみサロン」も開催することになりました。講師は、医療機関の専門の方です。「脳いきいき教室」では、失敗が続くと、講師の先生は「間違いが、脳を活性化し、後退した運動能力が目覚めましたね」と優しい言葉で励ましてくれます。「お楽しみサロン」では、美味しいコーヒーとケーキを食べながらの話会やトランプで楽しみました。会員の中には、「絵手紙の上手な人」や「折り紙が得意な人」「大正琴を習っている人」「ピアノなら弾けるとい人」などがいて、この人たちに1講座ずつ担当してもらいました。ミニ旅行もすることになり「お楽しみサロン」は大好評の行事になりました。友の会と民医連運動をもう少し知ってもらうため、体操教室の参加者には、「いつでも元気」の購読をすすめることにしました。現在、全員読者です。安心して住み続けられるまちづくりの運動は、まだ、一歩踏み出したばかりですが、これからも会員の意見・要望を大切に運動を進めていきます。

所属している組織の概要	
活動地域は、石川県中能登町。活動地域の人口は約21000人。所属する共同組織の人数は約120人。	
TEL 080-3000-0194	メール miu1540@yahoo.ne.jp

演題番号 3-3-4

演題取り下げ

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
石川	石川県健康友の会連合会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
キムラ ヨシノブ 木村 吉伸	役員	第3分科会

発表テーマ
人間の尊厳に満ちたまちづくり～県営住宅に住む方々に寄り添って

内容（発言要旨）

目的：高齢化孤立化する約800戸の県営住宅で、現状を調査し改善が必要な課題を明確にして解決方向を検討するために、24時間訪問看護ステーションすみれと健康友の会が「県営住宅まちづくりチーム」を立ち上げ活動してきた。どの地域でも民医連事業所と共同組織が共同して、人間の尊厳に満ちたまちづくり活動を進める必要を考え実現をめざしていきたい。

活動：2020年8月に、「県営住宅まちづくりチーム」で県営住宅健康友の会会員約300人を対象に隔週訪問を開始し、現在は80歳以上28.3%に絞り日常生活や買物・入浴の状況、医療・介護の実態を聞き取り、困難があれば解決に向けた対応を行い、継続的な見守りなど課題を集めている。年に1回は全世帯を対象としたアンケートを実施。県営住宅では、健康体操・健康チェック・移動・配食などの友の会活動を実践している。

考察と結論：地区社会福祉協議会や民生委員、包括支援センターなど、関係機関との連携・共同も含めて、地域のつながりを強め広げて民医連と共同組織の課題を当日の報告を通して明確にしたい。

所属している組織の概要	
県連合会は2015年結成した全県の組織で基礎組織は支部。該当する県営住宅は、金沢市平和町2丁目にある健康友の会十一屋支部の活動地域。民医連加盟の健生クリニックは平和町3丁目に存在。	
TEL 090-3885-1526	メール yoshi26916@yahoo.co.jp

演題番号 3-3-5

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
東京	代々木健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
イコウ タダシ 伊香 忠志	事務局長	第3分科会

発表テーマ
町会・商店会とのつながりを深め、地域ぐるみで医療の拠点を守る活動に

内容（発言要旨）

\*健康なまちづくり

- ①コロナで中断していた健康講座を再開、「身近な病院であり続けたい」、「健やかな老後のために」と題して院長が講演。病院の可視化のために、お知らせの範囲を広げて取り組む。
- ②健康まつり みなさんと支えあい、この街と絆を深めることを目標に、取り組みを地域に広げようと地域訪問、宣伝を強化。メイン企画として商店会長をゲストコメンテーター、「地域の困ったに連携して、健康なまちづくり」をテーマにシンポジウム。
- ③毎週病院の多目的ルームで「ころばん体操」を再開。コロナ禍は鳩森神社の境内での青空ころばん体操だったが、院内で再開、毎回参加者が増え、友の会会員も増えている。

\*地域のみなさんとの支えあい

商店会、町会の行事にはすべて参加している。これまでになく神社の盆踊り（青空健康チェック・医療相談）や例大祭（駐車場でおもてなし）に病院の医師・スタッフが参加。

コロナ禍でワクチン接種の予約のお手伝いは信頼関係を深める役割を果たした。7回、友の会独自に延べ1200人の方の予約を代行した。コロナ禍「病院支援募金」を訴え200万円、救急外来用のベッドなどを寄贈。病院への患者さんの送迎など、病院スタッフとの連携も増えている。

所属している組織の概要	
活動地域は東京・渋谷区千駄ヶ谷地域を中心に5万人、共同組織は3600人	
TEL 03-5411-9589	メール tomo-yoyogikyoudou@able.ocn.ne.jp

演題番号 3-3-6

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
兵庫	神戸医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
カワサキ トシエ 川崎 寿恵	理事	第3分科会

発表テーマ
北区支部の安心して暮らせるまちづくり・最終章

内容（発言要旨）

【目的】

私たちが安心して暮らす為には、医療介護をはじめ生活に必要な細々した要素が多岐にわたる。諸事情で生活に支障が出てから情報収集や相談を開始しても間に合わないことも多々ある。情報の多さが安心して暮らしていくには鍵となる。

2025年地域包括ケア開始までに、介護経験者、要支援者、要介護者の声を集め、必要な情報をまとめる。

【取り組み】

- ・医療介護事業所訪問隊を作り、利用者・家族・専門家の目線で16項目のチェックリストを作り訪問を開始。
- ・神戸市の市民企画に参加
- ・買い物、出前、お弁当の配達
- ・家の片付け
- ・民医連・医療生協の事業所としっかりかかわる為の利用の仕方。

【結果】

- ・同じ法人の介護事業所でも各々個性があって訪問しないとわからない特徴や短所があった。
- ・全く知らなかったNPOやボランティア団体とかかわりができ展望が開けた。
- ・要支援・要介護者本人を遠し、医療介護事業所とかかわりができて、班会に出てこれない組合員さんが役に立っていると思えることができた。

所属している組織の概要	
活動地域は兵庫県神戸市北区・組合員数は1,191人（2024年3月末現在）	
TEL 090-3728-8851	メール kwsk.kobe.24suzu@gaia.eonet.ne.jp

演題番号 3-3-7

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	医療福祉生協おおさか 豊新・上新庄支部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ナンノ 南野 ウメ子	こぶし通り地区 理事	第3分科会

発表テーマ
安全で安心して暮らせる綺麗なまちづくりを目指して。(ごみ拾いウォーキングの取り組み。)

内容 (発言要旨)

健康のためにと、2020年ごろから組合員2人で始めたウォーキング。ただ歩くだけでなくウォーキングしながら何かできないか?と置いていたところ、たばこの吸い殻のポイ捨てが多いのが目につきました。中には火のついたままの吸い殻も。「小さい子どもたちが、むやみに捨ったりすると危ない。」との思いから、吸い殻拾いをスタート。今では支部内に広がり、吸い殻拾いだけではなく、町中に散乱しているゴミ拾いへと発展。たまり場近くの、子どもたちが多く遊ぶ公園を中心とした、ゴミ拾いウォーキングは月1回の定期行動となりました。その成果が実り、今年の3月には大阪市より、「おおさか環境賞・奨励賞」を受賞しました。

所属している組織の概要	
活動地域は、大阪市東淀川区。活動地域の人口は約170,000人。所属する共同組織の人数は約1,500人。	
TEL 06-6322-9182	メール h-nakazawa@coop-osaka.or.jp

演題番号 3-3-8

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
東京	NPO 法人たんぼぼ会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ナカムラ 中村 和司	責任者 中村 和司	第3分科会

発表テーマ
足立区内で3つの高齢者サロンに取り組んだ経験

内容 (発言要旨)

高齢者者の社会的孤立を防ぎ、フレイルや認知症を予防し、高齢者の方が地域でその人らしく暮らせる街づくりを行っています。現在、毎週月曜日に高齢者を対象に食事の提供を目的とした「いきいき月曜サロン」を行っています。また、2か所で高齢者サロン(サロン千住大川と高齢者サロンたんぼぼ)を実施しています。サロン千住大川は毎週金曜日に開催し、毎回20名前後の利用者が見えています。高齢者サロンたんぼぼは、毎月第1,3,5火曜日に開催し、20名を超える利用者が来ています。こうしたサロンを通じて、高齢者の方がいつまでも健康で住み続けられる街づくりを行っている活動について報告をします。また、こうした活動が、東都医療保健福祉協議会及び共同組織の活動のすそ野を広げることに寄与していることについても報告をします。

所属している組織の概要	
東京都23区東部地域で、高齢者の居場所作り、子育て支援、介護の総合事業など、法関連する法人や共同組織と連携して街づくりの活動を行っています。現在、高齢者サロン、子ども食堂、無料学習塾など8つの事業を行っています。	
TEL 03-3870-2034	メール kazushi-nakamura@totokyougikai.jp

演題番号 3-3-9

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
愛知	尾張健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ハヤカワ マサズミ 早川 雅澄	北名古屋支部 支部役員	第3分科会

発表テーマ
《居場所・生きがい・支えあい》による〈まちづくり〉体験：サロン街「ニコニコ堂」

内容（発言要旨）

高齢者が、在宅生活を続けていくために、地域活動に参加し生きがいをもつことで、いつまでも元気に過ごすことができること、また、地域の様々な人が楽しく交流し、高齢者をはじめ、障害者、児童、家族、親子などへの理解へとつながり、生活や自主的なコミュニティを豊かにすることを通じた「安心して住み続けられるまちづくり」が求められています。

これをめざして、ひろば「ニコニコ堂」（サロン街）を、地域包括ケアシステムの高齢者サロンとしての市からの補助を受けて、100人ほどの参加で毎月1回日曜日の1時間半、開催しています。バザーや折紙や休憩などの小さなコーナーがあり、自由に楽しそうに買い物、遊び、おしゃべりをしています。子どもからお年寄りまでの世代を超えたコミュニティが、自然に育っています。モデルは、商店街や公園や神社です。

所属している組織の概要	
愛知県一宮市千秋町にある医療法人尾張健康友会を母体とする尾張健康友の会は、会員数4951名、8支部あります。 北名古屋支部は北名古屋市・清須市・豊山町の3自治体が活動地域です。会員数は155名です。	
TEL 080-4844-8878	メール nonmart2020@gmail.com

演題番号 3-3-10

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
兵庫	尼崎医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ツジモト ナオキ 辻本 直樹	組合員活動部	第3分科会

発表テーマ
ゆかいな秋祭り in ほんでん

内容（発言要旨）

尼崎医療生協は「誰もが安心して暮らし続けられるまちづくりをしよう」をスローガンに組合員活動・介護・医療の一体化を目指して、地域住民の方々との繋がりを強化するにはどうしたらよいかを地域組合員さん・支部運営委員さん・職員が一体となって様々な班会や行事に取り組んでいます。今回は2006年より2019年まで14年間継続してきた“大庄平和盆踊り”をCOVID19の影響で中止せざるを得ない状況に追い込まれ、2023年にコロナ感染症が2類から5類に移行されたことにより、再度“盆踊り”を復活させようとしていましたが、イベントを実行してきた支部運営委員さんたちの高齢化により1000人を超えるような大掛かりな行事を遂行することは困難と判断しました。しかしながら、地域住民と診療所を中心とする事業所の繋がりを保つために、小規模でもイベントを続けて行くことで意見が一致して“秋祭り”を催すに至りました。秋祭りを実施して行く上での問題点や課題、取り組み内容を報告する。

所属している組織の概要	
兵庫県尼崎市／所属組合員数：約55000人	
TEL 06-4962-4920	メール tsujimoto.nao@amagasaki.coop

演題番号 3-3-11

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	岡山ひだまりの里病院／林友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
カシマ ナツヨ 加嶋 夏代、 モリ ヨコ 森いく子	地域生活支援部 部長／ 林友の会会員	第3分科会

発表テーマ
住み慣れた地域で暮らし続けるために ～認知症の理解とつながり再構築を目指したカフェの取り組み～

内容（発言要旨）

「認知症になってからも住み慣れた地域で暮らし続けたい…。」この言葉は、私が出会った認知症の当事者や住民の方が口にしていた言葉である。地域包括ケアが広く語られる状況となったものの、地域で支援をしていると、周囲の理解や協力が得られずに「暮らし続ける」という事が難しい現状にあるという壁にぶち当たる。こうした壁をどう打破していくか悩んでいた時に、当院に程近い地域の民生委員との出会いに恵まれた。「地域の方が認知症を自分ごとと認識した上で支え合えるつながりをどう作っていけばいいのか」と悩んでいた民生委員、病院職員、そして地域での暮らしを願う当事者で2019年認知症カフェを立ち上げた。

立ち上げから5年。認知症があるないに関係なく出会い、つながり、理解し合う場としてのカフェは、常に多くの人の笑顔あふれる交流の場となり、認知症への偏見も薄れつつある。認知症になってからも自分らしく生きようとする人を支えるというこの関係性こそが、「認知症になってからも住み慣れた地域で暮らし続けたい」という思いへの実現に一步近づくのではなかろうか。本演題では、カフェ立ち上げからの5年の経過と今を考察する。

所属している組織の概要	
林友の会は公益財団法人林精神医学研究所(林病院、岡山ひだまりの里病院)の共同組織で、会員数は岡山市内中心に約3400名。岡山ひだまりの里病院は岡山市南区(人口約16万人)に位置している。ただし、岡山ひだまりの里病院の位置する中学校区は高齢化率35%と高くなっている。	
TEL 086-267-2011	メール hidamari_kashima@px4.harenet.jp

演題番号 3-3-12

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
京都	京都東健康友の会 左京ブロック 岡崎支部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
カトウ マサヨシ 加藤 政好	岡崎支部 支部長	第3分科会

発表テーマ
タワー・マンションから京都の景観を守る

内容（発言要旨）

聖護院門跡の真ん前で、すぐ東には金戒光明寺（黒谷さん）を望める、東本願寺が所有する約1000坪の敷地に、73年の定期借地契約で、大阪に本社のある三菱レジデンスが5階建てマンションを建てる計画が持ち上がりました。

近隣住民のプライバシーや交通、景観を守りたいとい願う人たちで「聖護院・黒谷の景観を守る会」を結成し運動をすすめてきました。京都市に「門跡を見下ろすマンション計画は見直し、近隣の住環境と調和した建物になるよう指導してほしい」と要望し、3000筆以上の署名を届けたり、東本願寺にも「住民の声を聴いてほしい」と要望してきました。この地域は門跡、須賀神社、黒谷と歴史的背景を持ち、山並み背景型美観地区にも指定されています。住民が住みよく心地よい景観を守ってきた地域を何としても守りたい。

所属している組織の概要	
京都市左京区のいちばん南にある地域。かつて森があり、御所から見ると錦に輝く見晴らしで、岡崎や隣接する聖護院の地域は「錦林」と呼ばれていた。地名にこそなっていないものの、現在でも錦林小学校などの名称がある。京都大学や美術館、動物園、図書館などの文化施設や神社仏閣も多く存在し、東山を希景観を大切にしている地域。	
TEL 090-5242-4742	メール tomonokai@shinwakai-min.jp

## 第3分科会 第4会場

「安心して住み続けられる  
まちづくりのとりくみ」

ホテルグランヴィア岡山 3F サファイア

演題番号 3-4-1

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
広島	広島中央保健生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ヤマシタ ノリエ 山下 則江	理事	第3分科会

発表テーマ
田方支部防災カフェ班の活動～私たちにも出来る身近な防災を提案!!～

内容（発言要旨）

『防災士になりませんか?』と町内会長に勧められ、防災士の資格を取り、防災カフェ班が誕生。そんな時、令和3年8月田方支部地域の団地で土砂崩れが発生し、私たちは避難所訪問、土砂かきボランティア、ボランティアセンター運営に参加しました。この貴重な体験を通してより深く地域防災の大切さを痛感することとなりました。核家族が急増し高齢者の一人暮らしも増えてくる中、その関わり方も難しくなっています。日ごろの付き合いは挨拶程度くらいの縁で「避難をしましょう」と呼びかけても一緒に行動するのは難しいと感じ、日ごろの近所付き合いやサロンなどの交流がいかにか「緊急時に大事であるか」を感じました。いろいろな体験から、「防災」に関して敷居をぐんと低くし、身近で役立つ内容ならば、ソフトで優しい地域交流ができるのではないかと、班会で皆さんと一緒に楽しく分かり易い防災が学べるのではないかという思いから、「日常」「非日常」を一緒に考えられる班会を目指すことになりました。地域のお寺や小学校での「防災キャンプ」・「地域防災活動」についての授業にも参加し、楽しい交流をさせていただきました。

所属している組織の概要	
活動地域は、広島県広島市。組合員数は約29,350人。担当支部は3支部。	
TEL 082-532-1264	メール s-okada@hch.coop

演題番号 3-4-2

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
長野	健康クラブ泉の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
タカハシ アツコ 高橋 敦子	南信勤労者医療協会 職員	第3分科会

発表テーマ
災害弱者といわれないうために防災知識を深めよう

内容（発言要旨）

健康クラブ泉の会では、防災士の資格をもった職員が健康班会で様々な防災講座を開催し、ライフラインが機能しなくなったときの避難生活で、役に立つ知識をたくさん紹介しています。災害時の備えの知識を豊富にもっていること【知っている】ということは、被災地で、避難生活で【生き抜く力】を持つことにつながります。

アルファ米やサバイバルパンなど防災食の試食会や、救急法のひとつとして三角巾での足首捻挫対策を実施しましたが、特に参加者からの関心が高かったのは災害時のトイレ対策です。

下水道の破損によってトイレを流せない生活を強いられたとき、上下水道の復旧までの間をどう乗り切るのか? 能登半島地震の被災地で活躍している簡易トイレ【ラップオン】の使用を実演して、いざというときの備えを皆で考えてもらいました。

これからも、折に触れて、防災講座を開催し、【生き抜く力】を持ってもらいたいと意気込んでいます。

所属している組織の概要	
活動地域は、長野県下諏訪町と岡谷市を中心に諏訪6市町村。活動地域の人口は約18万8000人。所属する共同組織の人数は約6600人。	
TEL 0266-27-6856	メール tikatu-02@skhp.or.jp

演題番号 3-4-3

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	医療福祉生協おおさか 本部組合員活動部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
タグチ ミナコ 田口 美奈子	組合員活動部 コープ おおさか病院地区担当	第3分科会

発表テーマ
手軽で簡単おいしい防災食について

内容（発言要旨）

近年、気候変動に伴う異常気象は激甚化・頻発化し、水害・土砂災害、又、地震災害も続く中、いつ誰が災害に遭うかわからない昨今、多くの組合員も不安に思われています。そうした中、運営委員さんからの提案で簡単にできる非常時レシピを考え取り組みました。

災害時の非常食はパン、カップ麺など簡素なものになりがちです。避難できても栄養バランスが偏ると免疫力・体力ともに低下することや、いざという時のために日頃から備蓄を心がけると同時に、災害時にも心と体に健康的なごはんが調理できるように「パッキング」の方法を組合員さんと共に調理実習を行いました。

実際行ってみて、当初、「湯煎で上手く調理ができるのか」の疑問は解消されていました。皆さん簡単でおいしくできることにも感心されていましたし、何より、災害時に備えがちな、レトルト食品だけでないメニューということも、発想の転換となったとの感想もありました。今回の取り組みでいつ起こるかわからない災害に備えるという意識をより持ってもらえるきっかけとなりました。

所属している組織の概要	
活動地域は、大阪府大阪市城東区の一部。活動地域の人口は約10,000人。所属する共同組織の人数は約2,000人。	
TEL 070-5461-1370	メール m-taguchi@health-coop.jp

演題番号 3-4-4

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
石川	石川県健康友の会連合会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
サド レイコ 佐渡 麗子	奥能登ブロック 事務局	第3分科会

発表テーマ
1.1能登半島地震被災地の友の会と民医連の取り組み

内容（発言要旨）

1月1日16:10に発生した能登半島地震では、最大震度7を観測。家屋の倒壊、道路の寸断、津波そして火災と奥能登2市2町に甚大な被害をもたらした。

役員や教室、班会参加者への安否確認を行いました。ライフラインの復旧が見込めないこと、地元を離れての避難、電話回線の寸断もあり、会員の安否確認、所在を確認することが困難な状況だった。奥能登だけでは、対応しきれず2月末全日本民医連の支援のもと、会員の安否確認、要望把握の地域訪問を開始。初期の訪問では1、2割対面できる程度。4月末まで全国支援を受けながら対話訪問と片づけ支援を行った。

全国からの支援で復旧が遅れている現状を知らされ、高齢化率50%地域での災害、また、珠洲市では昨年5月5日にも最大震度6強の地震被害があり、奥能登での生活再建が悩みである。

地域を離れての避難は周囲から孤立してしまうので、組織のつながりを活かし健康友の会としても石川県全域で被災者支援を会員の皆さんに呼びかけています。災害時の教訓から、いろいろなつながりを広げられる活動を進めていきたいと思えます。

所属している組織の概要	
活動地域は、石川県奥能登2市（輪島市、珠洲市）2町（能登町、穴水町）。活動地域の人口は約59,000人28,000世帯。所属する共同組織の人数は約6,000人4支部が活動。輪島市においては約23%が会員	
TEL 0768-22-3055	メール yukinko203-okunoto@pure.ocn.ne.jp

演題番号 3-4-5

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
石川	公益社団法人石川勤労者医療協会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ヤマウチ カツト 山内 勝人	健康推進部 職員	第3分科会

発表テーマ
被災した会員を励まし安心して住み続けられるまちをともにつくる

内容（発言要旨）

目的：石川県輪島市南志見地区は発災直後から道路が寸断され孤立化し多くの住民は小学校や集会所などに避難。高齢者が多く帰省家族もあり食料も不足。厳しい冬を迎え被災者は考える余裕もなく9日目にして自衛隊ヘリ等で広域集団避難するという前例のない事態となった。この地区は11町会370世帯、840人が暮らす地域で友の会会員は77世帯210人。金沢市南部地域の施設に集団避難した方々への主な支援内容は、炊き出し、ミニ演奏会、健康チェック、対話などを行う。5月頃より金沢の避難所からそのまま賃貸住宅や高齢者施設または仮設住宅などへ住民は分かれていった。しかし、仮設、賃貸いずれを選択しても保障は2年。水光熱費や食料などが自己負担でさらにその後の住まいや生活再建は自己責任となっている。5月から9月にかけて「南志見」地区を活動範囲とする友の会組織と協力して、会員訪問や住民に寄り添った活動を行い、地区のみなさんが住み慣れた地域で暮らせるよう、民医連事業所と友の会の役割と課題を検討していきたい。

所属している組織の概要	
金沢市南部地域 支部数6 班数43 15の小学校区 会員数6600余り 対応する民医連事業所 健生クリニック 金沢市平和町3-5-2	
TEL 070-3286-7673	メール yamauti@ishikawa-kinikyoo.jp

演題番号 3-4-6

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
石川	石川県健康友の会連合会 金沢北ブロック	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
カクタ カズヨシ 角田 和嘉	健康で楽しくくらそう内灘の会	第3分科会

発表テーマ
「がんばろう内灘 KSNJ」を結成しての取り組み

内容（発言要旨）

（仮）1月1日、能登地方を中心に大きな地震に見舞われ、大変な被害が出ました。液状化現象が顕著に起こったのがわが支部のある内灘町です。そんな被災者の皆さんの力になれるようにとの思いで、1月18日、4団体の参加で「1・1能登半島地震“がんばろう内灘 KSNJ”ネット」を発足しその日の午後から地域訪問を開始。翌日からは石川民医連からお借りした腕章と名札をつけ地域訪問活動を実施。訪問先では簡単な地盤の応急処置や支援物資のお届け、要望について1時間以上お話しを伺う場面もありました。発足から6日目の1/23、訪問にて聞き取った住民からの要望をまとめて内灘町役場へ提出。被災者の要望は発災当初と異なり、被害の認定に関することや応急仮設住宅の設置場所に関する要望など様々。新たに出される要望をその都度まとめ、粘り強く、自治体に要望書を提出して改善に結び付けたいと思います。

所属している組織の概要	
金沢北ブロックは金沢市北部地域と、内灘町、津幡町、かほく市を活動地域に会員数13161人、10支部が組織され、当支部は内灘町で活動する。会員数794人、町の人口は26051人。	
TEL 076-251-6112	メール kitatomonokai@taupe.plala.on.jp

演題番号 3-4-7

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
石川	石川県健康友の会連合会 能登中部ブロック	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
イナモト 稲元 イクヨ	能登中部ブロック事務局	第3分科会

<b>発表テーマ</b>
1.1能登半島地震被災地での取り組みと課題

内容（発言要旨）

2024年1月1日発生した能登半島地震では、活動している全地域で被害が発生した。発災直後から移送サービス利用者の安否確認を電話で行い、その後も会員宅訪問を継続し、訪問数は700件を超え対話数は500件近くとなった。

訪問対話では被害の大きい奥能登にマスコミが集中する中、中能登は「取り残されているようだ」との思いが多く聞かれた。被災した世話役・職員と共に限られた人員で要望を伺う中、物資を届け被災地域でのサロン、復興支援コンサート、支援物資の「お渡し会」など細々と取り組んできた。友の会の呼びかけで災害対策連絡会を立上げ要望を行政に届けた。

「繰り返す余震で倒壊した家屋が隣家に被害を及ぼすのでは」との不安。液状化被害への補償が皆無である事への怒り、避難者の修繕費用の経済的負担への悩みなど課題解決にむけては多くの困難が予測される。過疎地域の復興は長期戦となるが、行政の切り捨てを許さず「住民主体」の視点を貫けるよう、今後の活動を模索していきたい。

<b>所属している組織の概要</b>	
活動地域は、石川県能登地域の2市（羽咋 七尾）3町（志賀 宝達志水 中能登）。活動地域の人口は約1,165千人、49千世帯。所属する共同組織の人数は約5,330人（5%）、2,760世帯（6%）。7支部によって構成されている。	
TEL 090-6810-7300	メール inaiku194@jmail.com

## 第3分科会 第5会場

「安心して住み続けられる  
まちづくりのとりくみ」

ホテルグランヴィア岡山 3F クリスタル(B)

演題番号 3-5-1

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
福島	福島医療生協	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
アキバ 秋葉 みち子	理事	第3分科会

発表テーマ
地域の小さな交通 ～渡利おでかけサポートの会～

内容（発言要旨）

高齢者の足の問題は、全国的に大きな問題となっています。一時期、高齢者の車の事故が大きく取り上げられ、悪者的なニュースが流れましたが、地方のバスもない地域は、病院にも買い物にも行けません。移動支援は、高齢者の生活と健康を輝かせる大切な取り組みです。しかしとても難しい問題だと考えていました。

私たちは、その問題をどのように解決できるかを長年模索してきました。一昨年より、福島市の土船地区で始まった「地域の小さな交通」は高齢者の通院や買い物支援以外にも引き籠もり者の社会復帰の手助けともなっています。このモデルケースの仕組みを取り入れ、6月より運航を始めることになりました。この方法は、いたって単純で私たちの既成概念を吹き飛ばすほど画期的です。現在、福島市内で私たち福島医療生協以外でも運航を始めようとしている地域が増えています。9月までに「地域の小さな交通」がどのようになっているのかも含め、報告いたします。

演題番号 3-5-2

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
滋賀	しが健康医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
タチイリ 立入 ヨシハル 善治	湖南甲賀支部長	第3分科会

発表テーマ
高齢者の移動手段確保へ

内容（発言要旨）

しが医療生協湖南甲賀支部では湖南市のまちづくり協議会と協力をして、地域の公共交通の実態のアンケートをとり、結果を湖南市に提出をし、湖南市都市建設部との話し合いを持ちました。その結果を踏まえ、湖南市を運行するコミュニティバス「めぐるくん」では、利用の少ない2路線（医療センター線、甲西南線【妙感寺ルート、美松台ルート】）について、運行の効率性向上にむけ、令和4年4月より2か年の予定にて「予約制小型乗合タクシー あいのりこなん」に移行する実証運行を実施しました。当初の想定を超える利用がありましたが、その分市の予算を大幅に上回る事となり、「あいのりこなん」事業は休止されてしまいました。利用されていた市民は大混乱となりました。民間の送迎サービス「恩おくりの会」が立ち上げられており、湖南市社協の協力、湖南市とも協議をし医療生協として、高齢者の移動手段をどう確保するかを考えていきたい。

所属している組織の概要	
福島医療生協の活動地域は、福島県福島市。活動地域の人口は約275,000人。所属する共同組織の人数は約28,500人。医療生協わたり病院と2つの診療所、サ高住を基盤に地域の医療と介護を担っています。	
TEL 080-1853-6006	メール ayako@fmc.u-coop.or.jp

所属している組織の概要	
活動地域は、滋賀県湖南市、甲賀市。活動地域の人口は約14.3万人。支部に所属する共同組織の人数は約2455人。	
TEL 090-8931-7415	メール vlp13yt@gmail.com

演題番号 3-5-3

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
群馬	群馬中央医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ナカジマ スズ 中島 進	理事	第3分科会

発表テーマ
高齢者の通院手段の課題に対する地域連携と取り組みの拡充

内容（発言要旨）

群馬県は自家用車の保有率が全国一位といわれ、バス等の公共交通が衰退し、日常生活の足、とりわけ高齢者等の足の確保が重要な課題である。移動支援としてドアtoドアが望まれることが多いが、それは限定的と言わざるを得ない。

群馬中央医療生協では、2022年10月から、市の委託を受けてコミュニティバスを運行している地元のバス事業者と協力して、病院受診等の事業利用者へ無料の乗車チケットを配布する取り組みを始めた。そして、病院で運行している無料バスについて、そのコミュニティバスと平行している路線を整理して、受診者が多い地域の運行回数を増やした。どちらも利用者が増えている。

ここに至るまでに、地元の公立大学の研究室や交通問題に取り組むNPO、バス会社などつながりを持ち、まずは公共交通のことを知らなければとバスの乗り方教室を行ったり、リハビリ職員がバス会社の要請で車いす利用者へのサポートについて講習会を行ったり、「住みよい街づくり～バス停チェック～」などの取り組みを行ってきたので報告をおこなう。

所属している組織の概要	
群馬県全域を定款としている生活協同組合。主な活動エリアは県中央から東部。組合員数は35,539人。医療機能の中心は前橋協立病院で二次救急から地域の医療・介護を支えるケアミックス型の病院。	
TEL 027-265-3531	メール honbu-katsudobu@gmail.com

演題番号 3-5-4

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	健康友の会みみはら	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ジョウ セツコ 城 世津子	NPO 法人 「結いの会ともうず」 副代表理事・事務局長	第3分科会

発表テーマ
通院だけじゃない！ お買い物から墓参りまで・・・高齢者の外出の楽しみを支える「おでかけ助っ人隊」

内容（発言要旨）

健康友の会みみはらの「ふれあい支え合い」活動の一環として、2019年度より「福祉有償運送事業」の認可を受け5年目を迎えました。国交省による認可制度である本事業については、旅客の対象や運送範囲、受領する対価、使用車両および運転者登録、運行管理義務、輸送実績の年度報告義務など多種にわたる要件が求められます。

利用登録者数は事業開始時の50名から現在は140～150名まで増加、運転ボランティア協力者も徐々に増え、登録車両7台がフル稼働、通院送迎はもちろん、買い物やお墓参り、友の会企画への参加など、利用の目的や行先はいろいろです。

この数年、コロナ感染症予防対策に伴う経費増、ガソリン代高騰などによって運営維持に苦慮する場面を経験しましたが、公共交通機関を使っていきたい場所に行けない高齢・要介護者は年々増加、「高齢者の外出の権利と楽しみを支える」との理念でスタートした「おでかけ助っ人隊」は、今やなくてはならない活動となっています。

今回は本事業の概要と送迎実績の推移、事業継続についての課題などを報告致します。

所属している組織の概要	
大阪府堺市にある社会医療法人同仁会を中心とする「みみはらグループ」の一員として活動。活動地域は、堺市を中心に隣接の高石市、和泉市を含め26支部。所属する共同組織の人数は23年度末時点で、41,010世帯94,111人。	
TEL 0472-280-5887	メール jo-s@mimihara.or.jp

演題番号 3-5-5

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
愛知	尾張健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ヤマギシ 山岸 センゴ 専吾	稲沢支部 支部役員(医療 法人尾張健康友会 理事)	第3分科会

発表テーマ
まちなみチェック～誰もが安心して歩道を利用できるように～

内容（発言要旨）

「ショッピングモールに行くまでの県道が危険なので、改善してほしい」との会員の声に応じて、約1.5kmの県道のまちなみチェックを6名で実施しました。

チェックの結果、幅の狭い道路に無理して歩道を設けたため、車いすがやっと通れる幅でした。一応舗装されているも、コンクリートの継ぎ目から雑草が生えていたり、電柱が道路に立っており、より歩道幅を狭くしていました。また、車道と田んぼに挟まれており、落差が大きく、フェンスやガードもありません。とても車いすでは通れない状況であることが分かりました。

県道のため愛知県の道路管理者へ連絡を取り、懇談しました。話された内容に対して努力しますとの回答を得ました。その後、すぐに雑草は取り除いてもらうことができました。歩道の拡張はまだ行われていません。

私たちが安全安心に住み続けられるよう様々な個所を視察し、今後も行政と粘り強く交渉を重ねていきたいと思えます。

所属している組織の概要	
愛知県一宮市千秋町にある医療法人尾張健康友会を母体とする尾張健康友の会は、会員数4951名、8支部あります。 稲沢支部は一宮市の隣にある稲沢市（尾張健康友会の南の地域）を活動地域です。会員数は388人です。	
TEL 0586-76-8312	メール tomonokai@chiaki.com

演題番号 3-5-6

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	林友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ズシ ユキ 頭師 裕貴	事務局長	第3分科会

発表テーマ
精神障害者の医療費助成実現をめざして

内容（発言要旨）

全国には重度の障害者に医療費が1割負担となる助成制度がありますが、岡山県の「重度心身障害者医療費公費負担制度」は精神障害者が対象外で、全国的にも制度の遅れた自治体となっていました。当事者・家族の切実な願いである医療費助成制度実現に向け、賛同する団体・個人と共に「精神障害者の医療費助成を実現する会」を結成して県への要請署名に取り組みました。約半年間で8,566筆の署名を集約した運動の経過を報告します。

所属している組織の概要	
林友の会は岡山市にある公益財団法人林精神医学研究所の共同組織で会員数約3,400人	
TEL 086-272-2957	メール hamawww@po.harenet.ne.jp

演題番号 3-5-7

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
熊本	くまもと健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
イノウエ スミ 井上 晋	事務局長	第3分科会

発表テーマ
補聴器購入に自治体独自の補助制度を求める「熊本みみの会」の取り組みについて

内容（発言要旨）

■熊本みみの会の結成

難聴は日常生活を不便にし、コミュニケーションを困難にするなど生活の質を落とす大きな原因となっています。高齢化が進む中で補聴器を必要とする多くの方から「経済的負担が大きく利用できない」という悩みが多く寄せられています。このような声を署名で集め熊本市へ届けようと年金者組合、生健会、新婦人、友の会が中心となって、2023年1月に「熊本みみの会」を結成しました。県内で助成制度があるのは4自治体です。

■学習を重ね、署名活動にも積極的に取り組む

世話人会では言語聴覚士から実践的な話を聞くなど学習に特に力をいれています。街頭署名は毎月1回行っており、30分で80筆が集まるなど関心の高さにびっくりすることもあります。当面の目標は5,000筆です（現在3,500筆）。これまで高齢介護福祉課、副市長と懇談を行ってきました。住民の要求をうけて補聴器購入補助制度が全国各地にひろがっていることの紹介、当事者の声を行政に届ける貴重な機会となりました。市議会には毎回、陳情書も提出しています。

■共同組織とともに

聞こえの不安は誰にでも共通します。党派を超えた活動にしていくためにも共同組織とともに多くの団体を巻き込み、巻き込まれながら運動を大きくしていきたいと考えています。

所属している組織の概要	
活動地域は熊本県熊本市中央区・東区中心。活動地域の人口は8万人。くまもと健康友の会の会員数は4,927人（2,440世帯）。	
TEL 096-383-8707	メール kumatomo2003@yahoo.co.jp

演題番号 3-5-8

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
兵庫	東神戸医療互助組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ハマモト ツルオ 濱本 鶴男	芦屋支部運営委員	第3分科会

発表テーマ
市民の命と健康を守るために — 芦屋保健所の統廃合計画反対と子供医療費無料制度拡充のたたかい

内容（発言要旨）

1. 芦屋保健所統廃合計画の撤回

2020年3月、兵庫県は芦屋保健所を宝塚保健所に統合し、芦屋は「窓口業務だけ」にする方針を発表。芦屋支部は伊藤舞市長（当時）に面会し、「①県当局に対し、芦屋保健所の存続を求めること。②保健所の人員不足を解消し、検査体制の拡充を求める」要望書を提出。芦屋支部も参加する「あたたかく民主的な市政をめざす芦屋市民の会」は20年9月、芦屋市議会に「芦屋保健所の存続と拡充を求める請願」を提出。「請願」は全会一致で採択され、国に対し「意見書」を提出。支部独自で3度の街頭署名活動。兵庫県は22年1月の県議会で、芦屋保健所の統廃合計画は「いったん凍結」と答弁。

2. 子ども医療費無料制度の拡充

2023年5月、「あたたかく民主的な市政をめざす芦屋市民の会」は、「芦屋のすべての子どもたちの医療費を無料に」の要望書とともに500筆の署名を、高島峻輔新市長に手渡した。請願項目は、①子ども医療費無料制度を18歳までに拡充すること、②4割を超える子どもたちが医療費無料制度から除かれている「所得制限」を止めること、の二点。2023年12月、高島市長は、「2024年7月より、子ども医療費無料制度を18歳まで拡充する」と表明。

3. 教訓 芦屋保健所統廃合計画の撤回や子ども医療費無料制度の拡充など、市民の命と健康を守る大切な課題は、私たちが声をあげ、運動すれば実現の可能性が広がることがわかった。

所属している組織の概要	
支部のある芦屋市の人口は4月1日時点で92,720人、42,910世帯。所属する組合員世帯数は不明除き390世帯。	
TEL 0797-38-8909	メール t-hamamoto@tiara.ocn.ne.jp

演題番号 3-5-9

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
福岡	北九州健康友の会 本部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ヨシヒサ 吉久 キスノリ 安則	会長	第3分科会

発表テーマ
熱中症対策に関する自治体交渉 ～気候変動適応法の改定を受けて～

内容（発言要旨）

2023年4月、気候変動適応法の改定が5年ぶりに改定された。今回の改定では、熱中症対策として、熱中症アラートの伝達、クーリングシェルターの設置が義務化されている。法改定を受け、北九州市に十分な対応を求めため、友の会、社保協、健和会の連名で「熱中症対策に関する要望書」を提出し、市と懇談した。要望書の内容は「熱中症予防パンフレットの各家庭への配布」「あんしん通報システムの普及強化」「熱中症特別警戒情報の伝達方法の開示」「クーリングシェルターになる要件の開示」など。懇談会には友の会10名を含む13名が参加し、市に対して十分な対策が講じられるよう要請した。

（その時点で回答が得られなかった事項についての回答を得るため、2024年6月頃に改めて懇談の設定を申し入れており、その結果についても報告する予定）

所属している組織の概要	
活動地域は、福岡県北九州市と京築地区。所属する共同組織の世帯数は約3万世帯。8つの支部で活動している。	
TEL 093-592-3366	メール kanezaki@kenwakai.gr.jp

演題番号 3-5-10

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
京都	丹後健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ヤマモト 山本 トモユキ 智之	事務局長 山本 智之	第3分科会

発表テーマ
介護に関する聞き取り調査報告

内容（発言要旨）

介護保険法施行以来、介護需要が増加する一方で、介護保険料や利用料の引き上げ、特別養護老人ホームの入所制限など、介護を必要とする方々が利用できるサービスに制約が生じています。今後も、さらなる負担増やサービスの制限が危惧されます。また、介護職員の不足も深刻な問題となっており、私たちの活動する京都府北部でも職員不足の影響が顕著で、施設の事業が一部休止に追い込まれる状況です。この問題は地域の方々に大きな影響を及ぼしています。このような状況を踏まえ、私たちの活動地域である京都府京丹後市において「介護に関する聞き取り調査」を実施しました。

2023年6月から、会員や地域の方々、介護事業所に対し、アンケートや直接訪問を通じてご意見を伺い、貴重なご意見をいただきました。また、この調査結果を踏まえ、2024年1月には京丹後市との懇談を実施し、集めた意見をまとめたものを、市長へと手渡しました。

所属している組織の概要	
活動地域は、京都府北部の丹後地域。主な活動地域である京都府京丹後市の人口は約5万人。会員数は約800人。	
TEL 0772-68-5017	メール tangoizika@axel.ocn.ne.jp

演題番号 3-5-11

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
滋賀	膳所診療所	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
タカトウ イサオ 高頭 功	膳所診療所 共同組織担当事務	第3分科会

発表テーマ
京阪電車石坂線のホームベンチ・スロープ・階段手すり設置を求める請願行動

内容（発言要旨）

ぜぜ健康友の会（膳所診療所内）の最寄り駅である京阪電車、石坂線錦駅のホームは人がギリギリすれ違えるほどの狭いホーム構造をしています。ホームへの登り口も急な階段しかなく手すりも高い位置にあります。さらにホームに置いていたベンチが撤去されていました。ホームが狭く電車で当たりそうになる線路に落ちそうになる危険、乗降に苦勞する、休む場所がなくしんどい、という意見が会員から寄せられました。

高齢者でも利用しやすい駅づくりをしてほしい、JRなどではバリアフリー化が進んでいるので京阪電車もおこなってほしい、という想いの元で請願行動をしようと決めました。

請願に先立って現地を見てみようと考え、役員で錦駅だけでなく、近隣12駅を一駅ずつ降りて調査しました。

調査結果の問題点を報告し、京阪電車石坂線の事業所へ改善請願を提出しました。

詳細の報告と今後の運動については演題発表でお伝えします。

所属している組織の概要	
活動地域は、滋賀県大津市。活動地域の人口は約30万人。所属する共同組織の人数は約1850世帯。	
TEL 090-6232-9411	メール zeze@shigamin.jp

演題番号 3-5-12

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
神奈川	医療生協かながわ生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
アウチ セイキ 阿内 正喜	藤沢支部 支部長	第3分科会

発表テーマ
低山会班のとりくみ（組合員の増やし方伝授します）

内容（発言要旨）

低山会班で神奈川県は大和市にある「泉の森」にウォーキングに出かけそこで昼食時に豚汁とラーメンを作ってみんなで食べた時のエピソードを演劇で発表します。ちょっと面白く、かつ、嘘はなく、組合員の増やし方のカギを伝えます。

所属している組織の概要	
藤沢支部は組合員数810人。藤沢診療所、おひぎ元の支部です。低山会班は以前は登山も行っていたものの高齢化もあり、現在は里山、若しくはウォーキングを年に数回行っています。	
TEL 045-862-9834	メール sosiki01@mc-kanagawa.or.jp

## 第4分科会 第1会場

# 「通い(つどい)の場・ 居場所づくりの実践」

ピュアリティまきび 2F孔雀

演題番号 4-1-1

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
長野	中信健康友の会塩尻連絡会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ミサイヅ ヨウコ 美齊津 陽子	原新田支部 支部長	第4分科会

発表テーマ
月1回の「おしゃべりカフェ」は「元気の素」！ ～コロナ禍の中でもつづけたみんなが集まる 企画の取り組み～

内容（発言要旨）

コロナ禍の中、中信健康友の会各支部の活動が制限される中、多くの支部活動の中断がされました。そのような中でも塩尻連絡会原新田支部では、その時の「感染防止対策」の基準に則り、「おしゃべりカフェ」の活動を続けてきました。

会員さんの多くは高齢者で、一人暮らしの方も多く、ただでさえ、日常生活の中での会話は少なく、コロナ禍の影響でその傾向が顕著となってきました。この企画を毎月継続していくためには①3か月前に集まる場所（公民館）の予約・確保②2か月前には支部役員と内容の検討、企画決定し案内チラシ作成。2か月に一度発行の「ふれあい」（機関誌）に折り込み、配布し参加者を募る。③公民館にもチラシを置く。そのチラシをみて会員ではない地域の方が参加されることもあります。企画内容は会員さんの希望をもとに、季節に応じた企画を行っています。

室内では、ゲストをまねいて楽器演奏（コンサート）、クリスマス会、関心が高い医療講演、リンパマッサージ講習など。

外出企画では塩尻という地域柄中山道奈良井宿、JR大糸線の旅、JR飯田線の旅など。一人で外出することにためらいがある方には魅力ある企画になっています。

この間の「おしゃべりカフェ」の取り組みで気づいたこととして、その場での楽しみだけで終わることなく、この場で刺激や励みをお互い感じてこれからの暮らしの活力になっている場であることがわかりました。

これからも会員さんの心身の健康に役立つ多彩な企画を検討し、時には会員さんの特技も生かした機会等をつくりながら、「継続」して活動ができればいいと考えています。

所属している組織の概要	
長野県中信地域（県の西側：北は小谷村から南は木曾地域までJR線路の距離約170km）を対象とした友の会型共同組織の塩尻市エリアの原新田地区。活動対象地域の人口は約3980人。所属する共同組織の人数は約85人。	
TEL 0263-53-6653	メール ShibataN@chushin-miniren.gr.jp

演題番号 4-1-2

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	倉敷医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
イケガミ ナオミ 池上 尚美	支部運営委員長	第4分科会

発表テーマ
居場所づくりのための支部主催のサロン活動 「おしゃべりカフェ」

内容（発言要旨）

「おしゃべりカフェ」は倉敷医療生協船穂支部と地域ボランティアで2015年10月に開始。町内唯一のスーパーの空き店舗を借りて月2回お茶とお菓子を実費（50円）で提供し、おしゃべりができる空間をつくった。お店が閉店したため、2019年6月より倉敷市の船穂老人憩の家に場所を変更し、月1回1時間の開催となり、現在に至っている。

内容は、初めにラジオ体操で体をほぐす。近年は、玉レクさわやか体操（玉野市レクリエーション協会製作）も使って柔軟性を高める。次に、間違い探し・クイズなどの脳トレを行い、輪投げ・玉入れ・ダーツ・モルックなど体を動かすゲームを行う。最後にボランティアメンバーのオカリナ演奏に合わせて2～3曲を歌う。

上記以外にも「マイナンバーカード」「身近な危険箇所」「環境問題」などの学習も行い、年2回程度外出や研修旅行（2023年はホロコースト記念館）も行い喜ばれている。

所属している組織の概要	
船穂地域の医療生協組合員578人（2024年3月末）、人口約8000人 「おしゃべりカフェ」は倉敷市のサロンに登録。船穂支部の運営委員と地域ボランティアを含めて17人。	
TEL 086-448-3369	メール yasuda_m@kura-hcu.jp

演題番号 4-1-3

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
群馬	群馬中央医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
タジマ アツコ 田嶋 厚子	理事	第4分科会

発表テーマ
病院の敷地内に地域の居場所づくり

内容（発言要旨）

2022年4月から始まった「よってくんべえカフェ」。きっかけは、病院の敷地内で開催している「ちいさなやさしさ市場」での会話でした。受診後、買い物に立ち寄った方が「今日は検査結果が悪かった」「先生に厳しい話を聞かされた」と呟き、市場スタッフが「元気出して！おまけいっぱい付けるよ！」と話している姿がありました。その会話を聞いていた組合員が「そんな話ができる場所があるといいな。病院に来る人、介護している人がホッとできて、誰でも気軽に集まれる場所」と思ったことからスタートしました。

現在、地域の居場所として定着しつつある「よってくんべえカフェ」をはじめ、きっかけとなった「ちいさなやさしさ市場」、「幸せの黄色いベンチ」の設置など、病院の敷地内につくる地域の居場所の取り組みを報告します。

※ちいさなやさしさ市場…毎週水曜日の午前中、NPO 法人や福祉団体が集まり、野菜や惣菜、パンなどを販売。

所属している組織の概要	
群馬県全域を定款としている生活協同組合。主な活動エリアは県中央から東部。組合員数は35,539人。医療機能の中心は前橋協立病院で二次救急から地域の医療・介護を支えるケアミックス型の病院。	
TEL 027-265-3531	メール honbu-katsudobu@kyouritsu.org

演題番号 4-1-4

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
北海道	道央連絡協議会 苫小牧健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
サイトウ ヨシコ 斉藤 淑子	苫小牧健康友の会 役員	第4分科会

発表テーマ
コロナ禍で中止していたサロン再開の工夫

内容（発言要旨）

目標①ふれあいサロンの毎月開催を定例化し地域の人々が気軽に参加でき楽しむことができる ②フレイル予防い視点を置いた運営内容。2016年から毎月ふれあいサロンを行っていたが2020年コロナ感染の流行により閉鎖せざる得なかった。しかし、今まで集まってきた会員から「まだ明け内なの?」「いつ会えるの?」の声があり、できる方法を模索しながら、2022年から市内3会場で『レクダンス』をおこない、1会場は現在も班活動に取り入れている。2023年4月から病院近くの町内会館を利用してサロン開催を決めた。手探り状態の中、参加者のおしゃべりタイムから希望される内容を検討し取り入れてきた。外出することが少なくなり1日笑う事のない生活の人がサロン参加で月に1回でも楽しめることができ、帰りにみんなで食堂による場面も生まれた。高齢による身体の変化に不安を抱く参加者に、専門職である病院のリハビリ職員が応えてくれる。毎月の健康講座がさらに社会参加の一翼となっている。

所属している組織の概要	
苫小牧健康友の会は、苫小牧市の他近隣の町も合わせて、会員数12000人弱、新聞宅配数は4500戸で郵送2500戸。地域は横に名が広く位置しており、地域は8ブロックと班がある。役員体制は専門部を設け全体の活動を創り、地域の班やブロックの世話人が活動している	
TEL 0144-72-3291	メール tiiki-tomabyo@kin-ikyoo.or.jp

演題番号 4-1-5

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
富山	社会福祉法人とやま虹の会友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ウラモト エミコ 浦本 恵美子	サロン梅の湯運営委員	第4分科会

発表テーマ
「サロン梅の湯は心のオアシス」

内容（発言要旨）

「楽しいひとときを過ごしてます、心のオアシスを感じています、自分ながらの楽しみと満足のひととき。みんなで笑顔、心も笑顔、一人一人ができる楽しみ。笑ってしゃべってワイワイ。サロン梅の湯は最高！サロン梅の湯に乾杯！」

一去年、利用者のみなさんに梅の湯に通っての感想をきき、それをもとに作ったテーマソングです。

社会福祉法人のとやま虹の会が元の銭湯を借り受け介護予防デイサービスをやっていたのを、13年前に利用者自身が管理・運営する地域交流施設「サロン梅の湯」としてスタートしました。

手芸や料理、体操や歌声など12のサークル活動や健康講座、子供とのふれあい企画などを行ってきました。それぞれリーダーや講師を中心に月1～4回活動しています。

当初ボランティア管理者が連絡や後片付けを行っていましたが、特にコロナになってからそれらを各サークルに任せることにしました。“お客さん”だった利用者の意識が、自分たちの使う場所だから自分たちできれいにしよう、自分たちで運営していこうと変化してきました。また運営の中心メンバーも増えてきました。

所属している組織の概要	
活動地域は、富山県富山市水橋地域。活動地域の人口は約16000人。所属する共同組織の人数は約60人（ボランティア保険申請者数）。	
TEL 080-6367-2619 (地橋)	メール matuo@nijinokai.net

演題番号 4-1-6

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
石川	石川県健康友の会連合会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ニシ ヒロト 西 博人	南加賀ブロック サロンほっと	第4分科会

発表テーマ
サロンほっと 10年の取り組みのまとめ

内容（発言要旨）

「サロンほっと」は今年で10周年を迎えます。友の会会員の「一人暮らしだけど、お出かけしたい、おしゃべりしたい」「住み慣れた地域で暮らし続けたい」の声を受け、2014年10月にオープン。施設は元調剤薬局を友の会でリニューアルし、喫茶コーナー、運動コーナーを設置しました。

当初は3つだったサークルも現在は12に増え、4つの班会が行われています。コロナ禍でサロンが休みの時もそれぞれ開催を判断し継続してきました。

昨年5月からはコロナ禍で中止していた喫茶を再開し、希望の強かったコーヒー提供。企画中だった「ほっとバザー」は委員会を作り、常時開催しています。スマホ班会は職員の参加で軌道にのりました。新たな展開や継続には若い力が欠かせません。

居場所としての役割はこの10年で地域に定着し利用者の増加にも繋がっています。「サロンほっと」は平均年齢70代半ばの高齢者が利用し、運営しているサロンです。無理せず今できること、していることを喜びに取り組んでいきます。

所属している組織の概要	
活動地域は、石川県能美市、小松市、加賀市。活動地域の人口は約5万人。所属する共同組織の人数は約8300人。	
TEL 0761-58-5028	メール minamikaga.kenkoo@gmail.com

演題番号 4-1-7

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
長崎	させば健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
キタハラ タツミ 北原 辰巳	させば健康友の会 事務局長	第4分科会

発表テーマ
いこいの家に行こい

内容（発言要旨）

させば健康友の会は2008年8月に発足し、今年で16年目を迎える。2014年からは元レストランだった物件を長崎民医連の援助の元借りあげ、「いこいの家」がスタート。事務所・厨房・元レストランの客席を生かし、サークル活動や楽しい企画を中心に仲間ふやしを行ってきた。スタート当初は友の会農園にも取り組み、ジャガイモなど作物の受付とそれを食べに来るイノシシとの戦いなど、大きな苦労があった。会員の高齢化もあり、今では残念ながら畑での作業は終了している。

今では季節毎の大きなイベントや月1回のイベント、多種多様なサークル、みそ造り、健康チェックなど様々な活動を行っています。会員の高齢化などにより、活動を中止せざるをえないサークルも出てきていますが、健康麻雀など新たなサークルも生まれています。会員の要求にそって、楽しくちょっとはためになる活動をすすめていきます。

所属している組織の概要	
長崎県佐世保市は長崎県では長崎市に次いで2番目、九州では9番目に多い人口を擁し、中核市及び保健所政令市の指定を受けている。民医連事業所がない佐世保市に「させば健康友の会」が2008年発足し16年目を迎える。2014年からは会員や地域の人達の居場所「いこいの家」が長崎民医連からの援助で発足。地域包括支援センターや社協との連携を図りながら長崎県健康友の会連絡会とともに活動をすすめてきた。発足当初は120人だったが、2024年3月現在約900世帯の会員数。徐々に高齢化がすすみつつある。	
TEL 090-4366-0334	メール t_kitahara@mac.com

演題番号 4-1-8

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	医療福祉生協おおさか 東エリア 支部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
シマダ サナエ 嶋田 早苗 (作成者 中島の代読)	まちなかホッとハウス 運営員	第4分科会

発表テーマ
たまり場：まちなかホッとハウスでの地域交流

内容（発言要旨）

まちなかホッとハウスは、2015年1月に開館して今年で10年目に入りました。会館当初から、月20日以上、10行事以上のセンター維持規定を守ってセンター運営を行ってきました。数年に渡るコロナ時期を経て地域組合員の要求に少しでも応えたいと健康チェック、スクエアステップ、ころばん体操など、健康に関わる行事をはじめ、懐かしの歌、編み物、囲碁など多彩な趣味行事を行っています。スタッフも10年歳をとり、行事参加の組合員の中には独居になったり、認知症傾向が出てきたりと、センターに出入りできる条件を拡大する必要性を痛感させられるようになりました。そのような中で、誰でも、自由に、行事とは関係なくセンターに立ち寄れる機会をつくりたいと、ホッとできる無料喫茶を始めることになりました。当初は「オレンジカフェ」と銘打って始めましたが、オレンジという名がつくだけで何か特別な人たちの喫茶という感覚があり、名前を「ホッとカフェ」に変えて、真夏の暑い日には冷たいお茶と茶菓子を用意し、寒い冬には温かいお茶を両手で支えられる湯呑に入れて、手も温めもらいながらというような工夫もして立ち寄ってもらえる場を提供しています。年間のべ5500人がセンターに出入りしている昨今です。独居の組合員は多く手を差し伸べられるところまで行っていません。地域に根付いたセンターにさらになれるように今後とも努力していきたいと思っています。

所属している組織の概要	
定款地域は東大阪市、八尾市、柏原市、大東市、四條畷市並びに大阪府下全域。組合員数は180,686人 出資金は4,095,307,000円（2024年3月31日時点）	
TEL 090-7966-2408	メール a-miyai@coop-osaka.or.jp（担当：宮井）

演題番号 4-1-9

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
石川	石川県健康友の会連合会西ブロック	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
トヨタ 豊田 とよ子	西ブロック役員	第4分科会

発表テーマ
西ブロックえがお会館でのつどい、居場所のとりくみ

内容（発言要旨）

友の会会館「えがお」は、石川民医連西ブロック事業所（上荒屋クリニック、有料老人ホームひだまり、特養やすらぎホーム、上荒屋菜の花薬局）と同じ敷地に、2009年に誕生、地域の方々が集い、生活支援などさまざまな活動の拠点となっています。地域の友の会会員、職員を対象に、毎週火曜日はカレーライスを提供。第3木曜日には「ひとり暮らしの高齢者」を対象に食事会や体操教室や健康講座をしています。また、太極拳やバランスボール、健康マージャンなどサークルの活動の拠点ともなっています。地域のお母さんたちとの共同で、①学習支援、②子どもの居場所、③子育て世代の交流を目的に、2018年5月に「無料塾寺子屋えがお」が誕生、毎週月曜日、年間で5000人を超える子どもやお母さんたちが、えがお会館に集まってきます。夕食も無料で提供、「子ども食堂」の役割も担っています。不登校の子どもたちには「えがお会館」は居場所としての大事な存在となっています。

所属している組織の概要	
西ブロックは金沢市西南部、野々市市、白山市を活動地域、会員数7700人（世帯数3800）	
TEL 076-281-6020	メール nishikenko@yahoo.co.

演題番号 4-1-10

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
北海道	道北勤医協	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
カミナガ 神長 まゆみ	地域健康部 部長	第4分科会

発表テーマ
まちづくり交流館の活動を通して

内容（発言要旨）

2021年3月をもって閉院した、院内保育園の施設を利用し「まちづくり交流館」としてスタートしました。まちづくり交流館の目的は、地域友の会員の活動の拠点となる。地域で困っている人や独居高齢者に目を向け気軽の立ち寄れる場所、相談できる場所を目指しています。活動を紹介します。①いきいき健康づくり（健康太極拳、椅子ヨーガ、健康体操）②手芸サークルを開始、きっかけは認知症認定看護師から「認知症マフ」を作れないか相談から始まりました。認知症マフはあまり知られていません。学習も行い毎月開催し、作る人も指先使い認知症の予防になるねと、笑いながら、褒め合いながら楽しく作っています。③ただいま食堂の開催 毎月1回コロナの影響もあり、みんなで食べる事が出来ず、お弁当を渡しています。お弁当数は120食前後、対象者は子どもから高齢者。最近独居高齢者の利用が増えています。調理担当は友の会会員さんです。④暮らしの保健室として、相談業務やミニ講演会、気になる会員訪問を行っています。サークル活動に来た時に、ちょっとした内容の相談を受けています。会員さんからの気になるまとめ 活動を通して見えてきたのは、地域の高齢化が益々進んでいる。サークル活動に参加したいが自力で会場に来れない人が増えてきた。活動を通して、会員の変化に気が付き対応ができる、また会員同士の繋がり大切さ（笑顔のなつて帰る）そして、改めて地域訪問の大切さを実感しました

所属している組織の概要	
北海道 旭川市。旭川市の人口は約32万人。旭川市の共同組織に人数は1万9千人 道北圏域が範囲の人口は59万人 共同組織の数2万8千人	
TEL 0166-34-2195	メール kaminaga-m@dohoku-kinikyoo.or.jp

演題番号 4-1-11

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	岡山医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ヒダ 緋田 ミヨコ 美代子	旭東支部 虹のカフェ ボランティア	第4分科会

発表テーマ
地域に開かれた認知カフェ《虹のカフェ》 7年目を迎えて

内容（発言要旨）

認知症の人とその家族が安心して過ごせる場、気軽に相談できる場、思いを吐き出せる場としてオープンした《虹のカフェ》。認知症本人もスタッフとして役割を持つことを大切に、認知症の人とその家族の思いや希望が社会に発信される場として毎月開催されている《虹のカフェ》は今年7年目を迎えた。

2023年度は総会に参加した17名にアンケートを取り、1年間の取り組みを計画。また今後の取組について意見を出し合った。その実践から活動の様子を報告する。さらに、地域の薬局より「地域に開かれた活動に参加したい」との希望があり、薬剤師の参加があったこと。また製薬会社から「社員が患者や生活者の喜怒哀楽を第一義と考えていくために。またベネフィット向上のために企業は何をなすべきかを考えるひとつの場として、虹のカフェにボランティアとして参加をしたい」との話があった。結果、10名の方がボランティアとしてともに活動し、カフェの場を盛り上げ、ともに楽しむことができた。これらの活動を振り返り、「安心して住み続けられるまちづくり」として認知症カフェ《虹のカフェ》が果たしている役割について考察したことを報告する。

所属している組織の概要	
活動地域は、岡山県岡山市。活動地域の人口は約70万人。所属する共同組織（組合員）の人数は約6万人。	
TEL 086-271-7880	メール soshiki@okayama-health.coop

演題番号 4-1-12

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	健康友の会あいかわ	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
キシダ 岸田 ムネナル 宗春	会長	第4分科会

発表テーマ
たまり場「おびたすき」から広がるつながり

内容（発言要旨）

昨年6月に公益財団法人淀協の定款にある健康増進事業をいかして、法人の補助も活用し、相川診療所から約2km離れた場所に吹一吹六支部のたまり場「おびたすき」をオープンした。以前から、他団体の事務所を借りて、班会や喫茶をおこなってはいたが、もっと日常的に誰もが立ち寄れる場所が欲しいという要求があった。「おびたすき」では健康友の会会員が週4回ペースの半常駐体制で運営しており、「喫茶」「100歳体操」「スクエアステップ」「認知症サポーター養成講座」などをおこなっている。会員でなくとも、地域の人なら誰でも利用できるということで、地域包括支援センターからも気かけられるようになり、地域の困難な事例の相談事も持ちかけられるようになった。その中から会員が増え、吹田地域の各事業所の利用や、訪問診療等へつながるケースもあった。さらに、つながりを生かした活動を広げていきたい。

所属している組織の概要	
大阪府吹田市の南部を中心に活動。会員数6619世帯、4支部、機関紙配布協力者135名、いつでも元気購読者122名（いずれも24.4末現在）	
TEL 090-1910-6511	メール ichikawa@aikawabyouin.com

## 第4分科会 第2会場

### 「通い(つどい)の場・ 居場所づくりの実践」

ピュアリティまきび 2F千鳥(211)

演題番号 4-2-1

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
京都	吉祥院健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
トモリ 渡守 ノブジ 伸次	友の会役員	第4分科会

発表テーマ
男の「いいかげんな」料理教室 10年目を迎えて

内容（発言要旨）

男の料理教室は（教室と言えるかどうか？）、友の会のサークルとして仲間づくりと居場所づくり、老後の独居問題を考えて発足。もし、一人暮らしになっても困らないように、認知症の予防になるのではとはじめました。サークルの仲間は今現在8名でコロナ禍を経て、減ったときもありましたが、少しずつ増えている状況です。

難しいことは考えずに気楽に続けられるサークルにと考え、参加者は主に団塊の世代。全員共働きで定年まで勤めてきた仲間達でわきあいあいと楽しく取り組んでいます。

10年を振り返り、継続できたポイントや活動の工夫を報告します。

演題番号 4-2-2

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
京都	春日健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
オザキ 尾崎 タケシ 武志	事務局長	第4分科会

発表テーマ
男の料理教室の取り組み紹介

内容（発言要旨）

2015年から月1回開催してきた男の料理教室は直近では72回となりました。50回を越えたことで「いつでも元気」に取材を依頼したのは2019年でしたが、コロナ禍に突入したこともあり、ようやく昨年10月に取材を受けることとなりました。その記事が今年の2月号に掲載され、さらに100回をめざして、奮闘している活動を報告いたします。

友の会活動では女性の参加者が多く、男性が集える取り組みを増やすことが課題とされてきました。ひとり暮らしの男性や台所経験の少ない男性を中心に「男の料理教室」がスタートして9年目。講師の管理栄養士さんと10人前後の男性参加者が楽しく料理を行っております。以前には、講師である吉田栄養士が急遽来られなくなり、参加者だけで調理をすることとなりました。今まで習った腕の見せ所です。メニューは①サラダそうめん、②豚肉のねぎ塩ソース、③桃とパイナップルのソルベでした。レシピはありますが、細かいニュアンスはみんなで相談しながら見事に調理できました。せっかく料理しても家で食べるのは美味しくないとのこと、黙食しながら、今回からは、作った料理をみんなで食べることにしました。自分たちだけで作った料理はいつもより一層美味しく感じました。

開催場所でもある春日診療所の事務長さんは、「楽しい居場所となっている「男の料理教室」ですが、100回をめざして、男性職員も参加しながら、友の会と職員の交流の場になっていけたら」と将来の展望を語っていました。

所属している組織の概要	
京都市南区 吉祥院病院の職員・患者を中心として、1987結成された。会員世帯は1986世帯（5月現在）	
TEL 075-691-0545 (友の会)	メール sosiki@kissyouin-hp.org

所属している組織の概要	
活動地域は、京都府京都市右京区西院地域。活動地域の人口は約25,000人。所属する共同組織の人数は約500人。	
TEL 075-311-3176	メール kasuga-sin@cj9.so-net.ne.jp

演題番号 4-2-3

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
福井	福井県医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
シミズ 清水 マサミ 雅美	理事	第4分科会

発表テーマ
さまざまな世代の居場所づくりを目指して ～ 組合員ルーム「だん・だん」の取り組み～

内容（発言要旨）

光陽生協クリニック2Fに設置されていた組合員ルームが、コロナ禍のため本部会議室の片隅に移転。さらにそこから現在の場所である、クリニックから徒歩5分の一軒家借家に引っ越しをしたのがちょうど2年前の2022年9月でした。

この2年間、ここを拠点にさまざまな活動を展開してきました。

- ①班活動の継続と新規立ち上げ・・・毎日班活動が開催されており、活動が活発化しています。（高齢で閉めた班も1班あり）
- ②組合員による作品展の開催（1～2ヶ月毎に展示を変更）・・・組合員以外にも組合員ルームに足を運んでくれています。
- ③だん・だんバザーの常時開催（組合員提供の衣類等の不用品を1点50円で販売）・・・これを楽しみに来室する人が多数。
- ④だん・だんカフェの開催・・・組合員の友人や知人も来室。音楽の班の発表の場にもなっています。うたう会も毎回開催。
- ⑤助け合い活動の事務局の役割・・・有償ボランティア活動は一時期に比べ下火になっており、需要を掘り起こしたいです。
- ⑥食料無料支援・・・食品集めや準備の場として活用。
- ⑦子ども食堂（他団体）とコラボ・・・地域の子どもたちが大勢来てくれています。時間内にあそび場も併設し、子どもたちの居場所になりつつあります。

だん・だんでの活動を通して組合員の輪が広がっており、地域の方の大切な居場所になりつつあります。また、医療生協が目指す「この地域で長く住み続けることのできる社会・平和な社会の大切さ」を多くの人に伝える場としての役割を果たしつつあります。

所属している組織の概要	
活動地域は、福井県福井市で人口は254,777人。（2024/5/1現在）所属する共同組織の人数は77,817人。（2024/3/31現在）活動の主体は事業所のある市中心西部より地域。	
TEL 090-2030-0845	メール ippaiattena1958@gmail.com

演題番号 4-2-4

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
京都	京都東健康友の会 左京ブロック 大原支部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
コレツネ 是恒 チツコ 千鶴子	支部世話役（事務局 お便り担当）	第4分科会

発表テーマ
居場所づくり（高齢者も子育て世代も…）

内容（発言要旨）

4年前に発足。まずは、友の会サロンを毎月行った。テーマは世話人の要求から出発しサロンの終わりに「テーマはいかがでしたか?」「サロンで何をしたいですか?」「曜日や時間はいかがですか?」毎回ミニアンケートを実施。そして、その結果を世話役会議で議論する。を繰り返してきた。テーマは「平和トーク」「団子作り」「大原の歴史」「コンサート」「健康教室」など多義に渡。その中で、休日に子連れで参加できる企画を！の声があり、パパママ世代にサポーターを担ってもらい「わくわくサロン」と題して冬は「餅つき」夏は「川遊び」などを行いその中で、若い会員さん拡大にも繋がった。そして、友の会サロンだけでは、広がらない仲間づくりを「包括支援センター」「社会福祉協議会」「NPO法人里づくり協会」「左京支え合いコーディネーター」に働きかけ、5団体で高齢者居場所づくり連絡会を運営し現在2ヶ月に1回のペースで居場所開催が出来ている。

所属している組織の概要	
京都市の北、山間部です。三千院や寂光院で知られる観光地。しかし、みんな観光業を営んでいる訳ではありません。多くは、町に働きに出たり、自然を生かし農業などで生計を建てようと、取り組んでいるひとたちがいます。その一方、高齢化率も高い地域です。	
TEL 090-5128-6374	メール ooutiyama895@ezweb.ne.jp

演題番号 4-2-5

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
広島	広島中央保健生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
コマツ <small>コマツ</small> キョウコ <small>キョウコ</small> 小松 京子	理事	第4分科会

発表テーマ
「地域の茶の間」から「社会性のある居場所」としてのサロンを

内容（発言要旨）

【はじめに】

当法人初の介護事業となる「看護小規模多機能型居宅介護」「定期巡回随時対応型訪問介護看護」を5月1日に開所し、この施設に地域の方にも広く利用していただく「サロンえにし」を併設致しました。このサロンでの居場所づくりの企画・活動について報告いたします。

【企画・活動】

- ①目標：組合員だけでなく地域の多世代の方が集える場所づくり
- ②活動内容：まちの保健室（月・水・金曜日）看護師が在住し身体・暮らしの相談に対応するサロンえにし（月～土）お茶を飲みながらおしゃべり出来る場  
地域のオープンスペース、サロンとしてのサークル活動、若いお母さんにむけての食育など

【まとめ】

単独世帯が増加している現在、「居場所」とは人と集える場所だけではなく、自分らしくいられる、受け入れられている、役にたっていると感じることが重要です。年齢や性別に関係なく、好きな時に集まってレクリエーションや趣味活動を行いながら自分の居場所や役割を見つける「成長・変化」を生み出すことを目指し今後も活動を検討していきます。

所属している組織の概要	
あんしんセンターコープ五日市 地域交流スペース サロンえにし（広島県広島市佐伯区） 佐伯区 人口138,000人 当法人組合員数7,846人（5.7%）	
TEL 082-532-1264	メール s-higashi@hch.coop

演題番号 4-2-6

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
埼玉	熊谷生協病院	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
キシモト <small>キシモト</small> ハルノリ <small>ハルノリ</small> 岸本 治憲	まちづくりネットワーク推進課	第4分科会

発表テーマ
誰もが自由に来られる場 HAPPY くまここの取組み

内容（発言要旨）

熊谷生協病院では地域のボランティアの方々と協力して多世代食堂（名称：多世代ふれあい食堂HAPPY くまここ）を開催している。新型コロナウイルス感染拡大以前は会食形式で開催していたが、現在はお弁当配布に切り替えて行っている。HAPPY くまここでは食事の提供だけでなく、集まった人たちが楽しめる企画（餅つき・花火など）も同時に開催している。これらの食堂の取組みに加えて現在、熊谷市の民間団体で進めていることもまんなかネットワークの取組みについて発表する。

所属している組織の概要	
活動地域は埼玉県全域で組合員は約24万人。担当地域は埼玉県北部の6市町（人口13万人弱）で組合員約4,000人。	
TEL 070-2154-7358	メール h-kishimoto@mcp-saitama.or.jp

演題番号 4-2-7

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	大阪みなみ医療福祉生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
イマイ カヨコ 今井 佳代子	河内長野支部 支部長	第4分科会

発表テーマ
みんなの居場所「だんだん」を作って

内容（発言要旨）

大阪みなみ医療福祉生協の河内長野支部は、診療所が近くになく、組合員同士の交流が難しい。支部の運営をするサポーターメンバーも会議や集いのできる自分たちの居場所を作りたいと考えていた。2023年4月、駅前商店街のNPO 法人が運営する「にぎわいプラ座」にブースを借りて「みんなの居場所だんだん」を開設できた。この居場所の目的として①サポーターが安定して集まり会議できる②組合員が集まり交流する③地域の人が気軽に訪れておしゃべりできる④健康に関する情報を発信しながら医療生協を知ってもらう を考えてスタートした。まずは、組合員や地域の人々に、みんなの居場所ができたことを知ってもらう事が一番の課題だった。にぎわいプラ座が行うイベントに参加したり、組合員に配る機関紙に折り込むニュースとは別ににぎわいプラ座周辺にビラを撒いたりしていった。少しずつ居場所の存在を知ってもらえるようになり「健康の悩みや家族の介護の悩みなどを話して、気持ちがすっきりした」と言ってもらえることも増えてきた。今後もいろいろな人との交流の場にしていきたい。

所属している組織の概要	
活動地域は大阪府河内長野市。活動地域の人口は約97000人。面積109.63km <sup>2</sup> 。農業、林業を営む面と大阪市などに働く人のベッドタウンとして発展してきた面を持つ。高齢化により人口減少傾向にある。組合員の人数は約800人。	
TEL 090-2388-8839	メール Kiyi1978rici@gmail.com

演題番号 4-2-8

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
滋賀	しが健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
イケバタ チエコ 池端 治恵子	事務局長	第4分科会

発表テーマ
歴史ある町で、人気の日本史講座始まる

内容（発言要旨）

坂本民主診療所がある大津市坂本はミルフィーユのように歴史が重なるところ。古代朝鮮からの渡来人が先進文化をもたらし、7世紀、短期間ながら都だった大津京に近い。平安初期に最澄が比叡山で天台宗延暦寺を創建。南北朝時代の太平記も登場し、戦国時代信長の焼き討ちに合い、最近では幻と言われた明智光秀の城の石垣が農地から発見され話題になった。こんな町で私たちは、日々歴史を感じながら暮らしている。ある日、高校を退職した先生が「日本史講座を開きませんか」と声をかけてくださり、昨年10月から月1回のペースで講座が始まった。20人定員のところ30人の応募があり、参加者は50～80歳代、ほとんどが女性。先生の話は教科書をもとにしながらも幅広くとても面白い。秋には近くの古墳巡りなどフィールドワークもいいなと話している。この地域にはこんなにも歴史好きの方が多くて、身近に学べる場所が待たれていたのだとつくづく感じた。これも新しい居場所の一つではないだろうか。

所属している組織の概要	
活動地域は、滋賀県大津市西部地域、所属する共同組織の人数は約3000所帯	
TEL 077-577-3020	メール shigatomonokai@gmail.com

演題番号 4-2-9

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	岡山中央福祉会 中野けんせいえん	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
シゲモト 重本、 ジュンコ 淳子、 ヤスイ 安井、 ナオミ 直美	友の会幹事	第4分科会

発表テーマ
『食べる』でつながるみんなの “わ”

内容（発言要旨）

バス旅行やカラオケまつり等、友の会元気いきがい部が企画運営していた取り組みも、組合員さんの高齢化やコロナ感染症の影響もあり数年来開催できていませんでした。しかしながら、組合員さんの中から「以前のような楽しい活動がしたい」「あの人は元気にしとるんかなあ」「女性が活躍できる活動があれば…」といった声があがり、一定の感染予防意識を持ちながら2023年11月より、友の会元気いきがい部は活動を再開することとなりました。この度はこの様な経過の中で、①元気と生きがいにつながる活動づくりの企画運営を行う②友の会会員同士の交流とつながりづくりを目指す③女性が活躍できる取り組みを考える、この3つの視点にもとづき新たな活動づくりとなった「みんなの食堂」についての発表をさせていただきます。

演題番号 4-2-10

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
兵庫	宝塚医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
マエダ ユカ 前田 優香	本部事務局 職員	第4分科会

発表テーマ
2023年はチャレンジイヤーに、2024年はさらなる飛躍の年に

内容（発言要旨）

宝塚医療生協ではコロナ禍で活動の制限が長く続いたことにより、事業所と組合員、また職員同士の関係が希薄になっているという声があがっていた。

さらに組合員数の伸び悩みや担い手不足など様々な問題を解決するため、2023年度はチャレンジイヤーに！を合言葉に、様々な挑戦をした。

そのうちのひとつである野菜摂取量を測るベジチェックを導入したことにより、地域の高齢者の孤食問題や、働き盛りのおとなや共働き世帯のこどもの栄養が偏っていることを不安に思っている人が多いということがわかった。この問題を解決するため様々な人が集い食事をする場として、おとな食堂（仮）プロジェクトを立ち上げた。計画から食堂が立ち上がるまでの経緯やその後の課題などを報告する。

所属している組織の概要	
活動地域は人口9万5千人の岡山市東区の南部・西大寺地域。共同組織構成員は約3000人。6つのブロックと84の班、91名の世話人（機関紙の手配り配付）の組織規模。なお、母体法人は19事業所、480名の職員の規模で、地元西大寺地域で最も大きな事業規模を持つ。	
TEL 086-943-1701	メール kenseien@circus.ocn.ne.jp

所属している組織の概要	
活動地域は、兵庫県宝塚市、西宮市、三田市、伊丹市、尼崎市、芦屋市、川西市、猪名川市。活動地域の人口は1,628,576人。所属する共同組織の人数は14,904人。（2023年3月31日時点）	
TEL 0797-69-6121	メール y.maeda@takarazuka-mcoop.net

## 第4分科会 第3会場

# 「通い(つどい)の場・ 居場所づくりの実践」

ピュアリティまきび 2F 千鳥(210)

演題番号 4-3-1

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	コープ診療所	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ヨシダ ユミコ 吉田 由美子	恵我之荘支部 支部長	第4分科会

発表テーマ
子ども食堂を始めました

内容（発言要旨）

特に小学生の子供たちが朝ご飯を食べてこない  
と、学校の先生方の話を聞き、以前から子ども  
食堂を始めたいねという話もあり、他団体  
と連携した取り組みの報告です。

演題番号 4-3-2

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	西淀川淀川健康友の会 はっぴいひめじま支部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ニシムラ トシハル 西村 俊治	支部長	第4分科会

発表テーマ
地域の子ども食堂の運営に友の会支部として参 加して

内容（発言要旨）

1. 経過と現状

2017年に姫島地域に子ども食堂を立ち上げ、コ  
ロナ禍で2020年2月に中止し、3月より弁当配布  
形式で再開。コロナが5類に引き下げられる中、  
支援も減り、財政支援を募っています。現在、利  
用者は、1回150食～170食（地域の大人も含む）。  
2024年度から会食でなければ、認められない助成  
金もあり、月2回の内1回を会食の企画に変更。  
会食時の人数制限が生じ、20～30人に。第3土曜  
は作品作りを実施。

2. はっぴいひめじま支部として運営に参加

姫島地域であり、支部世話人が運営の中心を担  
っていることから、健康友の会の支部として位置  
付けて運営に関わっています。

人とのつながりを大切にし、困り事があれば相  
談でき、子どもも親も安心しておれる居場所づく  
りに貢献しています。

3. 今後の課題として

①必要な人（子ども・親）に届いているか？ ②  
個別の支援が必要な親とのかかわり方。 ③資金  
・場所の確保の困難さ。 ④スタッフの確保。⑤  
地域とのかかわり方。

所属している組織の概要	
活動地域は、大阪府羽曳野市。活動地域の人口は約 11万人。所属する共同組織の人数は5,614人。	
TEL 090-7551-7161	メール kumikatu-3@ osakaminami.net

所属している組織の概要	
大阪市の北に位置する西淀川区（人口9万5千人、 4万3千世帯）の淀川沿いの地域、高齢者人口は増 えている。子ども食堂は、10か所あります。西淀川 淀川健康友の会は10支部2万3千世帯。その中で約 2千世帯が姫島です。	
TEL 090-4907-0170	メール tosiharu0915@icloud. com

演題番号 4-3-3

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	医療福祉生協おおさか コープおおさか病院地区	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
マツヤマ カズミ 松山 和美	病院地区 古市支部運営委員 【連絡先は 担当者の梶】	第4分科会

発表テーマ
コロナ後の子ども食堂「ひまわり」

内容（発言要旨）

子育て支援として「子ども食堂ひまわり」を2017年9月より月2回16時から、地域にある旧保育園の空き施設にてスタートしました。コロナ前までは、毎回、80人程の親子で賑わっていました。

2020年初旬より、新型コロナウイルスの感染拡大により施設内での実施を中止し、約3年間、テイクアウトでお弁当などの配布を続けてきました。2023年5月からの5類への移行に伴い、施設内での食事の提供を再開、これまでは保護者も対象としてきましたが、小中学生だけを参加対象にし、今に至ります。再開当時は、少数であった子どもの参加も、1年経ちようやく50人ほどが戻って来てくれるようになりました。

現在では、食事の提供だけでなく、宿題や予習勉強、食育などにも取り組む様にもなり、子ども達にとっても安心の居場所として定着しています。今年の5月には、地域で見られなくなった大きな「鯉のぼり」を高々と上げ、元気に大空を泳いでいる姿に、ひまわりっ子たちも嬉しそうに見上げ楽しんでくれていました。今年の夏で8年目に入る子ども食堂ひまわりですが、ボランティアの力と共に安心で安全な居場所づくりに奮闘したいと思います。

所属している組織の概要	
活動地域は、大阪府大阪市城東区の一部。活動地域の人口は約11,500人。所属する共同組織の人数は約1,200人。	
TEL 070-5560-0129	メール m-kaji@health-coop.jp

演題番号 4-3-4

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	倉敷医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
アサマ トモコ 浅間 智子	水島支部・運営委員・水島子ども食堂ミソラ♪班	第4分科会

発表テーマ
『水島こども食堂ミソラ♪』の取り組み

内容（発言要旨）

こどもが一人でも食事が出来る場所をと、2017年9月からこども食堂の活動を始めました。コロナ禍のフードシェア会を経て、本来の活動に戻りつつあるいま、6周年目の子ども食堂を振り返ってみたいと思います。

1. 現在行っていること：①地域学区コミュニティー会館を会場に、第3土曜日に昼食を提供②月1回定例のスタッフ会議を開催③子ども食堂開催後に参加者を含めた振り返り④毎月ニュースを発行⑤共同組織、他関連団体への情報発信・共有及びSNSの活用⑥地域住民、生徒・学生・教員、その他ボランティアの受け入れ

2. 取り組んだ行事：①本の読み聞かせ及びブックワゴンでの絵本提供②クラシックコンサート③高校生企画、大学生企画④18歳までの医療費無料化署名⑤長期休暇時の宿題援助企画

1. 2を通じての成果

①親子で食事を楽しめた②食後こどもには遊びの場を、お母さんにはくつろぎと交流の場を提供できた③食品や食材の提供などで地域とつながっている④参加のこどもがボランティアや主催者へと成長した⑤気になるこどもや家庭の問題を共有し、フォローできた

今後も食を中心とした、あらゆる世代の居場所作りを目指します。

所属している組織の概要	
岡山県倉敷市水島。水島地区の人口は約8万7千人。その中で水島支部エリアの人口は約4千5百人、うち組合員数は約1千6百人。	
TEL 086-448-2653	メール tanabe_a@kura-hcu.jp

## 演題番号 4-3-5

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	健康友の会みみはら	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
オグラ タカオ 小倉 孝雄	鳳支部 副支部長	第4分科会

## 発表テーマ

支部が子ども支援に取り組んでわかった「理想と現実のギャップ」

## 内容（発言要旨）

健康友の会みみはら鳳支部では、2015年3月に開設したともの家ちぐさで、2016年から夏休み子ども塾を、2018年から子ども食堂をスタートさせました。コロナ禍以降、夏休み子ども塾は広い地域の会館で、子ども食堂はテイクアウトで120～150食を提供していました。2022年12月念願の子ども塾（寺子屋ちぐさ）をスタートさせ、子どもたちの学習支援と居場所づくりの取り組みも始めました。始めてみると寺子屋ちぐさは、課題がいっぱい。学校や親との関係の構築など苦労がいっぱいです。子ども食堂への食材支援の有効活用のため、社協や同仁会の事業所から困っている人の紹介を受け、食材の提供をしています。私たちも直接かかわろうと「子育て中のひとり親応援プロジェクト」を立ち上げました。子ども食堂もテイクアウトをやめ、元のふれあえる子ども食堂に戻していきます。子どもへの取り組みを通じて支部の成長を実感しています。

## 演題番号 4-3-6

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	西淀川・淀川健康友の会 西淀うちの支部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
イトウ タカシ 伊藤 孝		第4分科会

## 発表テーマ

子どもたちが安心して通える無料塾をめざして

## 内容（発言要旨）

にしよど無料塾は2014年5月に開き、10年を経過した。開いた一番の動機は、所得格差が教育格差につながる状況に、すこしでも役に立てればとの思いだった。学習塾とちがい無料で学習を支援し、安心して通える居場所としての役割を兼ね備えた無料塾をめざした。教員OB、病院職員、地域の方々にボランティアを構成し、友の会、学童保育所、保育園などで募集し、子どもたちの参加を広げた。自習を支援する形式だが、やる気が出ない子もいる。ボランティアが話し相手になったり、最後にお楽しみクイズを入れたり、来てよかったと子どもたち一人ひとりが思える居場所にしていくとくみが大変だった。毎回最後にボランティアで交流会を開き、子どもたちの様子を出し合った。そうして月1回から現在週1回まで頻度を上げ、子どもたちの参加も一時は40人にまで増え、中学生は受験に向けた学習の場になった。しかし、20年2月からのコロナ禍で休止。会場も病院を使えなくなり、他団体の協力を求め半年後に再開したものの、何度も休止し、参加者は激減。今は、少数参加のほのほのとした学習支援の場になっている。開始当初から参加した子どもたちは今や高校生。いずれボランティアとして参加してほしいとエールを送っている。

## 所属している組織の概要

大阪府堺市にある社会医療法人同仁会を中心とする「みみはらグループ」の一員として活動。活動地域は、堺市を中心に隣接の高石市、和泉市を含め26支部。所属する共同組織の人数は23年度末時点で、41,010世帯94,111人。	
TEL 072-244-8061	メール dogishi-h@mimihara.or.jp

## 所属している組織の概要

大阪府大阪市西淀川区。西淀川区・淀川区人口約95,000人・183,000人。会員世帯数23,365世帯。	
TEL 090-6820-7491	メール takashi0626-1021@outlook.com

演題番号 4-3-7

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
愛知	名南会健康友の会(医療法人名南会)	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ナカムラ ヒロコ 中村 博子	緑支部 あすなろ役員	第4分科会

発表テーマ
地域の子どもの居場所づくり ～あすなろ(学習支援)を通して出会った子どもたち～

内容(発言要旨)

名南会健康友の会では法人の職員と共同して「あすなろ(学習支援)」や「ほんわか食堂(子ども食堂)」にとりくんでいます。この活動は地域の子どもの居場所づくりと食事の支援を目的としています。あすなろは、2020年10月から無料で開催しています。友の会と法人の中からスタッフを探し、友の会員で元小学校教諭の方を中心に、友の会員で任務分担をし、月に2回3時間ほどたまり場で学習・食事の提供・遊び・食材の支援・時には屋外活動をしています。当初は、友の会員さんの関わりだけでしたが、地域のスクールソーシャルワーカーや区役所の民生子ども課・児童相談所の方とも関わるようになってきました。友の会に入会してくれる、保護者の方も増えました。今回は、不登校の子やヤングケアラーの子たちと向き合ってきた4年間の活動を報告します。

演題番号 4-3-8

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
神奈川	よこはま健康友の会梶山支部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
タアゲ エリ 田揚 江里	サークル代表	第4分科会

発表テーマ
「こどもたちが人間らしく成長するために絵本の楽しさを伝える場を地域に」

内容(発言要旨)

乳幼児期から絵を見ながら生の声でお話に触れることは、言葉の意味やイメージを広げ想像力を育てます。想像力はお話の世界だけではなく他者の心を想像する(思いやる)力を育み人間関係をつくるうえで大切です。やがて言葉で思考できるようになり、言葉によるコミュニケーションが成立します。どの子も人間らしく成長するためにこのこのような環境が保障されなければなりません。しかし、家庭環境、図書館行政の貧弱さによって困難な状況が生まれています。私たち「わらべうたと絵本の会」は小学校や幼稚園教員経験者の会員が中心となり、親子の読み聞かせやわらべうたを楽しむ場を地域に作りたいと始めました。月1回の定例会の加え麒麟の幼稚園や保育園からの要請で出前お話会も行うようになりました。絵本の貸出しでは、1歳2ヶ月から参加している子が2歳前には自分で絵本が選べるようになってきました。本集会で活動を通じて学んだことや課題を報告させていただきます。

所属している組織の概要	
活動地域は、愛知県名古屋南区・港区。	
TEL 052-692-7544	メール sosiki@mein.or.jp

所属している組織の概要	
(公財)横浜勤労者福祉協会の共同組織「よこはま健康友の会」一支部として活動しています。活動地域は横浜市東部鶴見区山側の地域(主として住宅地域)で梶山診療所を中心に活動しています。会員数は約3500世帯です。	
TEL 045-582-0167 (梶山支部)	メール tomonokai.kaziyama@gmail.com

## 第4分科会 第4会場

# 「通い(つどい)の場・ 居場所づくりの実践」

ピュアリティまきび 3F 橋

演題番号 4-4-1

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
北海道	十勝勤医協友の会連絡会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
サナダ マカコ 真田 若子	芽室友の会世話人	第4分科会

発表テーマ
笑いヨガで楽しく健康な身体づくり・地域づくり

内容（発言要旨）

始まりは、新婦人芽室支部の小组活動からでした。活動の様子を見学した友の会の事務局長さんが、友の会でも取り組んでみたいと。2015年から町のふれあい交流館で月1回でスタートしました。笑いヨガは、誰でも簡単にできる笑いの体操で、ヨガの呼吸法を取り入れています。笑うことで免疫力がアップして健康な身体づくりに有効と医学的にも認められています。初めは月1回でしたが、活動が好評ですぐに月2回行うようになりました。コロナ禍で2年の休みがありましたが、これまでに100回を超えました。現在は、公民館を利用しています。今年から芽室町高齢者支援活動推進事業と認定されて、会場費が無料となり活動補助金を受けられるようになりました。友の会活動を紹介する中で会員も増えました。いつまでも元気に過ごせるように笑いヨガを広めていきたいとします。

所属している組織の概要	
北海道芽室町 芽室町人口17,984人、芽室友の会員926人。世話人36人。	
TEL 080-4043-5103	メール dolemiso_stay@yahoo.co.jp

演題番号 4-4-2

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
東京	城南保健生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ヨコヤマ ナオキ 横山 直城	健康増進室長	第4分科会

発表テーマ
歌うだけじゃない 「うた広場」

内容（発言要旨）

生バンドの演奏で2時間で約20曲程度をうたいます  
 歌うだけじゃない！さまざまな健康づくりが網羅された取り組み  
 ①声を出して歌う・・・これだけでも楽しい。脳の活性化  
 ②回想してから歌う・・・昔を思い出して、脳（前頭葉、海馬）に刺激を、もちろん認知症の予防にも効果あり  
 ③曲によっては簡単な振り付け、手話あり、立ってステップ踏んだり  
 ④前に出てきて歌ってもOK・・・適度な緊張を  
 ⑤司会と参加者の掛け合い・・・笑いが絶えない  
 ⑥終了後は血圧測定など健康チェックも  
 歌う曲は・・・こだわりの選曲は、「季節のうた」、「童謡」、「唱歌」、「歌謡曲」、「フォークソング」、「演歌」、「シャンソン」「リクエストから」「今はやりの歌」「人生をテーマに」「アニメソング」「やっぱり最後はこの曲」など。  
 参加者の感想から・・・生バンドだからこそその気持ちよさ。私にとって、なくてはならない場所になりました。もっと早く知りたかった。もう楽しくて、次回が待ち遠しい。週1回くらいやっていただきたい。元気の源です。歌うのも楽しいけど、回想したり、振り付けや手話なども交えて楽しすぎる。歌と歌の間のトークが最高に楽しい。毎回感心。感動。前奏中の「曲紹介」がおもしろい

所属している組織の概要	
城南保健生協は、東京都大田区、品川区を中心に活動しています。組合員は約2万人です。	
TEL 03-3762-0266	メール yokoyama@jonanhoken.gr.jp

演題番号 4-4-3

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
香川	香川医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
サトウ タエコ 佐藤 多恵子	白山支部 支部長	第4分科会

発表テーマ
“miki カフェ” 素敵な健康づくりスタイル

内容（発言要旨）

日本一狭い県、香川県東部に位置した人口26,161人の三木町中心部に、香川医療生協みき診療所があります。待合室の奥に組合員ホールがあり、そこを間借りして“miki カフェ”をやっています。2015年7月にオープンして、今年7月で10年目に突入しようとしています。オープン当初から値段の上がない惣菜1パック50円が売りです。カフェの売上金は、各支部活動費、骨密度・ポリグラフ検査援助金、組合員ホール備品等に使用しています。

地域の組合員、職員の語らいの場所として、“miki カフェ”は大きな役割を果たしています。

演題番号 4-4-4

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
愛知	名南会健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ナカムラ アサコ 中村 朝子	ふれあい病院地域支部	第4分科会

発表テーマ
ポッチャ大会を通じた仲間づくり

内容（発言要旨）

2020東京パラリンピックを見て知ったポッチャ。名古屋市も地域のコミュニティに広げようと、市内16区全区の代表が集まる大会も毎年開催されます。

名南会健康友の会でも当初から小さなサロンや班会でポッチャを広げ、今では各支部の班会やサロンで広く取り組まれています。全支部が集まったの大会も昨年からはじめて年2回、5月に第3回大会を開催し、120名の参加者で大いに盛り上がりました。大変好評でポッチャを通じてたくさんの仲間が増えました。

所属している組織の概要	
① 香川医療生活協同組合 48,238人 出資金922,677,000円（2024年3月31日現在） 内、白山（ハクザン）支部 810人 班数4班	
TEL 080-3162-1583	メール taekokishi.60@gmail.com

所属している組織の概要	
活動地域：名古屋市南区 名南会健康友の会 会員数9793名	
TEL 052-692-7544	メール sosiki@meinan.or.jp

演題番号 4-4-5

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	このはな健康友の会(淀協此花)	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ヤマクラ 山倉 サトミ 智美	此花支部運営委員(このはな健康友の会副会長)	第4分科会

発表テーマ
このはな健康友の会「サークル活動や教室」の取り組み

内容(発言要旨)

「このはな健康友の会」は1988年に設立、「健康づくりの活動」「まちづくりの活動」「助け合い活動」をおこなっています。

様々なサークルや教室の活動が取り組まれています。主なものは「絵画教室」「カラオケ」「卓球」「将棋教室」「スクエアステップ」「モルック」「100歳体操」などが様々な施設を利用して取り組まれています。

高齢者の方が中心となりますが、様々な名画を鑑賞する「映画サークル」や「ふれあい昼食会」も取り組まれています。

これらの取り組みは、地域での高齢者の孤立化を防ぐ「助け合い活動」への機会となっています。

演題番号 4-4-6

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
宮城	みやぎ東部健康福祉友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ツジ 辻 ジュンコ 順子	幹事	第4分科会

発表テーマ
くらしの保健室「ふらっと」・おゆずり会で次世代応援

内容(発言要旨)

コロナ禍に追い打ちをかける物価高、受診控えも進む状況で、暮らしのアンケートでは困りごとを相談する相手がいないと応える声が目立ちました。病院に行くまでではないけど、ふらっと立ち寄り相談できる場所があればな〜と、2022年7月、暮らしの保健室「ふらっと」を立ち上げました。薬局や病院・友の会との共同事業とし、友の会保健活動専門部が母体となり、保健師や看護師・薬剤師など元職員の専門職メンバーが相談にのる体制をとっています。訪れる方はさほど多くはないのですが、帰りには笑顔になる姿に励まされ継続。昨年末と3月の年度末には、文房具とランドセルおゆずり会を開催しました。民医連職員や友の会会員からたくさんの支援が届き、物資とともに、「応援しているよ」という気持ちを届ける取り組みになりました。100人を超える親子が訪れ、子育てや物価高での困難の声も寄せられました。複雑な生活の困難を抱えた「ふらっと」の相談者が、解決にむかえたと明るい表情でお礼に来られ、私も支援したいとおゆずり品を持って来られたり、姉弟や友達を誘ってリピーターになる子ども達も。次世代とのつながりも模索しつつ、地域の困難に寄り添い、ほっとできる居場所づくりをめざしていけたらと考えています。

所属している組織の概要	
このはな健康友の会の活動地域は、大阪市此花区。活動地域の人口は約75000人。所属する共同組織の人数は約6200人。	
TEL 06-6136-3520	メール konohanakenkou tomonokai@gmail.com

所属している組織の概要	
坂総合病院を取り巻く2市3町(塩釜市・多賀城市・七ヶ浜町・利府町・松島町・仙台東部)を中心に、会員数7500人規模で活動。	
TEL 022-367-9027	メール ryotan521@yahoo. co.jp

演題番号 4-4-7

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
鳥取	鳥取医療生活協同組合 健康まちづくり部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
タナカ アツコ 田中 宏子	健康まちづくり部員	第4分科会

発表テーマ
他団体と連携でたまり場づくり

内容（発言要旨）

- 医療生協の「おしゃべりカフェ」に地域包括の方が参加。吉成地域にもこんなカフェがほしいの要望からたまり場づくりが始まった。
- 南包括支援センター・県社会福祉協議会・鳥取医療生協・吉成会の班長とで協議を重ね2023年11月から毎月1回開催。
- 県生協は場所提供（COCO ステーション）→最近はカフェにも顔を出され、協力してくれている
- 月ごとに南包括・県社協・医療生協が順番にカフェの準備を行う
- 当番になったら、カフェを盛り上げる地域の方と同伴で参加する
- チラシ等の積極的配布は当面は美保・美保南地区中心に行う
- 医療生協しんぶんの掲載を見ての参加者あり
- 医療生協のおしゃべりカフェ参加者が、「楽しくカフェ」にも参加している。

所属している組織の概要	
活動地域は、鳥取県東部・中部。人口は、310,418人。組合員数約37,500人。	
TEL 0857-24-1701	メール h-nakada@mcoop-tottori.jp

演題番号 4-4-8

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
東京	江戸川健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
モリオカ イトコ 森岡 糸子	江戸川健康友の会 事務局次長	第4分科会

発表テーマ
地域の中のつながりと居場所づくりについて

内容（発言要旨）

江戸川区南葛西。かさい保健医療福祉ビル5階ホールにて○毎週月曜日：11：00～15：00「つながりカフェ」を開いています。コーヒー100円、茶菓子100円、月一回程度の食事提供。参加者は近隣の住民が多いです。おしゃべりが中心ですが、チラシで箱作り、難問漢字当て、折り紙独楽づくり、大人のぬりえなど頭と手を使った遊びも行ったりしています。毎回来る人や受診の帰りに寄る人もいて利用者は10人前後から多いときで20人ぐらいです。コロナ後2023年3月からはじめて、地域の居場所になってきました。○また同じ会場でコロナ後からはじめて「友の会シアター」月一回も定着してきました。みんなで見よう映画DVD鑑賞会として、毎回30人前後が参加。○江戸川区一之江地域で小物づくりサークル、着物リメイクサークルも趣味の要求を実現する場として居場所として定着しています。

所属している組織の概要	
東京都江戸川区。人口約70万人。友の会会員1100人	
TEL 03-5679-7130	メール itoko-z000191@totokyogikai.jp

演題番号 4-4-9

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岐阜	岐阜健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
オオツカ カズコ 大塚 和子	藍川支部事務局長	第4分科会

発表テーマ
地域のたまり場『ほっとはうす』11年のまとめ

内容（発言要旨）

2012年開設して午前10時から午後3時までの祝日以外の月曜日から金曜日何らかの活動を行ってきた。その中で貴重な経験がいくつもあった。それを報告します。33名のボランティアによる会報の手配り、5人の運営委員で月1回の会議、毎日のほっとはうす活動日当番ボランティア12名講師ボランティア12名で運営しています。毎月の利用者数は、300~400人地域に根ざした活動は広がりつつあります。しかし、本当に困っている人の支援ができているか、地域のネットワークはまだ弱いところもあります。今回は他の経験を学んでいきたいと思います。現在地域に存在する店舗はコンビニエンスストア1軒のみです。

演題番号 4-4-10

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
兵庫	尼崎医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
オノデラ 小野寺ひとみ	組合員活動部職員	第4分科会

発表テーマ
戸ノ内組合員センターの役割

内容（発言要旨）

2023年3月末に戸ノ内診療所が約68年で幕を閉じ、戸ノ内組合員センターとして新たにスタートした。

組合員センター（つどい場）としての役割も不明なままスタートとなった一年だったが、診療所としての歴史と強みを生かして、ボランティアを募集し、支部役員も含め15名の希望者があった。つどい場をたち上げたことで、ゆっくりと対話ができることができ、一人ひとりが抱えている諸問題を知ることができた。

独居で生活されている方が多く、話し相手もなく一日中テレビを見てテレビに話しかけている、生活に張り合いがなく意欲を失いかけている人、年を重ねることに不安を感じてる人、一人で食事しても美味しくないと、いろいろと聞かたびにつどい場としての役割を改めて思案した。そこから班活動の拡大、仲間意識、社会参加等自分たちの居場所づくり、住民どうしのつながりができ、支え合いの関係をつくることを目的に取り組んできた戸ノ内組合員センターの活動内容を報告する。

所属している組織の概要	
活動地域は、岐阜県岐阜市。活動地域の人口は約5600人。所属する共同組織の人数は約620人市内高齢化率NO1。	
TEL 090-7954-9337	メール kenji-dragons@na.commufa.jp

所属している組織の概要	
活動地域は兵庫県尼崎市。戸ノ内地域の人口は約2500人未満	
TEL 06-6499-5962	メール onodera.hit@amagasaki.coop

演題番号 4-4-11

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	倉敷医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
スミヨリ 住寄	中島支部 支部運営委員長	第4分科会

<b>発表テーマ</b>
「居場所」を開設し、地域のつながりを広げた支部の取り組み

内容（発言要旨）

2年前、支部の居場所「中島みんなのひろば」を開設しました。医療生協の居場所ですが、地域に広げた「居場所」にこの思いです。この「ひろば」を会場に、「ウオーキング班会」や「おしゃべり班会」、「折り紙班会」など班会を開きます。「居場所があると集まりやすい」、「みんなでおしゃべりし、一緒に作品を作る」など楽しい好評です。また、地域の老人クラブの集まりも考えています。11月には、「ひろば」で「地域ふれあい作品展」を開催し、皆さんの作品を紹介し合ってきました。また、「ひろばでちょい飲み会」なども提案して、食べ物・飲み物を各自持ち寄っての交流会も行いました。こうした取り組みで、この5年間に40人近い組合員が増え、地域のつながりが広がってきました。こうした支部の取り組みを報告します。

<b>所属している組織の概要</b>	
倉敷市中島は、人口約1万6千人、中島支部の組合員は1426人です。	
TEL 086-448-3369	メール ikeuti_m@kura-hcu.jp

## 第4分科会 第5会場

# 「通い(つどい)の場・ 居場所づくりの実践」

ピュアリティまきび 3F 飛翔

演題番号 4-5-1

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
滋賀	ぜぜ健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
マブチ 馬淵 マイコ 麻衣子	友の会員(読者会担当)	第4分科会

発表テーマ
いつでも元気読者会「PPK (ピンピンコロリ)」

内容 (発言要旨)

約8年前に発足したいつでも元気読者会「PPK (ピンピンコロリ)」。

毎月1回2時間、膳所診療所に併設する通所リハビリ「げんき」の開放的なスペースをお借りして、診療所職員も参加し開催しています。

いつでも元気と一緒に日時を告知する招待状を付けて配り予約なしで参加できるシステムで参加者は5~10人ほど、年齢層は70代~90代です。当日は体重や体脂肪の測定・看護師による血圧測定などの健康チェックの後、気になる記事について話し合ったり学習したりするのはもちろんですが、参加した人が驚いたり大笑いしたりするような企画を毎月用意しています！

今までの企画の一部を紹介します。

- 透明傘を盾に水風船と水鉄砲合戦
- 紙面に掲載されているレシピや食べ物を再現し試食
- 診療所スタッフの顔の福笑い
- 写真加工アプリを使ってハロウィンのデジタル仮装アルバム作り

若者の流行を体験したり、童心に戻って楽しめたり、一味違う体験を提供できる様に日々アイデアを集めています。

所属している組織の概要	
活動地域は、滋賀県大津市。活動地域の人口は約30万人。所属する共同組織の人数は約1850世帯。	
TEL 077-524-8114	メール zeze@shigamin.jp

演題番号 4-5-2

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
千葉	千葉健生病院健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
イワタ ヨシコ 岩田 佳子、 スズキ ヨシコ 鈴木 徳子	千葉健生病院健康友の会 幹事	第4分科会

発表テーマ
来て、見て、楽しい！友の会デー

内容 (発言要旨)

「友の会デー」は、月に一度開催している、お楽しみバザーです。1976年バザールを始め、2007年「友の会デー」という名に変更しました。従来のバザーを一步前進させ、「友の会入会案内」「いつでも元気誌、購読の呼びかけ」、他に「署名活動」「健康チェック」も一緒に行っています。

友の会デーのバザーは、とにかく準備が大変です。会員の皆さんからいただいた品物を、汚れやほころび等をチェックし、季節ごとに分け、部類ごとに分け、ハンギングしたりケースに保管したり…。足や腰、腕など全身運動のような作業です。開催日、前日準備、仕分けや点検と月に数回、カレンダーで日程を調整して集まります。

先輩から引き継ぎこんなに長く継続している理由は、会員さんや地域の方がとても楽しみにしていること。そして、ボランティア活動が何より楽しい！と言ってがんばっている力です。

一つ終わると、ホッと一息、顔を合わせて話が弾むお茶の時間が至福のひと時です。

所属している組織の概要	
活動地域は、千葉県千葉市には6区あり、主に花見川区・美浜区を中心とした近隣です。千葉市花見川区の人口は約18万人、美浜区は15万人、千葉市は約98万人の人口です。友の会会員数は、2024年4月現在4,318世帯、8,845会員です。	
TEL 043-276-4817	メール yk-furusawa@min-iren-c.or.jp

演題番号 4-5-3

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
愛知	名南会健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
スズムラ セイコ 鈴村 晴子	みどり支部	第4分科会

発表テーマ
名南会健康友の会 みどり支部の活動について

内容（発言要旨）

2019年3月号の「いつでも元気」に掲載された名古屋市緑区にある名南会健康友の会緑支部です。差額ベッドも導入せず、無料低額診療を行う民医連の理念を貫く名南病院の方針に共感した有志が中心になって、2018年4月に設立しました。当時は2つの班が自宅で定期的に班会を開いていましたが、拠点となる「たまり場」をとの声もあり、たまたまUR商店街の一角を借りることが出来、名南会の協力のもと2021年4月にオープンできました。設立時は243人だった会員も倍加させ、目標だった基金500万円も1000万円を達成させました。今年2024年4月で「たまり場」3周年を迎えましたが、班の数が2班から7班になり、会員数も500名を超えました。「たまり場」では、社会福祉協議会に登録したサロンも7サロンあり、年間行事として「平和の集い」、「友の会まつり」、「健康講座」、「ボッチャ大会」、地域の夏祭りへの出店等活動の幅も広がっています。新たな取り組みとして天白区の支部と合同で名南会としての事業所づくりを模索していきたいと考えているところです。

所属している組織の概要	
活動地域：名古屋市緑区 名南会健康友の会 会員数9793名	
TEL 052-692-7544	メール sosiki@meinan.or.jp

演題番号 4-5-4

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
愛媛	愛媛医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ヤマモト イセミ 山本 伊勢美	桑原北支部 副支部長	第4分科会

発表テーマ
支部の地域で安心してつながれる場「不用品交換市」

内容（発言要旨）

支部の地域で安心して集える「場」として、2020年12月、「不用品交換市」をスタートさせた。「食器がたくさんある」「掃除機が壊れた」「使っていない扇風機ある」等、組合員の日常的な会話がきっかけ。  
⇒「場所」「手伝ってくれる人」があれば、「交換しあえる場」が作れると支部で相談。  
⇒空きガレージ提供の申し出あり、支部で取り組んでいる「困りごと助け隊」活動の担い手の力をかりて開催にこぎつけた。

開催頻度／毎月・第4（金）9：00～10：00の1時間の開催（雨天中止）  
内容／持ち込みも、持ち帰りもすべて無料。困りごとの相談にもものる。地域に開放し、支部とつながりを持てる場として運営する。

コロナ禍で中断もあったが、2023年度からはフル開催、毎回30名ほどの参加がある。組合員の常連さん、ご近所さん、散歩途中の方が立ち寄り、話し込み、常連さんになっている。支部活動紹介・署名依頼、医療生協加入、支部の健康づくりの場への参加にもつながっている。この日を待ちわびている常連さんもたくさんできた。  
担い手さんの活躍の場が増え、積極的になり、役に立てることが喜びになっている。「支部の姿」が地域によく見える！

所属している組織の概要	
拠点事業所（愛媛生協病院）から6キロほど離れた地域で、1小学校区（桑原小）が活動範囲。毎月機関紙配布している組合員世帯は550世帯（組合員世帯比率約6%）。支部運営委員12名、機関紙配布担い手67名。	
TEL 080-3162-5413	メール isemi_y@yahoo.co.jp

演題番号 4-5-5

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	岡山中央福祉会友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ヒノデ マサカズ 日出 正一	幹事	第4分科会

発表テーマ
カラオケまつり成功の取り組み ～趣味を活かした楽しい友の会活動～

内容（発言要旨）

岡山中央福祉会友の会は2003年に発足。活動推進体制のひとつ「元気いきがい部」では日帰り旅行などの楽しみの活動をしていたが、会員から「大好きなカラオケを、地域で試してみようか」との意見を受け、2016年に第1回を開催した。以後コロナ禍の中断を経て今年5月に第5回を開催し、約80名の参加者を迎えて成功した。参加者からは「参加してよかった」などの感想が出され、実行委員会でも「みんなに喜んでもらってよかった」とやりがいを感じている。参加にあたっては会員になってもらうことを条件に、なかま増やしにもなっている。コロナ対策のため今回より会場を法人内事業所から変更したが、また事業所開催を実現させ、友の会と岡山中央福祉会を身近にする機会にしたい。

演題番号 4-5-6

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
福岡	福岡医療団 ふくおか健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
オオガ サワ子 大賀 サワ子	城南支部 支部長	第4分科会

発表テーマ
ふくおか健康友の会城南支部の活動

内容（発言要旨）

ふくおか健康友の会14支部中、一番小さな、事業所をもたない支部が、千鳥橋病院の協力を得て取り組んでいる支部活動の報告をします。班は5つあります。①フィットネス班②ほがらか班③ウォーキング班④おせち班⑤健診班です。班とは別に、たまり場として、仲よしカフェを新型コロナ感染が2類から5類に変更後再開しました。会員の中には、踊りが好き、ギターの弾き語りが上手い、紙芝居ができる。みんなでコーラス、みんなでダンスを。手芸の達人もいる。ならば、支部だけのオリジナルな文化祭ができると、今年で5回目の「さわやか秋の文化祭」を開催します。今年の3月、支部長に1本の電話がありました。無料低額診療の相談でした。千鳥橋病院のMSWに繋がったことで無事に入院、手術が終わり、暮らしの安心につながった例もありました。

所属している組織の概要	
活動地域は人口9万5千人の岡山市東区の南部・西大寺地域。共同組織構成員は約3000人。6つのブロックと84の班、91名の世話人（機関紙の手配り配付）の組織規模。なお、母体法人は19事業所、480名の職員の規模で、地元西大寺地域で最も大きな事業規模を持つ。	
TEL 086-943-1616	メール honbu@tuba.ocn.ne.jp

所属している組織の概要	
活動地域は、福岡県福岡市。その中でも、一番大きな支部が、千鳥橋病院（博多区）がある、博多支部で3300世帯を超える会員数になっています。また、東区には3つの支部があります。現在、福岡市内に8支部、となりの糟屋郡に3支部、筑豊地域に3支部、あわせて14の支部が活動を行っています。その内2つの支部が事業所（診療所）のない支部となっています。所属する共同組織の人数は約26700世帯・人。班数：205班	
TEL 092-651-1522	メール hr-murase@fid.jp

演題番号 4-5-7

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
愛知	名南会健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ミズヤ マサヒロ 水家 政博	中川診療所地域支部	第4分科会

発表テーマ
終の棲家 老人ホーム「ひなた」で友の会のみんなと一緒に

内容（発言要旨）

住宅型有料老人ホーム「ひなた」は8年目を迎えた。全室で18部屋。医療法人名南会 中川診療所近隣の地域からの入居者が多く、開所当時の入居者は2人で友の会活動の中心的役割を果たしている。

「ひなた」は自立できる方が基本。一人部屋でテレビを見て過ごす方が多く、施設職員は一人一人が楽しく充実した生活を送り、主体的に運営にも参加できるようにと友の会活動を積極的に進めた。

現在はひなた班を作り、月一回の班会で班長が中心になり、誕生会やお楽しみメニュー決めを行う。月曜日は友の会主催のストレッチ教室。地域の会員さん（88歳）がインストラクターで地域の会員さんも参加をして開催。金曜日は友の会員のボランティアが行うコーヒーサロンで寛ぎ、そのあと中川診療所の「おしゃべりサロン」でストレッチ、おしゃべり、健康祭りの準備や健診のノベルティ作りに参加。地域と友の会が共同で行う「買い物支援」にも参加し、施設内では食べられない食材の買い物も楽しみにしている。さらに週二回はボッチャの練習を行い、年二回行われる健康友の会主催のボッチャ大会に参加している。

以上のように入居者の生活に欠かせない存在の友の会活動で、いつまでの元気に安心して住み続けられる施設であってほしいと願っている。

所属している組織の概要	
活動地域：名古屋市中川区 名南会健康友の会 中川診療所地域支部 1877名の会員 発表の現場である在宅型有料老人ホーム「ひなた」は住人12名の施設である。	
TEL 052-692-7544	メール sosiki@meinan.or.jp

演題番号 4-5-8

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岐阜	岐阜健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
サイトウ エツコ 斉藤 恵津子	長良支部 事務局長	第4分科会

発表テーマ
コロナ禍の「繋ぐ・繋がる」3年間の活動のまとめ

内容（発言要旨）

2020年から新型コロナ流行による様々な活動や外出が制限されてきた中で、子どもたち・高齢者の弱い立場に置かれている人々の生活に大きく影響をあたえました。「何もできない、何もしないわけにはいかない、今だから困っている人がいる」と奮起し、子ども食堂はお弁当にして継続、高齢者サロンは手作り弁当を届け、安否確認や相談活動とアウトリーチ型活動に変えてきた。その中で「繋ぐ、繋がる」手をはなさない活動努力に変化が生じてきました！何より、子どもたちが「梅子で遊びたい、子ども食堂の手伝いがしたい！」という声にハッとしました。昨年の秋「子ども食堂祭り」「学習支援」「梅子で弁当食べよう」等はじめました。又高齢者の間にも「このまま家にいたら動けなくなる」との声で、フレイルの学習会が行われ、週1回の転ばん体操が始まりました。この1年は目まぐるしく、地域の声、友の会員の声に支えられてきました。何を地域の中で求められ、友の会でできることは何かを考え活動した3年間のまとめです。

所属している組織の概要	
活動地域は、岐阜県岐阜市、活動地域の人口は約3万人、所属する共同組織の人数は205人	
TEL 090-8077-5671	メール umegonoie@gufu-min.gr.jp

演題番号 4-5-9

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	岡山医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ミゾグチ 溝口 ハツミ 初美	理事	第4分科会

発表テーマ
新たなつながりを生んだ作品展

内容（発言要旨）

コロナ禍で活動が制限され、たまりばでのサロンも中止となり、組合員同士の交流が減少する中、コロナ禍でも組合員が集まり交流する事例を報告します。

岡山医療生協山陽支部のたまりば「ギャラリー十七川」で絵手紙展を2020年7月15日から22日の8日間で開催し延べ140名の参加がありました。コロナ禍で活動が縮小する中、久しぶりにたまりばに集まり、みんなで、楽しい時間を過ごしました。その後、高島支部、幡多支部、操南支部、つだか支部も開催しました。高島支部では作品を展示するため、5の方が組合員になられ、作品を展示しました。2022年に70周年を迎えた岡山医療生協でも2022年9月14日から16日の3日間「70周年記念事業 作品展示会」を開催しました。つながりあった手を離さない活動をつづけていきます。

所属している組織の概要	
活動地域は、岡山県岡山市。活動地域の人口は約70万人。所属する共同組織の人数は約6万人。	
TEL 086-271-7880	メール soshiki@okayama-health.coop

演題番号 4-5-10

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
愛知	名南会健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
スズキ 鈴木 ゆかり	名南ふれあい病院 地域支部	第4分科会

発表テーマ
5年ぶりのサロン再開 私たちのやりがいに

内容（発言要旨）

5年ぶりに名南ふれあい病院の院内ラウンジを使って、ふれあい喫茶をオープンしました。

地域の方々の憩いの場所となり、一週間に一度の開催をととても楽しみにして下さっております。

そんな居場所になっている事をととてもうれしく、やりがいにもなっております。

所属している組織の概要	
活動地域：名古屋市南区 名南会健康友の会 会員数9793名	
TEL 052-692-7544	メール sosiki@meinan.or.jp

**第5分科会 第1会場**  
**「地域まるごと健康づくりの  
とりくみ」**

**岡山国際交流センター 2F 国際会議場**

演題番号 5-1-1

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	南大阪医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
マツモト ヒトミ 松本 日登美	組合員活動部職員	第5分科会

発表テーマ
「楽しかったね！」と笑顔あふれた「のんびり運動会」

内容（発言要旨）

南大阪医療生活協同組合の「のんびり運動会」について報告します。コロナ禍の中でずっと続けてきた健康まつりを開催できずにいました。昨年、雑誌『comcom』に載っていた松山協和病院の「のんびり運動会」の記事にヒントを得て「南大阪でもやってみよう」と社保平和まちづくり委員会で企画を練りました。加賀屋診療所の駐車場と組合員ホールで「ゆったりほんわか楽しみましょう」と「ボッチャ」「健康かるた」「スリッパ飛ばし」をメインに行いました。当日は意外にもスリッパ飛ばしが大爆笑の珍プレー好プレーで好評でした。組合員さんから「あー楽しかった」秋には「のんびり・大運動会」をしようと期待が膨らんでいます。

演題番号 5-1-2

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
埼玉	医療生協さいたま生活協同組合 県中地域県央地区	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
オオバ フミエ 大庭 文枝	理事	第5分科会

発表テーマ
笑顔あふれるボッチャ

内容（発言要旨）

2023年度に各支部でボッチャ体験会がそれぞれ開催され、その後練習が活発になりました。2024年2月には、県央地区でプレ大会を開催し、増々盛り上がりを見せました。プレ大会では、チーム内はもちろん、他支部の組合員さんとの交流にもなりました。

健康、つながりなど組合員さんの明るい笑顔に発展した様子をご紹介したいと思います。

所属している組織の概要	
定款地域は大阪市住吉区・住之江区・東住吉区、組合員は8,892名、2つの診療所と6つの介護事業所、13ヶ所のたまり場	
TEL 070-6805-3824	メール kumikatu@moisk.jp

所属している組織の概要	
活動地域は、埼玉県鴻巣市、北本市、桶川市、上尾市、伊奈町の5自治体で人口は約527,000人、組合員数約6,300人が7つの支部で活動しています。	
TEL 080-4443-0628	メール fumie@qb4.so-net.ne.jp

演題番号 5-1-3

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
千葉	千葉健生病院健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
フルサワ ヌウコ 古澤 祐子	千葉健生病院健康友の会 事務局長	第5分科会

発表テーマ
「オリジナル脳トレ遊びで笑顔満開！」友ちゃん体操

内容（発言要旨）

友ちゃん体操は、コロナ禍でも出来ることをできるかぎりやろう！という中から一番要望が多かった、「健康体操」を形にしたものです。近隣にお住いの方が、久しぶりに外出したら息切れが…とコロナ禍での筋力低下は加速するばかりでした。

初めは、リハビリ科職員にお願いしましたが、感染対策や院内感染のことがあり、継続が困難になりました。そこで、考えたことが①まず第一に楽しさを重視②座ってできる③脳トレを取り入れる、ことを中心にしました。

リハビリ科職員に、事前に体操のポイントを教えてください。歌に合わせての手遊びは、自分の手のいうことの利かさに笑いが生まれます。誰もが口ずさめる懐メロに、創作ダンスを合わせると発表会に出たくなる気持ちになります。またオリジナル体操では、ジャングルに冒険に行くということを仮定し飛行機やボートに乗ったり、コウモリを避けたり…宝箱の発見したりと楽しんでいます。誕生日には、歌と紙吹雪をまいてお祝いします。病院周りにクイズを貼り付け、地図を見て探すウォークラリーも好評です。

最近のお気に入り「短歌ゲーム」です。お題を決めて、一人ずつ5文字、7文字の言葉を考えます。それをランダムにくじ引きし一首、歌に仕上げます。バラバラの偶然が織りなす驚きの出来栄えに、拍手喝采です。

笑顔満開友ちゃん体操は、月一回の約20名の参加です。

所属している組織の概要	
活動地域は、千葉県千葉市には6区あり、主に花見川区・美浜区を中心とした近隣です。千葉市花見川区の人口は約18万人、美浜区は15万人、千葉市は約98万人の人口です。友の会会員数は、2024年4月現在4,318世帯、8,845会員です。	
TEL 043-276-4817	メール yk-furusawa@min-iren-c.or.jp

演題番号 5-1-4

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
愛媛	愛媛医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
アダチ ヨシタダ 足立 義忠	愛媛医療生活協同組合 協立ブロック理事	第5分科会

発表テーマ
けん玉&ボッチャで健康づくりとつながりづくり

内容（発言要旨）

「けん玉」「ボッチャ」を通して、健康づくりだけでなく、つながりづくり、職員と組合員との協同につながった取り組みを報告します。

コロナ禍で取り組める健康づくりはないか？と考え、2021年度から「けん玉」に取り組みました。飽きずに練習ができるよう「けん玉検定」や「けん玉オリンピック」を企画し、組合員さんは自宅や班で練習をはじめました。また職員も、まちづくり委員会で呼びかけ同様に取り組みました。けん玉オリンピックは当初は組合員と職員と別々に開催していましたが、2023年度は組合員と職員の合同で開催できることができ、新居浜協立病院会議室は約100名程の参加があり大賑わいとなりました。また職員や組合員と交流する良い機会となりました。2022年度からはけん玉が苦手な方もおり、誰でも手軽に取り組めるものはないか？と「ボッチャ」にも取り組むことにしました。ボッチャの道具を支部が購入し、支部対抗ボッチャ大会を企画。それに合わせて支部はボッチャを練習する場をつくり、練習を通して新たな参加者が増え、仲間づくりにもつながりました。また自治会、老人会とのつながりも生まれました。ボッチャは初めての方でもすぐできるので組合員さんに大好評です。そして2023年度は愛媛医療生活協70周年記念事業の健康フェスタでは「ボッチャ大会」をメインに健康チェックコーナーや健康ラリーを企画しました。ボッチャ大会は組合員、職員それぞれが予選会を開催し、健康フェスタの本選出場に向けて早い段階から盛り上がりをつくり、大盛況でした。また健康チェックや健康ラリーにも若い世代の参加もあり、組合員さんからは「若い方の参加があり良かった」「後継者づくりを心配する中、少し安心した」などの声がありました。引き続き「けん玉」「ボッチャ」を活用して健康づくりを進めていながら、若い方ともつながれるよう取り組んでいきたいです。

所属している組織の概要	
活動地域は、愛媛県新居浜市川西地区、川東地区、西条市。活動地域の人口は新居浜市（川西・川東）約61,800人。西条市は人口約107,500人。所属する共同組織の人数は協立ブロック約7000人。	
TEL 090-2826-0376	メール r-okabe@ehime-med.org

演題番号 5-1-5

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
神奈川	川崎医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
シロタニ 城谷 ソウイチ 創一	健康まちづくり推進部 部長	第5分科会

発表テーマ
他生協と取り組む、モルック&健康チェック

内容（発言要旨）

神奈川県内の生協が集まるところで「一緒にモルックやりませんか!」と声をかけたところ、パルシステム神奈川から「モルックだけではなく、健康チェックも一緒にやりませんか」と返事がきた。そして、「モルック&健康チェックの会」を、4会場で行い400名近い参加者を集めた。パルシステムと一緒に企画をするのは初めてで、この企画を進めるにあたり、毎月 ZOOM 会議を実施して、宣伝方法や当日の進め方を検討した。この企画が評判になったのか、4000人以上集客するイベントからお呼びがかかり、同企画を実施し、32組のモルック体験と150人を超える健康チェックを行った。この企画を通して、パルシステムは加入12件、川崎医療生協は出資金5万円を超える成果があった。2024年度も実施予定。

演題番号 5-1-6

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	けいはん医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
オザキ 尾崎 アリコ 亜理子	健康なまちづくり委員会 事務職員	第5分科会

発表テーマ
健康チャレンジでつながりと健康づくり

内容（発言要旨）

地域まるごと健康づくりを目的に、大阪府生協連（生活協同組合連合会）で取り組んでいる「おおさかまるごと健康チャレンジ」に毎年参加し、健康づくりに取り組みました。

健康づくりは人により様々ですが、年に一度は意識してやってみよう、生活習慣、運動習慣を身につけるきっかけに、自分だけでなく家族やお友達、知り合いも一緒に健康づくりを考えてみようと呼びかけ、組合員だけではなく地域からの参加も含め、2023年度は約2,972人の参加がありました。

特に寝屋川市では、例年教育委員会を通して市立小学校校長会でパンフレットを配布。地域の組合員からも小学校へ参加を呼びかけるなど、2023年度は計6校、1,199人の参加がありました。

取り組み具合に個人差はありますが、健康意識が高まるきっかけになり、また、地域とのつながりづくりができ、一石二鳥の取り組みになりました。

所属している組織の概要	
組合員数40,529 支部数35 出資金15億円 病院1 診療所（歯科含む）8 ヘルパーステーション3 訪問看護ステーション3 老人保健施設1 デイサービス2 デイケア1 居宅介護支援3 地域包括支援センター：3	
TEL 044-266-7532	メール sou.shirovani@kawai-kyo.or.jp

所属している組織の概要	
大阪府寝屋川市、門真市、守口市を定款地域とし、3診療所、20介護事業、1住宅を実施。活動地域の人口は約48万人。所属する共同組織の人数は約12,000人。	
TEL 072-882-5025	メール l-chiisapo@keihan-healthcoop.net

演題番号 5-1-7

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	倉敷医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ナカムラ トミヨ 中村 富代	理事	第5分科会

発表テーマ
ヘルスチャレンジの小中学校への広がり

内容（発言要旨）

倉敷医療生協では毎年岡山県生協連主催のヘルスチャレンジを企画している。この取り組みを若い世代にも広げたいと思い、2015年より児島地域の小学校12校を訪問して参加の呼びかけをした。各学校の校長、養護教諭を窓口、課題を提示したり、学校で取り組んでいる課題を応援したり、個人で課題を決めてもらったり、学校ごとにさまざまな形でヘルスチャレンジに取り組んでもらった。2015年は3校が参加。その後、参加校が増えて2020年には児島地域の全小学校12校が参加。翌年からは中学校側から申し出があり、中学校の参加も始まった。現在では児島地域の全小中学校がヘルスチャレンジに取り組んでいる。

取り組み内容としては、「あいうべ体操」「ていねい歯みがき」「規則正しい生活習慣づくり」「メディアコントロール」など。取り組み時期は、学校ごとに柔軟に対応することになっている。申し込みは9月末、報告は11月末と期限を設けることで、取り組み状況を聞いたりする声かけのタイミングとなっている。報告があった学校には参加賞としてハブラシやえんぴつをお渡ししており、これが励みになると毎年喜んでもらっている。

所属している組織の概要	
活動地域は、岡山県倉敷市児島地域。活動地域の人口は約68400人。組合員は約5700人。	
TEL 086-448-3369	メール kakiuti_h@kura-hcu.jp

演題番号 5-1-8

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
埼玉	医療生協さいたま生活協同組合 県北地域利根北地区	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
キクチ アキラ 菊池 明	行田協立診療所 まちづくり コーディネーター	第5分科会

発表テーマ
地域で広まる「健康ひろば」実践の紹介

内容（発言要旨）

2023年度に支部が、行田市内で健康ひろば（医療生協の組合員が行なう、誰でも参加できる定時定点の健康づくりの場）を3カ所立ち上げた。きっかけは「運動する場所を作りたい」という組合員のニーズがあったことから始めた。その内容と様子、宣伝方法、他支部へ波及した様子を紹介する。

今後、地区での団体トーナメントの構想などに広がっている様子を紹介する。

また、通所リハビリ利用者が、介護サービスと並行して健康ひろばに参加している支部もある。「楽しく運動する場所が増えた」という声から、介護サービスと健康ひろばの並行利用から得た気づきを紹介する。

所属している組織の概要	
活動地域は埼玉県内で組合員は約24万人。その県北地域の中の3自治体（人口計約24万3千人）で8つの支部（組合員数約1万1千名）が活動中。行田市に行田協立診療所、ケアセンターさきたまが事業所展開している。	
TEL 070-2154-7346	メール a-kikuchi@mcp-saitama.or.jp

演題番号 5-1-9

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
東京	健和友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ホシノ ミツコ 星野 光子	健和友の会副会長	第5分科会

発表テーマ
健和友の会の健康づくり活動を中心とした地域活動について

内容（発言要旨）

健和友の会は埼玉県三郷市を中心に8つの支部ブロックで構成されます。そのうちの1つである鷹野ブロックには1120名の会員がいらっしゃいます。年間を通じて様々な活動に取り組み、秋の健康チャレンジには188名が参加し目標達成率は92%です。保健講座は健和病院の医師、看護師、保健師の協力を得ながら毎年開催ができています。その他には医療懇談会、ウォーキング、映画会などを開催して地域の会員の要望に応えられる取り組みも行っています。NPO 法人と連携した、憩いの場所づくりでは、三郷市の委託事業である鷹野さわやサロンを毎月1回開催し、毎回40名以上の参加が集まってきています。おもな内容としては健康体操、行政からの話しや小物づくり、絵手紙づくり、折紙、脳トレなどを行い、利用者からも好評で、地域の高齢者の居場所づくりとしても定着しています。

所属している組織の概要	
活動地域は、埼玉県三郷市。活動地域の人口は約14万人。所属する共同組織の人数は約14000人。	
TEL 048-955-7872	メール a-ishigami@totokyogikai.jp

演題番号 5-1-10

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
東京	東葛健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ハシモト キョウコ 橋本 京子	副会長	第5分科会

発表テーマ
職員と共に進める地域での健康づくり、社会保障拡充の取り組み

内容（発言要旨）

- ①当会は会員数8500名程の組織です。平和、いのち、くらし、社会保障拡充などの対話・署名活動、健康づくり、地域とのつながりを深める活動、バスハイクでの会員の交流など様々な活動を進めています。しかしまだ、地域に密着した活動を進めるための「班」が作れていません。それを打開すべく、昨年度後半より地域を5つのブロックに分け、それぞれに活動計画を立てて実践に入る取り組みを始めました。
- ②50名弱の役員が、居住地ごとにブロックを担当し、毎月会議をもって推進しています。
- ③継続した取り組みで、地域の町内会や自治会の皆さんとのつながりができ、健康相談会の案内チラシを回覧・掲示して頂くなど協力関係が深まっているところも出てきています。入会者も毎回のようにあります。
- ④相談会や署名活動には職員の皆さんにも参加してもらっています。
- ⑤まだ、初歩的な取り組み、到達とは思いますがこの活動を報告し交流会に参加します。

所属している組織の概要	
活動地域は千葉県流山市（人口：約21万人）を中心とした東葛地域。会員数は約8500人	
TEL 04-7159-1075	メール tk-tomonokai@nifty.com

演題番号 5-1-11

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
京都	京都市中・右京健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
シバ シゲヤス 柴 茂保	副会長	第5分科会

発表テーマ
京都・まんなか中京区でのコミュニティカフェを軸とした「友の会」づくり

内容（発言要旨）

- 健康で長生きしたい——「高齢者の居場所」づくりは友の会の原点  
◎友の会の存在意義がとわれている。
- 「高齢者の居場所づくり」を友の会の取り組みの中心に——朱八健康友の会がおおきな役割  
友の会のスローガン  
◎助け合ってつながり、孤立しない、健康で安心して住み続けられるまちづくり  
◎地震・台風など、いざという時のために防災を考え、安全確保、避難方法を共有する
- 中京区の各学区に「友の会」をつくり、友の会活動をひろげる——交流会の開催
- 民医連がない地域の高齢者施設や保育所と交渉し、「居場所」を確保——友の会活動のイメージできた
- 中京区の「友の会」が一堂に会し、「ふれあいサロン交流会」を開催し70人が参加した。
- たまには外を歩きたいの要望にこたえ、「中京まちなか歩こう会」に取り組む

所属している組織の概要	
京都市中・右京健康友の会は会員12000人、いつでも元気誌 939部。京都市中京区・右京区に集中するが、会員は府下全域に点在している。中京区は人口約10万人、高齢者21000人、学区数23学区、「友の会」7つの組織、会員2000人、コミュニティ・カフェ9カ所 月1回定例参加者約140人、世話役60人。「子ども食堂」と「しゅくだいやる会」は月1回開催し、はボランティアスタッフ25人平均130人が利用している。	
TEL 075-821-4185	メール 2025shiba@gmail.com

演題番号 5-1-12

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
東京	みさと健和病院	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
イシガミ アツヒサ 石上 敦久	組織課課長	第5分科会

発表テーマ
初めて取り組んだ友の会無料大腸がん検診の取り組みについて

内容（発言要旨）

コロナ禍のもとで、友の会の会員減少から増勢に転換が求められるいっぽう、経営的にも困難さが進展する中で、共同組織に依拠した経営改善をすすめることが大きな課題に。そのため、「三多摩健康友の会」の無料大腸がん検診にとりくむことを計画。立川健生会本部で、実践の内容を学ばせていただき、その後準備を進めました。

この検診を進めるにあたって学んだことは第1に「大腸がんから健康を守る保健予防活動の意義を広げながら進めること」。二つ目には、各地域で大腸がん検診説明会を開催する事です。

現在、目標300名に対し申込者205名。提出者160名のうち陽性者8名で5%の陽性率です。

友の会新規加入は30名。中には県外から転居し、参加した地区サロンで大腸がん検診の取り組みが紹介され、新規加入して受診した結果陽性でした。主治医もいないと相談もあり、みさと健和クリニックを紹介し、2次検診まで繋がった方もいらっしゃいました。

所属している組織の概要	
活動地域は、埼玉県三郷市。活動地域の人口は約14万人。所属する共同組織の人数は約14000人。	
TEL 048-955-7872	メール a-ishigami@totokyogikai.jp

**第5分科会 第2会場**  
**「地域まるごと健康づくりの  
とりくみ」**

**岡山国際交流センター 5F 会議室(1)**

演題番号 5-2-1

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
新潟	新潟勤労者医療協会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
フルカワ マサシ 古川 理志	本部組織部	第5分科会

発表テーマ
地域在宅高齢者のフレイルの現状調査とフレイル予防の取り組み

内容（発言要旨）

【目的】 地域在宅高齢者のフレイル判定調査からフレイルの現状を把握し、今後のフレイル予防の取り組みを具体化すること。

【対象と方法】 新潟健康友の会の地域在宅高齢者135名（男性26名、女性109名、平均年齢74±4歳）を対象に、フレイル基準5項目（国立長寿医療研究センター日本語版フレイル基準2020年から一部改訂）を用いてフレイル割合を評価した。なお、該当数が0は「健常」、1～2つは「プレフレイル」、3つ以上は「フレイル」と判定した。

【結果】 本調査全体のフレイル割合（12.6%）は、全国平均（8.7%）や中部地域平均（8.0%）と比して4～5%高い割合を占めた。

【今後の取り組み】 本調査の結果を受けて、法人を挙げてフレイル予防に取り組むこととした。第一次介入期である2023年度は、新潟健康友の会独自のフレイル予防体操を考案して、体操動画をDVD化して配布したり、体操の研修会を開催したりと、各支部において普及啓発に努めた。第二次介入期である2024年度は、支部単位から個人単位へのポピュレーションアプローチとして、YouTubeでの体操動画の配信を計画中である。

所属している組織の概要	
活動地域は、新潟県新潟市8区のうちの4区。活動地域の人口は約55万人。所属する共同組織の人数は約2万2千人。	
TEL 0250-22-6851	メール furukawa_m@niigata-min.or.jp

演題番号 5-2-2

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	健康友の会みみはら	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
キタデ ヨシオ 北出 祥夫		第5分科会

発表テーマ
共同組織と共に取り組んだ出前講座によるフレイル予防体操教室

内容（発言要旨）

身体的フレイルを予防するには、筋力トレーニング（以下：筋トレ）や栄養摂取が有効であることは科学的に立証されています。しかし、筋トレを継続するのは、そう簡単ではなく3日坊主で終わる方も多くおられます。今回、筋トレを継続させるために以下の3点にポイントを置き2022年1月から26支部を対象に出前による指導を開始しました。1点目は「評価」する➡やりっぱなしではなく継続的に参加者の体組成や筋力を評価しました。2点目は「記録」する➡動機づけになるよう筋活カレンダーを作成し体操をしたらチェックし見える化を行いました。3点目は「交流」する➡仲間意識や励まし合う場や運動効果（評価）の場として3か月に1度は集まることにしました。2023年度は26支部中25支部で取り組んでいただき、延べ64回開催し延べ562人が参加しました。本交流会では、その成果について報告します。

所属している組織の概要	
活動地域は、堺市・高石市・和泉市。活動地域の人口は約106万人。所属する共同組織の人数は約94,000人（40,974世帯）	
TEL 072-244-8061	メール trainer@mimihara.or.jp

演題番号 5-2-3

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
福島	郡山医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
イチカワ スミ 市川 進	ブロック担当理事	第5分科会

発表テーマ
フレイル予防としての太極拳教室の活動について

内容（発言要旨）

高齢者の健康づくりのひとつとして、ゆっくりなテンポで身体を動かす太極拳をフレイル予防として実践しています。

郡山医療生活協小野支部からはじまった教室は、他地域の支部からも要望があり、現在は8教室、約80人の参加者がいます。支部間の交流の機会にもなっており、90歳を超える参加者も元気に参加しています。

町のイベントで披露する機会や、地元テレビ局からの取材も複数あり、注目されています。

台湾との交流もあり、参加者を連れて台湾ツアーもおこないました。

演題番号 5-2-4

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
埼玉	医療生協さいたま 川越東支部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ヤギヌマ ヨシコ 柳沼 好子	支部長	第5分科会

発表テーマ
いもっこ体操でフレイル予防と仲間増やし

内容（発言要旨）

川越市が介護予防のひとつとしてすすめている「いもっこ体操」を支部で取り入れたのは一昨年10月から。理学療法士に何回も指導にきていただき、本腰をいれました。参加人数は2回に分けて約50人が参加。「いもっこ体操やっているんだって？」と新しい仲間も増え、うれしい限りです。効果として、○ペットボトルの蓋が開けられるようになった○お風呂に入るとき「どっこいしょ」と言わなくなった○散歩の時、足の運びが楽になった○腰痛がなくなった 等々

高齢者のフレイル予防として、川越市全体で取り組んでいるこの体操を行うことは、確実に筋力をつけることで高齢者のいきいき生活につながっています。川越市は「いもっこ体操」に参加する皆さんがどれだけ体力がついたのか現在データをとっているほどのとりくみです。数年後、川越市の高齢者の健康寿命がどう変化しているのか楽しみです。これからも支部の皆さんの「健康づくり」とまだ「いもっこ体操」を知らない人への声かけを引き続きやっていこうと思います。

所属している組織の概要	
郡山医療生活協同組合は、福島県郡山市を中心に周辺の約10自治体で活動をしています。組合員は約22,000人。	
TEL 024-923-6212	メール sosiki@koriyama-h-coop.or.jp

所属している組織の概要	
活動地域は、埼玉県川越市（人口35万人）。活動地域の人口は約10500人。うち、医療生協さいたま組合員は約1000人。	
TEL 090-6797-2221	メール

演題番号 5-2-5

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
香川	香川医療生活協同組合組合員活動部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
アカマツ 赤松 テルミ 光美	職員	第5分科会

発表テーマ
フレイルサポーターの養成・フレイル測定会に取り組んで

内容（発言要旨）

2019年1ブロックでフレイル予防活動を開始。簡易テストではフレイル予備軍も含め8割以上が対策必要と判断され、測定者の1割がプレフレイル以上の結果となった。組合員の健康寿命を延ばし、健康を守っていくため全ブロックでの取り組みにしていこうとした矢先、コロナ禍に突入し取り組みとしては不十分となっていた。2022年度よりしっかり情報・知識を得て普及するために健康づくりサポートチーム会議内でサポーター養成講座を行うための資料集め・内容討議・テキスト作成・講座担当者振り分けを行い、2023年7月～2024年3月でフレイルサポーター養成講座、フレイル深掘り測定会を行った。結果、フレイルサポーター85名誕生、測定者140名と十分ではないながら一定の普及活動につながった。その経過、測定会結果の分析、次年度の課題など考察したことを報告する。

所属している組織の概要	
2024年3月末時点の香川医療生活協同組合の現勢は、組合員数48,275人、出資金926,139千円、支部数54、班数165。組合員活動部の職員数は常勤8名(事務7、看護師1)、非常勤4名(いずれも事務)。	
TEL 087-833-8115	メール akamatsu@kagawa.coop

演題番号 5-2-6

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
佐賀	本部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
タナカ 田中 コウヘイ 浩平		第5分科会

発表テーマ
春の健康ウォーキング

内容（発言要旨）

雨天により昨年開催が中止となった春の健康ウォーキング企画を佐賀市諸富町にある「徐福サイクルロード」で開催しました。参加者100名を目標に支部の運営委員会や班会で呼び掛けを行ったほか、診療所やクリニックに参加者募集のチラシを掲示してもらいました。また、ウォーキング会場までの交通手段がない方のために、各支部で車に乗り合わせて行けるよう調整を行なうことで目標達成には至りませんでしたが多数の方に参加いただくことができました。

当日は晴天のなかサイクルロード往復約6キロの道のりを2時間かけてウォーキングを楽しみました。ウォーキングが困難な方も数名参加し、眺めのよい場所で自然とふれ合う時間を過ごしていただきました。桜の花びらはまだ2～3部咲きでしたが、新緑の麦畑やチューリップ祭りなどの催しも行われていたことから、大盛況のなかで健康ウォーキングを終えることができました。支部によってはウォーキング終了後に近くにある筑後川昇開橋に集まって皆でお弁当を食べ楽しむなど工夫を凝らしていました。今後も多くの方に参加していただけるように継続的にウォーキング企画を行ってまいります。

所属している組織の概要	
活動地域は、佐賀県。活動地域の人口は約79万人。所属する共同組織の人数は約1万3600人。	
TEL 0952-31-1249	メール k-tanaka@saga-iryous.or.jp

演題番号 5-2-7

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	健康友の会みみはら	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
田中 則兵衛		第5分科会

<b>発表テーマ</b>
年末年始に取り組んだウォーキングチャレンジの取り組み

内容（発言要旨）

法人健康づくり委員会では、運動不足になりがちな年末年始に積極的に運動をしていただこうと「ウォーキングチャレンジ」に取り組んだので報告します。方法は、年末12月27日から年始の1月15日までの20日間に、64歳以下は1日8000歩以上、65歳以上は1日6000歩以上、その他自主申告部門も設け取り組みました。「結果」は、270名の友の会会員から応募があり、209名の方から結果報告がありました。参加者は男性が2割、女性が8割で70代女性が多く参加されていました。参加動機については、女性では、目標があると頑張れる、男性では、普段からよく歩いているが一番多くありました。目標を達成された方は、155名74%でした。男性が81.8%、女性が72.1%でした。「考察」参加者の感想より、年末年始は動いているようで、普段と変わりがないのがよくわかった。特に、正月の三が日は、意識しないとほとんど動かないのがよくわかった等、目標をもつこと、意識すること、そして記録することが大切であることを体験する企画になりました。次回も参加したいと答えた方は、78.7%でした。「まとめ」来年以降も継続して取り組んでいきたい。

<b>所属している組織の概要</b>	
活動地域は、堺市・高石市・和泉市。活動地域の人口は約106万人。所属する共同組織の人数は約94,000人（40,974世帯）	
TEL 072-244-8061	メール tanaka-n@mimihara.or.jp

演題番号 5-2-8

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
福井	福井県医療生活協同組合 丹南ブロック	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
根谷 恵美	武生まちなか支部 いち・に・散歩会事務局	第5分科会

<b>発表テーマ</b>
「いち・に・散歩会」で地域の歴史・文化に触れ合う健康ウォーク

内容（発言要旨）

- ・武生まちなか支部の班会として、2021年度「いち・に・散歩会」を発足。月に1回のペースで開催しています。どなたでも、気に入った回に参加していただいています。無理のない距離で、のんびり、ゆっくり、季節の花や木々を愛でながら楽しく歩いています。
- ・自分たちが住んでいる地域の寺社や史跡などをウォーキングでめぐり、歴史や文化に触れる。
- ・季節ごとの自然に触れ、心身をリフレッシュ。
- ・年2回春と秋には、ローカル線を使って、少し足を延ばし、福井県内の歴史や文化を再発見。
- ・コロナ禍で中断していた全県的な「健康ウォーク」を再開、本部の健康づくり・文化委員会と丹南ブロックの共催で「紫式部に逢えるまち・武生まちなかあるき」を実施。県内各地から組合員が参加。
- ・支部を越えた参加者の交流で、健康ウォークの取り組みが広がることが期待できる。

<b>所属している組織の概要</b>	
福井県医療生協（組合員数 約22千人）・丹南ブロック（組合員数 約3千人）	
TEL 0776-27-2318	メール naomi.takezawa@fukui-min-iren.com

演題番号 5-2-9

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
東京	城南保健生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
星野 弘子	常務理事	第5分科会

発表テーマ
組合員の要求から生まれた 月1ウォーク「まち歩きの会」

内容（発言要旨）

- ・コロナ禍で組合員さんどうしている？感染に注意しながら、訪問や電話かけを行ない、体調や要望を聞いてみました
- ・全組合員に「組合員アンケート」を実施・・・「コロナ禍で困っていることは？」「こんなイベントがあったら参加してみたい？」
- ・組合員さんの声やアンケート結果を元に、2021年4月、月1ウォーク「まち歩きの会」が誕生！
- ・「組合員さん、閉じこもりから戸外へ出よう」。毎月第1水曜日10時～12時定例
- ・歩くコースは大田区、品川区のどこか・どこを歩くかは当日までのお楽しみ（集合場所と時間、解散場所は機関紙でお知らせ）
- ・参加費100円（行事保険料）
- ・楽しく参加できるよう「参加シール健康手帳」を作成
- ・2021年4月から毎月第1水曜日に開催し、2024年7月で37回となりました
- ・参加者は毎回30人から40人です
- ・企画の中で、いろいろなエピソードが・・・

所属している組織の概要	
城南保健生協は、東京都大田区、品川区を中心に活動しています。組合員は約2万人です。	
TEL 03-3762-0266	メール yokoyama@jonanhoken.gr.jp

演題番号 5-2-10

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
福岡	福岡医療団 ふくおか健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
古川 咲子	東・東支部 支部長	第5分科会

発表テーマ
コロナ禍での活動 ～健康づくり委員会でのウォーキング企画などの取り組み～

内容（発言要旨）

2020年度から新型コロナウイルスが流行しはじめ、緊急事態宣言や蔓延防止対策などで、自粛など制限が強いられました。そういう中、健康づくり委員会（ふくおか健康友の会）では、認知症とフレイルを防ぐ為、対策を講じました。また、コロナ禍での孤独感や不安感を解消しひとりぼっちをつくらない、認知症予防の為にも、仲間づくりをひろげる行動を重視しました。感染が蔓延した当初（2020年度）は「コロナウイルスに負けるな」ヘルスチャレンジを積極的に取り組みました。2021年度「これだけでもやりましょう体操」は在宅でも簡単にできる、ながら体操を取り入れました。新型コロナ感染がこんなにも長引くとは思わず、活動が自粛のまま、2022年度は東京都健康長寿医療センター青柳先生による「健康長寿の黄金律」単独ウォーキングを中心に取り組みました。そして、2020年度から同時に取り組んだ仮想的なウォーキング企画を立案し「福岡～鹿児島ウォーキングラリー」、2021年「鹿児島～島巡り～沖縄ウォーキングラリー」、2022年度「津軽海峡・北海道ウォーキングラリー」、23年度は「日韓友好ウォーキングラリー」にチャレンジしました。そうすることによって、会員さんの認知症予防や身体変容に繋がりました。その様子をふくおか健康友の会14支部の中で、活発的に活動している、東・東支部を例にあげ、報告します。

所属している組織の概要	
活動地域は、福岡県福岡市。その中でも、一番大きな支部が、千鳥橋病院（博多区）がある、博多支部で3300世帯を超える会員数になっています。また、東区には3つの支部があります。現在、福岡市内に8支部、となりの糟屋郡に3支部、筑豊地域に3支部、あわせて14の支部が活動を行っています。その内2つの支部が事業所（診療所）のない支部となっています。所属する共同組織の人数は約26700世帯・人。班数：205班	
TEL 092-651-1522	メール hr-murase@fid.jp

演題番号 5-2-11

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
北海道	オホーツク勤医協 友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
アサノメ ユカ 浅野目 有香	総務課 北見友の会連絡会 事務局長	第5分科会

発表テーマ
コロナ禍でも続けた「友の会ゆっくりウォーク」をさらに発展させ、地域との繋がりを大切に

内容（発言要旨）

オホーツク勤医協北見友の会ではコロナ禍で活動が制限され、地域での交流の場も少なくなっていました。

「ゆっくりウォーク」は2013年にスタートし、11年になる取り組みです。屋外で行うので感染リスクが少なくコロナ禍でもできる唯一の取り組みとして事務局では2021年度から「ゆっくりウォーク」を見直しました。

ただ歩くだけではなく、目でも楽しめて、誰もが参加したくなるコース作りを意識し、アウトドアに詳しい役員がガイドをしたり企画を練りました。

地元の見どころを盛り込み観光要素も組み入れたコースも用意し、初参加の方や親子連れでも参加しやすくしました。

これまで10名弱だった参加者は、2024年度は4月36名、5月35名の参加が続き初参加の方も増え、地域に根付いた行事となっています。

この中で、友の会会員を増やす方や地域友の会の世話人やニュース配達員があらわれるなど、友の会活動への協力も広がりました。

今後も「友の会ゆっくりウォーク」を工夫して継続し、地域の繋がりづくりに役立てて行きたいと思っています。

所属している組織の概要	
活動地域は、北海道オホーツク管内。活動地域の人口は約27万人。所属する共同組織の会員数は13154人。【2024年4月末時点】	
TEL 0157-26-1300	メール lovelove_tossy@yahoo.co.jp

演題番号 5-2-12

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	医療福祉生協おおさか 加納地区	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
カツタ ヒサコ 勝田 久子	理事	第5分科会

発表テーマ
地域住民とグランドゴルフを楽しむ取り組み

内容（発言要旨）

約8年前、生協加納診療所健康づくり委員会でグランドゴルフを開催したいとの意見があり、場所・道具がない為、自治会にお願いしたところ、公園と子ども会の道具を無償提供して頂いた。自治会の好意で老人会所有の道具を変更して頂き、当初は組合員のみ参加だったが、現在は春と冬年2回開催し、組合員だけでなく、自治会の方々も参加して頂き、文字通り「地域住民とグランドゴルフを楽しむ」が根付いている。

所属している組織の概要	
定款地域は東大阪市、八尾市、柏原市、大東市、四條畷市並びに大阪府下全域。組合員数は180,686人 出資金は4,095,307,000円（2024年3月31日時点）	
TEL 090-5648-5884	メール m-ushiro@coop-osaka.or.jp 後統括課長

**第5分科会 第3会場**  
**「地域まるごと健康づくりの  
とりくみ」**

**岡山国際交流センター 7F 多目的ホール**

演題番号 5-3-1

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
東京	中野・杉並健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
イシダ チェコ 石田 千恵子	中野・杉並健康友の会 役員	第5分科会

発表テーマ
病院・診療所のない地域で実行委員会を組織し、健康チェックに取り組む

内容（発言要旨）

◇中野・杉並健康友の会では、コロナ禍の間に、運動不足や散歩やウォーキングなどの戸外での活動がほとんどできなかったことから、会員の中に体力の衰えやフレイルの状態になる傾向が顕著であることがわかりました。そこで、コロナが5類に移行する前後から、まず会員に自分の健康状態を知ってもらおうと、半数くらいの友の会が健康チェックに取り組みました。

◇地域にチラシをまき参加を呼びかけると、毎回20人前後の人が応募し、血圧・握力・骨密度・血管年齢など毎回4項目くらいのチェックを行いました。チェックの前には看護師から、「健康チェックでわかること」と題して短いガイダンスを行い、終了後は看護師、ケアマネージャーによる健康相談も実施。参加者のようすから自分の体の状況が分かったと好評でした。

◇中野区内の鷺宮・上鷺宮地域には民医連の病院も診療所もなく、こうした機会に恵まれない地域であることから、友の会の健康づくりのとりくみを体験してもらおうと、チラシを配布して健康チェックをおこなった取り組みについて報告します。

所属している組織の概要	
中野区と杉並区にまたがる共立病院と共立診療所など計9カ所の診療所、訪問看護ステーション、薬局。中野・杉並健康友の会と9カ所の診療所ごとに9つの友の会がある。会員数は、合計6千世帯。	
TEL 090-4701-8186	メール jyarichie2004@yahoo.co.jp

演題番号 5-3-2

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
長野	東信医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
サイトウ シゲヒロ 斉藤 茂彦	組合員活動部 部長	第5分科会

発表テーマ
東御市支部における、スーパーマーケットでのまちかど健康チェックについて

内容（発言要旨）

東御市支部では、市内のスーパーマーケットにはたらきかけ、2月に初めて店内でのまちかど健康チェックを実施しました。コロナ禍以前はスーパーマーケットでのまちかど健康チェックを実施していたことはありましたが、再開してからは初のとりくみとなりました。

このスーパーマーケットには、昨年11月に地元の東御市支部から担当理事と支部長、本部より組合員活動部長が参加し、営業本部長にまちかど健康チェックについての申し入れを行いました。早速12月の実施を申し入れましたが、年末年始や連休などは携帯電話会社などが店内のブースを予約しているが、平日であれば店内での健康チェック実施は可能とのこと。以前実施していた際は店舗入口の外でのチェックでしたが、今回新たに実施したスーパーマーケットでは、店内で健康チェックを実施することを許可されました。食品を扱うので、体組成チェックのように素足になる検査はできないが、血圧測定や握力測定は問題ないとのことでした。机と椅子もお借りできることとなり、のぼり旗も立てて来店されたお客さんを対象に、店内でまちかど健康チェックを実施することができました。当該支部は、市内の日帰り温泉施設で入浴者や休憩中の職員の健康チェック、寒風吹きすさぶ道の駅で駅長から饅頭の差し入れをいただきながら旅行者の健康チェックを行ってまいりましたが、商業施設での実施は初めてとなりました。参加する組合員も楽しみながら行動しており、次の人の溜まり場はどこか研究に余念が無いところです。

所属している組織の概要	
長野県東御市の人口は、約29,000人。市内の共同組織構成員は532人。共同組織の総構成員数は約15,600人。	
TEL 0268-23-8001	メール kumikatsu-b@toshin-iryuu.com

演題番号 5-3-3

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	岡山医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
オカ トモコ 岡 朋子	理事	第5分科会

発表テーマ
地域での健康チェックの取り組み

内容（発言要旨）

地域での健康チェックの取り組みについて発表します。

岡山医療生協では地域の健康増進に向けてあらゆる取り組みを展開することを掲げています。

2023年度の活動では、地域住民からの要望を受けての青空健康チェックや、スーパーや薬局の店舗の一部を借りて来店されたお客様の血圧測定などの青空健康チェックを実施しました。

また、健康チェックの取り組みは、広報誌や支部ニュース、法人のSNSを通じて、組合員だけでなく、地域住民にまで広くPRしています。

昨今では、一般企業や団体も健康チェックに取り組んでおり、地域での健康チェックは支部が主催するだけでなく、様々な団体と共同で行う健康チェックも広がっています。

2023年度は12月末時点で約50回 1000人の健康チェックを実施しました。

2024年度は、健康づくり委員会方針【健康チェック元年】という目標を掲げ、前年数より多い健康チェック数を目標に取り組んでいきます。

所属している組織の概要	
活動地域は、岡山県岡山市。活動地域の人口は約70万人。岡山医療生協の組合員数約6万人。	
TEL 086-271-7880	メール soshiki@okayama-health.coop

演題番号 5-3-4

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
埼玉	医療生協さいたま	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
アダチ ユウジ 足立 有司	利根南地区 理事	第5分科会

発表テーマ
地域にひろげる健康チェックの取り組み（利根南地区鷲宮支部の取り組み）

内容（発言要旨）

埼玉県には多くの「〇〇団地」と呼ばれる集合住宅が存在する。医療生協さいたま利根南地区の鷲宮支部にはUR賃貸住宅（公団）の「わし宮団地」がある。

支部の活動としては、しばらく実施できていなかった健康チェックを団地内の集会所ともう一か所で計画し、実施してきた。本報告では実施に向けた取り組みを紹介し、団地内や地域の健康づくりにどう医療生協がかかわっていったのかをまとめた。

鷲宮支部では定例の「うたごえ」の取り組みが中心となっていた。しかし、コロナ禍により、人が集まり歌で声を出すことが厳しくなり、実際には活動できなくなっていった。毎月の健康ひろばは定期的に実施できていた。そこで4年ぶりとなる健康チェックを実施しようと計画し、団地内の集会所での実施を準備した。多くの方に知らせ・ひろげるために、実施のチラシを全戸配布すること、団地の敷地にある掲示板への掲示などができないかと検討した。そこでUR本部へ「健康チェック」実施と掲示の申し入れを行ったところ、許可をもらうことができ、団地各戸へのチラシ配布と掲示板への掲示が実現できた。各団地の階段下にある掲示板へ貼り出すこともできた。

第1回は2023年5月20日（土）に開催し、58の方が参加した。骨密度測定、握力、血圧測定、健康相談も同時に実施した。団地での実施を受けて、他の地域でも実施してみようということになり、JR鷲宮駅に近い、多くのマンションや戸建て住宅がある地域のコミュニティーセンターを会場にして計画した。周辺地域に約2000枚のチラシを配布し、2024年1月26日（金）に実施できた。74人の参加があり、うち43人が健康相談を希望した。参加した方の感想や運営を行った委員の声をまとめながら、地域のニーズをつかんで今後の活動に活かしていきたい。

所属している組織の概要	
活動地域は埼玉県久喜市（久喜市、鷲宮町、栗橋町、菖蒲町の合併により誕生）。合併後も久喜支部、鷲宮支部、栗橋支部として活動。久喜市の人口は約148700人。鷲宮支部（旧鷲宮町地区）の人口は約43900人、組合員約338人。	
TEL 090-3436-1267	メール yuyuji3hal2001@gmail.com

演題番号 5-3-5

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
京都	伏見健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ヒサモリ カズトシ 久守 一敏	友の会幹事	第5分科会

発表テーマ
健康相談会で、住相談も行います

内容（発言要旨）

伏見健康友の会では、2019年までは伏見区内にあるスーパーなどに出かけて行って、血圧測定・骨密度測定や看護師による健康相談「まちかど健康チェック」を行って来ました。2020年のコロナウイルス感染拡大をきっかけに出かけることが難しくなり、一時はとりやめていましたが、2021年度に診療所内で再開するところから始めました。これまでの健康チェックに加えて、なんでも相談会（住宅相談・生活相談・国保や商売の相談）を行いました。その後も「まちかど健康チェック」で京都建築労働組合のNPO 法人の方に協力いただき、住居の耐震診断や、住宅改修の相談も行っています。地震が来るたびに築年数が経っている家が揺れて怖いと思っていたり、大きな地震をきっかけに自分の家の耐震は大丈夫か？など、不安に思う友の会会員さんが、安心して相談できる窓口を友の会で作り、利用してほしいと思っています。

所属している組織の概要	
京都市伏見区は人口約277,000人。京都市の中で一番多く、伏見健康友の会は伏見区唯一の民医連診療所である京都市城南診療所に事務所を置き、活動しています。会員数は1258人。	
TEL 075-623-1134	メール soumu@jounanshin.or.jp

演題番号 5-3-6

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	倉敷医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
カキウチ ハルナ 垣内 春菜		第5分科会

発表テーマ
地域組合員を対象にしたスポット尿による塩分チェックチャレンジの報告

内容（発言要旨）

倉敷医療生協では、食生活を見直すきっかけづくりとして「まずは自分の食塩摂取量を知ることからはじめよう」と、塩分チェックチャレンジと題して随時尿による尿中食塩排泄量測定を行った。2023年6月、7月、9月、12月に支部運営委員と理事を対象に推定尿中食塩排泄量測定、食生活アンケート、『あなたの塩分チェックシート』チェックを行った。参加者には結果返しとして、コメント付きの食塩摂取量結果用紙、『あなたの塩分チェックシート』、減塩レシピをお渡しした。

組合員100人の参加があった。初回測定時の平均推定食塩摂取量は男性 9.91g、女性 9.19gでどちらも目標量を上回っている。6～12月の半年間では男女ともに食塩摂取量に大きな変化はなかった。アンケート結果より、食塩摂取について日頃気をつけていることがあるという人は全体の70～80%であった。自分では減塩している（減塩できている）と思っている人が多いが実際の食塩摂取量とは差があること、食塩摂取量を知るだけでは習慣化された食生活を変えることは難しいことが分かった。

所属している組織の概要	
活動地域:岡山県西南部 活動地域(岡山県)人口:1,865,478人 組合員数:63,372人	
TEL 086-448-3369	メール kakiuti_h@kura-hcu.jp

演題番号 5-3-7

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
沖縄	沖縄医療生協 伊良波支部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
オオシロ イクオ 大城 郁男	理事、支部運営委員	第5分科会

発表テーマ
支部での健康まつり

内容（発言要旨）

伊良波支部創立15周年・筋トレサークル結成10周年記念行事として、2023年10月に支部独自で「健康まつり」を開催し地域の組合員85名が参加しました。開催前には宣伝チラシ配布や地域の公民館の広報マイクから案内呼びかけなどの協力もあり、盛況でした。5コーナー（筋トレコーナー、健康チェックコーナー、SDGs リサイクル市コーナー、野菜コーナー、貝がらコーナー）を設けました。筋トレコーナーでは筋トレ班の実演に始まり、全員で筋トレとバランスボール運動で心地よいひと時を過ごしました。健康チェックコーナーでは、骨密度測定・ベジチェック・血圧・血管年齢測定で職員による判定後指導もありました。SDGs リサイクル市では組合員から寄せられた400点の品物に多くの参加者が集まり有料・無料など掘り出し物に歓声を上げながら品定めをして求めています。残った品は3月の「豊見城ブロック新春のつどい」で再度のリサイクル市を開催。売上金は能登半島地震支援募金に送りました。他支部から出店の貝がらコーナーでは、親子連れで作品の仕上げに熱中する光景が見られました。人気の野菜コーナーでは、オープンと同時に組合員が立ち寄り市価より安い野菜を買い求めていました。組合員からゴーヤー、バナナ、パパイアなどの無償提供がありました。また、15周年記念にと地域組合員さんから金一封の寄付もありました。地域とむすびついた健康まつりで医療生協の存在価値を共有する機会になったと思います。

所属している組織の概要	
豊見城市は県都・那覇市に隣接し人口64,000人、農業が盛んな地域で最近では都市化してきている。医療生協豊見城ブロック（6支部）の伊良波支部（組合員1200人）は2008年に結成。運営委員8名、9班、650世帯に毎月医療生協便りを配布。	
TEL 090-2962-6366	メール ikuo-naomi71@nirai.ne.jp

演題番号 5-3-8

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
長崎	長崎県健康友の会連絡会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
モリカワ エミ子 森川 恵美子	させば健康友の会 事務局長	第5分科会

発表テーマ
「いきいき健康フェスタ」に取り組んで

内容（発言要旨）

長崎県健康友の会連絡会は、県下5つ（長崎・香焼・五島・させば・諫早）の健康友の会（2024年度～香焼が長崎へ合流し4つ）で構成し、2023年9月に新たな取り組みとして「いきいき健康フェスタ」（参加者236人以上）に取り組んだ内容について報告する。

【1】7つのステージ企画

健康体操やダンス披露などに加え、2つの活動紹介①諫早健康友の会活動紹介「小船越自治会健康チェック」について、②させば健康友の会活動紹介「友の会って楽しかよォ〜」を行った。

【2】8つの体験コーナーと7つの物品販売、6つの展示と署名の取り組み

長崎の7サークルが体験コーナーを設置し、特に健康チェックは一般参加者がとても多く、要望が大きいことをあらためて感じた。また、発表した内容の展示物掲示や「現行の保険証を残してください」署名にも取り組んだ。

【最後に】

初めての取り組みで準備や人員の不足などがあったが、当日の職員の大きな協力もあり無事成功することができた。また後日も含め合計4世帯の友の会入会を迎えた。長崎県健康友の会連絡会の日常活動を各健康友の会で持ち寄り体験することができ、県全体の交流にも繋がった。また市民へ「健康友の会」活動の宣伝が出来たことは大きい。今後に繋げていきたい。

所属している組織の概要	
長崎県健康友の会連絡会は県内4つの友の会（長崎・五島・させば・諫早）で構成し、月間中3回会議（職員も合同での共同組織委員会を開催）を含み年間6回会議を開催。全体の機関紙「すこやか長崎」を年6回作成し、会員数10961世帯へ配布。2023年度から2年に1回の企画、「いきいき健康フェスタ」を開催。その他各健康友の会で健康チェックや楽しいサークル活動、班活動を行っている。	
TEL 080-3221-9189	メール kinaga@kenyukai.or.jp

演題番号 5-3-9

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	このはな健康友の会(淀協此花)	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
オオニシ 大西 ヨシヒロ 義広	西島支部運営委員(このはな健康友の会前会長)	第5分科会

発表テーマ
このはな健康まつりの取り組み

内容(発言要旨)

このはな健康まつりは、大阪市此花区で毎年開催されている地域の健康イベントです。新型コロナウイルスの蔓延で約4年中断していました。今年で第32回を迎え、地域住民の健康づくりと交流を目的としております。従来は、模擬店なども出店していましたが、今回から「地域の健康づくり」に特化した健康まつりとなりました。

此花区民ホールで開催。主な内容は、血圧・血管年齢・足趾力などの健康測定。野菜の摂取量を確認するコーナー。レクリエーション、健康友の会のサークル活動の紹介。健康に関する講演やワークショップ。地域の団体によるブース出展などでした。

健康まつりは、地域住民の健康意識を高め、健康的な生活を促す重要な機会となります。参加者は、健康測定やワークショップを通して自身の健康状態を確認し、改善に向けた知識を得ることができます。また、地域の団体との交流を通じて、健康づくりに関する情報や活動の紹介を受けることもできます。

所属している組織の概要	
このはな健康友の会の活動地域は、大阪市此花区。活動地域の人口は約75000人。所属する共同組織の人数は約6200人。	
TEL 06-6136-3520	メール konohanakenkou tomonokai@gmail.com

演題番号 5-3-10

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	淀川クリニック	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
イケダ 池田 ヨシフミ 義文	組合員活動部	第5分科会

発表テーマ
健康まつり「プチ縁日」

内容(発言要旨)

昨年11月に都島・淀川地区で健康まつり「プチ縁日」を開催しました。健康まつりの開催はコロナの影響もあり6年ぶりの開催となりました。前回開催から年数が経ちまつり開催の経験者も減っている中で、果たして開催ができるのかと議論になりましたが、職員・組合員ともに、数年ぶりの開催となる健康まつり成功に向け準備を進めました。

今回の健康まつりは「若い世代に医療生協を知ってもらいたい」という思いがあり、健康まつりの名称や内容を一新し、子どもコーナーに力を入れて取り組みました。周辺地域のビラまきはもちろんですが、若い子育て世代に参加してもらうため、区内の保育園・こども園・幼稚園数十か所にビラをもって案内を行いました。

当日は「100人位来てもらえれば大成功だろう」と不安と期待でいっぱいでしたが、予想を遥かに上回る約300人が来場される健康まつりとなりました。想定外の参加でトラブルなどもあり大変でしたが、来場された方全員に生協パンフなどの「都島・淀川地区セット」をお渡しすることができ、医療生協に興味関心を持っていただく機会になったのではと思います。

所属している組織の概要	
活動地域は、大阪府大阪市。活動地域の人口は約11万人。所属する共同組織の人数は約1万人。	
TEL 06-6927-1135	メール yo-ikeda@coop- osaka.or.jp

演題番号 5-3-11

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
奈良	厚生会友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ハヤシ ケンタ 林 健太	友の会事務局長	第5分科会

発表テーマ
4年振りに再開した健康まつりの取り組み

内容（発言要旨）

本年の5/19に4年振りに再開した健康まつりの取り組み。

これまでも1000人以上の来場が有、地域の中でも大きな規模のまつりとなっていた。

今回、コロナ禍から明けてまずは再開出来た取り組み報告と今後に向けての検討課題などを明らかにしていきたい。

また、果たして来た役割の中で今後のあり方の検討を法人も巻き込んで取り組んでいきたい。

所属している組織の概要	
活動地域は奈良県中南和地域。活動地域の人口は約4万人。所属する共同組織の人数は約9000世帯。	
TEL 0745-22-2989	メール k-hayashi@kenseikai-nara.jp

演題番号 5-3-12

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	岡山医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ヤスノブ キョウコ 安延 京子	理事	第5分科会

発表テーマ
岡山医療生協と地域が繋がる場所作り～健康づくりセンター大野辻の取り組み～

内容（発言要旨）

岡山医療生協には岡山市北区にコープ大野辻クリニックと、ケアプラン北長瀬の2事業所があった。しかし2022年冬にコープ大野辻クリニックは閉院となり、岡山市北区の組合員からは落胆と不安の声が寄せられた。コロナ禍もあいまって、組合員活動が思うように出来ず、地域全体の元気がなくなっていった。そこで、岡山医療生協の新規事業として“人が集えて、健康づくりが出来る場”となる、「健康づくりセンター大野辻」を開業する運びとなった。開業に伴い、岡山医療生協職員、組合員理事、組合員でプロジェクトチーム（以下PJチーム）を発足した。まずは地域のニーズや組合員のニーズを調査していき、健康づくりセンター大野辻では多世代が集いそれぞれの年代にあった健康づくりが出来る企画を行っていくこととした。リハビリテーション部の職員による「美姿勢」「尿もれケア」などをテーマとしたグループレッスンや、「歌やハーモニカ教室」「健康マーじゃん」といった文化企画、「産後ママのからだケア」や「こどものねんね相談会」などの子育て応援企画など、職員や組合員講師、外部講師などがそれぞれの得意を活かした企画を実施していった。ポスティングなどの効果もあり、地域住民の参加も伸びつつある一方で、PJチームメンバーや北区エリアの組合員の参加は伸び悩んでいる。その1番の理由は「遠くて行けない」ことである。岡山医療生協の組合員も高齢化が進んでおり、今住んでいる地域でどう健康づくりを行うかが、課題としてあがった。そこで健康づくりセンター大野辻で行っている企画を、地域のサロンやたまりばなどで開催出来るよう提案した。「大野辻」ではなく「自分の地域」となると、組合員も受け入れやすく、また岡山医療生協をより身近に感じてもらえるきっかけとなることを期待している。健康づくりセンター大野辻は、様々な企画の運営・実施と同時に、地域の健康づくりを担うコーディネーターとして、今後も地域の声を聞きながら活動を広げていきたい。

所属している組織の概要	
活動地域は、岡山県岡山市北区。活動地域の人口は294,533人。所属する共同組織の人数は8,388人。組織率2.84%	
TEL 086-271-7880	メール soshiki@okayama-health.coop

**第5分科会 第4会場**  
**「地域まるごと健康づくりの  
とりくみ」**

**岡山国際交流センター 8F イベントホール**

演題番号 5-4-1

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	医療福祉生協おおさか 蒲生厚生診療所	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ヒグチ ヨシハル 樋口 義治	理事(メールアドレスは 組活担当：白井の業務用 アドレス)	第5分科会

発表テーマ
8020運動・子どもと高齢者のお口の健康

内容（発言要旨）

蒲生厚生診療所のある建屋には、法人内にある5つの歯科の1つである「せいきょう3丁目歯科」があります。この有利な条件を広く生協組合員さんに知ってもらい、「健康づくりに役立ててほしい」という思いから運動を始めました。

大阪市も8020運動の達成者に対し表彰を実施していますが、ほんの一部となっています。そのなかで、三丁目歯科の患者さんにはもれなく表彰し、さらに意識を高めてもらいたいと考えています。

また、75才以上の後期高齢者を対象にした無料歯科健診をもっと知らせ、歯科受診の機会を増やすことを通じて、歯科の経営にもプラスになればと思います。

子どもの歯の状況も深刻です。小学校の歯科健診で虫歯が見つかって、歯科受診率が低く、放置されている例が多く見受けられます。この状況を改善するため、無料低額診療が少しでも力になればと、取り組みを始めて行きたいと考えています。

所属している組織の概要	
活動地域は、大阪府大阪市城東区の一部。活動地域の人口は約47000人。所属する共同組織の人数は約3600人。	
TEL 090-3490-3583	メール t-shirai@health-coop.jp

演題番号 5-4-2

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	倉敷医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
コンドウ ケイコ 近藤 恵子	理事	第5分科会

発表テーマ
地域に広がるオーラルフレイル予防の取り組み

内容（発言要旨）

2019年度よりオーラルフレイル予防の取り組みを進めるため、健康事業部に歯科衛生士を配置しています。初年度は「おくちの衰えを見逃さず健康寿命を伸ばそう」をテーマに多くの組合員に広げることを目標に取り組みました。学習会は53会場、参加者1303人となり、お口のゲームや歌など取り入れ、楽しみながらお口の働きを見直すことができました。その後コロナ感染拡大で思うように取り組めない期間もありましたが、医療生協班会だけでなく、地域の通いの場であるサロンや高齢者支援センターや子育てサロンからの要請を受け、オーラルフレイル予防は様々な層に広がってきています。飲み込みづらさを感じていたが、歳だから仕方がないのかなと思っていた。口の衰えを放っておくと身体全体にも色々な影響が出ることが理解できた。など感想が寄せられています。2022年度より健康づくりの担い手育成を目的に実践できることを目指した「げんき応援隊養成講座」を開講しています。講座修了者はげんきレンジャーになって、身近なところから健康づくりの取り組みの推進役となっています。これからもおいしく長生のまちづくりをすすめていくため楽しく役立つ情報を発信していきたいと思っています。

所属している組織の概要	
岡山県、西部高梁川流域。7市3町。所属する共同組織の人数は約63,000人。	
TEL 086-448-3369	メール oobayasi_ms@kura-hcu.jp

演題番号 5-4-3

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
鹿児島	鹿児島医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
カミノ レイコ 神野 玲子	南さつま支部運営委員	第5分科会

発表テーマ
『はみがきサポーター養成講座』健康な身体は歯から！

内容（発言要旨）

「健康づくりサポーター養成講座」は、新たな「健康づくりの担い手」を養成し「組合員が主役」の健康づくりを更に前進させること、また保健委員のステップアップを図ることを目的に、2005年秋から開講しました。対象者は保健委員（保健学校の卒業生）とし、4つのテーマで開講しています。南薩ブロック健康づくり委員会では、今回最も興味があった『はみがきサポーター養成講座』を開校しました。講座の目的は歯科の関連疾患について学習し、セルフケアの必要性を知ること、口の健康についての大切さを地域に広げていくことです。今回の参加者は11名、うち9名の修了(新規9名)でした。

歯周病チェックや位相差顕微鏡を使った口腔菌チェック、1本1本意識して、丁寧にみがく歯磨きなど盛り沢山の内容に、「楽しく学べて超お得な講座だった」と皆大満足でした。自分の歯みがきはもちろんのこと、地域でも歯みがきサポーターとして今回の講座で学んだ事を役立てたいと考えます。

所属している組織の概要	
鹿児島県南部地域で構成する南薩ブロック(川辺北、川辺南、南さつま、枕崎、枕崎西、知覧の6支部)組合員数15,633名	
TEL 099-260-3532	メール sosiki@kiseikyo.or.jp

演題番号 5-4-4

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	岡山医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
サトウ タカコ 佐藤 貴子	理事	第5分科会

発表テーマ
地域で気軽に参加出来る運動施設（フィットネスジム、コムコム）の紹介

内容（発言要旨）

2022年7月に総合病院岡山協立病院に隣接する本部コムコム会館の2階のトレーニング室で始めました。トレーニング室は、職員用の福利厚生施設として準備されていましたが、一部の職員しか活用されていないので地域に開放していただくよう要望しました。私たちの支部の担当職員が、リハビリ専門職であったため、そのスペースの活用にも何の抵抗もなく始めることが出来ました。とにかく楽しいです。むしろ、運動は二の次となり、フィットネスでの仲間とおしゃべりしながら足を動かしています。2023年度は、他の事業所の空きスペースを活用してフィットネスが4ヶ所で開始され、1000人を超える参加につながっています。これからも、新しい仲間を誘って、楽しく健康増進をすすめます。

所属している組織の概要	
活動地域は、岡山市中区の総合病院岡山協立病院の周辺のエリアです。中区中央エリアの取り組みとして開始し、現在はその中の1支部が運営しています。	
TEL 086-271-7880	メール soshiki@okayama-health.coop

演題番号 5-4-5

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	一般社団法人大阪ファルマプラン	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
サイトウ 齋藤 ミキ 実希	あおぞら薬局	第5分科会

発表テーマ
あおぞら薬局の健康増進サポート活動！

内容（発言要旨）

あおぞら薬局は大阪府下で第1号の「健康サポート薬局」を取得した。薬に関する相談はもちろん、健康や介護用品などに関する相談にも応じ、患者さんや地域の皆さんの健康維持・増進をサポートしている。他にも AGEs 測定・HbA1cの測定や週2回管理栄養士の栄養相談などを行っている。そんな健康サポート薬局の強みを活かして、会員さんと一緒に取り組んだ健康増進サポート活動を報告する。あおぞら薬局は西淀川・淀川健康友の会塚本支部の会員を対象に世話人さんが中心となって月2回塚本地域と田川地域で班会を行っている。班会では、AGEs 測定・血圧測定・体組成計を使って健康チェックをし、毎回テーマを決めて薬剤師・管理栄養士による学習会を開催している。他にも仲間増やし強化月間の取り組みでは、薬局の待ち合いで健康測定会を年2回開催している。このような活動をきっかけに今後も地域の皆さんと共に健康づくりの取り組みを強めていきたいと考えている。

所属している組織の概要	
活動地域は、大阪府大阪市西淀川区（塚本・田川） 活動地域の会員世帯は1123世帯（令和6年5月時点）	
TEL 06-6477-8080	メール aozora-faruma@nifty.com

演題番号 5-4-6

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	岡山医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
オカベ ケイスケ 岡部 圭佑	コープデイサービス福浜	第5分科会

発表テーマ
健康づくり活動を通して生まれた組合員さんとの絆

内容（発言要旨）

岡山市は全国の市町村の中でも高齢者人口に対して通所介護事業所の数が多い。当該事業所が運営している岡山市南区は、特に事業所が密集しており、競合率が高い状況にある。事業所は約20年近く営業している老舗となりつつあるが、利用者確保には苦慮している。また、コロナの影響と地域組合員の高齢化に伴い、組合員ボランティアの協力が減退する傾向にあった。

今回、法人本部より健康まちづくり企画（フィットネス）の実施をきっかけに、事業所を地域に開放することで、組合員の参加と協力が増進した。フィットネス事業の参加者は増加傾向にあり、参加者の中には通所介護への利用に繋がった。また、利用者確保以上の成果として、コロナ禍以降交流事態が薄れていた組合員との関係に変化があり、組合員と事業所の距離感が縮まり、ボランティアや協同での活動が拡大している。

地域包括ケアをすすめる上でも、組合員の協同は必須である。岡山医療生協が抱える課題については山積しているが、地域ニーズを把握する上で、事業所運営に組合員が深く、継続的に関わってもらうことの意義を改めて感じた。

所属している組織の概要	
活動地域：岡山市。活動地域人口：約71万人。高齢化率約27%。 事業所規模：定員25名の通常型通所介護	
TEL 086-902-0221	メール fukuhama2@okayama-health.coop

演題番号 5-4-7

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
北海道	民医連道南ブロック友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
カサハラ タケシ 笠原 毅	道南勤協函館稜北病院 事務次長	第5分科会

発表テーマ
民医連道南ブロック友の会活動報告～職員と友の会との協働～

内容（発言要旨）

道南地区ではコロナ禍でこれまで友の会と法人職員で取り組んできた地域での活動が数年の間ほとんど無くなり、この間、入職した職員は新人職員研修で「友の会とは」と学ぶだけ、ベテラン職員も一緒に行動する機会がほとんどなくなっていました。2023年4月から、数年間停止していた職員中心の友の会委員会を再開しました。会員を増やす為には具体的に何が必要かなど作戦を立案すると共に、職員に対し友の会に関する研修をおこない、友の会を拡大する意義・目的などを再確認してきました。また、友の会でも会員の高齢化などで宅配、医療懇談会等の友の会活動が、地域で出来なくなってきました。委員会ではこれらの問題に友の会と職員が相談して「みんなの健康教室」に取り組み多くの地域の方が参加しました。2023年度は「とにかく良いと思ったことはやろう！」を合言葉に様々な活動をおこないました。2024年度はそれを継続させること、より充実させることを目標に友の会と職員が力を合わせていきたいです。

所属している組織の概要	
活動地域は北海道の道南圏です。対象の地域の人口は約40万人で友の会は約3万名です。高齢化と人口減少の影響で、友の会会員も高齢化が問題になってきています。	
TEL 0138-54-3113	メール t-kasahara@donank.jp

演題番号 5-4-8

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
東京	江東健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
オグリ タミコ 小栗 多美子	事務局長	第5分科会

発表テーマ
血管年齢測定や自治体健診受診の勧め、介護予防のとりくみ

内容（発言要旨）

2017年6月から江東区の総合事業B「ご近所ミニデイ」にとりくみ、まる7年。週1回3時間（昼食時間含む）をスタッフ3人で運営。「嚥下予防のピロピロ笛・脳トレ・歌に合わせたレクリエーション体操・輪投げ・音読・カレンダー塗り絵・ゲーム・みんなで歌う・区内資料館等へのお出かけ・スマホ利用やゲスト指導でみんなで歌う・区の体力測定利用などを行い、地域包括支援センター依頼の看護学生の実習受け入れもしています。毎回、10人前後（コロナ前は18人前後）の参加で介護・フレイル予防にとりくんでいて、「一人なのでみんなと会って一緒に運動できて、ご飯を食べたりおしゃべりができてうれしい」「ここに来るのが楽しみ」と喜ばれています。地域班会では40人弱、なんでも相談会での血管年齢測定に70人以上の方が見え、関心の高さがわかりました。今後、年1回測定を継続していきます。扇橋診療所からの依頼で、40歳以上の友の会会員さんへの自治体健診受診の勧め（電話かけ）を数回行い、会話から会員さんとのつながりも深まることを実感、今年も取り組みます。認知症サポーター養成講座を開催して、区の「チーム・オレンジ」事業につながるよう計画していきます。コロナ禍でやむを得ず休んだ「けんこうまつり」の再開をめざし、医療・福祉・友の会などの学習会、落語を楽しむ会、ぶらり散歩、東京大空襲・戦災資料センター見学会、七福神めぐり、DVDを観る会、折り紙サークル、折り鶴班会（広島・長崎・水俣病資料館へ贈呈）、地域班会、日帰り旅行を継続します。スマホ教室、うたごえなどの新たな活動や地域団体と共同での「みんなのカレー屋さん」、地域マルシェ内「ユニバーサルカレー（毎月）も継続し、新たな会員さん拡大をめざします。

所属している組織の概要	
活動地域は、東京都江東区、人口は約54万人。友の会会員は約1000人。	
TEL 080-1089-7222	メール tamiko-oguri@totokyogikai.jp

演題番号 5-4-9

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
神奈川	神奈川みなみ医療生協本部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ハスミ マサノリ 荷見 正則	組織部長	第5分科会

発表テーマ		
理事と協同で健康診断のお誘い電話かけ		

内容（発言要旨）

神奈川みなみ医療生協では2023年度、衣笠診療所と三浦診療所で、理事と協力して健康診断の受診をお誘いする電話かけを実施しました。年度末が近づく12月から1月に、今年度まだ健康診断を受けていない方に理事が電話かけを診療所で実施。健康診断の予約・受診に結び付いたので報告します。

演題番号 5-4-10

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	倉敷医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
カタヤマ アキコ 片山 章子		第5分科会

発表テーマ		
げんき応援隊養成講座の取り組み		

内容（発言要旨）

当組合で2022年度より開催している『げんき応援隊養成講座』を報告する。この講座は、健康づくり活動を実践できることを目標として、管理栄養士・歯科衛生士・理学療法士の専門職が講師を務めている。基礎講座（1回/月計3か月）、5か月間の実践、実践後のフォローアップ講座（1回/月計2か月）の三段階構成としている。内容は講義・実技、実践報告、グループワークであり、実践に活用できるさまざまなグッズの配布も行っている。現在までに、基礎講座4回、フォローアップ講座3回の開催を終え、基礎講座修了者は60名、フォローアップ講座受講者は延べ70名、実践報告数は40件となっている。実践は、運営委員会、支部イベント、班、サロンなどで行われ、定期的な活動メニューに定着したり、支部や班を超えた活動の広がりもあった。参加者同士の情報交換や支部や班を超えた交流なども好評で、参加者同士のつながりを強化・サポートしていく必要性も感じている。今後もこの取り組みを継続し、地域を支えていける活動に展開していきたい。

所属している組織の概要	
神奈川県東部三浦半島（横須賀市・三浦市・逗子市・葉山町）組合員数13,328 出資金額375,708,500円	
TEL 046-853-8105	メール h-sosiki@k-minami.or.jp

所属している組織の概要	
活動地域:岡山県西南部 活動地域(岡山県)人口:1,865,478人 組合員数:63,372人	
TEL 086-448-3369	メール

演題番号 5-4-11

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
福岡	社会医療法人 親仁会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ミヤケ キョウジ 三宅 浄継	まちづくり推進部 部長	第5分科会

発表テーマ
行政と連携した友の会班会での『もの忘れ予防・相談検診』の取り組み

内容（発言要旨）

大牟田市では、市独自の認知症ケア専門カリキュラム「認知症コーディネーター養成研修」があり、当法人も計画的に職員に受講してもらっている。市は、地域住民向け『もの忘れ予防・相談検診』（以下、検診と略）を実施しており、認知症コーディネーター養成研修修了生が検診を担っている。そのため、当法人の養成研修修了生が、友の会員向けの検診に取り組む活動を開始するべく、市担当課に相談し、市主催の検診と同等の取り扱いとしてもらうことに了承を得た。

現在、検診ツールを市より借り、検診後に市へ結果報告。検診時に、会員に検診結果の個人情報を市と共有することに同意を得るようしており、同意された方で認知症が疑われる方については、市担当保健師より、市が主催する2次検診案内の連絡を入れてもらう。また、気になる会員は、まちづくり推進部が包括支援センター等関係機関へ繋いでいく取り組みを報告する。

所属している組織の概要	
活動地域は、福岡県大牟田市。活動地域の世帯数は55,284世帯。所属する共同組織の世帯は7,615世帯（13.8%）。*2024年3月31日現在	
TEL 0944-53-5801	メール k-miyake@kome-net.or.jp

演題番号 5-4-12

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
愛媛	愛媛医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ササキ 佐々木あゆみ	愛媛医療生活協同組合 川内支部 支部長	第5分科会

発表テーマ
やりたいことをみんなで楽しくやってみようー行く場があり出掛かける予定があるのが嬉しいんよー

内容（発言要旨）

2020年東温支部より分割して川内支部は誕生しました。現在5年目に入ったところです。

まずは、川内支部の概要と、支部の15の場の紹介（班6つ集い9つ）

その中から場のひとつで2022年12月に誕生した“どんぐり”の活動について紹介します。どんぐりは旬の物（野菜・山菜など）を使って昔から地域に伝わっている加工品を使ったり「こんな食べ方もありますよ」と新しい料理を作ってみたりお互いに教えたり教えてもらったりして日々の食事に役立つ情報を得られる場となっています。みんなで作った野菜いっぱいのランチも大好評です。毎回参加者が15～20名。参加者は「おいしいものが食べられ、しかもとても楽しいから行くんよ」とこぞって話してくれます。地域における「健康づくり」「仲間づくり」の場となっているなど思っています。

所属している組織の概要	
生協ブロック、川内支部	
TEL 090-7146-2654	メール ayu.sanomaki@gmail.com

## 第6分科会 第1会場

「共同組織の“わ”を強め、  
あらたな担い手を広げるとりくみ」

第一セントラルビル1号館 9F 大ホール

演題番号 6-1-1

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
愛知	尾張健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
イケヤマ ミツオ 池山 三男	丹陽支部 支部長	第6分科会

発表テーマ
楽しく健康づくりをするために支部をつくりました！

内容（発言要旨）

尾張健康友の会に新しい支部ができました。  
 地域サロンのような交流の場を作りたいと班活動を再開させたことが契機となり、2つだった班の数も6つに増やすことができました。近くで活動する班との共同や、老人会との共催を模索する中で「支部を作って実現してはどうか？」との話になり、2018年から役員候補者に声をかけて「支部化への話し合い」を毎月のように開催。話し合いの中で、支部を作るにも会員の顔が見えていないとの意見がだされ、公開講座や2回の配達協力者交流会を開催し交流を深めました。2023年10月の家族健康まつりでは、丹陽地域に住む大工の会員を中心に「木材切り体験コーナー」を出店し、60名の親子に体験してもらいました。話し合いの回数を重ねる毎に役員候補者が増え、交流会や出店企画で率直な意見を交流したことで、少しずつ支部としてのイメージが出来上がり、2024年3月に支部結成総会を開催することができました。  
 結成総会では、自分たちが楽しいと思う活動をするので、健康づくりと仲間増やしにつなげようと「みんなで楽しい支部にしよう」との合言葉を決めました。

所属している組織の概要	
愛知県一宮市千秋町にある医療法人尾張健康友会を母体とする尾張健康友の会は、会員数4951名、8支部あります。 丹陽支部は、尾張健康友会の南側に隣接する地域です。会員数は257名で、6つの班が活動しています。	
TEL 0586-76-8312	メール tomonokai@chiaki.com

演題番号 6-1-2

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
山口	医療生活協同組合 健文会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ヤマサキ イクヨ 山崎 郁代	防府支部	第6分科会

発表テーマ
医療生協 健文会の平和への取り組み

内容（発言要旨）

山口県の防府市に健文会として7年ぶりに新たな支部が結成されました。この防府市には健文会の事業所は無いのですが、組合員は100名ほど登録されていました。防府市在住の新任理事として民医連、医福連の理念に感銘し、「なぜ防府市の組合員が100名もいるのだろうか」と疑問に持ち全組合員訪問を実施することにしました。その中には1970年代に健文会の「小児歯科」が宇部市にあったことから、35キロ離れた防府市からわざわざ受診をしたことで組合員になられた方がいたり、だれもがかかれる医療機関として好感を持たれている方がいることを知りました。事業所の無い地域でも、「理念」に基づいた「まちづくり」がしたいと思い、支部結成の早期実現を目指しました。そこで支部結成に協力してくれる運営委員と一緒に通信教育を受けたり、準備委員会を定例開催することで、運営委員の自覚も生まれ、2022年から2年間の間で100名だった組合員を150名を超える人数にすることができました。そうした中で、2024年3月27日に「防府支部結成総会」を開催し、晴れて医療生協健文会の新支部となることができました。この間の取り組みの中で、事業所の無い地域だからこそ「理念」を大切にし、それを訴えることでなかまが増えていくことに確信が持てました。今後は地域に必要とされる活動を続け、ひとりでも多くの方とつながっていきたいと思います。

所属している組織の概要	
活動拠点は山口県宇部市宇部協立病院。活動地域は宇部市、山陽小野田市、下関市、山口市、美祢市、防府市となり、診療所2か所、歯科診療所3か所、介護事業所、訪問STなど9か所を有している。組合員18,904名 出資金5億8596万円	
TEL 0836-34-2510	メール sosiki_keubun@yahoo.co.jp

演題番号 6-1-3

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	大阪みなみ医療福祉生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
スギハラ 杉原 まつ子		第6分科会

発表テーマ
住んでいる地域に支部を

内容（発言要旨）

地域での訪問などで特に高齢者の方々が足腰が痛い  
 外出もせず家で過ごしている姿をみて何かしよう  
 と  
 まず、フレイル予防の体操から始め支部結成に  
 こぎつけます。

演題番号 6-1-4

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
京都	京都東健康友の会山科ブロック 大宅診療所	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
コウダ ケンタロウ 甲田 賢太郎	事務局	第6分科会

発表テーマ
0から3へ 支部づくりが大躍進!?

内容（発言要旨）

山科健康友の会は2022年10月に最初の支部を立ち上げました。そして、2024年には2つ目、3つ目の支部が生まれようとしています。そこへ至る苦勞と喜びのお話です。  
 山科健康友の会は2017年に支部をつくろうと方針を決定しました。それまで、支部はなく、「会」全体で取り組む、一泊旅行や食事会、サークルなどのほか、700名以上が受診する健診が活動の中心でした。  
 さあ、支部をつくろうと学習会を開いたりしましたが、コロナの影響もあり、取り組みがストップしてしまいました。  
 しかし、顔を合わせておしゃべりしたいという、会員さんの願いを叶えるためには「やっぱり支部だ」と改めて確認し合い、再び具体化に向けて動き出しました。  
 2022年に入り、まずは診療所周辺のある地域で準備会をスタートし、その年の10月に結成総会を開催しました。以降、コロナなども影響を受けることなく、毎月のおつまりを継続しています。  
 さらに2つの地域での支部準備会が立ち上がり、定期的なおつまりを持ちながら、正式な支部結成へ取り組みを続けています。

所属している組織の概要	
活動地域は、大阪府岸和田市。活動地域の人口は約29000人。所属する共同組織の人数は約27900人。	
TEL 090-5137-3251	メール matsuko.sugihara@outlook.jp

所属している組織の概要	
京都市山科区と伏見区の一部。人口は山科区約13万人、伏見区（醍醐地域）約1.5万人。会員数は約1,900名（世帯）。	
TEL 075-581-5207	メール oyake-jim@shinwakai-min.jp

演題番号 6-1-5

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
北海道	道東勤医協友の会連合会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
飯田 尚志	鳥取支部 事務局長	第6分科会

発表テーマ
地域での結びつきを強め、繋がり・広がりて生き生きと活動するサークルづくり

内容（発言要旨）

①会員のつながりを広げ、健康で交流できる活動づくりを重視してきました。「ふまねっと」活動をきっかけとして、会員の声や要望に応じて、日常的に活動できるサークルを支部として、結成を会員に呼びかけてきました。②現在は、5つのサークルで活動しています。・「ふまねっと」・「百人一首」・「健康サロン童顔」・「なかよしピンポン」・「ポッチャ鳥取」を月2回、それぞれのサークル活動が重ならないように調整しています。会場は、使用料のかからない「老人福祉センター」をメイン会場として行っています。③毎月の活動日は延15日となります。23年度の参加者は5サークル・延1,681名となっています。④毎月、各活動の参加者集約や活動上の課題や思いを月初めの「支部役員会」で交流しており、参加者は12回開催で延156名で課題を共有しています。各サークルの担当や事務局には、支部役員が分担して担当しています。⑤会員へ開催日や会員募集の案内は、毎月41名の会員が「連合会友の会ニュース」に「支部ニュース」を同封して、1,676戸へ手配りをしており、年間にすると20,112回配布したことになります。⑥「いつでも元気」販売所は、毎月6名の会員で48部の配布・集金をしています。⑦支部のサークル活動の他に、一層会員のつながりや広がり求めて、支部主催の行事も行っています。「支部総会」・「春・秋の湿原ウォーキング」・「年3回のパークゴルフ交流会」（40回になります）・「観楓会&温泉小旅行」・「ニュース手配りご苦労さん会」・「新春のつどい&そば打ち体験」9行事で延255名参加されました。⑧協立病院の医師を含む方々の「医療チーム」が講師を務める、「医療懇談会」を年3回開いています。また、「友の会集団健康診断・検診」にも取り組んでいます。⑨私たちはこれらの活動を通して、地域における人たちの健康や人と人のつながりや交流をとおして「健康で生き生きできる地域づくり」を進めていきたいと考えています。

所属している組織の概要	
道東勤医協友の会連合会の支部として、鳥取支部を結成して37年経ちました。対象地域は、日本製紙の城下町として発展してきましたが、3年前に工場が撤退して人口や世帯が減少しています。会員4,165名（人口比14%）世帯数2,290戸（15.7%）	
TEL 0154-64-9323	メール iida.takashi@camel.plala.or.jp

演題番号 6-1-6

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
徳島	徳島健康生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
安富 千恵子	国府支部 運営委員	第6分科会

発表テーマ
班づくりに取り組んで

内容（発言要旨）

高齢者の健康寿命の延長が課題となっている現在、健康づくりに強い関心をもっていた。そんな時「笑いヨガ」の本に出会い、班づくりに取り組みたいと考えた。まず支部総会の2023年度活動方針の健康づくり項目に、笑いヨガ学習と実践に取り組むことを明記して運営委員会で検討することにした。そして班づくりの目標や目的を明記、学習内容や進め方なども記入スケジュールを作った。資料での学習やビデオでの体験学習を重ね、5月から取り組み12月に「笑いヨガ班」を発足させることができた。班づくりには、目的や目標などを明記して計画的に進めること、それと同時に実情にあわせて柔軟に対応すること。また、自身のモチベーションの維持管理の重要性、そして周囲のサポートが力になるなど実感した。班活動は支部活性化の要であることも再認識できた。今後も班活動を継続させ健康づくりに関わりたいと思う。そして「笑いヨガ」の健康効果も実感していきたい。

所属している組織の概要	
活動地域は、徳島県徳島市国府町。活動地域の人口は約13000人。所属する共同組織の人数は約900人。	
TEL 090-7781-8145	メール k-ishii-eiyo@kenkou-seikyuu.com

## 演題番号 6-1-7

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
京都	伏見健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
オウラ 尾浦 クニヒコ 邦彦	友の会幹事	第6分科会

発表テーマ
友の会サークルが会員さん同士をつなぐ

## 内容（発言要旨）

新型コロナウイルスの感染拡大で、一時活動休止を余儀なくされた友の会サークル。会員さん同士が集まる機会が失われる中で、亡くなる方や、施設入所される方も増えていた。友の会活動が再開されると、会員さんがしたいことを、気楽に集まれるサークルをいくつも作って、「集う場」とし、つながりを大切に拡げることが役員会で決めた。新たなサークル「囲碁・将棋サークル」「絵てがみサークル」「脳トレ・リズム体操」「いつでも元気読者会」ができて、友の会会員さんの参加の裾野を拡げている。「いつでも元気読者会」では、元気誌を配達する際、案内チラシで声をかけ、当日は送迎も行っている。「カラオケサークル」や「うたごえサークル」でも、会員さんが気楽に参加できるように、送迎を行い、「絵手紙サークル」はグループラインを活用したり、各サークルが工夫しながら活動を行っている。サークルに入りたいと会員になった方が、友の会の行事に参加したり、「いつでも元気」の読者になったりなど、つながりを深くするのにもサークル活動は重要になっている。

所属している組織の概要	
京都市伏見区は人口約277,000人。京都市の中で一番多く、伏見健康友の会は伏見区唯一の民医連診療所である京都城南診療所に事務所を置き、活動しています。会員数は1258人。	
TEL 075-623-1134	メール soumu@jounanshin.or.jp

## 演題番号 6-1-8

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
京都	綾部健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
オオツキ 大槻 カワハラ 川原 トモコ 智子、 クミコ 久美子	サークル責任者	第6分科会

発表テーマ
アロマサークル活動

## 内容（発言要旨）

2021年6月よりアロマサークルの活動を始めて今年で4年目を迎えました。丁度コロナ禍で色々な制限がある時ではありましたが、そんな時だからこそアロマの特性を活かして感染から身を守り、そして少しでもストレスから解放される癒しの場になれば、と言う事でスタートしました。

月に2回、土曜日と火曜日に場所を変えて活動しています。毎月10名前後の参加者があります。アロマの精油を使ってのクラフト作りやハンドトリートメントをしています。その場は会話がはずみ和やかな雰囲気に包まれています。

「今日はマスクプレーを作りたい～」「夫のこむら返りのオイルがなくなったので…」「肩こりと腕が痛くて…」「友人が病気の治療中で…」「手がカサカサでハンドクリームを～」「認知症予防には何が良いの？」色々な体の不調から予防や美容まで日々の生活で使えるものを作っています。そして良い香りに包まれて癒されています。

又、80代の認定証の方は「ここに来るのが楽しみですね。」と月2回娘さんと参加され、二人の居場所にもなっています。

6月のラベンダー摘み、平和健康まつりでのクラフト作りとハンドトリートメントが年間の行事となっています。

今後もアロマを安全に使って、人に寄り添い、お互いが健康な生活を送れるような活動をしていきたいと思っています。

所属している組織の概要	
綾部健康友の会は、1987年に結成され37年になり、綾部市を中心に約2150名の会員が活動をしています。	
TEL 0773-43-0519	メール tomonokai@ninokuni.net

演題番号 6-1-9

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	健康友の会みみはら	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ハヤミ エイコ 速水 英子・ ナガイ サチコ 長井 佐智子	新金岡支部世話人・ 新金岡支部支部長	第6分科会

発表テーマ
2支部共同サークル 「絵のある畑」メリアガーデンサークル活動

内容（発言要旨）

メリアガーデンのサークル活動から

新金岡支部は、2024年2月末現在、「健康友の会みみはら」会員世帯数1,459世帯、個人会員数3,522人、サークル数15、支部世話人8名で運営。

2022年2月、2支部合同で子ども食堂に安全な野菜類を提供できればと、「メリアガーデン」を立ち上げた。場所は、堺市の北側大泉公園地に隣接、調整区域の一角。

サークルの運営は、立ち上げ時に両支部から財政的支援でスタート。畑の行事の度に「健康友の会みみはら」の旗を掲げ、他の10世帯の畑の方たちの協力・共同し運営している。

会員は7名、毎月定例会議で季節ごとの畑の作付け、作業内容、収穫祭の企画・運営や研修などに応えている。

収穫物は無農薬・有機肥料栽培を行い、収穫物は3つのルールの下利用。

畑の様子や活動は、インスタグラムで区役所の小冊子に紹介、「同仁会報みみはら」に「体験学習」が紹介、この活動が若い会員加入の場になり、次世代の世話人の方の参加につながればと思う。

所属している組織の概要	
大阪府堺市にある社会医療法人同仁会を中心とする「みみはらグループ」の一員として活動。活動地域は、堺市を中心に隣接の高石市、和泉市を含め26支部。所属する共同組織の人数は23年度末時点で、41,010世帯94,111人。	
TEL 090-9710-6498	メール sachiko11317@gmail.com

演題番号 6-1-10

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
石川	石川県健康友の会連合会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ムラナカ キヨコ 村中 湛子	南加賀ブロック	第6分科会

発表テーマ
スマホ班会の取り組み

内容（発言要旨）

仲間が次々にスマートフォンを持つようになった。十分に使いこなせない事が共通の悩みとして頻繁に話題にあがるようになり、地域の担当職員と相談。2021年に不定期の班会としてスタート。仲間同士の集まりでもあり質問も気軽にでき、高齢者に合わせた親切丁寧な指導が大変好評であった。2022年には班会としての課題も見えて来ていたことから、不定期開催を月に一度、機種ごとの3つの班会に分けて再スタートを切った。班を機種ごとの少人数に変えたことで進み具合の違いや、スマホでやりたい事の要求に合わせての内容にできたことで参加者の満足度は上がり、参加人数が増えている。2024年4月からは4つの班に分かれて開催。日常の中でのメッセージのやり取りが活発になり、班会全体でお花見や動物園に行き、スマホで写真や動画を撮り送り合ったりと活動が進んでいる。コロナ禍で内に籠りがちであったが、地域との繋がりが深まり、職員との協力で新しい事へチャレンジしていく気持ちが大きくなっている。

所属している組織の概要	
活動地域は、石川県能美市、小松市、加賀市。活動地域の人口は約5万人。所属する共同組織の人数は約8300人。	
TEL 0761-58-5028	メール minamikaga.kenkoo@gmail.com

演題番号 6-1-11

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
宮城	大崎健康福祉友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
カフマタ 勝又 ノブツダ 信嗣	遠田支部長	第6分科会

発表テーマ
診療所閉鎖してからのサークル活動の発展と3年連続会費納入100%を達成して

内容（発言要旨）

共同組織とともに歩んできた古川民主病院付属こごた民主診療所が医師の配置が困難になり、15年間の活動を終え閉鎖しました。遠田支部は、友の会会員さんと繋がりを保つために旧診療所施設を利用し、サークル活動と協力友好団体の会議などに有効活用しています。サークル活動では7つのサークル（おしゃべりカフェ、絵手紙、墨絵、囲碁、健康麻雀、手打ち蕎麦、映画）を誕生させ、月1回～4回開催しています。この活動を通じて、繋がりを強めながら楽しい地域活動を行っています。サークル活動の活発化で、友の会活動に対して多くの協力者が現れ、役員、協力者を誕生させています。大きな支部行事としては、年4回のグラウンドゴルフ大会、健康まつり、地区健康講話会などを行い、会員以外の参加を大歓迎して取り組んでいます。

その勢いで支部役員会は、多くの会員さんとの繋がりを大事にする活動「全会員とつながろう」を合言葉に会費納入3年連続100%納入を達成させています。会員訪問の目的は、最初に会員さんの近況を伺うこと。次に友の会活動への要求を聞き行事の案内をします。そして会費のお願いを訪問活動の基本と意識して取り組んでいます。この取り組みで、会員さんとの信頼関係が強まり、会費納入率100%を続けています。

今の問題は、高齢者の要求に対応しながら、若い層の要求に応える組織が急がれています。

所属している組織の概要	
活動地域は、宮城県遠田郡美里町及び涌谷町。活動地域の人口は約36,500人。所属する共同組織の人数は761人（441世帯）。	
TEL 0229-34-2259	メール tadano@zmkk.org

演題番号 6-1-12

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
京都	京都中・右京健康友の会 (西京健康友の会)	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ヨシダ キョウコ 吉田 貴代子	常任幹事	第6分科会

発表テーマ
診療所がなくなっても、友の会活動は続いています！

内容（発言要旨）

1997年4月、私たちのまちに小さな診療所が建てられました。長い間、小児科かみの診療所は地域の子育てのパパやママたちに寄り添い、たくさん子どもたちを育てられました。

しかし、2019年12月末、コロナ禍のもと診療所はたくさんの人に惜しまれながら閉じられることになりました。

私たち西京健康友の会（支部）は活動の拠点を失いましたが、当時ささやかながらも活動していた「かつらがわ歌う会」は、指導とピアノ伴奏をSさん（患児のママ）に引き続きお願いでき、存続することになりました。現在毎年、西京区の「うたごえまつり」に出演し、「府民音楽祭」でも高い評価をいただいています。

2023年秋には、4年間休止していた「西京こどもまつり」も再開して、診療所の元患者さんや地域の親子づれが新たに参加されて、参加者800人で大盛況でした。

西京区の社会保障推進協議会に独自に加盟して、定期的に食材支援プロジェクトの取り組みにも参加しています。

地域のみなさんの要望にそって、医療懇談会を毎年開催、今後さらに充実させて取り組みたいです。

共同していた小児科診療所が閉じられ西京健康友の会（支部）は活動の拠点を失いましたが、うたごえサークルや医療懇談会を通じて会員を増やし、「こどもまつり」の事務局を担当したり、「食料支援と相談会」へ10回以上の協力を重ね、西京区での存在意義を発揮してきました。

事業所頼みができない中、自立した力をつけて活動してきた経験を発表いたします。

所属している組織の概要	
活動地域は、京都市西京区。活動地域の人口は約14万4千人。会員数714名（京都中・右京健康友の会全体は1万2千名）	
TEL 090-4277-0675	メール kyoutonakaukyou@gmail.com

## 第6分科会 第2会場

「共同組織の“わ”を強め、  
あらたな担い手を広げるとりくみ」

第一セントラルビル1号館 3F 中ホール

演題番号 6-2-1

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
東京	足立健康友の会北千住支部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ホンマ レイコ 本間 玲子	副支部長	第6分科会

発表テーマ
コロナ禍を乗り越えたサークル活動と新たなとりくみ

内容（発言要旨）

北千住支部は、健和会発祥の地ともいえる柳原地域の方が中心で活動地域内には東都協議会の柳原病院や柳原リハビリテーション病院、健愛クリニック、老健千寿の郷や歯科、薬局など事業所も多く、他の支部に比べると恵まれた環境にあります。

北千住支部では現在、「セラバンド体操」「健康麻雀」「カラオケ」「輪投げ」の4つのサークルやボランティアなどが恒常的に活動を行なっています。このうちコロナ禍で「健康麻雀」「カラオケ」サークルは一時休止を余儀なくされましたが、新型コロナウイルスが5類に移行された後の2023年～24年初めに再開しました。一方でコロナ禍に生まれたサークルもあります。2021年7月に東京都に4回目の「緊急事態宣言」が出されたのを契機に会員の閉じこもりを心配した役員が、密にならない競技として「輪投げ」を提起し、今では他支部にもサークルが生まれ、支部対抗戦を夢想できるようになりました（「輪投げ」サークルは『いつでも元気』2023年7月号で紹介されました）。サークルを通じて会員拡大も進み、「セラバンド体操」や「輪投げ」では、『いつでも元気』の読み合わせも行ない読者も増えています。

また、2022年8月から毎週月曜に柳原リハ病院セラピストの指導で「あおぞら健康体操」を実施しています。友の会と協力関係にあるNPOたんばほ会のテキストアウト弁当利用者の方を対象に弁当を待つ間を利用して体操をしてもらおうと始めたもので晴天時は病院前の公園に「足立健康友の会」の旗を立て、雨天や猛暑時は屋内で行なっています。北千住支部の会員さんが中心ですが、どなたでも参加自由で患者さんや買い物中、散歩中の方も足を止めて参加しています。これらの、さまざまなとりくみを通じて、地域での「足立健康友の会」の認知度を高め、「安心して住み続けられるまちづくり」とともにすすめる仲間を増やしていきたいと思えます。

所属している組織の概要	
足立区は人口69.5万人、高齢化率24.9%（23区でトップ）。足立健康友の会（会員4,767人、うち北千住支部1,016人）は4つの支部（北千住・千住西・北地域・かばら）で構成、日常的には支部を中心に活動している。	
TEL 03-3870-4534	メール masahiko-z000153@totokyogikai.jp

演題番号 6-2-2

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
東京	三多摩健康友の会 昭島支部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
アカバメ キミコ 赤羽目喜美子、 カワムラ カズコ 河村 和子、 サトウ シズカ 佐藤 静香	保健委員会	第6分科会

発表テーマ
5年前2ヶ所だったサークルが、コロナ禍を経て10ヶ所に広がった私たちの取り組み

内容（発言要旨）

1) 歴史ある支部ですが、2019年の保健活動は役員が健康チェックを行う活動が主で、サークルは2ヶ所に減ってしまいました。役員の数・保健委員を増やし、現在は9人となりました。新しい委員が「日頃交流のある団地の方々と健康づくりの集まりをしたいと思っていた」「空白の地区に友の会の集まりを作りたい」などサークルが立ち上がって行きました。並行して市内3ブロックごとに役員が分かれて地域にサークルが根付くよう企画やお知らせ、当日の運営などきめ細かに相談しました。現在（2024年3月）、サークルは10ヶ所になりました。

2) 田中団地のサークルができるまで（略）

3) ここまで広がった要因をを振り返る

- ①役員・保健委員が自分の周りにやってみたかった健康づくりの集まりを開き、自身の喜びになっている。
- ②立ち上げには他のサークルの経験や役員同士の応援がある。
- ③会員の近く、歩いて行かれる場所の小規模サークルがいい。
- ④サークルには役員の他、サポートしてくれる会員がいる。
- ⑤本部作成の感染対策5つのポイントを毎回チェックして行った。

所属している組織の概要	
東京都昭島市人口約11万、友の会会員約2300人（三多摩健康友の会：11支部 会員数約25,000人）	
TEL 090-4059-2049	メール osizu_sato@icloud.com

演題番号 6-2-3

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
佐賀	本部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
コダマ 拓也 見玉 拓也	組織部副主任	第6分科会

発表テーマ
共同組織活動 再起の取り組み

内容（発言要旨）

2023年度の活動は、コロナ禍を経ておとしまでのところで班会をはじめ組織活動はめっきり減ってしまいました。昨年度はコロナ禍を過ぎてどのように盛り上げていくかが課題となっていました。そこで、倉敷医療生協の取り組みに学びたいと思い、早川副理事に来ていただき、コロナ禍での班会活動の取り組みについて学びました。その後、強化月間では多久・小城支部ではあまり動けていなかった班に声をかけ合同班会を開催した他、唐津支部でも数年ぶりに健康まつりを開催しました。他支部でも、工夫を凝らして企画を行いました。仲間増やしや出資金は昨年の実績には届きませんでした。今年、班会の回数を増やすことができました。今年、班会の回数を増やすとともにその中で加入・増資に努めていきます。また、今年九州沖縄ブロック組合員交流集会を佐賀で行います。成功へ向けて、頑張っていきます。

所属している組織の概要	
活動地域は、佐賀県。活動地域の人口は約79万人。所属する共同組織の人数は約13,600人。活動する支部が10支部ある。	
TEL 0952-31-1249	メール t-kodama@saga-iryous.or.jp

演題番号 6-2-4

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	医療福祉生協おおさか 支部センター なかよしハウス	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ホリ 金光 堀 金光	支部運営委員	第6分科会

発表テーマ
なかよしハウスと上田さんとの協働 2023年

内容（発言要旨）

なかよしハウスが2023年5月に実施したバザーの時に、永和の方で活動されている方が、友人とともに来店されました。なかよしハウスの活動の様子などについて話すと、一緒に何かやりましょうということになって、同年7月に①歯科衛生士による「健康な身体はまずは『健口』から!!」というテーマで、8月には②『『カルタ』フレイル・ロコモ克服』というテーマで、そして今年3月には、近くの公園で、③「昔遊び会」を開催しました。

それぞれ、多くの参加者を得て、好評でした。8月の取り組みでは、近くの大阪樟蔭女子大学の健康栄養学科の井尻吉信教授ゼミの学生が、コロナフレイル予防のために開発した「フレイル予防かるた」を使ってのグループワーク、そして今年3月の「昔遊び会」では、こままわしや、おじゃみなど多くの子供が楽しみました。これらの活動は、コミュニティナースの上田エリカさんとの繋がりと連携によって初めて可能になったものであり、地域における横のつながりの大切さを痛感しているところです。

所属している組織の概要	
定款地域は東大阪市、八尾市、柏原市、大東市、四條畷市並びに大阪府下全域。組合員数は180,686人 出資金は4,095,307,000円（2024年3月31日時点）	
TEL 090-1714-1966 (対応者：能塚)	メール no_zu@yahoo.co.jp (対応者：能塚)

## 演題番号 6-2-5

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	岡山中央福祉会 友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ネギ カズコ 根木 和子	幹事	第6分科会

発表テーマ
心を伝えたい 絵手紙

## 内容（発言要旨）

〈はじめに〉

岡山中央福祉会並びに友の会との紹介と出会い

〈取り組み紹介〉

絵手紙の文化はまだ浅く今から45年ほど前、コンピューターの時代に反し、筆と墨を使い直筆で「絵のある手紙」として小池邦夫先生が立ち上げられた趣味の文化です。それが今や150万人に愛され増え続けています。絵手紙のキャッチフレーズは「下手でいい、下手がいい」。上手に書こうと思わないで字や絵が上手でなくても「心」を伝える手紙でありたい。これが絵手紙の原点です。この絵手紙教室を老人保健施設さくら苑りハビリセンターで、地域の皆さん、ご利用者の皆さんと共に友の会の班会の活動として行っている取り組みを紹介いたします。

〈おわりに〉

所属している組織の概要	
活動地域は人口9万5千人の岡山市東区の南部・西大寺地域。共同組織構成員は約3000人。6つのブロックと84の班、91名の世話人（機関紙の手配り配付）の組織規模。なお、母体法人は19事業所、480名の職員の規模で、地元西大寺地域で最も大きな事業規模を持つ。	
TEL 086-944-2266	メール sakuraen@iris.ocn.ne.jp

## 演題番号 6-2-6

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
奈良	厚生会友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
オガワ カズヤ 小川 和也、 ヤマベ レイヤ 山部 麗哉	友の会事務局長	第6分科会

発表テーマ
定時定点の健康チェック

## 内容（発言要旨）

これまでコロナ禍で縮小していた健康チェックについて

コロナ以前には17ヶ所の実施となっていたが、少しずつ再開や新規の要望などもあり、現在は12ヶ所での実施となっている。

また、健康チェックには地域のボランティアさんや市議、病院職員なども同行し、その時々の相談事などの受け皿作りも行っている。

今回はそういった取り組みの中でコロナ禍からの脱却を目指し、地域支部での取り組みや地域からの要望で増えつつある健康チェックの取り組みを報告したい。

このような活動については、地域の健康づくりやまちづくりには欠かせないものだと思います、報告することとした。

所属している組織の概要	
活動地域は奈良県中南和地域。活動地域の人口は約4万人。所属する共同組織の人数は約9000世帯。	
TEL 0745-22-2989	メール k-hayashi@kenseikai-nara.jp

演題番号 6-2-7

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
愛媛	愛媛医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ミヤケ アツオ 三宅 淳雄	生協宇摩診療所 理事	第6分科会

発表テーマ
オレンジルーム設立から始まる「つながり、づくり ～さあ、みながうらやむ居場所を一緒に作ろう！～」

内容（発言要旨）

- ①生協宇摩診療所を拠点に組合員活動を進めているが、2020年よりコロナの影響で事業所の利用が出来なくなった。
- ②そんな中で、事業所の診療体制が変わったことで組合員ルームが無くなった。
- ③事業所が使えない。人と会う機会が減る。細々とした活動期が続いた。
- ④ようやく制限付きではあるが、活動が再開された。しかし、組合員さんが気軽に集える場所が無くなっていった。
- ⑤代わりに公民館や集会所の利用が増え、つながりが広がった事は良かったが、気軽に使える場所とはならなかった。
- ⑥昨年の総代会事前討論会で、新たな組合員ルームの検討・要望があり、組合員さんの使われていなかった一戸建てを好意で借りる事が出来た。
- ⑦イスや机もない状況から他事業所の手も借り、徐々に使えるようになっていった。新たな組合員ルームを11の提案の中から「オレンジルーム」と命名。
- ⑧現在では、皆が楽しく集える場となり、健康カラオケ・健康麻雀・体操や趣味の場等々、全ての支部で利用がされている。
- ⑨特に良かったのが、今まで班会や集いに参加されていなかった方が参加するようになり、そこから増資や新規加入につながったこと。
- ⑩会議や学習会、更に最近では自治体との話し合いの場としても活用ができ活動が拡大している。

所属している組織の概要	
活動地域は、愛媛県四国中央市。四国の丁度中央に位置する当市は、人口約80,000人。対し愛媛医療生活協同組合員加入数は約5,000人。その中でも約1割の組合員さんが健康づくりやささえあいを通じてつながりを広げている。	
TEL 0896-25-0114 (宇摩診療所)	メール mi-itoh@ehime-med.org

演題番号 6-2-8

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
香川	香川医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
タカヤス トミオ 高安 富男	龍雲支部 支部長	第6分科会

発表テーマ
組合員を点から線へ、そして面への広がり～カフェを通じたつながり作り

内容（発言要旨）

私たちの支部は組合員626名、機関誌の手配り率48%、支部運営委員8名、班数1班というとても小さな支部です。私は3年前に支部長に就任し、何とか支部の活性化を図りたく街角健康チェックや高齢者の居場所づくり、行政のイベントへの参加など努めてきましたが支部の活性化には成功していません。ある時仕事の関係で、午後2時ごろ〇〇珈琲店に入りました。そこには高齢者が席の半分ほどを占め、おしゃべりをしたり、コーヒーとケーキを食しながら楽しんでいました。私は医療生協の運動を一口に言って「体と心と社会を健康にする運動」と理解しています。いま求められているのは「孤独とストレスの解消」ではないかと感じたのです。地域コミュニティーセンターの広報誌を注意深く見ると「街角茶話会」、自治会単位の「サロン活動」などが好評でした。そこで運営委員会で新しい取り組みとして「仏生山カフェ」を開催することにしました。内容は、①気軽に集まれて飲み物とケーキがあり、お喋りと交流ができる。②お客さんではなく自ら参加できる。③個々に楽しただけでなくみんなで一緒に楽しむ。具体的には、組合員の作品展、手作りのドリンクとケーキ、テーブル交流、ハーモニカの演奏と合唱、等です。カフェを通じて生まれた成果は以下のとおりです。延べ参加者数143名、組合員増やし6名、増資延べ人数30名、額40,000円、カンパ28,641円、班と言うサークルの結成準備4（ハーモニカ、笑いヨガ、手芸、切り絵）、担い手づくり（運営委員4名、機関誌手配り2名）。このカフェを通じて、支部活性化の展望が見えてきましたので、この方向で引き続き取り組みを強めてまいります。

所属している組織の概要	
活動地域は、香川県高松市の南部地域にある仏生山小学校区で人口9,331人。所属する組合員の人数は626人です。	
TEL 090-9772-8264	メール tom10@zpost.plala.or.jp

演題番号 6-2-9

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
愛媛	愛媛医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
アサダ タマエ 浅田 玉恵	うしおに支部 班長	第6分科会

発表テーマ
地域の中からつながりを広げ、誰もが参加しやすい支部活動

内容（発言要旨）

愛媛県南予地域には拠点となる事業所はなく、支部の範囲も1市3町と広い。その中で組合員に呼びかけて、健康づくりの体操教室を始めたのは2017年の事である。そこに集う人たちから口コミで一緒に体操をする人の輪が広がり、支部を結成し活動を始めた。支部の役員は、体操教室に参加する人で分担しあうことにし、支部長、副支部長、会計を輪番制にしている。みんなが役員をすることでお互いに協力し合う気風もできてきた。会計を担当してみて初めて、愛媛医療生協から支部や班に助成金というお金が支給されていて自分たちの活動を支援してくれていること、健康づくりを応援してくれることを理解できた、という発言があった。班に参加する組合員の中には、「せめて増資させてもらいます」と毎月増資を届けてくれるようになった人もいる。地域でのつながりを活かして、支部の中に「班」がどんどん作られ、今では16になった。組合員総数は200名余りだが、そのうち4人に一人は班に参加して活動しており、結集率は高い。もっと声を掛けて地域に健康づくりの輪を広げていきたい。

所属している組織の概要	
活動地域は、愛媛県宇和島市以南の4市町。活動地域の人口は約95000人。所属する共同組織の人数は約220人。	
TEL 089-990-8820	メール ooba@ehime-med.or.jp

演題番号 6-2-10

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
徳島	徳島健康生協 那賀川支部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
カワノ タカコ 河野 孝子	支部長	第6分科会

発表テーマ
那賀川支部の取り組み

内容（発言要旨）

2009年に南部支部から分割され那賀川支部が結成された。小さな支部であることをいかして運営委員会を中心に組合員の要求を聴きながら、楽しく誰もが参加したくなるような支部活動を行ってきた。

- \* 手書きの支部ニュース
  - \* 那賀川鉄橋列車爆撃を語りつぐ会（平和のつどい）
  - \* 青空健康チェック（2か月に1回、道の駅）
  - \* お接待（いつでも元気に掲載されました）
  - \* 数々の学習会
  - \* ウオーキング
  - \* バスレク
  - \* 診療所と一緒に健康まつり
  - \* 認知症サポーター養成講座
  - \* 高齢者大会、共同組織交流集会
  - \* 花の寄せ植え
  - \* ボッチャ
  - \* 新年会
- etc

所属している組織の概要	
活動地域は徳島県阿南市那賀川町。人口約10600人。組合員数は約300人	
TEL 080-6394-4452	メール anan@kenkou-seikyuu.com

## 第6分科会 第3会場

「共同組織の“わ”を強め、  
あらたな担い手を広げるとりくみ」

第一セントラルビル2号館 8F アース

演題番号 6-3-1

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
三重	みえ医療福祉生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ウエダ ナミ 上田 奈美	組織部	第6分科会

発表テーマ
つながり。ひろがれ。みえ医療福祉生活協同組合

内容（発言要旨）

コロナ禍で伊勢地域の組合活動も縮小を余儀なくされました。加えて組合員の高齢化、組合員数や担い手の減少も大きな課題もあり、今までの活動の見直しを行いました。組合員を中心に、「組合員のために」してきた活動ではなく、医療福祉生協の枠をこえ、「地域を超えて」「世代を超えて」繋がる活動づくりを進めることにしました。

フードドライブ提供先であった、生協外部の子ども食堂さん。四季折々の企画を一緒にして、私たちの今までの活動にはいなかった親子世代と関わる機会になりました。組合員の得意分野で関わることができ、組合員の輝ける場所にもなりました。

地元的大学生とも交流を深めるように進めています。地域の班会に遊びにきてもらったり、コープみえ様と共催の健康まつりに、大学生がボランティアで手伝ってくれたり。

他団体と繋がることで、医療福祉生協としての活動の幅も広がり、担い手づくりに繋がりました。まだまだ課題は多く残りますが、「組合員のために」から「組合員とともに」を目指し、活動を広げていきたいと思えます。

所属している組織の概要	
みえ医療福祉生協は、県内5地域が2011年に合併した法人。その一つ、伊勢地域は創立してまもなく50周年。来春には伊勢民主診療所の建替えオープンを予定。組合員数は県全域37,211人、伊勢地域3,517人。	
TEL 0596-24-7141	メール micoop.ise2@gmail.com

演題番号 6-3-2

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	健康友の会みみはら	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
コガ ミツマサ 古賀 光政	もず支部 支部長	第6分科会

発表テーマ
支部結成から8年かけて、4課題の達成めざした活動。特に協同基金の積み立て参加者を増やしてきた活動について

内容（発言要旨）

支部結成から8年。支部結成と同時にマンション1階2DKに、ともの家『なごみ』もオープンしました。人通りの少ない場所で、開所当初は人集めに苦労しましたが、徐々にサークルも増え参加者も増えてきました。支部長の「せめて法人が負担している家賃分くらいは協同基金を集めたい」の思いから、世話人ですら積み立てしていなかった状況から、現在、サークル参加者のほとんどの会員が参加。登録会員数は160人年間1000件の積み立てがあり、これは友の会全体26支部中のトップです。毎月1000円、2000円と少額ですが、多くの会員の参加で金額も130万円になりました。ともの家も改装して広くし、より多くの会員が集まれるよう工夫しました。新しい世話人の繋がりでサークルも増やしてきましたが、特に『うたごえ』は大好評。地域の会館を借りて月に1回実施し、初参加の会員や新入会員も増え、登録人数は66人になりました。『いつでも元気』読者も増えて39部。これも全体のトップです。担い手を増やし、支部結成してからすぐに郵送をなくしました。この流れを作った教訓などをお話したいと思えます。

所属している組織の概要	
大阪府堺市北区百舌鳥地域 その地域の人口は約30000人で共同組織の会員数は約1100人	
TEL 090-7107-4324	メール

演題番号 6-3-3

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
東京	中野・杉並健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ウエキ コウジ 植木 紘二	中野・杉並健康友の会 会長	第6分科会

発表テーマ
仲間増やしを友の会と職員と力を合わせて目標の超過達成（月間目標、年間目標）

内容（発言要旨）

1. コロナ禍で大幅に退会者が出たにもかかわらず。この4年間は拡大数が減少して後退傾向に歯止めがかからなかった時期。4年間で会員数が減少しているにもかかわらず、拡大も友の会活動も多くの制限など困難な中で前に進めなかった。
2. 2023年度は、絶対、全身の流れを作らないと友の会どころか、民医連の医療活動にも影響が出かねないという危機感でどう克服しなければならないかという視点で意思統一。
3. 友の会の前進は、健友会の前進であり、健友会の前進は友の会の前進につながると訴えてきた。
4. 友の会の役員が先頭に立つと同時に、健友会の診療所事務長会議、病院職員全体会、理事会とともに困難を乗り越ろうと申し入れて、お願いをしてきた。診療所事務長や病院の外來窓口の職員が拡大の先頭に立ってくれた。
5. サークルは減ったとはいえ、全体でサークルの活発化を進める。班会の組織、空白地域で健康チェックの取り組みの組織化、研修など。
6. 2024年度は月間をまたずに少しずつ拡大を積み上げるにはどうしたらよいかに挑戦したい。サークルはもちろん、班会や健康チェックも。

所属している組織の概要	
中野区と杉並区にまたがる共立病院と共立診療所など計9カ所の診療所、訪問看護ステーション、薬局。中野・杉並健康友の会と9カ所の診療所ごとに9つの友の会がある。会員数は、合計6千世帯。	
TEL 090-2416-0864	メール kouji.ueki.0412@gmail.com

演題番号 6-3-4

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
栃木	栃木保健医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
カトウ ワカ 加藤 和夏	地域活動部	第6分科会

発表テーマ
大学生とひろげる“わ” —宇都宮東支部から元気を届ける—

内容（発言要旨）

宇都宮東支部は昨年6月に設立25周年を迎え、多彩な支部活動を展開している支部である。

東支部のたまりば「陽だまり」では、毎月さまざまな企画や、班会を開催。「陽だまり」の近くには大学があり、組合員のつながりから、学生が健康麻雀や料理班へ参加するようになった。組合員と学生との多世代交流が生まれ、お互いが刺激を受ける双方向の関係を築いている。

班会に参加する学生は地域活動に興味があり、組合員に加入するだけでなく、「ぐるめっちょ班」という学生の班会をつくった。学生の「キッチンカーを使い地域で活動をしたい！」という目標を実現するために、「陽だまり」を拠点に準備をしている。

今春は、学生の発案により学生団体「白白公民館」と支部が共催し、進学を機に1人暮らしを始める学生のためのバザーを2回開催した。

生協全体として組合員の高齢化が進んでいる一方で、大学生というつながりができ、さらにそこから活動を発展させ、支部にとって新たな活力が生み出されている。

所属している組織の概要	
栃木県を拠点とし、宇都宮市で2カ所の診療所と、6つの介護事業所を運営する。組合員数は12,798名おり、9支部と4つの「たまり場」を有する。班会は年間855回、参加組合員は累計6,582名である。	
TEL 028-600-1606	メール waka.kato@tochigihoken.or.jp

演題番号 6-3-5

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
福岡	社会医療法人親仁会 本部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ヨネムラ 米村 理恵	総務部課長	第6分科会

発表テーマ
スクエアステップサークルを通した新たな繋がり作り

内容（発言要旨）

親仁会とありあけ健康友の会がある福岡県大牟田市は、人口11万人、65歳以上が3人に1人の地域です。地域の高齢化で会員の減少や担い手不足により班会の数は半減し、会員の筋力の低下が顕著になりました。この問題の打開策として「新たな取り組みとしてサークル活動を作ろう」と試み、「スクエアステップ」の活動を取り入れる事としました。サークルや班会で「スクエアステップ」を行い、また「友の会だより」への掲載、案内ビラを配布しました。その結果、今まで友の会活動に参加した事のない会員さん等から多くの問い合わせがあり、毎回新しい方がサークルに参加する事によって、班会などの友の会の行事にも新しい方が参加するようになりました。効果としては、「筋力がついてきた」「外に出る機会が増えた」などの声が寄せられています。今後も高齢化、人口減少の問題は続きますが、友の会と職員が一緒になってコミュニティ作りと担い手作りを目指していきます。

所属している組織の概要	
活動地域は、福岡県大牟田市。活動地域の人口は約11万人。所属する共同組織の人数は約25,855人。	
TEL 0944-53-2711	メール r-yonemura@kome-net.or.jp

演題番号 6-3-6

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
埼玉	医療生協さいたまかすかべ生協診療所	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ヒラシマ 平嶋 悟	まちづくり コーディネーター	第6分科会

発表テーマ
お手紙作戦で広がりづくり

内容（発言要旨）

埼玉県南部地域では新しい担い手を増やす取り組み『全集中担い手増やし』を2022年から開始している。

担当している地区は車がないと買い物や通院するのも困難な地域だ。また運営委員・機関紙配布をしている組合員も年齢を重ね高齢化が進んだ。免許返納や持病の悪化などの要因で「運営委員を辞めたい」「配布することが出来なくなった」と連絡を受ける件数が年々増えている。各支部で定例開催している健康ひろばなどの参加メンバーも固定化しているため新しい参加者を増やす取り組みも急務となっている。

別地区で取り組みをした『お手紙作戦』を担当地区でもおこなっている。

新たな担い手になってくれる方を発掘するために対象者60歳～75歳までの方へ向けた『お手紙作戦』の状況を報告する。

所属している組織の概要	
活動地域は、埼玉県久喜市、白岡市、蓮田市、幸手市、宮代町、杉戸町の6自治体。利根南地区の人口は約39万人。組合員数は3,298人	
TEL 070-2154-7361	メール k-sosiki@mcp-saitama.or.jp

演題番号 6-3-7

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
愛媛	愛媛医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ムラセ 村瀬 ミズエ 瑞恵	今治中支部 支部長	第6分科会

<b>発表テーマ</b>
支部活動を通じて、地域の人とつながり、健康の輪を広げよう！

内容（発言要旨）

元々の知り合いで、担い手交流会でも度々うたごえを担当してもらっていた。コロナ禍で中止になっていた、あおぞら健康チェックを再開した時に、タイミングよく通りかかり、声をかけて参加してもらった。自分の体組成などがチェック出来ることに感激。必要性を感じて、自分のサークル仲間にも取り入れたいと要望をもらった。三役で丁寧に関わりながら、どんなことがしたいか、スケジュールはどうなのかなど何回も連絡を取り合って信頼関係を築いていった。その結果、3月にうたごえ班会が誕生し、仲間増やしが達成した。

演題番号 6-3-8

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	大阪みなみ医療福祉生活協同組合 堺北診療所	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ハタノ 波多野 ヤスキ 泰輝		第6分科会

<b>発表テーマ</b>
担い手づくりの取り組み

内容（発言要旨）

しんどい課題である担い手づくりにあたって、まずはできることから始めようと、担い手づくりとしては比較的ハードルの低いと思われる、地域での機関紙手配り配布協力者さんを増やすことに取り組むことにした。機関紙手配り配布協力者さんは、支部の運営委員の重要な候補者にもなり得る。しかし、当診療所の規模・職員体制では、地域訪問活動を頻繁に行うことが難しいため、簡単な配布協力者募集のビラを作成し、機関紙に折り込んで配布することにした。その結果と活動の報告をします。

<b>所属している組織の概要</b>	
活動地域は愛媛県今治市、人口15万人、支部の組合員数930人	
TEL 090-7142-1466	メール mizuem@mac.com

<b>所属している組織の概要</b>	
活動地域は、大阪府堺市堺区。活動地域の人口は約15万人。所属する共同組織の人数は約5,600人。	
TEL 072-233-6569	メール kumikatu-3@osakaminami.net

演題番号 6-3-9

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
石川	石川勤労者医療協会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ウジタ ミコ 氏田 都	健康推進部	第6分科会

発表テーマ
「共同組織と民医連を学ぶ移動学習会」に取り組んで

内容（発言要旨）

石川県健康友の会連合会では、担い手・後継者対策として「共同組織を丸ごと学ぶ講座」を9年前から毎年開催。共同組織の歴史や活動、民医連事業所の歴史、綱領、理念などを学び交流してきました。年々受講者が減り、各支部でも担い手・後継者問題も深刻化しつつある中、より誰でも楽しく気軽に学べるものになろうと、現地に足を運び直接見て聞いて交流する「共同組織と民医連を学ぶ移動学習会」を新たに開催しました。活動が進んでいる地域の居場所と事業所へ出かけ経験を聞き交流する内容としました。お互いの支部活動の活性化につながり、それぞれの地域の共同組織や民医連事業所の歴史と果たしている役割を学ぶ機会は担い手づくりにつながりました。

演題番号 6-3-10

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
愛媛	愛媛医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ヤマシタ アケミ 山下 曙美	三津浜支部 支部長	第6分科会

発表テーマ
多世代参加の取組み 一浜っ子クラブ・ハロウィンナイトー

内容（発言要旨）

組合員の高齢化に伴い、支部の活動規模が徐々に小さくなってきています。支部運営委員の高齢化も深刻化しており、世代交代・支部の若返りは急務となっています。

しかしこれまでの活動は高齢者向けのものが多く、若い世代特に子育て世代と関わる活動がほとんどありませんでした。

そこで、世代間交流の「場」の提案から、支部活動の中心である三津浜商店街近辺の小学生を育てる組合員さんやそのお友達を中心に声かけをして、小さい子どもたちが参加しやすい企画を実施することとしました。

実施時期が秋となることから、近年イベントとして注目されるハロウィンテーマに支部イベントを開催し、それに参加していただいた方々をメンバーとした「浜っ子クラブ」を結成しました。

これまでに「ハロウィンナイト」を4回開催し、商店街の方々や近隣在住の組合員さんの協力も徐々に増えてきています。

しかし、出発点がハロウィンだったこともあり、ハロウィンの時だけしか「浜っ子クラブ」が開催できない問題があったり、子供たちの入れ替わりによるメンバー確保の課題も出てきています。

所属している組織の概要	
石川県健康友の会連合会として活動地域は県内全域、7つのブロックで運営委員会を設け、友の会支部は39支部、行政の15市町／19市町に支部がある。県内の人口は約111万人、世帯は49.7万。共同組織の会員は49707人。	
TEL 076-253-1540	メール lapaz@ishikawa-kinikyo.jp

所属している組織の概要	
愛媛県松山市の北西部、瀬戸内海を望む三津と呼ばれるところが主な活動地域です。組合員数は現在約620人。助け合いの会「なごみの会」を中心に活動しており、高齢者の多く住む地域です。	
TEL 090-1327-6789 (地域事業担当)	メール yamamototu@ehime-med.org

演題番号 6-3-11

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	医療福祉生活協同組合おおさか	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
フジオカ トシオ 藤岡 俊夫	理事	第6分科会

発表テーマ
子育て世代への認知度アップと次世代へのバトンタッチへの礎づくりへの「たしま子ども夜店まつり」の取り組み

内容（発言要旨）

組織の高齢化が進み機関誌の手配りさんや担い手の減少による様々な障害が生まれてきています。組合活動の次世代へのバトンタッチが急がれる事態になってきているのではないのでしょうか？そこで、1. 子育て世代に事業所を紹介し認知度を高める2. 組合員活動の次世代へのバトンタッチの礎づくり3. 地域の諸団体との繋がりづくり4. 組合員と職員の交流の場5. 組合員・職員・地域の人々の楽しみの場づくりを実施目的として取り組まれたのが「たしま子ども夜店まつり」です。実施を決めたのは早い時期だったにも関わらず初めての取り組みで全然準備が進まず、右往左往しながらの取り組みになりました。まつり当日は、開始の5時10分前には2組の親子連れしか来られていなくて、「失敗か？」と不安になりました。しかし、開始時間になるやいなや自転車部隊が押し寄せ、結果子連れの若いお母さんお父さんたち350人が参加され、田島診療所の前の駐車場、1階待合室、2階デイサービス室、3階会議室が満員お礼の状態になりました。用意したイベントに子どもたちの長だの列がいくつも出来、子どもたちと親御さん・組合員・職員の笑顔が事業所内に溢れました。参加した組合員・職員に感想を聞くと第一声は「こんなに生野区に子どもがいたのか？」(笑)でした。「たしま子ども夜店まつり」成功の余波は大きく、以降の取り組みのキーワードとして「子ども」が浮上り子育て世代を意識した取り組みになって行きました。秋に4年ぶりに実施された「平和・健康まつり」も「平和・健康・子どもフェスタ」に名前を変更。まつりの内容も「子ども」を意識したプログラムに変更し、子ども連れの参加者が大きく増え子どもコーナーには、長い列がいくつも出来ました。今後は、これらの取り組みの中での新たなつながりを生かし次世代への礎を確実なものにしていく決意です。

所属している組織の概要	
担当地域は大阪市生野区、東住吉区、平野区、主な活動は生野区を中心に行っています。生野区の人口11万6千人、組合員5千人、東住吉区12万7千人、平野区の人口18万9千人、2行政区で1支部、1500人	
TEL 090-3716-4156	メール t-fujioka@asuka18.com

演題番号 6-3-12

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
愛媛	愛媛医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
タドコロ シンジ 田所 真司	愛媛医療生活協同組合 道後支部長	第6分科会

発表テーマ
担い手交流会をとおしてステップアップを目指す

内容（発言要旨）

コロナ禍により、場活動は一部を除き停滞（12箇所のうち2箇所のみ活動）していたが、5月8日より第五類感染症に移行し、他支部の場活動開催などに刺激され、感染予防を徹底しながらの活動再開機運が生まれた。また、新たな場として『あいあいカフェ』が生まれ、尿検査、体組成や血圧測定等のあと、健康談義や日常生活交流が行われた。そこでは、健康フェスタ及び担い手交流会の進め方について、皆が参加して楽しめる行事にしようと深掘りされる意見交換の場所ともなり、今度の担い手交流会は『医療生協に親しみを感じ、楽しい場所と思って、もう一度参加したいと思える会にする』を目標にしようと意見が一致した。それから、三役会や運営委員会、あいあいカフェなどで『医療生協の特徴・道後らしさ・楽しむ』内容を、どのように造るかの工夫が始まり、当日は参加者全員が楽しめた交流会になりました。

所属している組織の概要	
道後支部エリア（道後樋又ほか22町）支部組合員数：521人。機関紙配布数：436部。機関紙手配り数：391部。増資件数：16。場数：12。場組織組合員数：36人。担い手数40人。支部小学校数：2	
TEL 080-9532-6510	メール ikasarete@icloudo.com

## 第6分科会 第4会場

「共同組織の“わ”を強め、  
あらたな担い手を広げるとりくみ」

第一セントラルビル2号館 6F プルメリア

演題番号 6-4-1

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
北海道	札幌西・手稲健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
タカマツ イサオ 高松 功	札幌西・手稲健康友の会 事務局次長	第6分科会

発表テーマ
札幌西・手稲健康友の会ニュース「ていねやま」の紹介

内容（発言要旨）

1994年10月に「勤医協札幌西・手稲友の会」が設立され、友の会ニュース「ていねやま」が創刊されました。

「ていねやま」は月一回発行しており、友の会行事予定、班・サークル活動の紹介、西区・手稲区の民医連院所・事業所からのお知らせ、医療・介護制度の紹介、宅配者紹介など、友の会員への情報共有の一役を担っています。

現在、札幌西・手稲健康友の会には6つの専門部があり、友の会ニュース「ていねやま」を作成する「広報部」の紹介と、編集作業（初稿・入稿）の様子、「ていねやま」の紙面紹介、納品後の仕分け作業、配布の仕組みを紹介し、宅配・郵送の現状と課題を明らかにし、共同組織の機関紙活動のあり方を考察します。

（友の会現勢：11,233 友の会ニュース部数：宅配部数 3,868・郵送部数 3,344 宅配者数281）2024年3月末現在

所属している組織の概要	
担当地域：札幌市西区・手稲区、小樽市銭函地区 人口：（西区：218,000 手稲区：141,610 銭函：11,255） 友の会員数：（西区：6,097 手稲区：2,467 銭函：87）	
TEL 011-666-2877	メール nishiku-soshiki@kin-ikyoo.or.jp

演題番号 6-4-2

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
奈良	平和会健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
スギモト ヨシコ 杉本 芳子	生駒支部 編集委員	第6分科会

発表テーマ
友の会会報を人と人のつながりを大切にした紙面づくりに！

内容（発言要旨）

コロナ禍で友の会活動が休止状態になり、2ヶ月毎に発行している会報が、会員と会員を繋ぐ唯一の大切な友の会活動になりました。これまでもたくさんの会員が登場する紙面づくりを心掛けて来ましたが「この時期こそ一層会員参加の紙面を重視しよう」と編集者で話し合ってきました。2022年の夏には100号記念号を発行。楽しい紙面になりました。

会報に寄せられた『趣味を楽しんでいる』『これを機に片付けや改装を始めた』など元気な報告記事に「会報が届くのを楽しみに」「元気が貰えた」と感想を伝えてくれる一方で『外出できず足腰が弱った』『話し相手がなくて、一日誰とも話さないことも』など深刻な会員の状況も伝えられ、2021年からハイキングを再開し、2022年からは医療ビル使用の制限がある中で、公共施設を活用してサークルや元気体操を再開。現在は医療ビルも使用でき、サークルも増え、「仲間になりましょう！」と会員が会報に投稿し、参加を呼びかけています。

所属している組織の概要	
奈良県生駒市の駅前クリニックを拠点に生駒市全域が対象。 サークル活動や友の会運営員会が主催の活動（元気教室や医療講演会など）を活発に開催していたが、コロナ禍により活動中止。2022年頃から徐々に活動を開始。	
TEL 0743-76-6352	メール soshiki@heiwakai.or.jp

## 演題番号 6-4-3

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岩手	盛岡医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
サトウ 佐藤 カツエ	理事	第6分科会

発表テーマ
みんな元気に プチ健康まつり

## 内容（発言要旨）

生協強化月間の地域ブロックの取り組みとして昨年度、初めて開催し120人の来場者で大いに盛り上がった「プチ健康まつり」について報告します。

コロナ禍で事業所での「健康まつり」が数年間開催することができずにいました。しかし強化月間中に医療生協を地域に知らせる企画を何かできないかブロック会議で話し合ったところ、地域の施設を借りて、規模は小さくても自分たちでできる「健康まつり」の開催にチャレンジしようと決めました。実行委員会を立ち上げ準備を進めました。

各支部に声をかけたところ、「フリーマーケットやりたい！」「班活動で作っている手作り品の販売をしたい！」という声が続々と上がりました。地域の団体にも声をかけ、出店協力してもらったことで地域と共催の取り組みとなり、医療生協の宣伝にもなりました。当日は体調不良を理由に組合員活動から遠ざかっていた組合員の参加もあり、久しぶりの再会を喜び合いました。

日頃の支部・班活動がつながり、準備した側もお客さんとして参加した側もみんなが元気になりました。地域にも組合員さんにも喜ばれる取り組みとなったと思います。反省会では満足した感想ばかりが聞かれ、ぜひ来年もやろうと締めくり、今年度も開催日を決め、準備を始めています。

所属している組織の概要	
岩姫ブロックは岩手県盛岡市の北部、また盛岡市北側に隣接する滝沢市、県北の岩手町、八幡平市にある5支部で構成されています。	
TEL 019-635-6253	メール s-suzuki@morioka-medi-coop.or.jp

## 演題番号 6-4-4

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
富山	富山医療生活協同組合 山室支部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
イシハラ アサコ 石原 朝子	理事	第6分科会

発表テーマ
多世代がゆるやかにつながる・えがお夏祭まつり開催

## 内容（発言要旨）

山室支部は在宅福祉総合センター「えがお」建設をきっかけに、23年前に結成した支部です。

以来、「えがお」の地域交流スペースを拠点に、班活動を中心とした健康づくりや支えあい活動を進めてきました。コロナ禍において、既存の班活動やさらに活動のわを広げる事に苦戦していましたが、2022年には新しい集いの場としてオレンジカフェ「よってかれえがお」の取り組みも始まり、組合員同士の交流の場となっています。

今年度はさらに「もっと地域に医療生協を知りたい」「いろいろな世代の人たちと交流したい」という想いから、事業所と一緒に地域住民にも参加を呼びかける祭りを計画しました。朝採れ野菜の販売や、子どもたちも楽しめるようなヨーヨーすくい、綿菓子などの縁日、小物作りのコーナーがあったりと、ただいま計画中です。

所属している組織の概要	
活動地域は富山県富山市山室校区（中学校区）。地域の世帯数は10687世帯で医療生協の組合員世帯は731世帯（加入率6.84%）です。	
TEL 076-441-8351	メール akagawa-y@toyama-hcoop.com

演題番号 6-4-5

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
愛媛	愛媛医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
カキハラ チカコ 茅原 千賀子	泉川ブロック中大支部 支部長	第6分科会

<b>発表テーマ</b>
他団体との連携と計画的な支部企画の実践

内容（発言要旨）

- ・平和とくらしをまもる活動の一環として夏に4～5年前より“中萩9条の会”と一緒に平和の集いを行っています。コロナで何年か中断していましたが、2022年には映画「ひまわり」2023年度は「戦争体験を聴く会」を開催しました。夏休み期間中に実施していますので、今後は多世代にも呼びかけたいと思っています
- ・支部総会や運営委員会、青空健康チェックなどで、いろいろなご意見、ご希望を伺います。ご希望を参考に支部企画を計画、実行しました。結果、幅広い分野で開催できたこと。参加者が増えたこと。特に初めて（久しぶり）の参加者が増えました。ご意見が反映されるので、意見交歓が活発に交わされ出しました。
- ・計画的な支部企画の実戦ということでは行事当日に次回企画のお知らせを行いました。運営委員会では早めに日程・場所を抑えてお知らせしないとイケないので大変ですが、内容や準備についてじっくり話し合えます。また参加される方たちも早めにわかっているので、お友達を誘って来てくれたりもしました。2023年度はいろいろな活動を通して、笑顔が溢れました。ささえあい、つながりあえました。そして健康づくりの生協をアピールできたかと思います。

<b>所属している組織の概要</b>	
活動地域は、愛媛県新居浜市。活動地域の人口は約12万人。所属する共同組織の人数は約1458人。	
TEL 090-8600-1207	メール kawahara@ehime-med.org

演題番号 6-4-6

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
兵庫	たじま医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ハルキ ケイスケ 春木 圭介	本部職員	第6分科会

<b>発表テーマ</b>
組合員と職員の交流班会「料理研究会」

内容（発言要旨）

2023年2月に発足した班会、「料理研究会」は、たじま医療生協本部職員3人が中心となって活動しています。2カ月に1回、7～8人が参加して、地域のコミュニティセンターで調理実習を行っています。これまでにそば打ちをしたり、お菓子・餃子やカレーなどを作ったりしました。毎回お土産付きということもあってか、参加者には大変好評で、何度も参加される方もあります。

<b>所属している組織の概要</b>	
活動地域は兵庫県北部の但馬地域で、豊岡市、朝来市、養父市、香美町、新温泉町です。組合員は約4500人です。	
TEL 0796-24-7035	メール info@tajima-coop.com

演題番号 6-4-7

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	岡山医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ク ト セ 久戸瀬 圭典	健康まちづくりセンター 課長	第6分科会

<b>発表テーマ</b>
地域の団体と連携・協力に関する包括協定書を 結び商品の開発

内容（発言要旨）

2022年に岡山県立岡山東商業高校とおかやま信用金庫と地域の発展に寄与するべく連携と協力に関して協定を結びました。おかやま信用金庫様の「SDGsアワード」などに互いに参加していたこと、また、私どもの総合病院岡山協立病院に隣接する高校でもあったことから自然に「何か地域の為に・・・」とつながりが拡がりました。全く、異業種であることがかえって、発想の変化をもたらし、また、私たちの目標である地域とともに、ということも柔軟な対応に繋がりました。2023年度には、嚥下機能の低下した方でも安心して食べていただける「白桃水羊羹」を高校生のアイデアで共同開発しました。その経緯を紹介します。

演題番号 6-4-8

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	健康友の会ふくしま	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ツボイ アキト 坪井 明人	会長	第6分科会

<b>発表テーマ</b>
医療生協解散から健康友の会へ

内容（発言要旨）

旧福島医療生活協同組合は、2023年10月に公益財団法人淀川勤労者厚生協会（以下淀協）に事業譲渡し、2024年3月末に解散しました。

2021年の通常総代会では、他法人との合同合併を見据えた決議に始まり、2年以上もの時間を費やし、淀協との法人合同を目指して協議をすすめてきました。

解散に至るまでの経緯と「健康友の会ふくしま」として健康づくりへの取り組み、今後の目標など、報告します。

<b>所属している組織の概要</b>	
岡山県南東備地区を中心に6万人の組合員さんの参加があり、46支部の活動をサポートしています。その中で、一般企業、学校と共同で取り組みをした事例を紹介します。	
TEL 086-271-7880	メール soshiki@okayama-health.coop

<b>所属している組織の概要</b>	
大阪市福島区は大阪市内で最も小さな行政区ですが、高層ビル等、開発が進み新しい世帯の増加が目立ってきています。大都会と下町の両面のある地域で、富裕なファミリー層があっても、若年、高齢者単身世帯も多い地域で困難層も見受けられ、民医連医療の必要性を感じています。組織数は現在、約3000世帯。生協組合員から友の会へ振替活動中。	
TEL 06-6461-6822	メール soshiki-fukushima@yodokyo.or.jp

演題番号 6-4-9

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
福岡	千鳥橋病院	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
マツオ トシヒロ 松尾 俊宏	まちづくり企画室 課長	第6分科会

発表テーマ
まちづくり企画室 ～地域との関わり(初年度)～

内容(発言要旨)

2023年4月から「千鳥橋病院まちづくり企画室」ができました。一年間の特徴的な取り組みを報告します。まちづくり・共同組織委員会を10月度より定例開催し、職員が今まで以上に地域との関わりを増やすこと。また、共同組織との関わりを深めるために活動しています。

- 【小学校との関わり】
- ・夢を語るシリーズ①(7/14) 場所:千代小学校、対象:6年生
- 講師:研修医(沈昶) ～沈、母校に帰る～ テーマ「夢」
- ・夢を語るシリーズ②(1/25) 場所:東箱崎小学校、対象:6年生
- 講師:研修医(平井拓夢)「拓夢が夢を語る」
- ・夏休み宿題お助け塾(8/18) 場所:ちどりビル2階大会議室、対象:千代小学校 【職員と一緒にカレー作り!】
- ・冬休み宿題お助け塾(12/26) 場所:調理実習室、カレー作りをメインに開催 【本場のカレー体験!】
- ・「生命の誕生」産婦人科:大塚医師(2/29) 場所:東箱崎小学校、対象:5年生
- 【病院近隣での取り組み(若い世代にアタック)】
- ・親子で遊ぼう in 千代小学校(10月より毎月開催中)
- 体育館を貸切、日曜日の午前中に子どもが自由に遊ぶ&子育て世代の交流を目的【定例:24年5月より第④日曜】
- ・「子育て支援学習会」(3/2) 千代公民館との共催、対象:親(小・中学校)
- ・「今日は何作ろう!」～親子でナン作り体験～(4/20) 【本場のナンを焼いちゃった!～秘伝のラッシー編～】
- ・おまけ企画:「竹林で癒やされよう!～春はやっぱり、タケノコ掘りでしょ!～」

所属している組織の概要	
活動地域は、福岡県福岡市博多区近隣です。千鳥橋病院が中心となり、博多支部(会員3,148)、東区西支部(会員2,378)、中央支部(会員539)、城南支部(会員401)の4支部が活動しています(ふくおか健康友の会14支部[会員34,797])。千鳥橋病院の周辺には、小学校7校・中学校6校があり企画対象を若手に絞った取り組みを紹介します。	
TEL 092-651-1522	メール ts-matsuo@fid.jp

演題番号 6-4-10

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
東京	西都保健生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ウダガワ ノブコ 宇田川 展子	みその診療所事務・組織部(小平支部担当)	第6分科会

発表テーマ
地域との協働で誰ひとり取り残さないまちづくりを ～診療所職員と組織部員を兼任した活動の2年間を振り返る～

内容(発言要旨)

2022年4月より法人の組織編制の変更で組織部員が各地域の診療所医事課に配置された。私はそれまで診療所事務兼相談員だったが、加えて組織部員として診療所圏域の小平支部を担当することになった。月に8支部の運営委員会や地域に開かれた会などを通じ支部組合員と交流してきた。組合員との協働、診療所職員と組合員との橋渡し、多団体との連携、暮らしの保健室の常設化と手探りで進めてきた2年間の活動を振り返りたい。

地域に出て直接組合員や他団体とかわかることで信頼関係がつけられつつある。地域で困りごとを早期に相談されることが増えてきた。今後は、多様な人々ともゆるやかにつながれる窓口として「暮らしの保健室」に可能性を感じている。①気楽に話せる場から困りごとの早期発見・支援②医療生協ならではのイベント企画で地域へ貢献③保健室の常設会場である公民館利用の他団体との協働で若い担い手の発掘、組合員活動との協働へと結びつけたい。

所属している組織の概要	
西都保健生活協同組合は5市にまたぎ、17支部約13100名の組合員より成り立っている。小平支部は約3030名8支部、約60の班活動が行われている	
TEL 042-342-7270	メール misonososiki@gmail.com

演題番号 6-4-11

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
京都	公益社団法人京都保健会・ NPO ほけんかい	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
堀岡 真人、 田中 秀行	組織社保部	第6分科会

<b>発表テーマ</b>
12健康友の会で共同利用する「No プログラム、 無料クラウド会員システム」を稼働して3年の 到達と課題

内容（発言要旨）

12友の会の成り立ちや活動内容はそれぞれで、規模も1万数千から百未満まであり、会員の管理・把握方法も各友の会任せだった。主な友の会はDBソフトを単独PCで、しかしソフトが廃盤だったり設定が属人化していたり、小さな友の会はエクセル名簿や手書き名簿だったりした。また、会費管理もバラバラで、友の会課題は集約・交流していたが、実務を含め組上にすると標準化すべき課題が噴出して。また京都保健会として会員掌握出来ず「地域協同基金」は申告で運用せざるを得なかった。

課題を克服するシステムのテーマは①共通した友の会会員管理システム、②オンライン・分散システム、③持続可能性の担保、④現行会員管理の継続と標準化、⑤廉価・限りなく無料とした。そして友の会実務担当者を孤立させず集団化、スキルアップをめざした。

具体的には関連NPO法人がサイボウズ社のNPO応援ライセンスを2021年2月に取得、同年9月からwebサービスkintoneを利用した会員システムを立ち上げ、2023年12月にはほぼ全ての会員管理が移行・完了した。

<b>所属している組織の概要</b>	
京都保健会は府内広域に3病院12診療所、他に介護事業・看護学校を含め39事業所を運営する公益社団法人です。全事業所は12健康友の会と協力・共同し「健康で住み続けられるまちづくり」に邁進し当面3千増の3万会員をめざしています。	
TEL 090-7341-9486	メール horioka@kyoto-hokenkai.or.jp

## 第7分科会 第1会場

「民医連職員と共同組織が  
いっしょにすすめるとりくみ」

第一セントラルビル1号館 5F A会議室

演題番号 7-1-1

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岐阜	医療法人 岐阜勤労者医療協会 本部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ハヤカワ クニヒロ 早川 國弘	組織部 課長	第7分科会

発表テーマ
共同組織（岐阜健康友の会）と取り組んだ地域訪問行動の結果と今後の課題

内容（発言要旨）

「共同組織とともにやる地域訪問は、職員が地域での事業所の役割を確信できる学びの場」（第45期全日本民医連第3回評議員会文書）。昨年度から取り組んだ、地域訪問行動の結果（寄せられたご意見や参加者の感想など）と今後の課題について紹介します。訪問行動の概要は、合計653件の友の会会員宅を、55人、延117人（職員96人、共同組織21人）で実施。対面は350件、54%。訪問行動のねらいとポイントは、以下の5点でした。①2か月に一度・年間6回、機関紙の手配りと日頃の友の会活動へのご協力に対して感謝の気持ちを伝える機会。②「困り事アンケート」（2021年10月実施）の結果概要をお伝えし、みどり病院・友の会・行政へのご意見を聞かせていただく機会。③新みどり病院の建設基金や民医連が取り組んでいる全国署名と、すでにご協力を頂いている方には、お知り合いの方に広げて頂くことをお願いする機会。④10月行動の13日間は、「みどり健康まつり」を紹介する機会。⑤配布物は、困りごとアンケート結果概要、新病院・友の会案内、介護ウェブ・看護アクション・保険証なくさないで署名、看護師等求人募集、「健康まつり」チラシなど。

今後の課題 訪問行動は、私たち職員と共同組織に「どんな医療と介護が求められているのか」「なんのために、誰のために」働くのか、友の会活動をするのかを体験するよい機会です。「機関紙」手配り会員（2024年3月現在3374人）宅に、1年かけて1回以上、対面訪問しましょう！

所属している組織の概要	
今回の訪問活動地域は、岐阜県岐阜市（みどり病院周辺地域：芥見東、芥見南、芥見、岩、藍川）、人口は約2万5千人・11,700世帯。共同組織（岐阜健康友の会）の人数は3,150人。	
TEL 058-244-3522	メール k-hayakawa@gifu-min.gr.jp

演題番号 7-1-2

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
京都	京都東健康友の会洛北ブロック 洛北健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
マツモト ジュンコ 松本 淳子	副会長	第7分科会

発表テーマ
職員ととりくむ地域訪問活動

内容（発言要旨）

2024年4月法人内の4つの共同組織が1つに統合されました。これを機に今までの洛北診療所友の会から洛北健康友の会に名称変更をしました。診療所の枠内に収まるのではなく、診療所の冠を外して洛北地域全体を視野に入れ、地域の健康作りに積極的に関わって行くためです。コロナ禍で地域訪問ができていませんでしたが、まずは会員の方々の生の声を聞くことからスタートしようと、職員と共に地域訪問行動を開始しました。聞こえてくるのは、バス路線変更による生活支障、エアコン故障による熱中症不安、エレベーターが無いためデイサービスに通えない生活環境問題、診療所への苦情や要望など。地域の困ったを少しでも解決できるよう取り組んでいます。

所属している組織の概要	
活動地域は京都市左京区の北部。1中学校区・4小学校区に跨り、人口は約35,000人と広域。共同組織の人数は約1,050人。	
TEL 080-3132-2593	メール jijjunko-matsu@ezweb.ne.jp

演題番号 7-1-3

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
鳥根	ひかわ医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
フカツ 深津 孝雄、 ヤマダ 山田 美信	伊波野支部 支部長 出西支部 支部長	第7分科会

発表テーマ
地域と職員で取り組んだ「まめなか訪問」を振り返って

内容（発言要旨）

3年前より、地域の運営委員と職員とで、夏の暑いときは熱中症予防訪問、生協強化月間には、「まめなか訪問」の地域訪問に取り組んでいます。

「まめなか」とは、出雲地方の方言で「元気ですか?」という意味があります。

地域では高齢化がすすみ、空き家も増えてきています。コロナの影響もあり、昔からのお茶事も出来ず、ご近所での交流も減って、案じていても尋ねにくい状態でした。職員との訪問によって、「生協です」「まめなかね」「お困りごとはないですか」と見守る訪問のきっかけとなりました。

困りごとは無いのが一番ですが、言えないこともあるかもしれません。毎年声をかけることで、困ったときに相談できる生協になりたいと継続しています。

職員は、時間に追われていますが、訪問時間への配慮や、心得など、地域からの進言があり、地域マナーを取入れて取り組んできました。

所属している組織の概要	
ひかわ医療生活協同組合は、鳥根県東部の田園地帯にあります。人口は約3万人、高齢化率は29%です。組合員数は8337人。当法人は来年で50周年を迎えます。医療療養病棟120床と外来、居宅介護支援事業所や訪問看護など、11の介護事業サービスに取り組み、地域の健康づくりとまちづくりに取り組んでいます。	
TEL 0853-72-4577	メール chikatu@hikawa-hp.com

演題番号 7-1-4

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
東京	八王子・たま健康友の会 八王子西部支部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ナカムラ 中村 良平	八王子西部支部副支部長	第7分科会

発表テーマ
「職員と力をあわせ発展した20年余の地域活動」

内容（発言要旨）

①2001年介護保険の実施にあたり「介護保険って何だろう」八診職員に聞いてみようと学習会、同時に個人宅で始めた食事が大好評で、地域の市民センターで川口班お食事会としてスタート。2020年まで192回まで開催、突然の新型コロナ禍で3年間中断。2023年5月より食事なしで再開、今年3月に200回を迎える。②川口班食事会の運営は7～8人、講師は民医連関係が圧倒的に多く協力してくれた。診療所、歯科、薬局、健生会、介護法人からなど、90回職員が講師を務める。他に地域包括支援センター、福祉施設、郷土史研究家、市民団体、菓子店、電気店など地域との共同も広がる。③この間の主な出来事 2009年NPO法人かっちゃんの家開設とその後社会福祉法人認可。2014年友の会八王子支部から独立し八王子西部支部の発足。当初402人から520人の支部へ、発足時には全会員訪問、「いつでも元気」3ポスト38部から、7ポスト60部へ。「健康のひろば」手配り率は96%。支部センター「ほっとホット川口」を開設。農業クラブやハイキング、カラオケなどのサークル、憲法9条の会、自然を守る会などにも関わる。健康チェックや地域のコミュニティセンターまつりの参加など職員とともに地域に根付いた活動をしています。

所属している組織の概要	
東京都八王子市に3つの支部があり、その一つ八王子西部支部の会員数は、520人。川口班の主な活動地域は2町、人口は15000人	
TEL 090-4954-7251	メール hachi-tama@t-kenseikai.jp

演題番号 7-1-5

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
東京	東京保健生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
カトリ ミエコ 香取 三恵子	さくら通り支部 支部長	第7分科会

発表テーマ
ゆたかなつながりをはぐくむフードバンク

内容（発言要旨）

コロナ禍をきっかけに、3年間生活に困窮する人々への食料支援に取り組んできました。この3年間で約3,500人に食料を配布しました。開催情報が困った人へ届くよう、組合員のネットワーク、大泉生協病院、公的機関で告知しました。現在予約制ですが、緊急対応も行っています。スタッフは医療生協の組合員が協力し、のべ50名以上が参加しました。スタッフにより地域の農家やパン屋、社会福祉協議会、購買生協ともつながりました。また、今まで支部活動だけだった組合員が班会に参加したり、機関紙の配達に協力する人も増えました。また大泉生協病院との新たな協同も始まり、フードバンク開催時に院内社保委員会が中心となり、医師や看護師等が健康チェックを行っています。フードバンクの参加者は食料をもらうだけでなく健康相談や生活相談もでき、支援するスタッフも参加することで地域とつながる機会にもなり、お互いに有意義な活動になっています。

演題番号 7-1-6

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
三重	みえ医療福祉生協	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
フルノ シンペイ 古野 真平	組合員活動部	第7分科会

発表テーマ
うふふ交流会—職員が組合活動に触れ、組合員さんが事業活動に触れる、楽しみながら互いを知る取り組み—

内容（発言要旨）

コロナ感染症で人の交流が制限されるようになり4年ほどが経過しました。その間、職員が班会などの組合員活動に参加できず、互いの顔や活動を知る機会が絶たれてしまいました。特にコロナ感染症の流行後に入職した職員は共同組織の事業所に入ったということを実感する機会が失われていました。4年という月日は長く職員、組合員さん共に人の入れ替わりも少なくありませんでした。この課題に対して共同組織、班会運営の中核となる組合員さん共に問題意識を持っていました。そこで2024年3月に「職員と組合員が楽しみながらお互いの取り組みを知る」をテーマにしたイベント企画「うふふ交流会」を開催しました。コロナ感染症流行後初の大規模な職員と組合員さんの交流会の様子をお伝えします。

所属している組織の概要	
東京保健生活協同組合の概要(2024年3月31日時点) 組合員数：45,470人 出資金総額：19億円 協議会数：6（文京区・練馬区・豊島区・新宿区・台東区・中央区） 班会数：156班 開催数：3,346回	
TEL 090-2735-3993	メール m.katori.312@gmail.com

所属している組織の概要	
活動地域は、三重県四日市市。活動地域の人口は約30万人。四日市地域の組合員数は約4500人。組合員数は全県で約38,000人	
TEL 059-330-0808	メール y-kumikatu@y-medico.com

演題番号 7-1-7

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
山梨	甲府健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ハイマツ 生松 みち子	幹事・事務局長	第7分科会

発表テーマ
コロナ禍に負けない友の会活動を追求して…… 職員とともに取り組んだ仲間ふやし月間、目標を達成した経験

内容（発言要旨）

甲府健康友の会では死亡や施設入所などで入会者数より退会者数が2倍の速度で増え続け、10年間で2,000人の会員が減っています。コロナ禍でも食料支援や相談会、野外での体操教室と活動をしてきましたが、最初の4年間は会員を増やせませんでした。2023年度の仲間ふやし月間は目標を115世帯に設定し、スタート集会では4支部ごと会員と職員が交流する時間を初めて設け、自己紹介や地域の課題を話し合い意思統一を行いました。10～12月の月間中は毎朝診療所の待合いで職員と会員がチームを組み患者さん一人ひとりと対話して友の会の周知活動した結果、十数年ぶりに月間目標クリアの118世帯増（前年度は47世帯）となり、月間後も毎月17日を「いな友の会の日」として診療所での周知活動は続け、昨年度は年間272世帯増となる大快挙となりました。職員とともに友の会の良さを伝え続けて会員を増やしてきた経験を報告します。

所属している組織の概要	
活動地域は、山梨県甲府市。活動地域の人口は約18万人(世帯約93,000)。所属する組織は約6,200世帯。甲府共立病院等民医連事業所と共に「安心して住み続けられるまちづくり」を目指し活動しています。	
TEL 005-221-8725	メール 11-soshikik@s.yamanashi-min.jp

演題番号 7-1-8

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
沖縄	沖縄協同病院	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
タマシロ 玉城 ヨシヤ 義也	医局事務課・課長	第7分科会

発表テーマ
沖縄協同病院 組織活動委員会の活動報告

内容（発言要旨）

【2023年度の委員会の目的】

コロナ禍3年を経て、組合員さんとのかわりを持つ機会がないまま、組織活動を知らない職員が増えてきている現状。毎月の委員会には、毎月違う職員が参加してくるので、班会活動、組合員増やしや増資の取組、まちかど健康チェック、健康まつり、などを説明し意見交換を行った。多くの職員が参加することによって、医療生協・民医連を知らない職員が一人でも減ることを目指した。

【活動内容】

1. 医療生協について学ぶ・・・組合員さんと一緒に作る病院である。いままでの歴史を知る。
2. 医療生協の活動内容を学ぶ・・・健康まつり、まちかど健康チェック、強化月間。
3. 強化月間へのとりくみ・・・生協コーナー飾りつけ、ポスター周知など。
4. 班会について学ぶ・・・班会に参加し、体験する。

【今後の活動】

1. 楽しい組織活動委員会を開催したい。
2. 職員が班会の講師をしたり、班会に参加できる時間を増やしていきたい。
3. 組合員増やし、出資金増やしの新しい取り組み方法を考え、職員 全員 参加の活動にしていきたい。

所属している組織の概要	
沖縄県、那覇市、沖縄協同病院内で活動。委員会は12名くらい。事務局4名。	
TEL 098-853-1200	メール okikyo08@crocus.ocn.ne.jp

演題番号 7-1-9

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岐阜	高齢者施設をつくる会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ホリ 堀 セイコウ 誓光	会長	第7分科会

発表テーマ
高齢者施設をつくる会の25年間のあゆみと活動報告

内容（発言要旨）

高齢者施設をつくる会は、「みどり福祉会とともに、高齢者が安心して住み続けられるまちづくりをめざし施設建設と各施設の充実、及び活動を支援する。」と言う目的のもと、設立された組織です。現在2つの施設を有し、いずれの施設も、署名や寄付の盛大な活動の末、住民自らの手で設立され、岐阜県下では、「唯一無二」他にない施設です。

つくる会の年間の主な取り組みは、①6月総会 ②毎月事務局会 ③役員会（みどり福祉会からの報告とつくる会の議題の検討） ④事業所をきれいにする活動（植栽）ア. 各施設の草抜き剪定 イ. 鉢植え ウ. 大掃除 ⑤会員と楽しむ（新年会、お楽しみ会） ⑥地域とともに（映画会、お祭り、健康祭り） ⑦通信（あんきの風）や署名、会費案内などを会員郵送（5月・9月・12月）が主な活動です。

今回は、地域住民との繋がりを求める活動として、⑥映画会の取り組み：H16年から23年、④植栽の取り組みを重点に報告します。これらの活動を通して会員の拡大を図り、施設が地域住民を守り、また地域住民に守られる施設になるよう取り組んでいます。

所属している組織の概要	
1999年6月5日発足し、今年度で25年目 会員数は1,400名 高齢者施設をつくる会事務所は、岐阜県岐阜市北山1-15-25 現在長森地区にあんきの家細畑、北山地区にケアハウスささゆりの介護施設の建設に貢献してきた。	
TEL 058-244-1200	メール ankinoie@jupiter.ocn.ne.jp

演題番号 7-1-10

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
福岡	北九州健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
アカシ シゲノブ 明石 成喜	小倉西支部・支部長	第7分科会

発表テーマ
北九州市道路サポーターに登録して

内容（発言要旨）

北九州市がおこなっている「北九州市道路サポーター制度」に、北九州健康友の会小倉西支部が手を挙げ2022年11月15日認可されました。

わたしたちが登録をすすめたきっかけは、2022年6月の大手町病院利用委員会で、職員や友の会会員さんが、病院周辺で、ごみ回収や花壇の手入れをしていることについて話題になったことです。

活動は病院前にある「市が設置した道路わきの花壇」の手入れで、2023年1月からはじまりました。まず、花壇の手入れとして肥料などを土に馴染ませ、2週間後には春花のパンジーやなでしこの花苗450株を花壇一面に植えました。6月には、メランポジウム600株を植えました。夏には日差しを避け早朝や日が暮れてから毎日水を撒きましたが、酷暑のせいか一部が枯れてしまうという苦い経験もしましたが花壇一面咲きました。12月にはビオラやキンギョソウ、ノースポールなど600株を植えました。花壇の手入れ時に、近所の子ども連れ親子と会話になり、冬花の植栽を一緒にしようお誘いをし、当日は知り合いの親子も参加するなどいろんな世代のみなさんで取り組みました。

今後は、もっと多くの人たちに関りを持ってもらいたい、花の手入れをとおして環境を守ることの大切さが実感できる活動にしていくことが小さな目標です。

所属している組織の概要	
主な活動地域は、福岡県北九州市小倉北区の西部地域。活動地域の人口は約10万人。所属する共同組織の世帯数は約1万世帯。	
TEL 090-4586-4021	メール iwamoto@kenwakai.gr.jp

## 第7分科会 第2会場

「民医連職員と共同組織が  
いっしょにすすめるとりくみ」

第一セントラルビル1号館 5F B会議室

## 演題番号 7-2-1

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	健康友の会みみはら	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
エド ミチコ 江戸 道子	友の会会長・ ふくいずみ支部理事	第7分科会

## 発表テーマ

鳳クリニックの建て替えと支部で出来ること  
(コロナ禍を抜けて…)

## 内容 (発言要旨)

2025年4月に、待望の新鳳クリニックが完成予定です。今回の共同組織活動交流集会ではまだ完成した新クリニックを皆さんに見ていただけませんが、概要だけでも伝わればと思っています。

前回、山梨の時は、ウェブでしたが、新鳳クリニック建設運動(訪問行動)が動き出したところまで報告させていただきました。

今回は、私が所属する支部(ふくいずみ支部)における、この間の取り組み、また新鳳クリニック建設運動に携わって来たことを簡単ではありますが、報告したいと思います。

## 演題番号 7-2-2

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
熊本	水俣協立病院	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
アラカワ マミ 荒川 真美	総務課 課長	第7分科会

## 発表テーマ

職員、友の会みなでリニューアルを成功させよう！

## 内容 (発言要旨)

水俣病に苦しむ患者さんたちの「安心してかかれる、自分たちの病院が欲しい」そんな要求から、1974年水俣診療所が誕生、4年後には現在の水俣協立病院へ。8人で始めた診療所から、協立クリニック、在宅総合ケアセンターを併設、従業員数160名超の現在の協立グループに発展しています。病院建設から46年、施設の老朽化が激しく、リニューアルを行うこととなりました。2019年からリニューアルの検討を開始し、2024年9月の着工、2026年3月オープンに向けて準備を進めています。友の会の皆さんにも説明会を開催、リニューアル後の医療構想について院長から説明、友の会のみなさんから要望をお聞きしました。2024年1月には友の会のみなさんへ地域協同基金・寄付金の呼びかけを開始。「いつもお世話になっているから、少しだけ病院建設に役立てて」と診察時に渡してくださる方、「使う予定がないので病院建設の協同基金で預かって」そんな声をたくさん聞き、これまで患者さんたちと闘ってきた歴史、地域のみなさんから期待されていることを実感し、胸が熱くなる思いです。今回の友の会強化月間では班会をたくさん開き、地域のみなさんへリニューアルの話がたくさんすることにしています。新病院には友の会の皆さんが気軽に立ち寄り、お茶をするスペースも計画中です。友の会の皆さんと一緒にリニューアルを成功させます。

## 所属している組織の概要

大阪府堺市にある社会医療法人同仁会を中心とする「みみはらグループ」の一員として活動。活動地域は、堺市を中心に隣接の高石市、和泉市を含め26支部。所属する共同組織の人数は23年度末時点で、41,010世帯94,111人。

TEL

メール

## 所属している組織の概要

みなまた健康友の会は熊本県水俣市、鹿児島県との県境に位置します。人口はおよそ23,000人、高齢化率40.9%と過疎化と高齢化が進んでいます。会員数は3859名、「安心して住み続けられるまちづくり」をすすめています。

TEL 0966-63-1823

メール arakawa@mk-kyouritu.com

演題番号 7-2-3

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
兵庫	姫路医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ハラ ノリコ 原 典子	地域サービス部員	第7分科会

発表テーマ
姫路医療生協グランプリ 強化月間杯を開催して

内容（発言要旨）

姫路医療生協では、2023年12月に新公立病院をオープンしました。

新病院オープンにむけ、2023年度 秋の生協強化月間では例年に増して組合員加入と増資に取り組もう！と春頃から論議を始めました。

そんな中、ある理事さんから

「組合員も職員も毎年『増やせ！増やせ!!』だけではしんどくなってしまって、月間を楽しめてないんじゃない？」

「取り組む側が楽しめないと、加入や増資につながらないのでは？」と意見が出されました。

そこで、地域活動推進部会で私たち組合員や職員が楽しんで取り組める企画を考えようと協議し、生協強化月間に頑張った支部や事業所へささやかなプレゼント（チョコレート）を用意することにしました。

プレゼント企画のネーミングは『姫路医療生協グランプリ 強化月間杯』とし、上位の5支部と5事業所にそれぞれ1万円分の賞品と賞状を送ることにしました。

審査基準は以下3です。

- ①加入・増資の設定目標を達成できたか
- ②特徴のある活動・取り組みができたか
- ③地域サービス部へ活動報告できたか

結果として、秋の生協強化月間の目標（法人年間目標の8割）は達成できませんでしたが、「目標にこだわって取り組むことができた」「活動報告を忘れず、意識できた」「いつもと違う生協強化月間になった」などの感想が寄せられました。自分達が楽しむことを忘れず、これからも組合員ふやしや出資金ふやしに取り組もうと思えた強化月間となりました。

所属している組織の概要	
活動地域は、兵庫県姫路市を中心に西播地方の7市6町。活動地域の人口は約1050000人。所属する共同組織の人数は約18000人。	
TEL 079-285-3399	メール sosiki@himeji-mcoop.or.jp

演題番号 7-2-4

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	はなぞの生協診療所	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
マエカワ ケイジ 前川 哲	理事	第7分科会

発表テーマ
新診療所建て替え運動

内容（発言要旨）

はなぞの生協診療所は地域で27年間事業していた病院を買収し、2009年2月に開設しました。地域の中でいのちと健康を守るとりどとして15年が経過しました。建物は建築後43年目を迎え老朽化が進み、事業運用・建設耐震化に大きな負担がかかっており、建設費用約8億円、1億円の出資金目標を2022年4月～2024年3月まで27回の訪問行動、1796軒の対話をし、出資金目標1億円を達成し、2024年7月1日に開所しました。

所属している組織の概要	
定款地域は東大阪市、八尾市、柏原市、大東市、四條畷市並びに大阪府下全域。組合員数は180,686人 出資金は4,095,307,000円（2024年3月31日時点）	
TEL 090-4307-5359	メール m-ushiro@coop-osaka.or.jp 後統括課長

演題番号 7-2-5

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
東京	三多摩健康友の会、健生会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
イノウエ タダオ 井上 忠男	副会長・武蔵村山支部長、 社会医療法人社団健生会 常務理事	第7分科会

発表テーマ
診療所の新築・移転、圏域の事業所と友の会による「圏域交流会」を力に「仲間ふやし」に成功している具体的な取り組み

内容（発言要旨）

①住民団体による誘致運動によって民商会館の1階と3階に借家してオープンした伊奈平診療所は、日産自動車の撤退によって下請け企業の減少など患者数で経営が困難になった。伊奈平診療所の新築・移転のため「建設検討委員会」で用地探し、建設費用の確保と経営安定のため、健康友の会の会員を888人から1,800人に拡大するための健生会職員と友の会の共同行動の経験。患者さんの送迎、健康友の会の役員、4つのブロックの活動、会員へのニュースの配達網の整備など実態を報告します。②診療所、訪問看護ステーション、ヘルパーステーションコスモス村山、えのき薬局と健康友の会が協力し、お互いの事業を理解し協力する「圏域交流会」を開催。「仲間ふやし」や「高齢会員訪問」などの共同行動で大きな成果をあげている。その結果4つの事業所が黒字経営の実態を報告します。③具体的な事実をパワーポイントで明らかにします

所属している組織の概要	
社会医療法人社団健生会が運営する大南ファミリークリニック（東京都武蔵村山市）の共同組織・三多摩健康友の会武蔵村山支部は会員数1,782人（4月1日現在）。三多摩健康友の会は、11支部・約25,000人の会員。	
TEL 090-1616-2873	メール tadao5919@outlook.jp

演題番号 7-2-6

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岐阜	岐阜健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
オオツカ ケンジ 大塚 研二	会長	第7分科会

発表テーマ
新病院建設運動と健康友の会の役割

内容（発言要旨）

2020年に新病院（岐阜民医連のセンター病院であるみどり病院のリニューアル）建設の準備を始めてから、健康友の会が取り組んできたことの報告。2024年3月の岐阜民医連学術運動交流集会での発表にその後の経過を加えました。  
①地域で輝く共同組織をめざして一新みどり病院の建設運動は一人でも多くの人に民医連の活動をしてもらう絶好の機会、民医連の施設の発展は安心して住み続けられるまちづくりをめざす私たちの願い  
②新病院建設委員会に加わる一動医協基金の目標、地域での説明会、懇談会を進める、推進ニュース「希望と笑顔」の発行—2020.8.25の第1号から2024.3.25のだい43号まで  
③新病院のコンセプトは「地域にひらかれた、みんなにやさしい病院」  
④継続的に新病院建設のための活動の呼びかけ—機関誌「健康とくらし」（隔月発行）と公式LINE  
⑤意見や要望を集める—待合室に要望を書くカードを置く。塗り絵企画、「新病院へ夢と希望のメッセージ」を添える。タイルアート、多治見のタイルで「鮎の遡上」  
⑥職員との共同の取り組みの進展—説明会、訪問活動、ポステイング、署名・宣伝  
⑦健康友の会の活動の広がり—岐阜県の共同組織全体の活動に。楽しく繋がり輪を広げる活動の前進。モルック大会と健康チャレンジ。会員、「いつでも元気」読者、基金協力者を増やす  
⑧タイルアートの除幕式と新病院の内覧会  
⑨これからの課題—基金の目標達成をめざす。歯科外来開設に向けての活動。訪問活動を進め、支部の活動の活性化をはかる。全日本民医連共同組織活動交流集会へ。

所属している組織の概要	
活動地域 岐阜市、各務原市、関市 健康友の会会員 10,961人	
TEL 080-2649-6469	メール kenji-dragons@na.commufa.jp

演題番号 7-2-7

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岐阜	みどり病院	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ナカオ ミエ 中尾 美絵	事務長	第7分科会

発表テーマ
地域にひらかれたみんなにやさしい病院

内容（発言要旨）

2024年5月1日に開設した新病院建設運動とその後の予算達成は、地域の期待も含め、法人全体の過去最大ミッションの一つです。職員、地域の人々と創意工夫して対応していく仕組みづくり、仕掛けが重要です。

「いつもの」共同組織の方だけとつながるのではなく、「新病院建設」をきっかけに、診療圏内や受診されるすべての方とつながることを目標にしました。

職場では新型コロナウイルス対応も継続してましたので、職員に向けて活動の意義を事前に研修や各ラインを通じて説明・学習を繰り返し実施しました。感染対策を十分実施し、感染状況に合わせた活動しました。

活動事例として、職員と共同組織の方がペアで行うポスティングや地域訪問、病院玄関前署名や新型コロナワクチン接種時の建設協力基金依頼のほか、スポットイベントとして、「新病院外壁デザインシール投票」、「健康フェスタ」、「子ども向け動画班会」、「いつでも元気読者会」、「健康まつり」などを開催しました。

所属している組織の概要	
活動地域は、岐阜県岐阜市東部。活動地域の人口は約25,000人。所属する共同組織の人数は約4,000人。	
TEL 058-241-0681	メール mknakao@gifu-min.gr.jp

演題番号 7-2-8

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	茨木診療所	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
フジノ トシヒロ 藤野 俊弘	非常勤職員	第7分科会

発表テーマ
大阪・茨木診療所の建設運動に取り組んで（約2年間の足跡）

内容（発言要旨）

一昨年の5月から、「茨木診療所建設委員会」を立ち上げて取り組んできました。新診療所が「地域住民の拠りどころ」や「気軽に寄れる診療所」が実現できるようにと約半年間かけて、30数回の図面の書き換えで屈指の図面（3階建）が、同年の11月に基本設計が出来上がりました。工事期間中は地域友の会会員さん宅や患者さん宅を中心に法人上げて、地域訪問行動を延べで五回ほど取り組み、工事の進捗状況や地域協同基金を訴える活動などを精力的に取り組みました。また、約2年間の工事期間中では、日本の三大儀式と言われていきます「地鎮祭」「上棟式（餅投げ）」「竣工式」をはじめ、タウンミーティング三回の実施や更地での「ふれあいサツキまつり」や「工事中的見学会」などの企画にも、職員・友の会の皆さんと一丸になって取り組みました。また、報告時間が許されれば、今年11月には、大阪で初めての「九条の碑」建立『茨木に九条の碑を建てよう会』の活動報告もします。

所属している組織の概要	
大阪府茨木市。人口は285,729人(2024.3.31現在)。所属する共同組織の会員世帯数は2,609世帯(2024.3.31現在)。	
TEL 072-665-5927	メール fujino-toshihiro@yodokyo.or.jp

演題番号 7-2-9

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
東京	社会医療法人社団健生会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
アリゾノ 有菌 オトシ 聡	法人事務局介護事業部 介護事業部長	第7分科会

<b>発表テーマ</b>
『健生会グループ立川圏域在宅医療介護3法人・健康友の会連携会議』の歩み：医療介護福祉の複合体の強みと共同組織との連携を活かした安心して住み続けられる街づくり。

### 内容（発言要旨）

当法人では「7次長期経営計画」の中で「健生会グループがめざす生活モデルに基づく伴走型支援・まちづくり・無差別平等の地域包括ケア」。『ビジョン2025』の中では「3法人の一体的な協働で、質の高い伴走型の地域包括ケアチームを作り、訪問診療2000件を目指す」という目標を立てています。これらを、まずは本部のある立川圏域から地に足の着いた物にすべく『健生会G立川圏域在宅医療介護3法人・健康友の会連携会議』という連携強化の為の話し合いの場を立ち上げました。立川圏域には2病院／3医科診療所／2訪問看護／1歯科／G法人の薬局／介護事業所があり、それぞれが最善の努力で、民医連活動を通じたまちづくりを実践してきました。ただ、横のつながりとして見た場合には様々な課題があります。見え方は立ち位置によって様々で、ACPという一つの課題にしても、病院と診療所、医療と介護では視点が違います。そんな色々な課題を各事業所と友の会役員が顔を合わせ（WEBですが）率直に意見交換する。訪問診療の支援チームの連携を強化する事で結果として伴走型支援の民医連らしいACP・まちづくりを目指しています。そんな会議の歩みを報告したいと思っています。

<b>所属している組織の概要</b>	
東京都三多摩地域で3病院／13医科診療所／9訪問看護ステーション／2歯科診療所／2地域包括支援センター／4居宅介護事業所／1病児・病後児保育所／1歯科技工所の運営。2つの共同組織(15支部)会員数は約3万人。	
TEL 042-523-2375	メール arizono@t-kenseikai.jp

## 第7分科会 第3会場

「民医連職員と共同組織が  
いっしょにすすめるとりくみ」

第一セントラルビル1号館 5FD会議室

演題番号 7-3-1

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	林道倫精神科神経科病院	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ナカガワ トシヒコ 中川 俊彦	医局事務課	第7分科会

発表テーマ
研修の中に当事者、家族との関わりを取り入れて

内容（発言要旨）

当院は、中四国の様々な病院から初期研修医の精神科研修受入を行っています。また医学生の受入も積極的に行っています。

その中で、当法人の「林友の会」の活動に参加してもらうようにしています。（当事者会、家族会のどちらか）

また、当院は当事者の方たちの地域での暮らしを支えるところにも力を入れており、その現場も必ず見てもらい、当事者との関わりをしてもらうようにしています。

今回、そういったプログラムを行ってきたの振り返りを、参加者、そして受け入れ側の感想なども交えて報告したいと思います。

初期研修：医学部卒業後2年間様々な科を回る研修

所属している組織の概要	
研修担当、医学生担当として活動しています。	
TEL 086-272-8811	メール hama472@po.harenet.ne.jp

演題番号 7-3-2

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
山梨	石和共立病院	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
イトウ キミカ 伊東 仁香	小児リハ室 室長	第7分科会

発表テーマ
小児リハビリからつながる 友の会活動と仲間づくり

内容（発言要旨）

私たちの職場では、拡大月間の取り組みとして、通院児の保護者の方に広く友の会の活動を宣伝するために「拡大班会を開催すること」を計画実施しました。班会のテーマとして、①「障がいがある子の、親なき後対策・相続対策」②「ことばをはぐくむ～ことばの土台をしっかりと～」③「就学に向けての準備」の3つを開催しました。3回の班会を通して、8名ほどの会員拡大に繋がりました。

2020年に始まったコロナ禍の影響で、集合して行う班会ができなくなり、それまで行っていた多くの班会が開催できずもどかしい思いをしてきました。当室に通院する子どもたちは、人との関わりや社会性の力を伸ばしたい子どもさんが多く、班会活動の中でその力を育ててきた面も大きいです。また、親御さん達も、同じような子育ての悩みや、経験談を共有する事で、子どもの捉え方や関わり方を学ぶ事ができる班会に参加してもらってきました。2023年5月 コロナが5類に移行押したことで、少しずつ対面で集合しての活動が再開できるようになりました。

友の会員になってもらうことで、子どもへの関わりを学ぶ事ができ、最近の子育て事情を知ることができ、人と人との繋がりを作っていく班会に参加するのは会員さんへの大きなメリットです。そのために、私たち職員は班会を継続し、リハで知り合った子ども同士やお母さん方の交流の場・学びの場としての班会活動に取り組んでいきます。さらに子ども達の生活環境や地域作り、制度についても考えていかれる仲間作りにつなげていきたいと思っています。

所属している組織の概要	
石和共立病院は山梨県笛吹市石和町にある病床数99床の病院です。 峡東健康友の会は会員数約1500世帯（2024年3月末現在）の組織です。	
TEL 055-263-3131 (内線9338)	メール k-itou@s.yamanashi-min.jp

演題番号 7-3-3

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
青森	株式会社ファルマ	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
鈴木 健仁	課長	第7分科会

発表テーマ
出張出前講座

内容（発言要旨）

・株式会社ファルマでは、「在宅訪問について」「お薬の飲み方について」「サプリメント・健康食品について」「認知症など病気について」「お薬代について」「健康体操」等もっと詳しく知りたいという方の為に、お薬については薬剤師が、制度等については事務職員が講師として出張する活動を行っています。

・2014年度から始まり、依頼件数は年々増加（2014年度13件280人→2023年度37件686人）、津軽保健生協支部の班会以外からの依頼も増加傾向にあり、薬剤師各々の活動からの繋がりや、健康教室に参加された方からの紹介、社会福祉協議会等、様々な団体からの依頼をうけています。

・参加者からの感想の中には、「普段聞けない事を相談できた」「今度、薬局に行ってみます」等、出前講座を行う事により、私たちの薬局はどういう薬局なのか、どのような薬剤師が働いているのかが身近に感じられるものとなっています。

・「かかりつけ薬局・薬剤師」「なんでも相談できる薬局」「地域に根ざした、必要とされる薬局」を目指して、まちづくりに貢献していきます。

所属している組織の概要	
株式会社ファルマ 利用者委員会	
TEL 0172-37-6016	メール phjimu3@jomon.ne.jp

演題番号 7-3-4

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	倉敷医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
佐藤 雅昭	コープリハビリテーション病院 リハビリテーション科 科長	第7分科会

発表テーマ
患者の家から地域が見える ～回復期リハ病棟の自宅訪問の実績～

内容（発言要旨）

【様々な複合ニーズにチームで対応】 当院では、脳卒中や骨折後の患者が回復期リハ目的で入院されます。最近では、入院患者は心不全や糖尿病などの複合疾病、生活環境や経済力など、複合的な課題を抱えています。患者が望む場所で生活するためには、多職種の協力が必要であり、課題の解決は容易ではありません。

【入院早期の自宅訪問で課題を具体的に】 そこで、我々は入院早期（1-2週間）に本人も同伴して自宅を訪問し、本人の大切にしていることや日頃の過ごし方、ご家族の受け止めなど、入院中の課題解決に役立つ情報を収集します。その情報を多職種回診で報告し、共有します。

【全国との実績比較】 2022年には284件、2023年には330件の自宅訪問が行われました。入院中の自宅でのリハビリテーション率（入院時訪問加算算定率）は全国平均2%（2022年）を大幅に上回る46.7%でした。

【まとめ】 限られた入院期間で、患者が満足できる生活を提供するために、関係職種も巻き込んだ在宅支援を行い、再び自宅での生活を目指します。自宅訪問はその課題解決の一環であり、今後も継続して実践していきます。

所属している組織の概要	
活動地域は、岡山県倉敷市水島。活動地域の人口は約47万人。所属する共同組織（コープリハビリテーション病院・老健あかね）の職員数は250人。	
TEL 086-444-3212	メール post@coopreha.jp

演題番号 7-3-5

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
東京	社会医療法人社団健生会 けんせい歯科	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ヤマワキ 山脇 ハルカ 春香	事務長	第7分科会

発表テーマ
孤立死事例を通して

内容（発言要旨）

【はじめに】

2020年4月～2023年12月の間、警察より5件もの遺体照合依頼があった。何かできる事があったのではないかと考え事例をまとめた。

【考察】

5事例とも行政にサポートされていたが孤立死に至り死後数日から数週間放置された状態で発見された。友の会や社保活動であるニュース配布での地域見守りや班会・健康講座・サークルや対市交渉等を通じ必要なサービスを受けられていない人たちのサポートを続けているが、コミュニティに参加しづらい人たちが一定数おり、孤立死等の事例がなくなることはないのが現状である。

【まとめ】

医療現場では患者のSOSに触れるタイミングが度々あるがその核心にあるものは分かりづらく見落とししやすい。その声に気づき多職種・地域の方と連携することが出来れば、わずかかもしれないが助けになることが出来るのではないかな。日常的にこういった事例を雑談のように職場内で共有し興味を持つ職員が育つ職場づくりを大切にしていきたい。

所属している組織の概要	
八王子たま友の会：東京都八王子市は人口57万人の中核市。その八王子市を中心に近隣の多摩市や町田市にも支部や班があり、総勢5,200名の共同組織。	
TEL 0742-24-7332	メール nakajimajun@okatanikai.jp

演題番号 7-3-6

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
奈良	健康まちづくり推進部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ナカジマ 中嶋 ジュンジ 潤二	事務局長	第7分科会

発表テーマ
事業所のない地域で居場所づくり、様々な職種の職員が講師となって健康講座開催。

内容（発言要旨）

6年前に都南支部「ふれあい広場・げんき亭」が誕生しました。もともと、おかたに病院地域の春日支部約6000世帯となら健康友の会の中でも一番大きい支部でしたので二つの支部に分ける方針が提起され都南支部が結成されました。事業所のない地域での居場所の確保が実現しました。この3年間、コロナ禍で休止の連続でしたが他の支部の様に診療所建屋の中での活動ではないので比較的、行事やサークル等が開催しやすい状況でもありました。サークルには、「うたごえ」「指編み」「健康体操」「編み物」「映画鑑賞会」「麻雀」そして「健康講座」があります。健康講座は、おかたに病院グループ（病院、さくら診療所・門前診療所、しあわせ薬局済美店・調剤薬局）職員と協力して取り組む事が出来ました。健康講座は隔月で開催しています。職種別では、医師・看護師は勿論、薬剤師・歯科衛生士・検査技師・管理栄養士・ケアマネジャー・理学療法士等のセラピストを講師に招き各テーマに沿って講義を進めています。病院・診療所や事業所では、ゆっくり会話出来ませんが健康講座では、地域の皆さんとの交流もあり会話のやり取りも楽しく出来ます。地域の皆さんは、様々なテーマで何時も楽しみにされ、講師として参加した職員からは、地域に出る事、地域のみなさんとふれあう事の大切さを実感したとの感想もあります。発表では、テーマ毎の講座の様子をPPで紹介します。

所属している組織の概要	
活動地域は、奈良県奈良市都南校区。活動地域の世帯数は約5400世帯。所属する共同組織の世帯数は約1500世帯。	
TEL 0742-64-9026	メール kohigashi.692@okatanikai.jp

演題番号 7-3-7

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
東京	三多摩健康友の会 立川支部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
サトウ 佐藤 まさ代	立川支部事務局長	第7分科会

発表テーマ
マフ作りを通じた立川相互病院看護部との共同の取り組み

内容（発言要旨）

2022年秋、急性期病院である立川相互病院から友の会に「認知症マフ」を作ってもらえないかという相談がありました。認知症専門領域の看護に導入したいということでした。これまでも病院との共同の取り組みはありますが看護部からの特殊な依頼は初めてのことで友の会役員会でプレゼンテーションをうけ取り組むことにしました。会報である「きずな」に「マフ作り」協力を常時掲載しお願いしてきました。沢山なので自分で持ってこれずタクシーで、家族にお願いして自家用車で、何度にも分けて届けられる方々。編み手は心配に及ばず、途絶えることなく広がっていきました。

今春4月までに病院に届けたマフは170枚、協力者は50人を超えています。病院看護部からは友の会からのマフはとても念入りで面白い物が多くて楽しみだと期待されています。スタート時は認知症患者さんへのケアで始めたのですが今では点適時や睡眠時の手の保護等に活用されているそうです。色も形も様々なので患者さんを「マフコーナー」に連れていき患者さんに選んでもらっているとのこと。病院で患者さんや看護に役立つ話題を会報「きずな」に掲載し、共同の営みとして発展させていきたいと思っています。

所属している組織の概要	
立川市民18万人、友の会員7400人、圏域に急性期立川相互病院・ふれあい相互病院・ふれあいクリニック・相互歯科・子ども診療所をもつ。	
TEL 042-525-9393	メール syaho@tachisou.or.jp

演題番号 7-3-8

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	淀川勤労者厚生協会附属相川診療所・健康友の会あいかわ	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
イチカワ 市川 健一	組織担当課長	第7分科会

発表テーマ
新たな公害病「PFAS」について、共同組織とのとりくみ

内容（発言要旨）

発がん性などが指摘される化学物質 PFAS（有機フッ素化合物）これが現在、新たな公害として全国に広がっています。昨年11月に発足した「大阪 PFAS 汚染と健康を考える会」が大阪府下で血中濃度調査をおこない、大阪民医連の事業所を中心に49会場1193名の方から血液検査にご協力いただきました。相川診療所がある吹田市は全国一高濃度の PFOA が検出された摂津市に隣接しており、相川診療所でもこの PFAS の問題を、広く知らせていくために健康友の会と共同で、班会や学習会に旺盛にとりくみました。また、相川診療所では検査を受けた方を対象にフォロー外来もおこなっています。このとりくみの中で、見えてきた問題、そして、これからの課題について発表します。

所属している組織の概要	
大阪府吹田市の南部を中心に活動。会員数6619世帯、4支部、機関紙配布協力者135名、いつでも元気購読者122名（いずれも24.4未現在）	
TEL 090-1910-6511	メール ichikawa@aikawabyouin.com

演題番号 7-3-9

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
福島	社会福祉法人わたり福祉会 はなネット友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ヒラヤマ 平山 のぞみ	事務職員	第7分科会

発表テーマ
応えたい、届けたい ～友の会活動を通しての 地域とのつながり～

内容（発言要旨）

わたり福祉会の事業所は地域の声から生まれており、その建設寄附運動のつながりを継続し立ち上がったのがはなネット友の会である。主に学習講演会・年4回の会報発行・地域訪問・バス旅行・地域の会交流会を通して、会員同士の交流・職員との交流を図る機会と福祉の学び合いをおこなってきた。会員さんはいわば「わたり福祉会サポーター」である。

しかしコロナ禍において活動は足踏み状況に。そんな状況でも、会費を届けてくださったり激励のメッセージを寄せて下さる方々の想いを受けとり、“会員さん一人一人に届く活動をしたい！”と、できることを模索して取り組んだ。その中で福祉の最前線にいる現場の職員が地域に出っていくことの大切さや、地域訪問は職員が地域福祉を学べる場でもあること、会員さんが「応援したくなる私たち」であり続けることがもっとも大切な土台であることなど大切なことが見えてきた。

活動は目的ではなく、つながりの手段のひとつである。地域の中に私たちに想いを寄せてくださる方々がいるという強みを胸に、今後も活動を展開させていきたい。

所属している組織の概要	
活動地域は福島県福島市。会員数約1400人。事業所建設時寄付者、各事業所のある地域の住民の方、利用者家族、職員が主な会員内訳。幹事23名、事務局職員8名でおこなう幹事会と、事業所のある主な3つのエリアごとに地域の会を組織している。	
TEL 024-542-8755	メール honbu@watari.or.jp

演題番号 7-3-10

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	医療福祉生活協同組合おおさか ほくせつ地区	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
アズマ テツヤ 東 哲也	組合員活動部一般職員	第7分科会

発表テーマ
豊中診療所70周年記念文化行事

内容（発言要旨）

昨年度、豊中診療所が出来て70周年になったことを記念して、ほくせつ地区として嵐圭史氏主演の「赤ひげ」公演に取り組みました。はじめは医療福祉生協おおさかの「ほくせつ地区」だけでスタートとしましたが、医療福祉生協おおさか、大阪民医連の協力もあり、当日は満員御礼の大盛況に終わりました。「赤ひげ」のストーリーは江戸時代、小石川養生所での医療従事者の物語。幕府から緊縮予算を突き詰められる中、そこで働く医師たちの生きざまが問われていました。今、私たちを取り巻く社会はどうでしょうか。とりわけ度重なる社会保障の改悪とそれに抗しているち輝く社会をめざして活動する共同組織はまさに赤ひげ、保本登ではないでしょうか。劇が終了して会場内から出てくる皆さんの表情は大きな感動を受け歓びに溢れていました。文化の力、本物の力は私たちを変えることが出来ると改めて確信しました。これを機に民医連、医療福祉生協おおさかが一層団結し、さらに前進することを祈念します。

所属している組織の概要	
活動地域は、大阪府豊中市、池田市、箕面市、吹田市。活動地域の人口は約100万人。所属する地域の共同組織の人数は約7,300人。	
TEL 06-6840-7601	メール t-azuma@coop-osaka.or.jp

## 第46期全日本民医連共同組織活動交流全国連絡会

代表委員：早川高子（岡山・現地実行委員長）、秋元稔（千葉）、布施仁（東京）、白鳥操（東京）、長田正弘（山梨）、小森佳子（大阪）

運営委員：船木幸子（北海道）、磯貝一子（北海道）、湊不二雄（神奈川）、杉本満（石川）、市村はる美（長野）、村松幸久（静岡）、南徹（京都）、岩田重一（香川）、大城郁男（沖縄）

連絡委員：福士学（青森）、吉田明美（岩手）、丹藤量子（宮城）、福木幹郎（秋田）、佐々木良子（山形）、佐藤克行（福島）、鈴木順子（栃木）、中島進（群馬）、岩田祐子（埼玉）、西村高治（福井）、熊崎辰広（岐阜）、北村晴美（愛知）、清水行治（三重）、金岡英明（滋賀）、一井光義（兵庫）、松下光人（奈良）、目祐二郎（和歌山）、中川淑（鳥取）、井上美和子（島根）、北村るみ（山口）、瀬戸克将（徳島）、三宅淳雄（愛媛）、植田宏美（高知）、松原光生（福岡・佐賀）、平野睦子（長崎）、田邊菜穂子（熊本）、橋本まゆみ（大分）、山崎一男（宮崎）、農原政代（鹿児島）

### <事務局>

全日本民医連：岸本啓介事務局長、木下興事務局次長、入江敬一事務局次長、坂田匠事務局次長（45期）、宮澤洋子理事、宇佐美聖香事務局員、荻生雄毅事務局員、名波武司事務局員、八田大輔事務局員、細谷花奈子事務局員

### <現地設営委員会>

大坂圭子、川崎順子、河原素、國塩聖和、小林愛子、佐古浩之、頭師裕貴、住吉由里、田中裕子、中本満理子、檜木綾、人見美奈穂、深山さくら、溝口初美、山崎晶弘

<協力>公益社団法人 おかやま観光コンベンション協会

---

〒113-8465 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター7F  
全日本民主医療機関連合会  
電話03-5842-6451 ファックス03-5842-6460

### 第16回全日本民医連共同組織活動交流集会 プログラム

編集／全日本民主医療機関連合会

発行／全日本民医連共同組織活動交流全国連絡会

印刷／あかつき印刷株式会社

あなたと民医連をつなぐ月刊誌

# いつでも元気

MIN-IREN

## を読みませんか?

全日本民医連は無差別・平等の医療と福祉を追求して70年あまり。病院・診療所・介護施設・訪問看護ステーション・薬局など、全国1,753カ所の事業所が加盟しています。約8万3千人の職員と共同組織約350万人で、地域のみなさんと手をつなぎながら、健康づくり・安心して住み続けられるまちづくりにとりくんでいます。

「戦争する国づくり」を許さず、社会保障を充実させ、営利優先の政治を転換させて、いのちが大切にされる社会、人権が輝く新しい福祉国家をめざして奮闘します。ともにごんばりましょう。

あなたと民医連をつなぐ月刊誌

## 『いつでも元気』

編集：全日本民医連 発行：保健医療研究所

病気のことや、健康づくり・まちづくりの実践、憲法や社会保障制度のことまで「わかりやすく、ためになる」  
「写真がきれい」と好評です。

お申し込み・お問い合わせ

民医連加盟事業所、  
または(株)保健医療研究所  
電話03-5842-5656  
FAX03-5842-5657まで。

定価  
**380円**  
(税込)



全日本民主医療機関連合会 (民医連)

〒113-8465 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター7F

TEL 03-5842-6451 FAX 03-5842-6460

E-mail: [min-iren@min-iren.gr.jp](mailto:min-iren@min-iren.gr.jp) URL: <https://www.min-iren.gr.jp>

